CanoScan LiDE 40 スキャナ操作ガイド

スキャナをもっと活用しよう!

スキャンの手順

スキャナ前面のEZ（イージー）ボタンを使ったスキャン、CanoScan Toolboxのボタンを使ったスキャン、アプリケーションソフトから行うスキャンを紹介します。

目的別スキャナ活用法

年賀状や写真をプリンタで印刷する、ホームページに貼り付ける、マルチスキャン、テキスト変換（OCR）など、用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

付属のソフトウェアの使いかた

スキャナに付属するソフトウェア「ScanGear CS」と「CanoScan Toolbox」の使いかたと、その他付属のアプリケーションソフトの機能について紹介します。

もっと上手にスキャンする

もっと美しくスキャンしたい、もっと思いどおりにスキャンしたいと考えている人のために、ScanGear CSを使ったスキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

困ったときには

スキャナを使っていて動かない、エラーメッセージが表示されるなどのトラブルに対処する方法を紹介します。

スキャナ操作ガイドの使いかた　索引／用語解説　総目次　お問い合わせ先

※ このマニュアルの画面例は、実際の表示と若干異なる場合があります。

Canon Service & Support

※キヤノンおよび他社のホームページへアクセスするには、あらかじめインターネットが使用できるようになっている必要があります。また、通信費用はお客様のご負担となります。

I-OJ-052A

スキャンの手順

スキャナ前面のEZボタンを使ったスキャン、CanoScan Toolboxのボタンを使ったスキャン、アプリケーションソフトから行うスキャンを紹介します。

EZボタンでスキャンする

スキャナ前面のEZボタンを押すだけで、原稿をスキャンし、プリンタにコピー印刷、画像管理ソフトへの取り込み、PDFファイルへの保存、あるいはメールへの添付を行うことができます。

CanoScan Toolboxを使ってスキャンする

印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなど、8つのボタンに設定されているいろいろなスキャン方法がワンタッチで使えます。

アプリケーションソフトを使ってスキャンする

フォトレタッチソフト、OCRソフトなどを起動して、スキャンする方法です。

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャン セットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャン セットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh　OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9: Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

スキャンの手順

- EZボタンでスキャンする
  - ［COPY］ボタンで印刷する
  - ［SCAN］ボタンで画像を取り込む
  - ［FILE］ボタンでPDFファイルを作成する
  - ［E-MAIL］ボタンでメールに添付する
- CanoScan Toolboxを使ってスキャンする
- アプリケーションソフトを使ってスキャンする

EZボタンでスキャンする

スキャナ前面のEZ（イージー）ボタンを押すだけで、印刷やレタッチソフト、画像管理ソフトへの取り込み、PDFファイルの作成やEメール添付ができる、とても簡単で便利なスキャン方法です。めんどうな設定は一切ありません。

［COPY］ボタンで印刷する
原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。

［SCAN］ボタンで画像を取り込む
原稿をスキャンし、ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）に画像を表示します。

［FILE］ボタンでPDFファイルを作成する
原稿をスキャンし、PDF形式のファイルにしてAcrobat Readerに表示します。

［E-MAIL］ボタンでメールに添付する
原稿をスキャンし、メールソフトの新規メッセージに画像を添付します。メール添付に適したファイル容量に設定されています。

- EZボタンを使うには、CanoScan Toolbox、ZoomBrowser EX（Windows）、ImageBrowser（Macintosh）、ArcSoft PhotoStudio、Adobe Acrobat Reader、プリンタドライバ、メールソフトがインストールされている必要があります。
- EZボタンはCanoScan Toolboxと連動していますので、CanoScan Toolboxの設定を変更して、ボタンに割りあてられた機能を変更することができます。変更したいときは→Toolboxの［設定］ボタンをご覧ください。

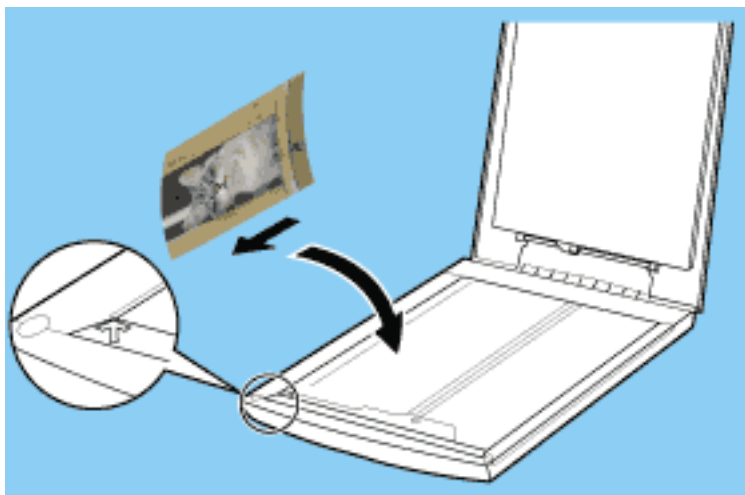
Windows

- EZボタンを押したときにCanoScan Toolboxが起動せずに「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは→「困ったときには」のスキャンのトラブルをご覧ください。

［COPY］ボタンで印刷する

1 プリンタを準備します。

- この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

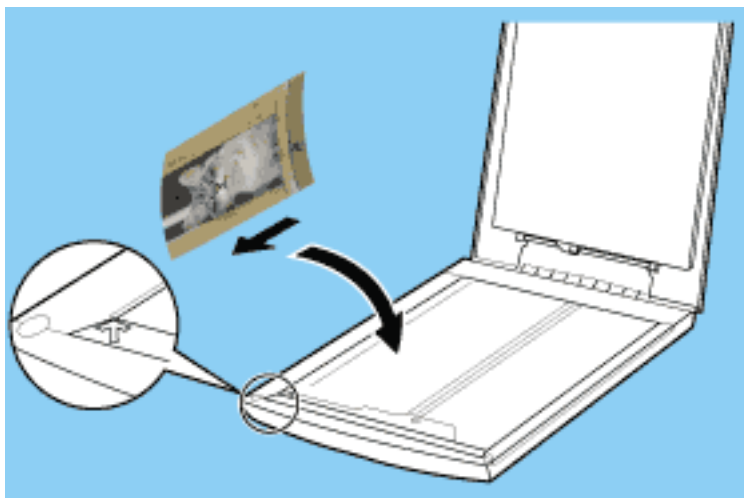
2 スキャナに原稿をセットします。

3 ［COPY］ボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
スキャンされた画像はプリンタで印刷されます。初期設定では、自動的にA4サイズの用紙にプリントします。

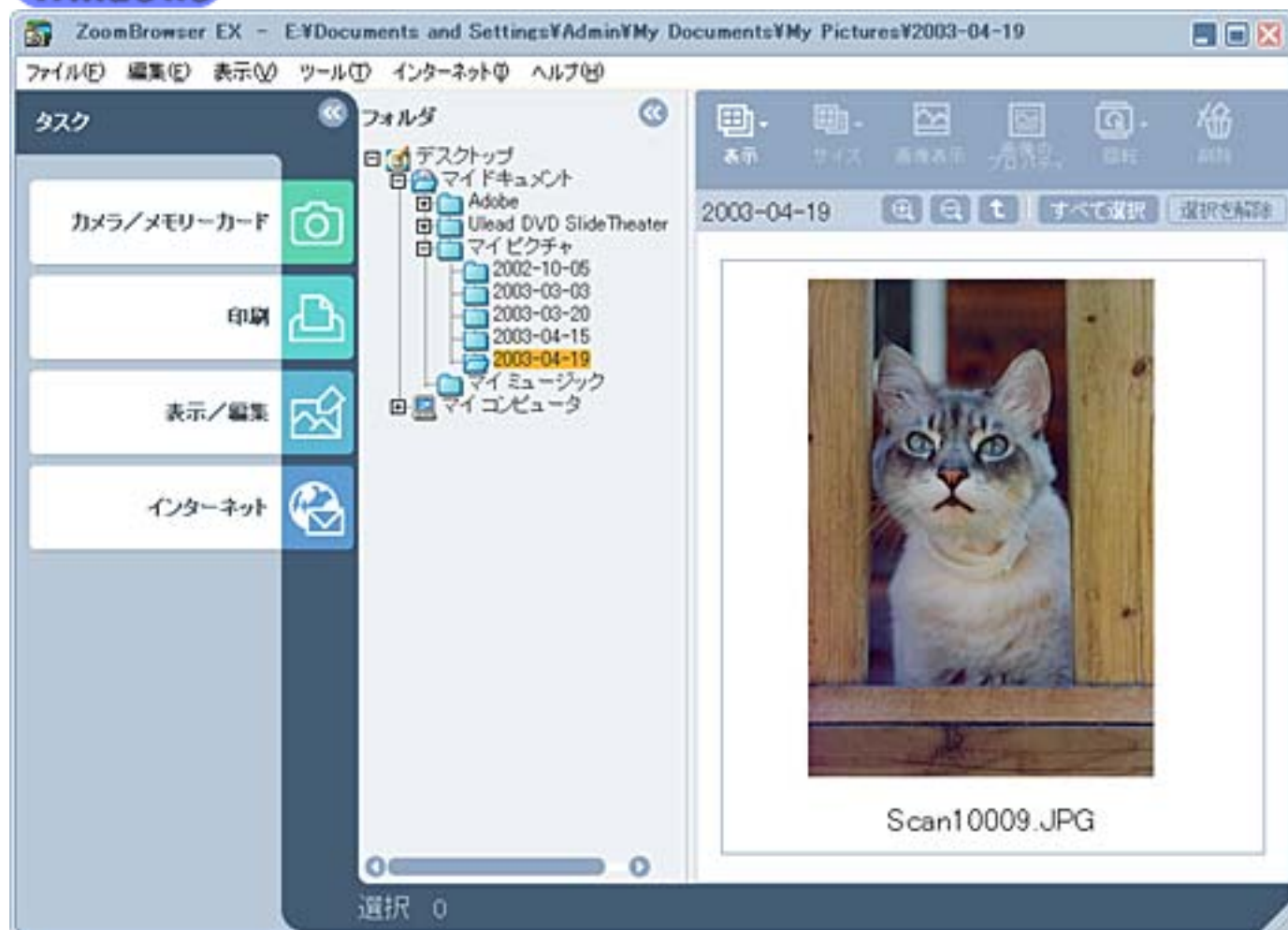
- 原稿を変えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxのコピー画面で変更します。コピー画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

先頭へ戻る▲

［SCAN］ボタンで画像を取り込む

1 スキャナに原稿をセットします。

［SCAN］ボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
画像が保存され、ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）に表示されます。画像の管理や編集、スライドショーなどができます。

Windows

- 初期設定では、スキャンした画像は、［マイドキュメント］－［マイピクチャ］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

Macintosh

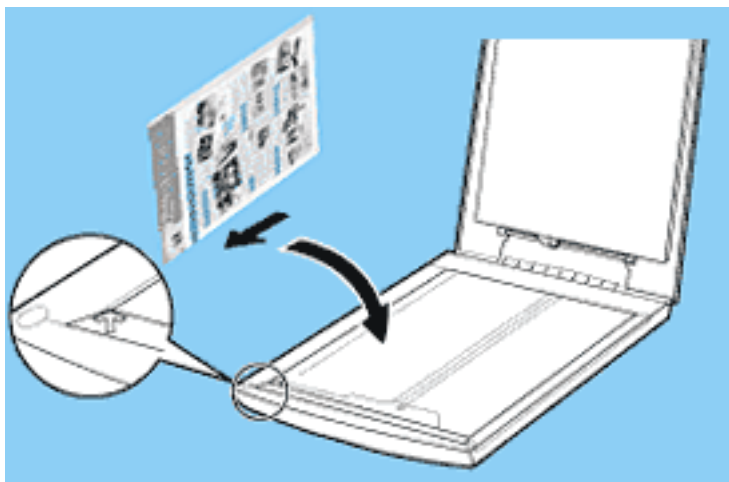
- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

  Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  * Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

  Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

- 原稿を変えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxのスキャン画面で変更します。スキャン画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

［FILE］ボタンでPDFファイルを作成する

スキャナに原稿をセットします。

2 ［FILE］ボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
画像がPDF形式で保存され、Acrobat Readerに表示されます。

Windows

- 初期設定では、スキャンした画像は、［マイドキュメント］－［マイピクチャ］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

Macintosh

- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

  Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

  ＊ Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

  Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

- 原稿を変えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxのファイル画面で変更します。ファイル画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

先頭へ戻る▲

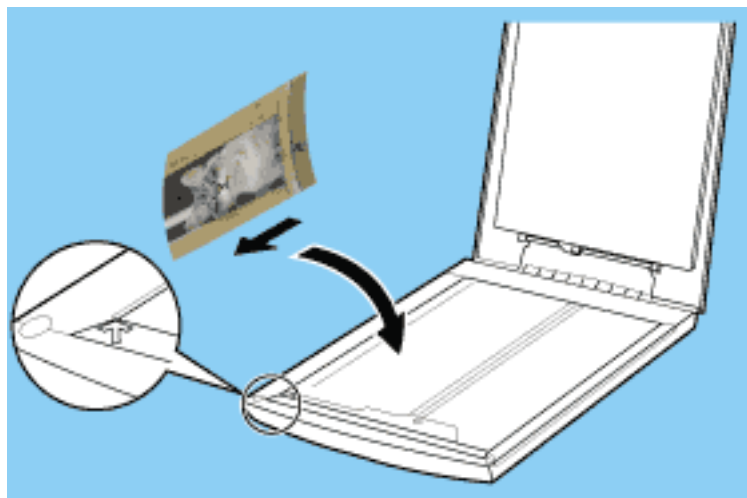
［E-MAIL］ボタンでメールに添付する

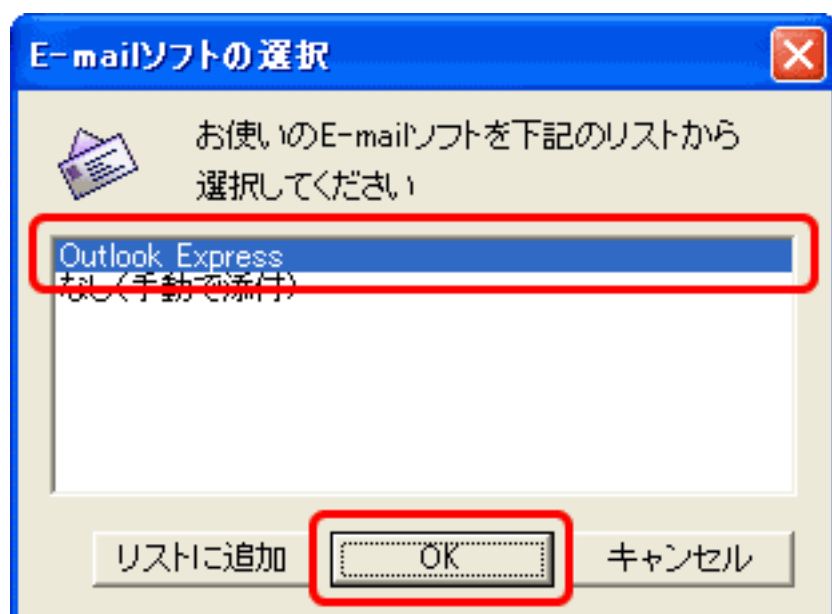
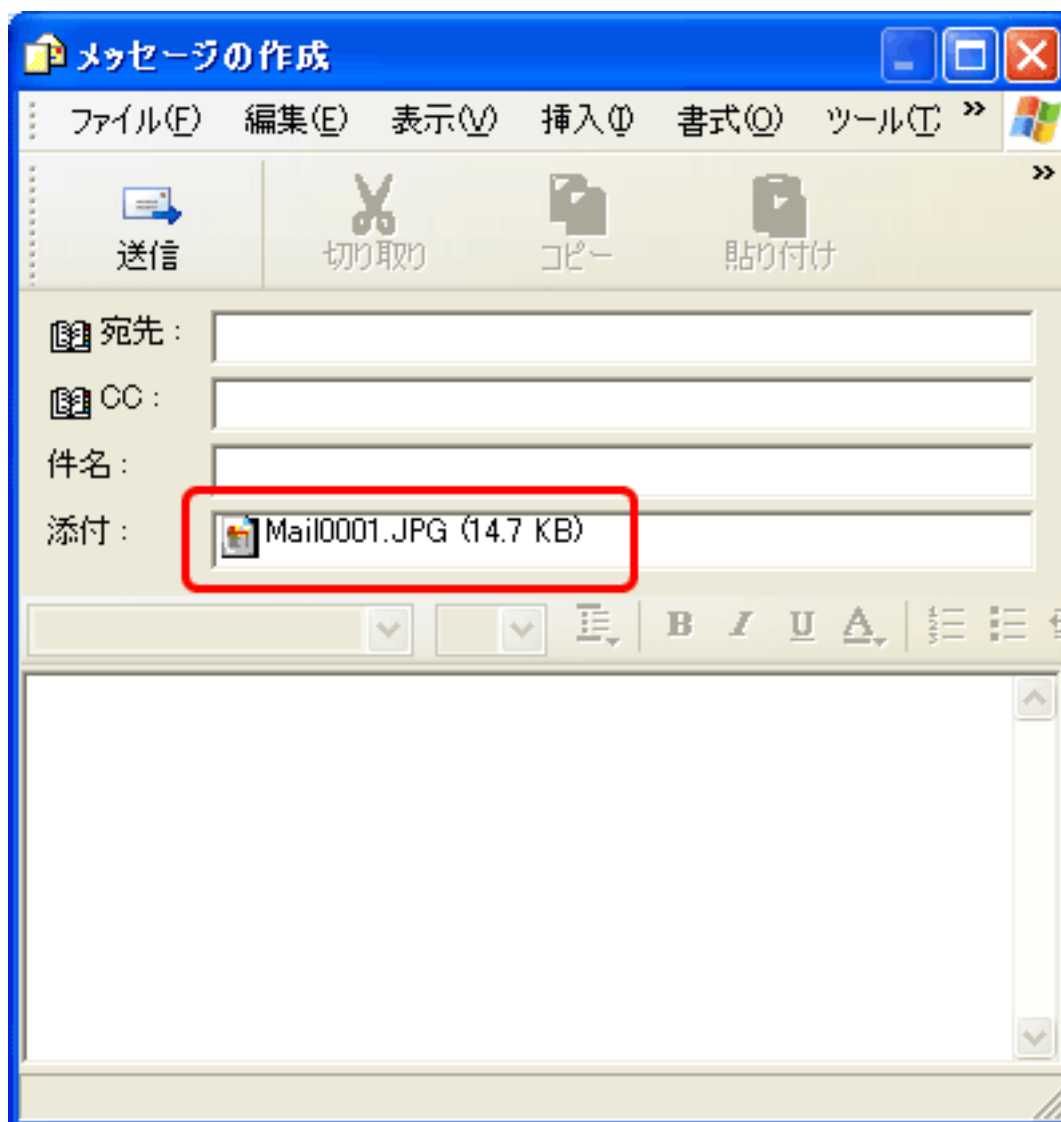
・本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

Macintosh OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
OS 9: Outlook Express、EUDORA

* MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 ［E-MAIL］ボタンを押します。

3 CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
E-mailソフトの選択画面で、使用するメールソフトを選択し、［OK］ボタンをクリックします。（初回のみ）

メールソフトが起動し、新規送信メッセージが表示されます。このとき、スキャンされた画像は、添付ファイルとして、このメッセージに添付されています。
メールの宛先、タイトル、本文などを入力し、送信できます。

- 使用するEメールソフトが選択画面に表示されないときは、「なし（手動で添付）」を選択し、スキャンが終わったら以下のフォルダに保存されている画像を手動でメールに添付してください。
- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

Windows ［マイドキュメント］ ― ［マイピクチャ］ ― ［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

Macintosh Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］ ― ［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ ― ［Pictures］ ― ［My Pictures］ ― ［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］ ― ［CanoScan Toolbox 4.5］ ― ［My Pictures］ ― ［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

- 原稿を変えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxのメール画面で変更します。メール画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

先頭へ戻る▲

スキャンの手順

- EZボタンでスキャンする
- CanoScan Toolboxを使ってスキャンする
  - CanoScan Toolboxの基本操作
  - ZoomBrowser EXでスキャンした画像を表示する(Windows)
  - ImageBrowserでスキャンした画像を表示する(Macintosh)
- アプリケーションソフトを使ってスキャンする

CanoScan Toolboxを使ってスキャンする

ユーティリティソフトCanoScan Toolboxの画面のボタンをクリックするだけで、印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなどができます。機能に合わせていろいろな設定ができます。

Windows

Macintosh

CanoScan Toolboxの基本操作
ZoomBrowser EXでスキャンした画像を表示する Windows
ImageBrowserでスキャンした画像を表示する Macintosh

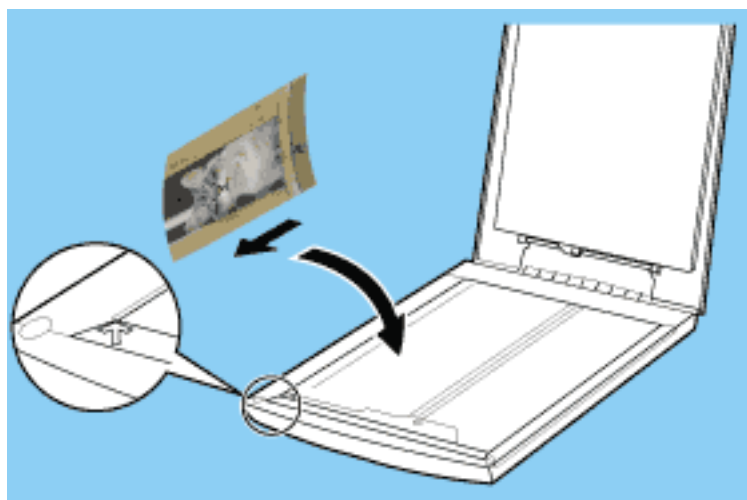
先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxの基本操作

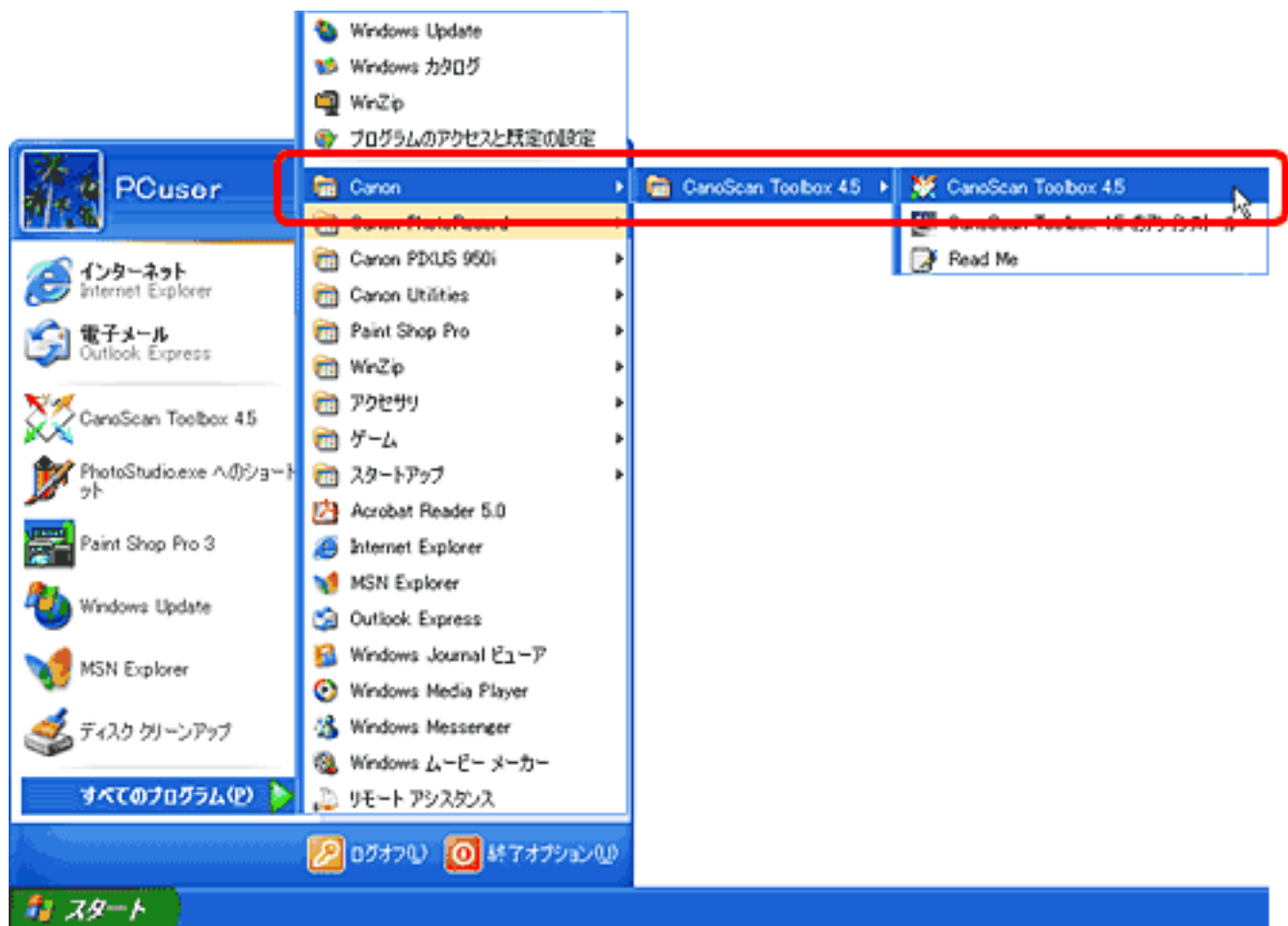
CanoScan Toolboxは、［設定］ボタンを除き、どのボタンもほぼ同様の手順で操作できます。ここでは、［コピー］ボタンを例に説明します。

1 印刷するときは、プリンタを準備します。

- この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

3 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.5］→［CanoScan Toolbox 4.5］を選択します。

Macintosh

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox］アイコンをダブルクリックします。

CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

4 ボタンをクリックします。
ここでは例として［コピー］ボタンを選択します。その他のボタンについては、各ボタンの機能をご参照ください。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

5 必要な場合は、スキャン方法やスキャン画像の保存先、プリンタなどの設定をします。

コピーの設定画面の例

- コピー画面の設定のしかた
- プリント画面の設定のしかた
- メール画面の設定のしかた
- OCR画面の設定のしかた
- 保存画面の設定のしかた
- ファイル画面の設定のしかた
- スキャン-1、スキャン-2画面の設定のしかた

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。

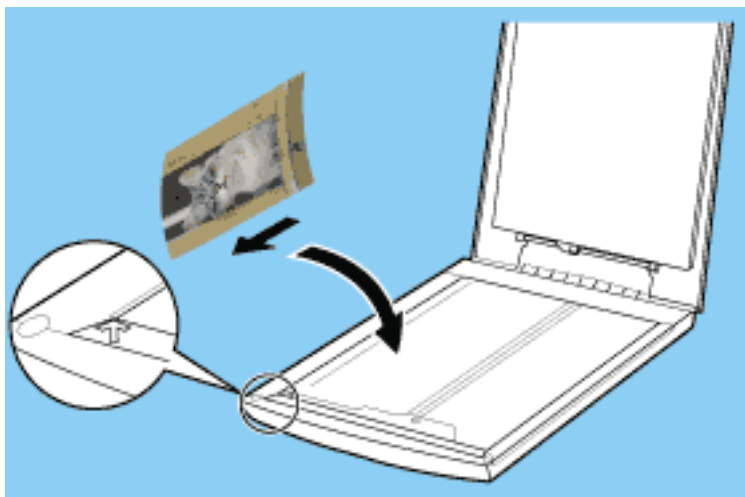
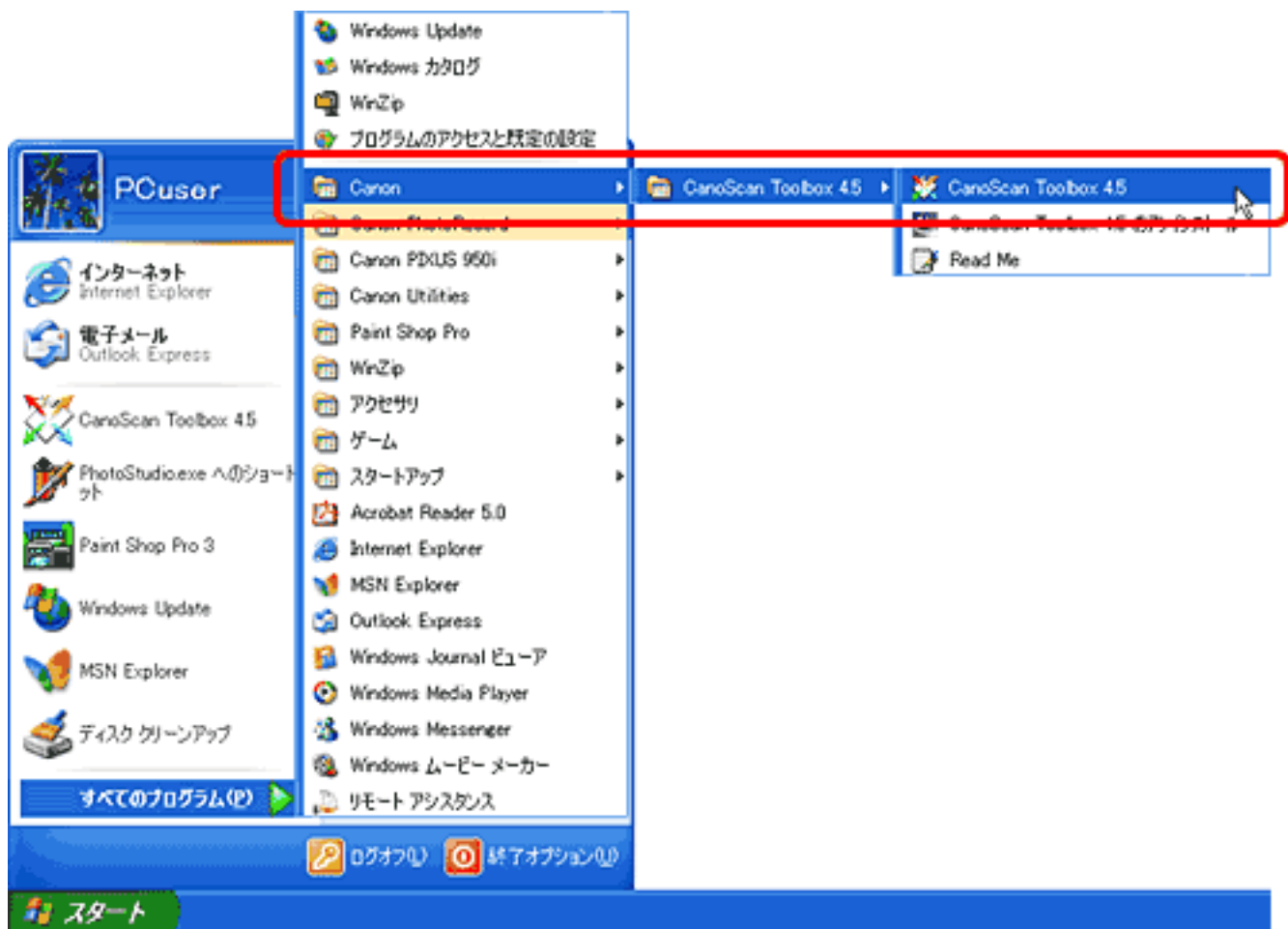
これで指定した設定でスキャンが始まり、スキャンが終わると、それぞれのボタンに応じた機能が実行されます。

先頭へ戻る▲

ZoomBrowser EXでスキャンした画像を表示する

スキャナに付属の画像管理ソフト「ZoomBrowser EX」へスキャンした画像を渡して表示させるには、次の手順で行います。

- ZoomBrowser EXは、あらかじめCanoScan Toolboxの［スキャン-1］ボタンに登録されていることが必要です。
- ZoomBrowser EXはTWAINに対応していないため、直接ScanGear CSを起動して画像をスキャンすることはできません。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.5］→［CanoScan Toolbox 4.5］を選択します。

CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

3 ZoomBrowser EXが登録されている［スキャン-1］ボタンをクリックします。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

4 必要があれば「原稿の種類」や「スキャンモード」、「出力解像度」、「ファイル名」や「ファイルの種類」などを設定します。

スキャン

[スキャン]
スキャン画像を指定フォルダに保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

原稿の種類：紙/写真

スキャンモード：カラー(マルチスキャン)

出力解像度：300 dpi

原稿サイズ：A4

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名：Scan1

ファイルの種類：JPEG

C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

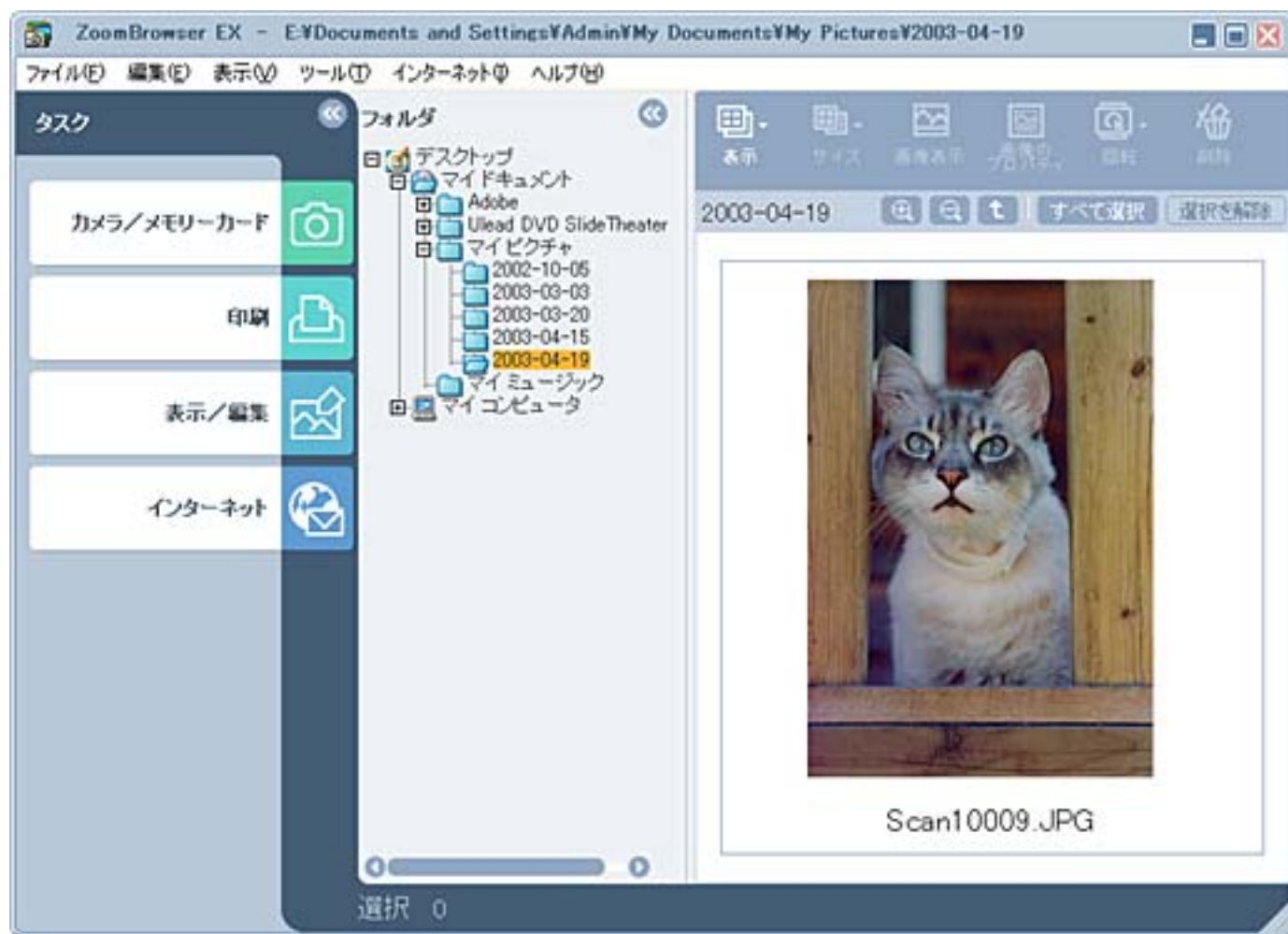
リンクの削除

C:¥Program Files¥Canon¥ZoomBrowser EX¥Program¥Zoor　設定...

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」をクリックしてチェックマークを付けます。
- 写真など、原稿何枚かを一度のスキャンで個別の画像として取り込むときは、「スキャンモード」で「カラー（マルチスキャン）」を選択します。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まり、スキャンが終わると「ZoomBrowser EX」が起動し、ブラウザウィンドウにスキャンした画像が表示されます。

- 初期設定では、スキャンした画像は、［マイドキュメント］－［マイピクチャ］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。保存先を変更したいときは、手順4で「スキャン画像の保存先」を変更してください。変更の方法は「CanoScan Toolbox」の「ボタンの機能」の［スキャン-1］［スキャン-2］ボタンをご覧ください。
- 印刷したい画像を選択し、タスクエリアの印刷でレイアウト印刷を選ぶとPhotoRecordが起動し、複数の画像をA4サイズなどの用紙にレイアウトしてアルバムを作ったり、背景や枠を付けてカードを作ったりすることができます。

「ZoomBrowser EX」では、画像を他のフォルダへ移動したり削除して整理をするばかりでなく、複数の画像をレイアウトして印刷」したり、スライドショーで画像を見たり、画像の簡単な編集をしたり、メールに添付したりすることができます。
「ZoomBrowser EX」の使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「ZoomBrowser EX/PhotoRecordソフトウェアガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

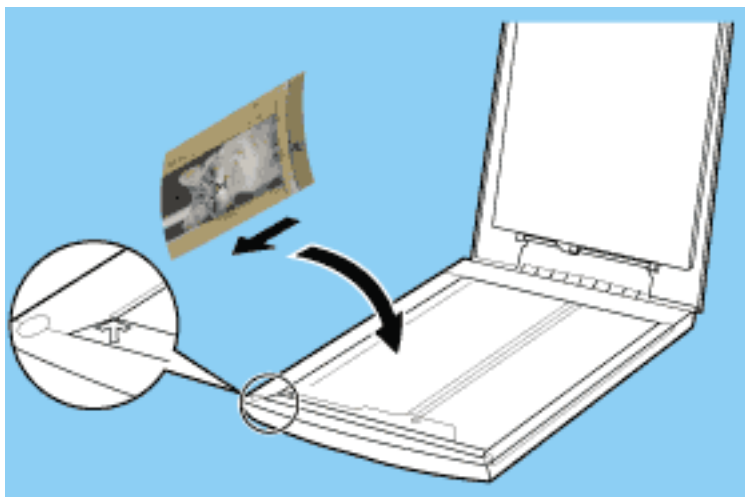
ZoomBrowser EXを終了するときは、「ファイル」のプルダウンメニューから「終了」を選択するか、画面右上のクローズボックスをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

Macintosh ImageBrowserでスキャンした画像を表示する

スキャナに付属の画像管理ソフト「ImageBrowser」へスキャンした画像を渡して表示させるには、次の手順で行います。

- ImageBrowserは、あらかじめCanoScan Toolboxの［スキャン-1］ボタンに登録されていることが必要です。
- ImageBrowserはTWAINに対応していないため、直接ScanGear CSを起動して画像をスキャンすることはできません。

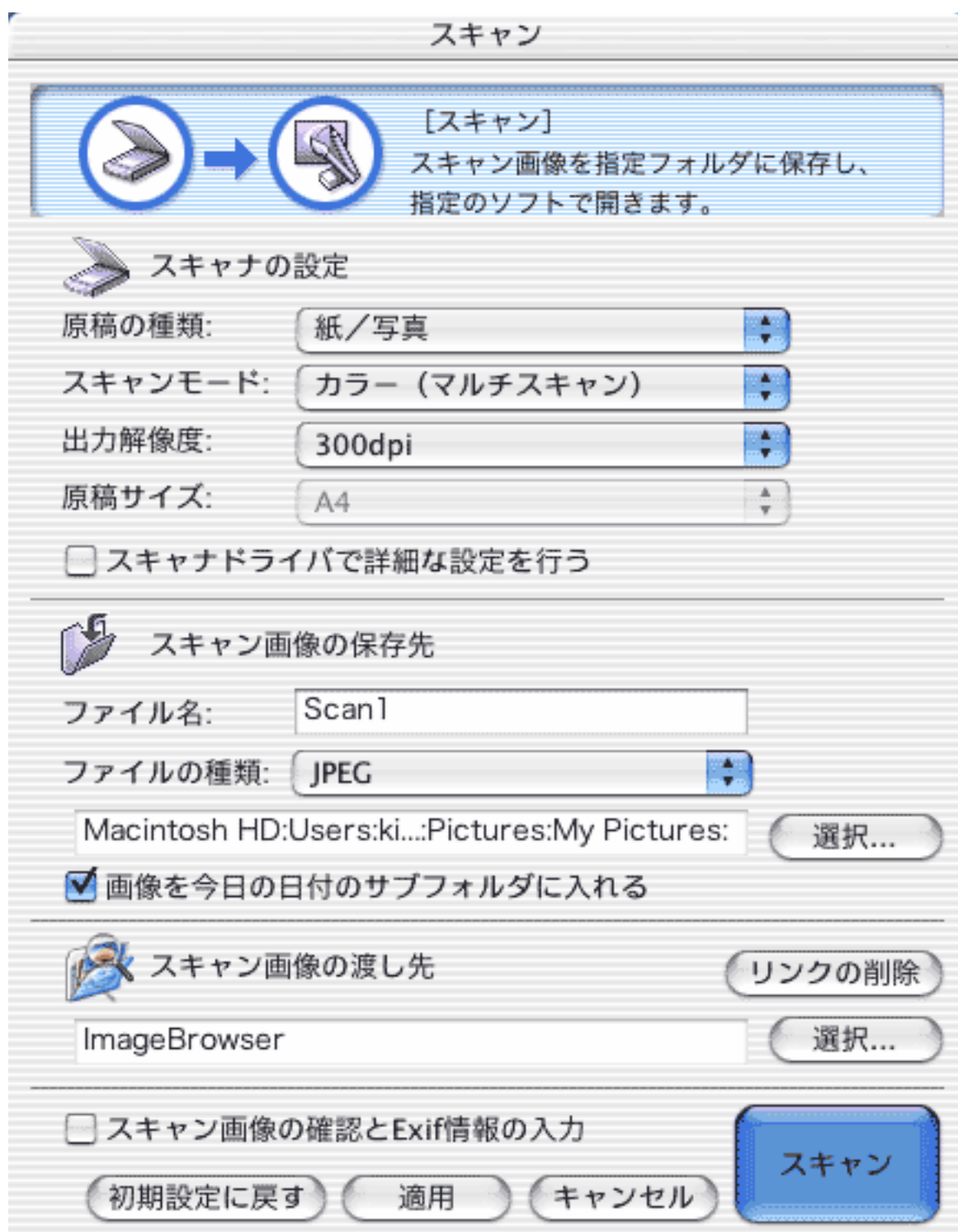
1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox］アイコンをダブルクリックします。

CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

3 ImageBrowserが登録されている［スキャン-1］ボタンをクリックします。

4 必要があれば「原稿の種類」や「スキャンモード」、「出力解像度」、「ファイル名」や「ファイルの種類」などを設定します。

スキャン

［スキャン］
スキャン画像を指定フォルダに保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

原稿の種類: 紙／写真

スキャンモード: カラー（マルチスキャン）

出力解像度: 300dpi

原稿サイズ: A4

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名: Scan1

ファイルの種類: JPEG

Macintosh HD:Users:ki...:Pictures:My Pictures: 選択...

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

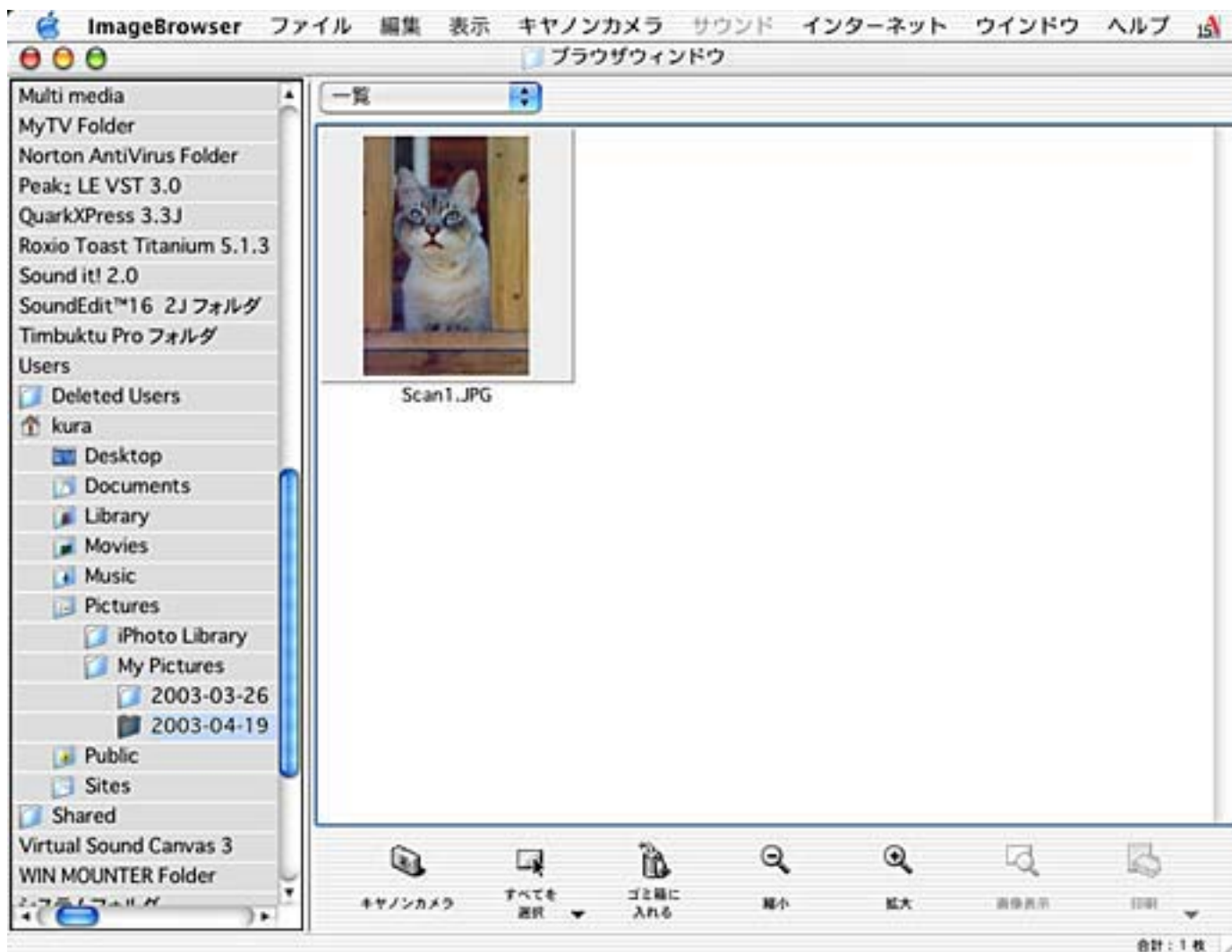
スキャン画像の渡し先 リンクの削除

ImageBrowser 選択...

スキャン画像の確認とExif情報の入力

初期設定に戻す 適用 キャンセル スキャン

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」をクリックしてチェックマークを付けます。
- 写真など、原稿何枚かを一度のスキャンで個別の画像として取り込むときは、「スキャンモード」で「カラー（マルチスキャン）」を選択します。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まり、スキャンが終わると「ImageBrowser」が起動し、ブラウザウィンドウにスキャンした画像が表示されます。

- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］－［2003-06-01］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

保存先を変更したいときは、手順4で「スキャン画像の保存先」を変更してください。変更の方法は「CanoScan Toolbox」の「ボタンの機能」の［スキャン-1］［スキャン-2］ボタンをご覧ください。

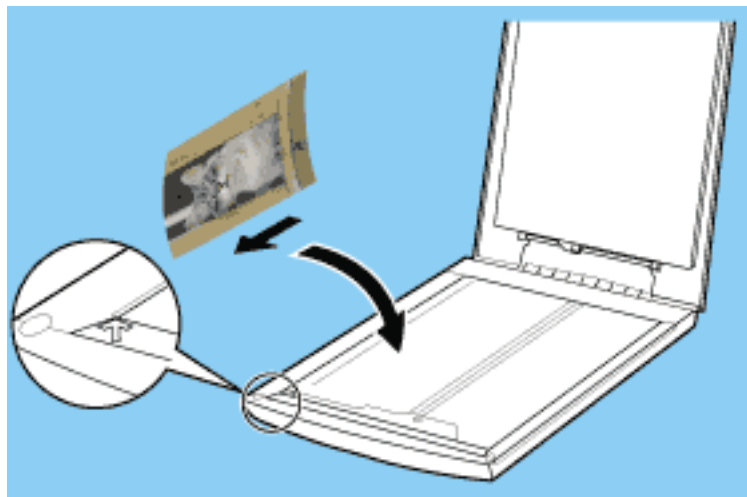
「ImageBrowser」では、画像を他のフォルダへ移動したり削除して整理をするばかりでなく、複数の画像をレイアウトして印刷」したり、スライドショーで画像を見たり、画像の簡単な編集をしたり、メール用の画像を作成したりすることができます。「ImageBrowser」の使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「ImageBrowserソフトウェアガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

ImageBrowserを終了するときは、「ファイル」のプルダウンメニューから「終了」を選択するか、画面左上のクローズボックス（Mac OS X）、（Mac OS 9）をクリックしてください。

先頭へ戻る▲

PhotoStudioでスキャンする

スキャナに付属のフォトレタッチソフト「ArcSoft PhotoStudio」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 PhotoStudioを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

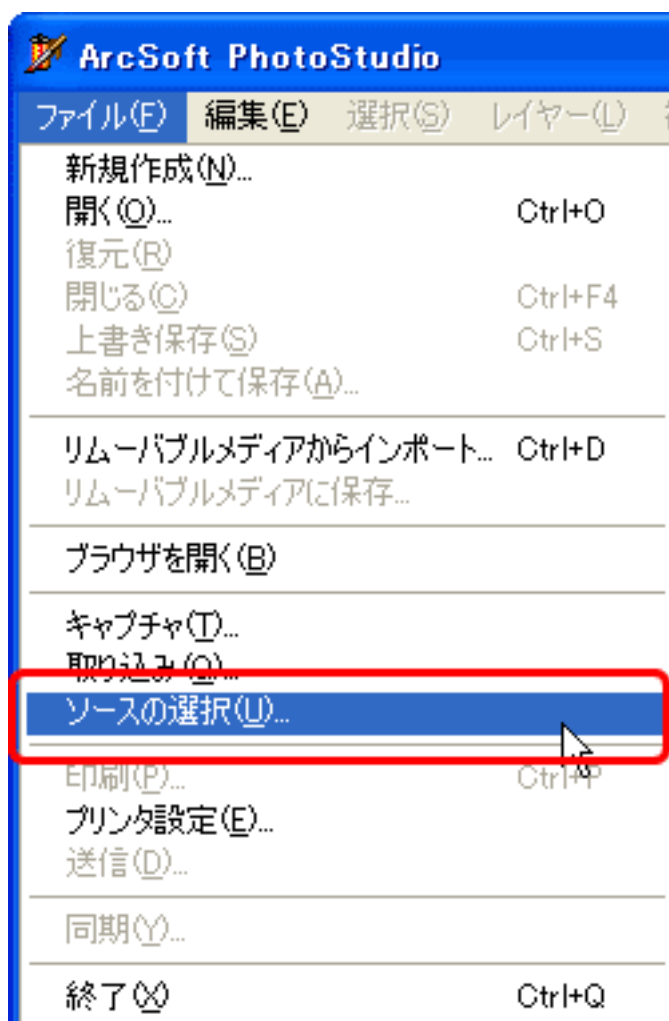
Windows Update
Windows カタログ
プログラムのアクセスと既定の設定
ArcSoft PhotoStudio 5.5
PhotoStudio 5.5
ReadMe
Canon
Canon PhotoRecord
Canon PIXUS 950i
Canon Utilities
e.Typistエントリー
Paint Shop Pro
WinZip
アクセサリ
ゲーム
スタートアップ
Acrobat Reader 5.0
e.Typistエントリー
Internet Explorer
MSN Explorer
MSN Messenger
Outlook Express
Windows Journal ビューア
Windows Media Player
Windows Messenger
Windows ムービー メーカー
リモート アシスタンス
PCuser
インターネット
Internet Explorer
電子メール
Outlook Express
PhotoStudio 5.5
Paint Shop Pro 3
CanoScan Toolbox 4.5
プログラムのアクセスと既定の設定
MSN Explorer
Windows Media Player
すべてのプログラム(P)
ログオフ(L)
終了オプション(U)
スタート

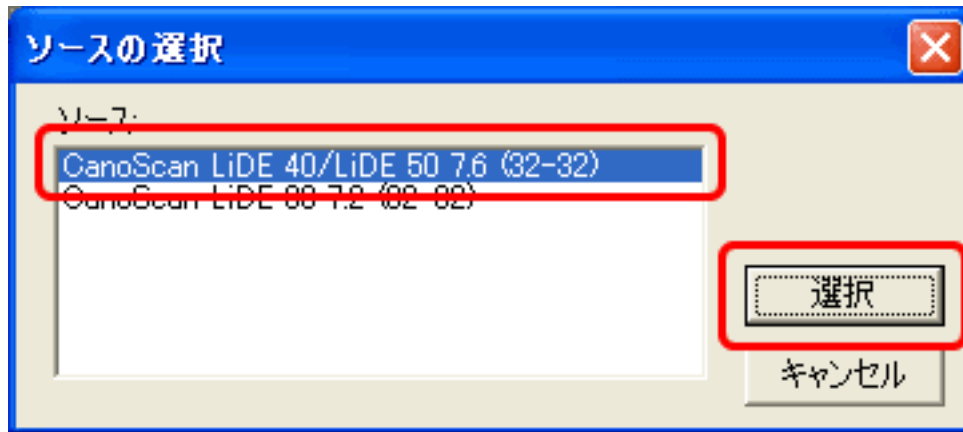
Macintosh

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

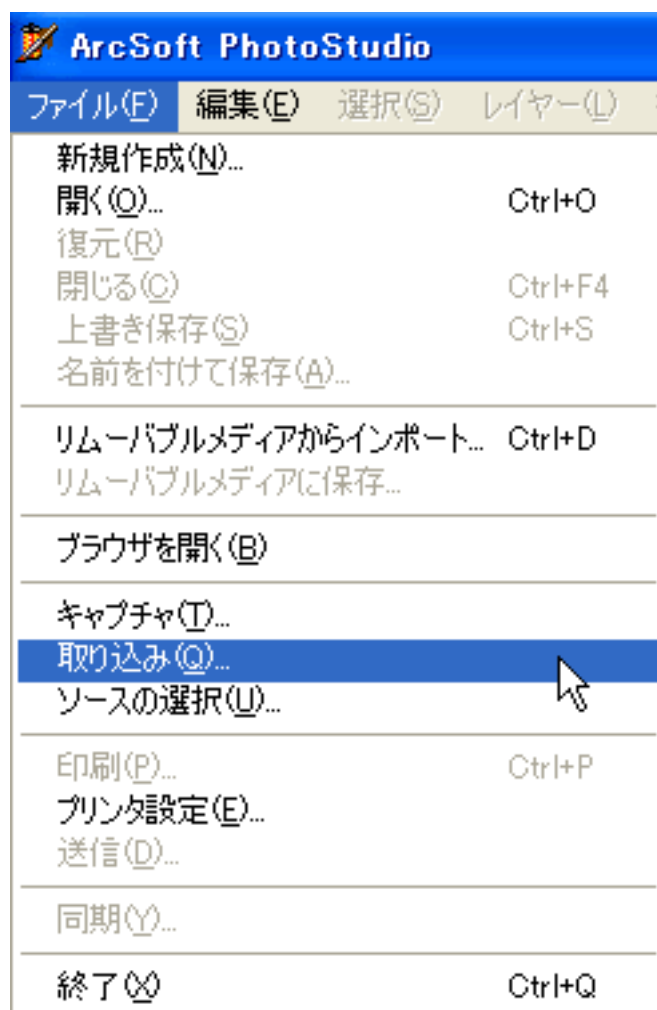
Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

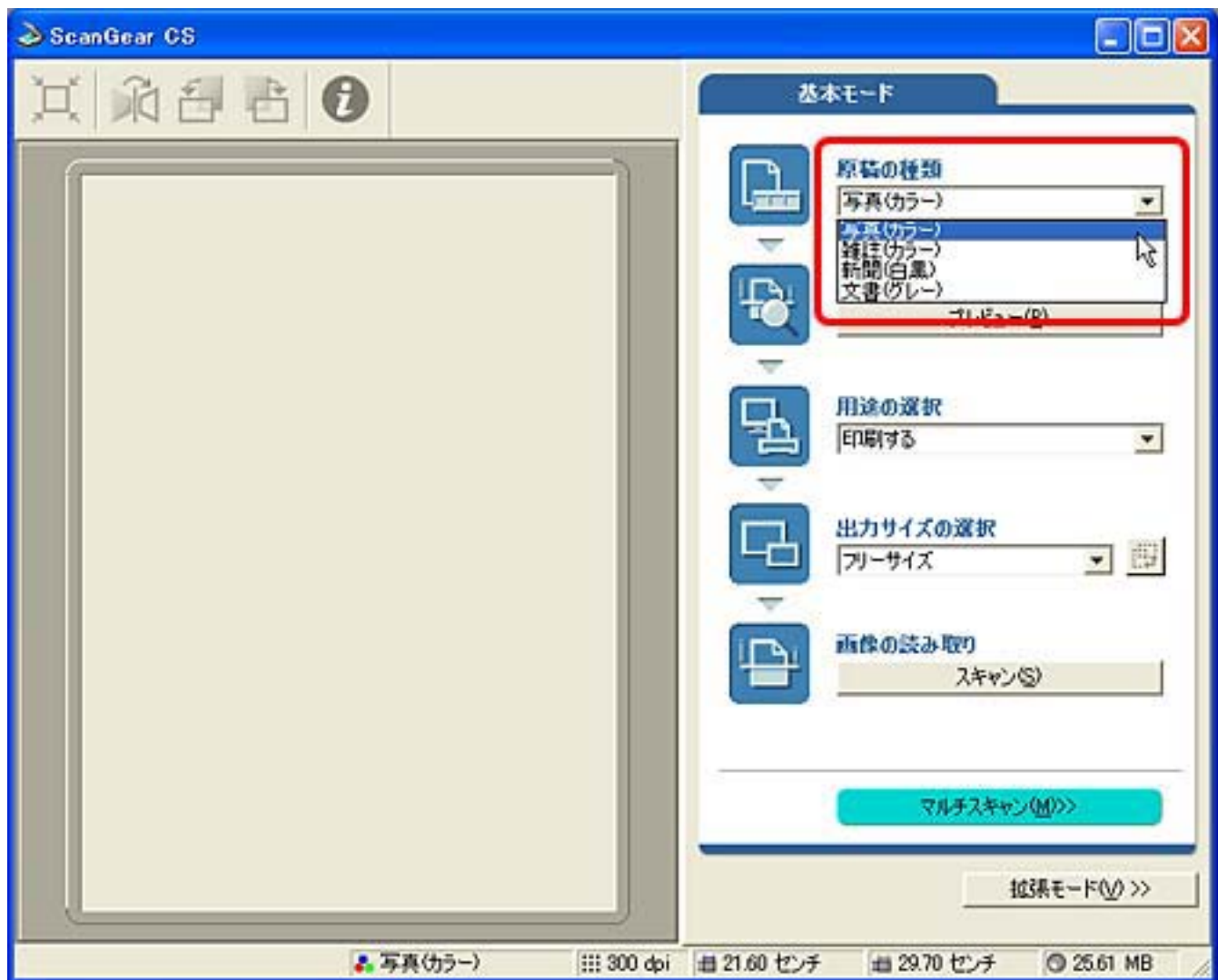
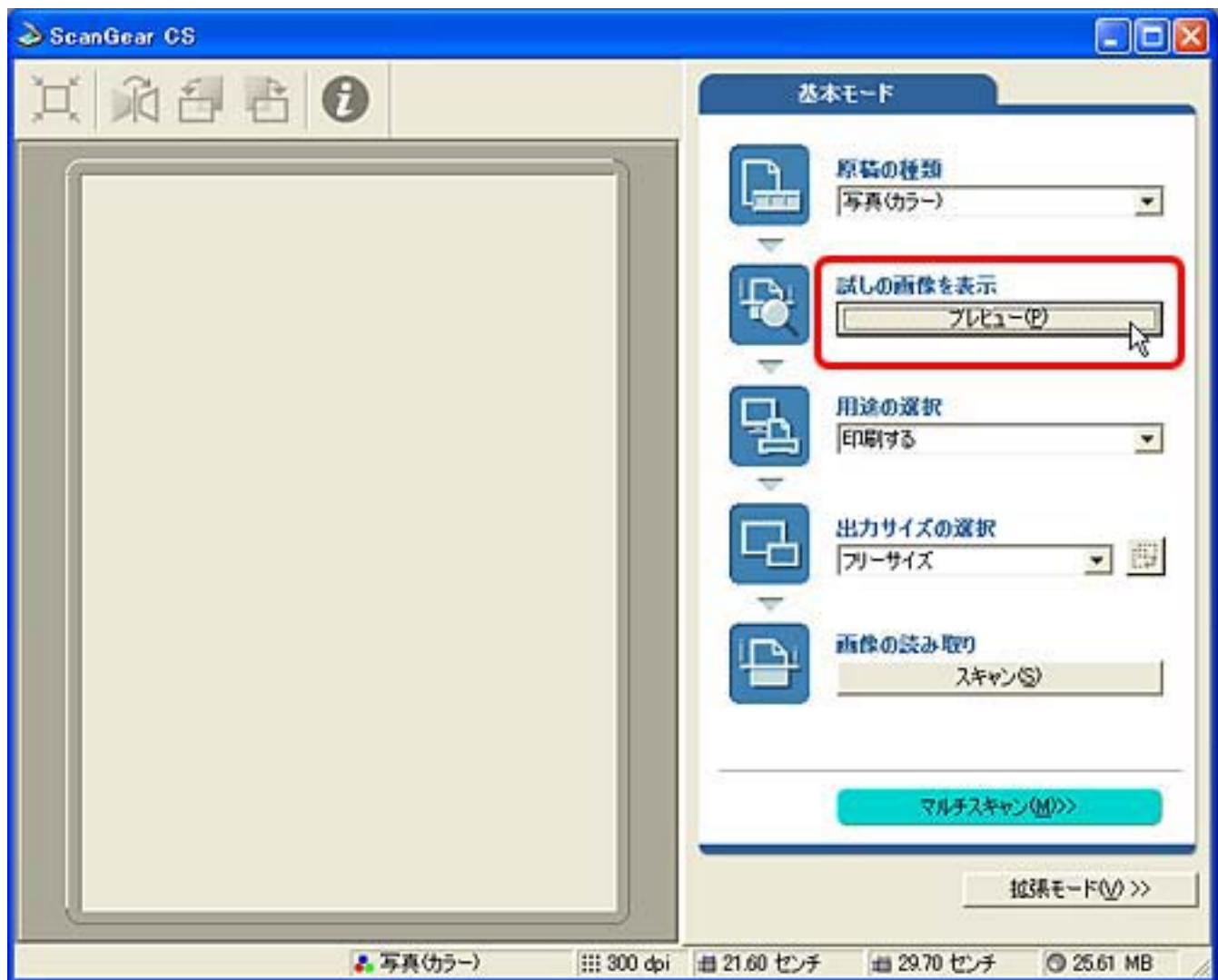
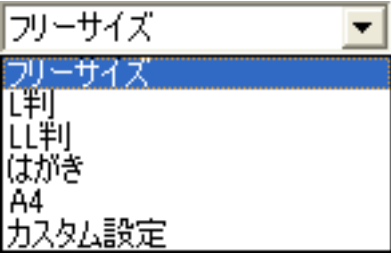
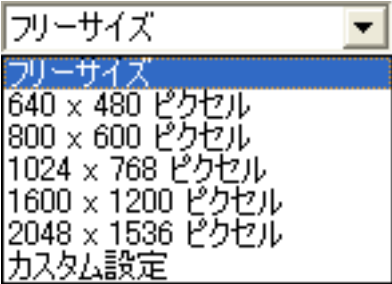
3 スキャナを選択します。

［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選択します。

［ソースの選択］画面（Windows）/［ソースを選択］画面（Macintosh）が表示されます。

お使いのスキャナ名を選択して［選択］（Windows）/［OK］（Macintosh）をクリックします。

* OSにより若干表示が異なります。

 ・ この操作は最初に設定しておけば、2回目以降必要ありません。

4 ScanGear CSを起動します。
［ファイル］の［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

5 セットした原稿に合わせて［原稿の種類］を設定します。
「写真（カラー）」、「雑誌（カラー）」、「新聞（白黒）」、「文書（グレー）」が選択できます。
ここでは、「写真（カラー）」を選択します。

6 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

プレビューエリアに画像が表示され、自動的にクロップされます。

7 用途を選択します。
スキャンした画像を、「印刷する」か「画面に表示する」かを選択します。

「印刷する」を選択すると出力解像度が300dpiに、「画面に表示する」を選択すると出力解像度が150dpiに、それぞれ設定されます。

8 出力サイズを選択します。

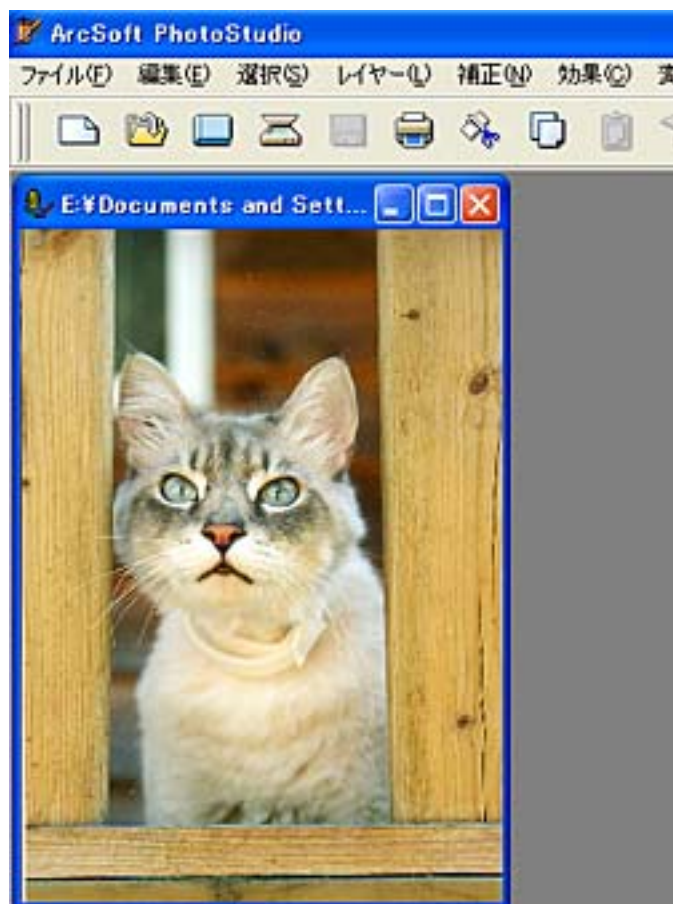
手順7で「印刷する」を選択した場合	手順7で「画面に表示する」を選択した場合
フリーサイズ フリーサイズ L判 LL判 はがき A4 カスタム設定	フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル カスタム設定

- 「フリーサイズ」を選ぶと、クロップしたサイズと同じ大きさでスキャンします。
- 「フリーサイズ」以外を選ぶと：
  - 「印刷する」の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。スキャン範囲を、その大きさになるように拡大／縮小して出力します。
  - 「画面に表示する」の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。コンピュータのモニタやデジタルカメラの出力サイズと同じサイズにできます。

9 ［スキャン］ボタンをクリックします。

- 写真など、原稿何枚かを一度のスキャンで個別の画像として取り込むときは、［マルチスキャン］ボタンをクリックします。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

10 ScanGear CSのクローズボックス（Windows）、または（Macintosh）をクリックして終了してください。

PhotoStudioにスキャンした画像が表示されます。

Windows　　　　　　Macintosh

11 ［ファイル］のプルダウンメニューから［名前を付けて保存］を選択します。

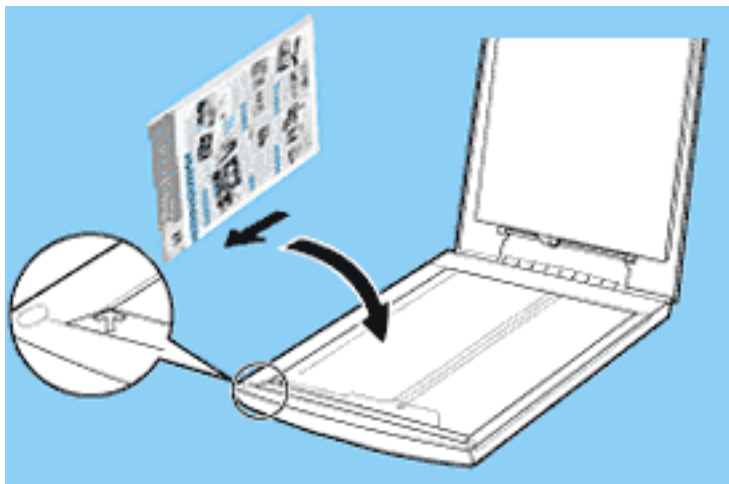
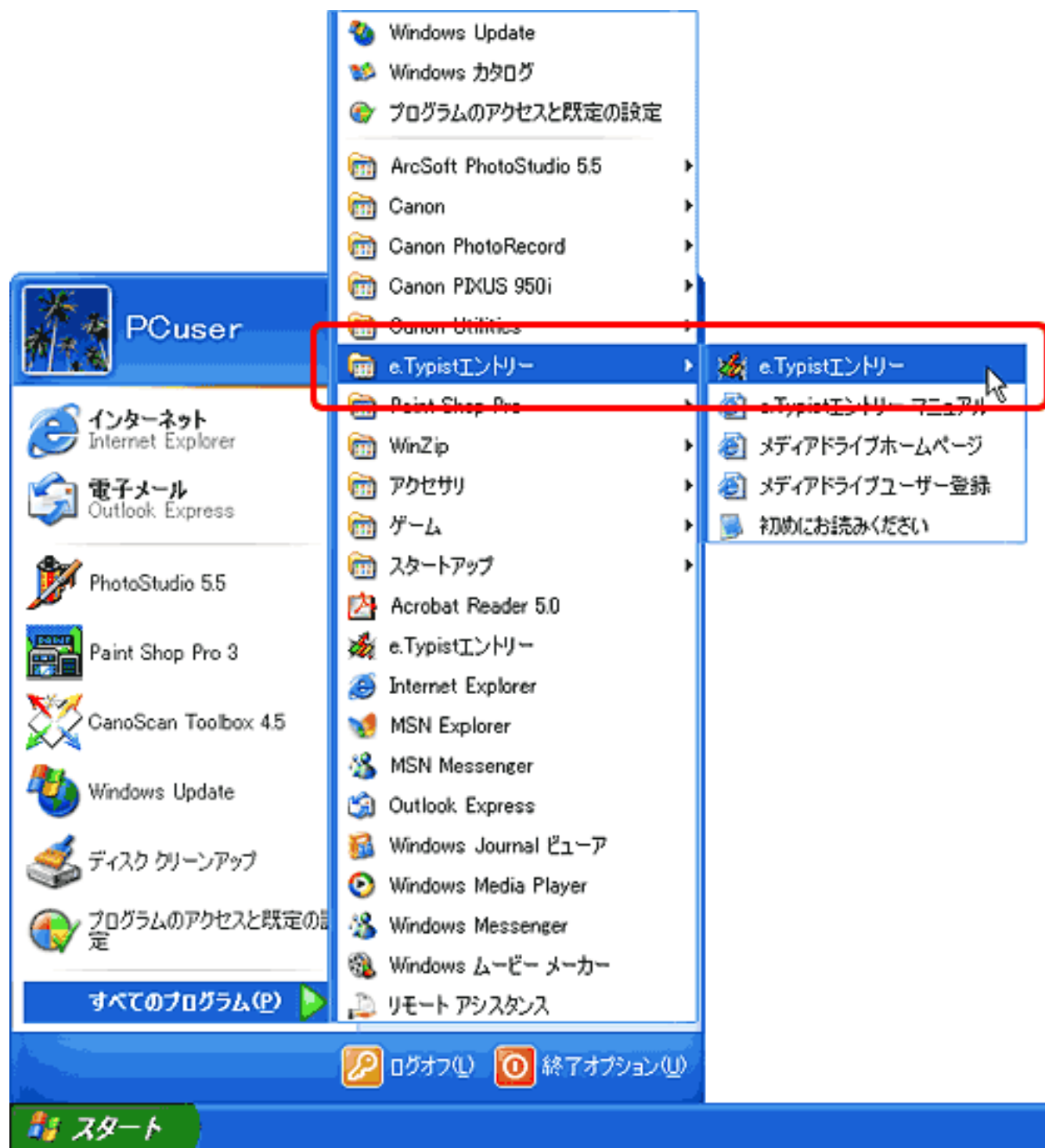
12 ファイル形式や保存先を指定し、ファイル名を入力して保存します。

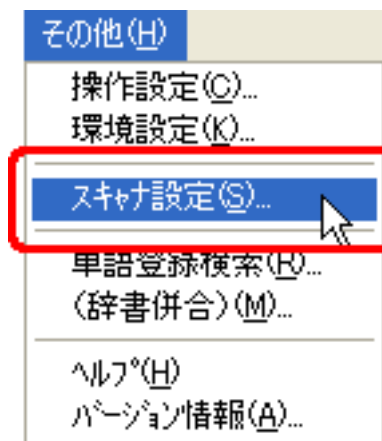
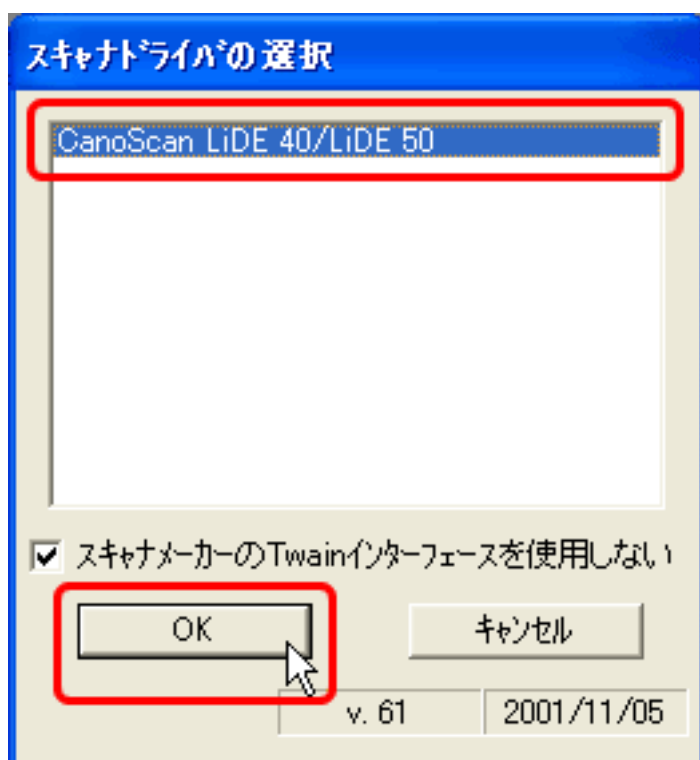
- ファイルの種類（フォーマット）については、スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。
- PhotoStudioの詳しい使いかたについては「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudio マニュアル」をお読みください。

先頭へ戻る▲

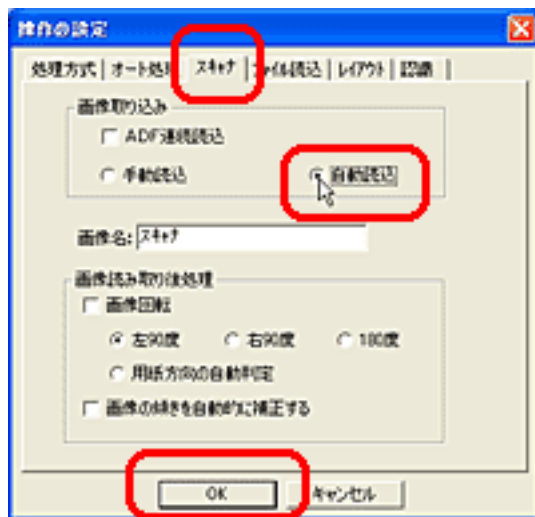
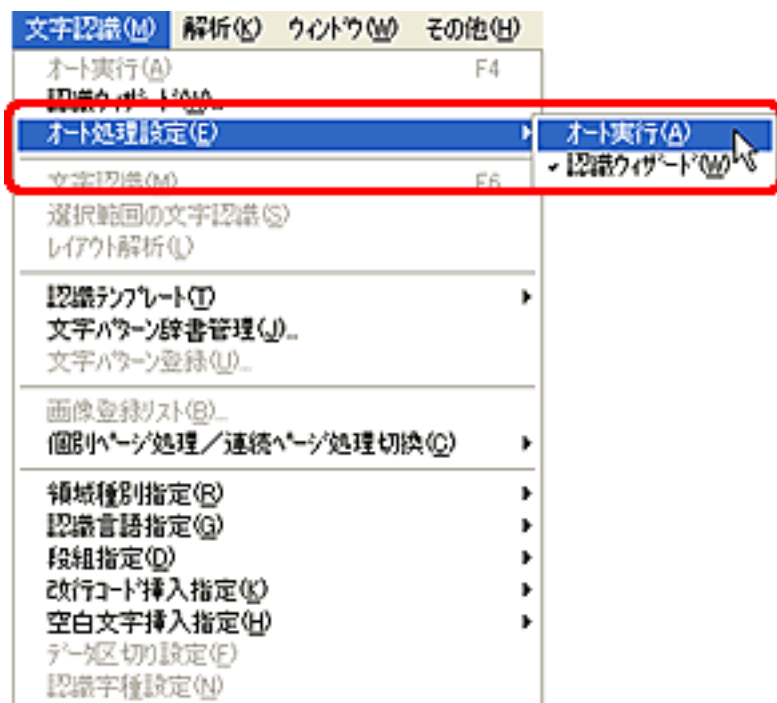
Windows e.Typistエントリーでスキャンする

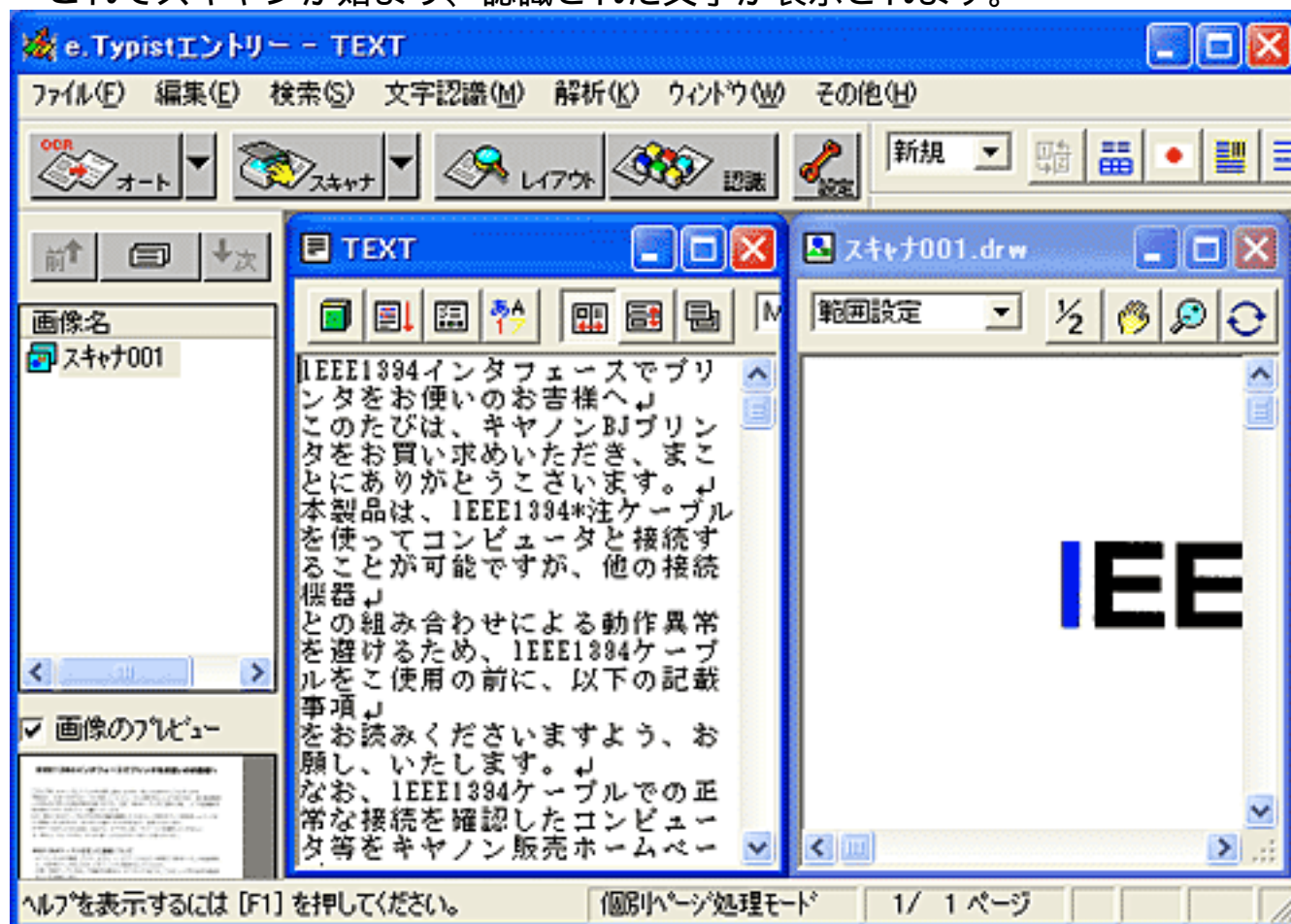
スキャナに付属のWindows版OCRソフト「e.Typistエントリー」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに文字原稿をセットします。

2 ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［e.Typistエントリー］→［e.Typistエントリー］を選択します。

e.Typistエントリーが起動します。
初めてお使いのときは、次の手順にしたがってスキャナ選択や実行内容などの設定を行ってください。 2度目以降は、手順9に進んでください。

3 ［その他］の［スキャナ設定］を選択します。

4 お使いのスキャナ名称を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［設定］ボタンをクリックします。
「操作の設定」画面が表示されます。

6 ［スキャナ］タブをクリックします。

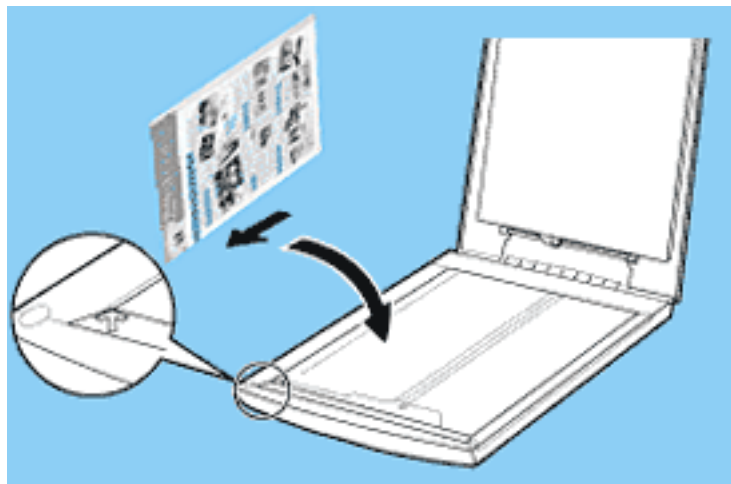
7 ［画像取り込み］で［自動読込］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

8 ［文字認識］の［オート処理設定］から［オート実行］を選択します。

9 ［文字認識］の［オート実行］を選択、または［オート実行］ボタンをクリックします。

▼これでスキャンが始まり、認識された文字が表示されます。

- e.Typistエントリーの詳しい使いかたについては、「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「e.Typistエントリー マニュアル」をお読みください。

先頭へ戻る▲

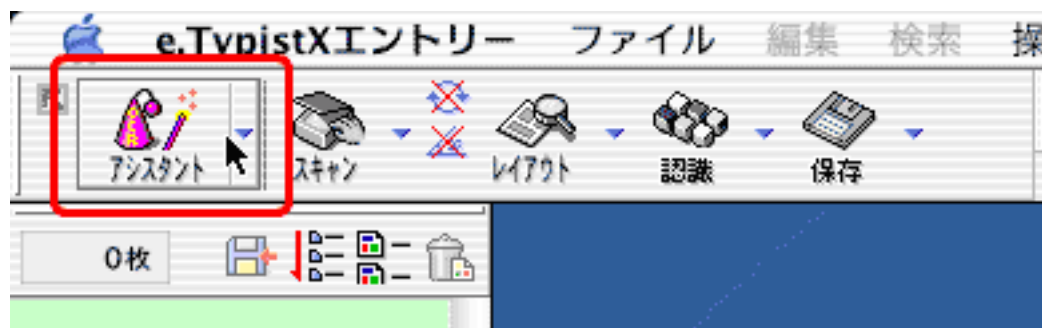
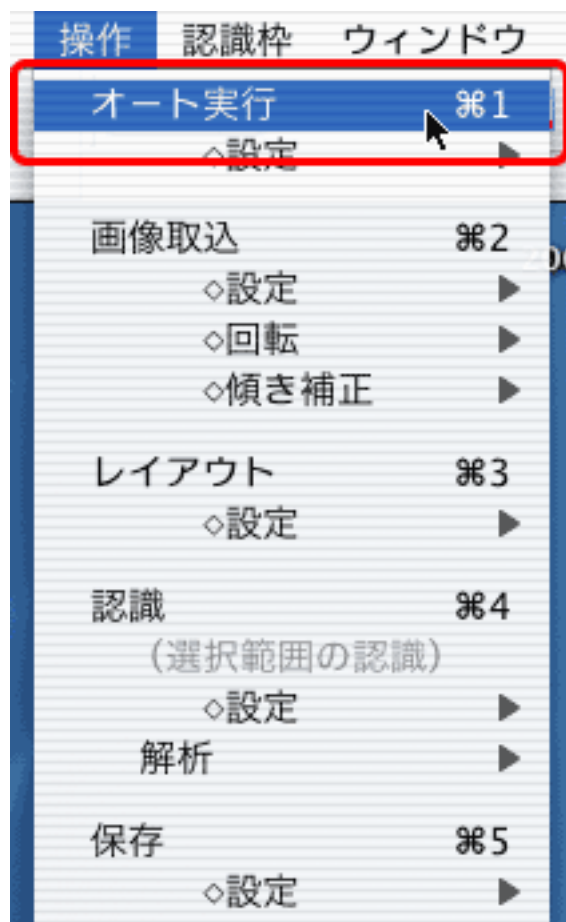
Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする

スキャナに付属のMacintosh版OCRソフト「e.Typistエントリー」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに文字原稿をセットします。

2 e.Typistエントリーを起動します。

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［e.TypistX Folder］フォルダを開き、［e.TypistXエントリー］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［e.TypistFolder］フォルダを開き、［e.Typistエントリー］アイコンをダブルクリックします。

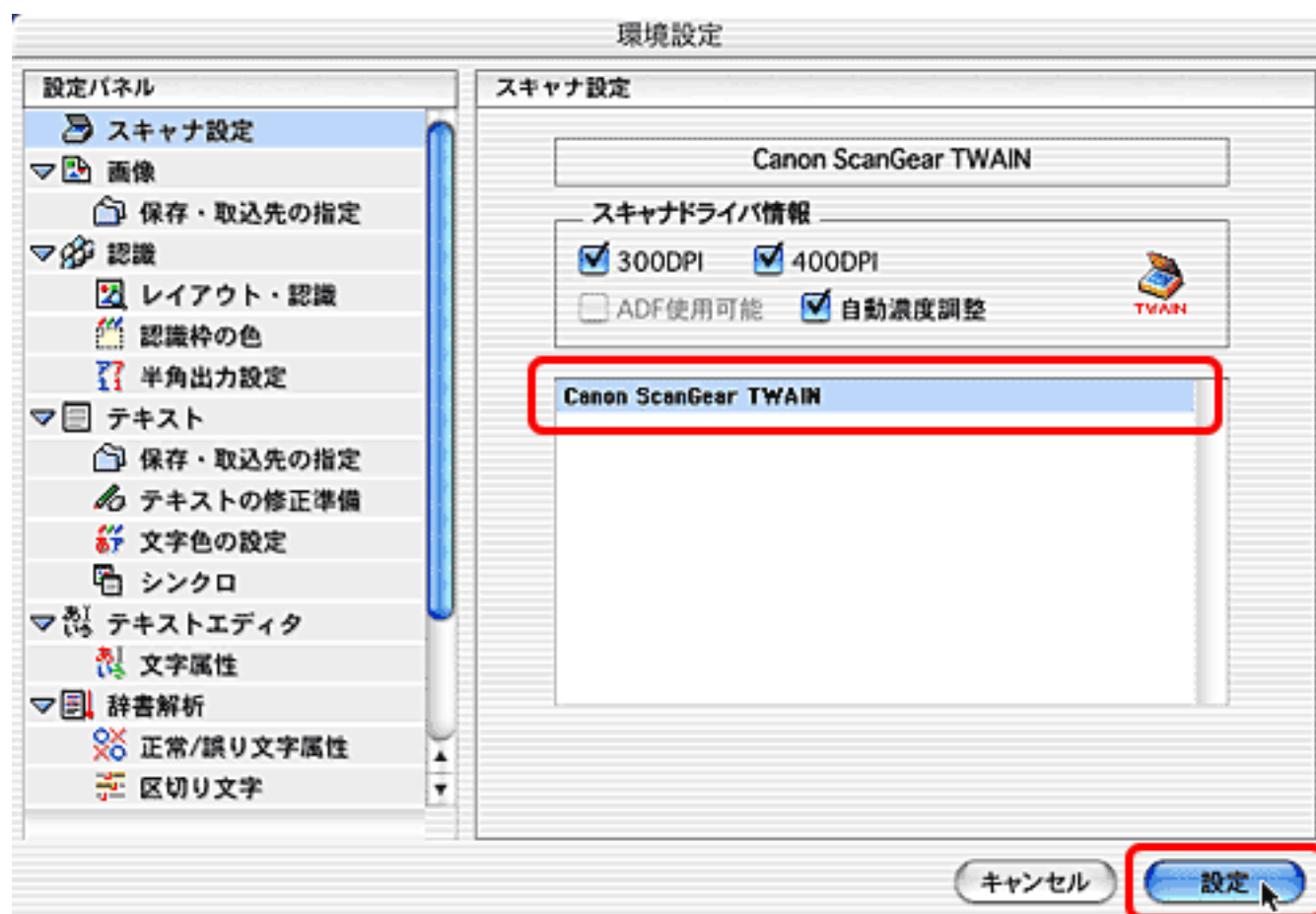
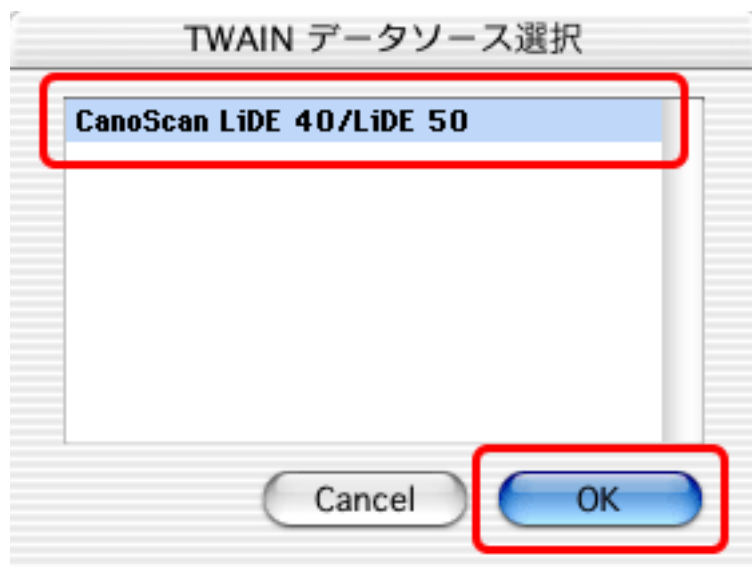
3 ［操作］の［オート実行］を選択、または［アシスタント］ボタンをクリックします。

4 OCRアシスタント画面のメッセージに従って必要な設定を行い、［次へ］ボタンをクリックします。
OCRアシスタント画面は全部で6枚または7枚表示されます。最初の画面では、かならず［スキャナ 自動］を選びます。最後の画面では［実行］ボタンをクリックしてください。

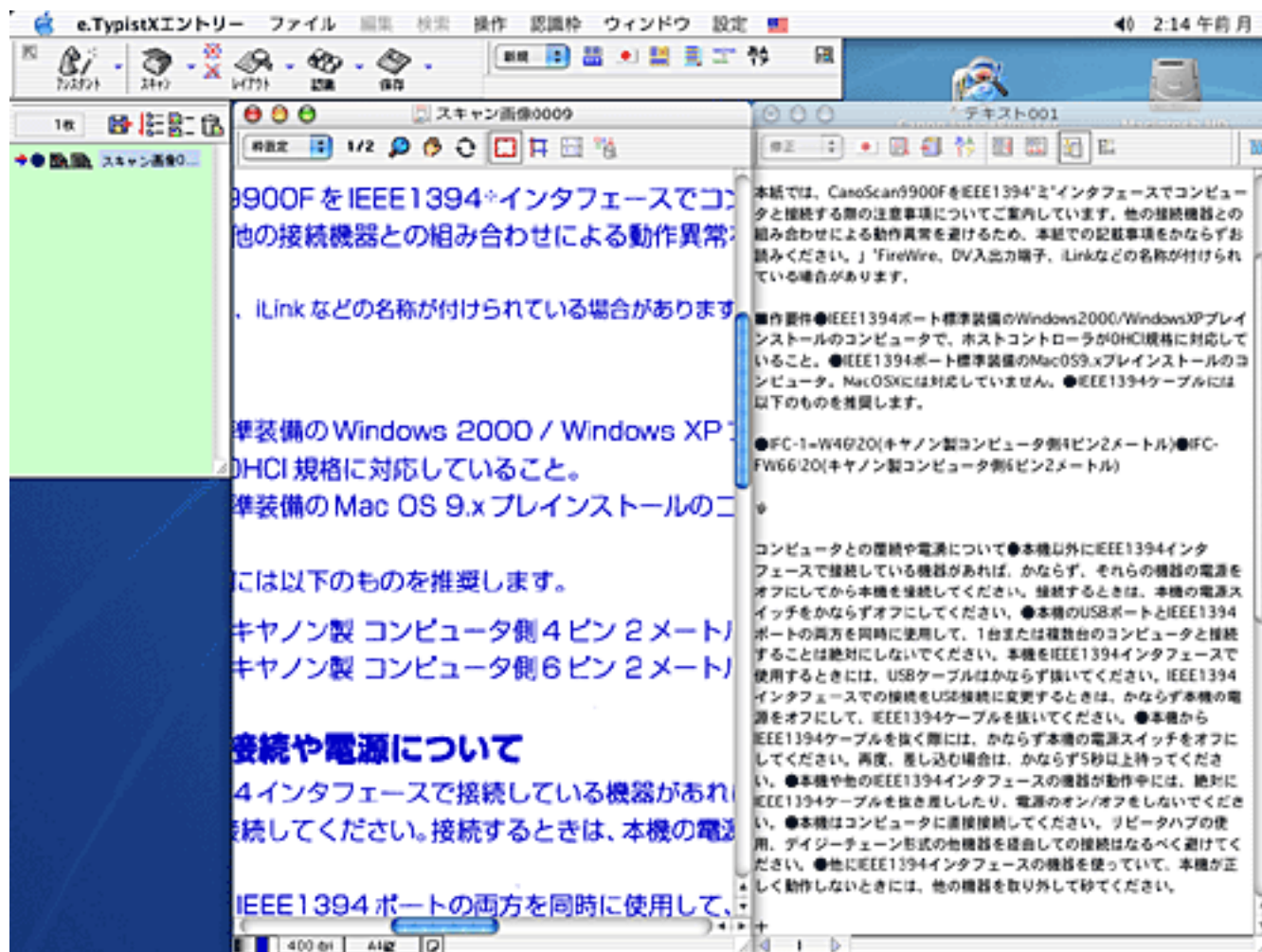
5 次のような環境設定画面が表示されたときは、「Canon CanoScan TWAIN」が選択されていることを確認し、［設定］ボタンをクリックします。

環境設定

設定パネル
スキャナ設定
画像
保存・取込先の指定
認識
レイアウト・認識
認識枠の色
半角出力設定
テキスト
保存・取込先の指定
テキストの修正準備
文字色の設定
シンクロ
テキストエディタ
文字属性
辞書解析
正常/誤り文字属性
区切り文字

スキャナ設定
Canon ScanGear TWAIN
スキャナドライバ情報
300DPI　400DPI
ADF使用可能　自動濃度調整
TWAIN
Canon ScanGear TWAIN

キャンセル　設定

6 TWAINデータソース選択の指定画面が表示されたときは、お使いのスキャナ名称を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

・手順5の環境設定画面、手順6のTWAINデータソース選択の指定画面は、「e.Typistエントリー」を初めて使うときにだけ表示されます。2回目以降、これらの操作はありません。

▼これでスキャンが始まり、認識された文字が表示されます。

・ e.Typistエントリーの詳しい使いかたについては、「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「e.Typistエントリー マニュアル」をお読みください。

先頭へ戻る▲

その他のアプリケーションでスキャンする

スキャナドライバScanGear CSは、TWAIN規格のスキャナドライバです。このため、アプリケーションソフトがTWAINに対応している場合、そのアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出して使うことができます。

- ご使用のアプリケーションソフトがTWAIN規格に対応しているかは、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。
- 各アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出す方法やアプリケーションソフトの操作方法については、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。

目的別スキャナ活用法

年賀状や写真をプリンタで印刷する、ホームページに貼り付ける、マルチスキャン、テキスト変換（OCR）など、用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。
  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）
  Macintosh　OS X:　Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9:　Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

原稿をコピーしたい

原稿をコピーするときは、CanoScan Toolboxの［コピー］ボタンを使うと簡単にできます。

・写真は、印刷用紙「プロフォトペーパー」や「光沢紙」など写真の品質に近い印刷ができる用紙を使うと、きれいなコピーができます。

1 プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

・何枚かの原稿を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

3 CanoScan Toolboxを起動します。

4 ［コピー］ボタンをクリックします。

5 必要があればスキャナとプリンタの設定をします。
→コピー画面の設定のしかた

・［プリンタの設定］の項目は、お使いのプリンタによって異なります。この画面は、キヤノン製バブルジェットプリンタ「PIXUS 950i」の場合です。

・［VIVIDフォト］はキヤノン製バブルジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」をクリックしてチェックマークを付けます。
- プリンタ独自の機能を設定したいときは［プリンタ］右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

---

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、設定通りに印刷が実行されます。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）

A4の用紙に写真を拡大して印刷したり、写真やイラストをスキャンして絵はがきや年賀状、カードなどを作るときは、CanoScan Toolboxの［プリント］ボタンを使うと、印刷イメージを確認しながら簡単にできます。

- 写真は、印刷用紙「プロフォトペーパー」や「光沢紙」など写真の品質に近い印刷ができる用紙を使うと、きれいなプリントができます。

1 プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

- 何枚かの原稿を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

3 CanoScan Toolboxを起動します。

4 ［プリント］ボタンをクリックします。

5 必要があれば、スキャンモードや入力解像度、原稿サイズなどを設定をします。
→プリント画面の設定のしかた

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」をクリックしてチェックマークを付けます。

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、「印刷レイアウト画面」が表示されます。

Windows

Macintosh

7 用紙サイズや用紙の種類などを設定し、レイアウトを調整します。

用紙サイズ	使用する用紙のサイズに合わせます。
印刷枚数	印刷したい枚数を設定します。
用紙の種類	プリンタにセットした用紙の種類に合わせ、「インクジェット官製葉書」や「はがき」、「光沢紙」などを選択します。
VIVIDフォト	ここをクリックしてチェックマークを付けると、人物は自然な色合いを保ちながら、背景の草木や空、海をより鮮やかに印刷します。
フチなし全面印刷	用紙のフチまでいっぱいに印刷したいときに、ここをクリックしてチェックマークを付けます。
印刷の向き	スキャナにセットした写真やイラストの向きに合わせます。
センタリング	［適用］ボタンをクリックすると、用紙の中央に画像を配置します。
用紙に合わせる	［適用］ボタンをクリックすると、画像全体が用紙に収まるように自動的に拡大されます。ただし、縦横比は変更されず、余白の出ることがあります。
用紙全面に拡大	［適用］ボタンをクリックすると、画像全体が用紙に収まるように自動的に拡大されます。ただし、縦横比は変更されず、用紙からはみ出ることがあります。
テキストボックス	［追加］ボタンをクリックすると、写真やイラストの上に文字を書き込むことができます。［書式設定］ボタンをクリックすると、文字の書体やスタイル、サイズ、色などを設定できます。

詳しくは→「印刷レイアウト画面」Windows、Macintosh

- ［VIVIDフォト］［フチなし全面印刷］はキヤノン製バブルジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。
- Macintoshで印刷枚数を設定するときは、［印刷設定］ボタンをクリックしプリンタドライバ画面で必要な枚数を入力してください。

- レイアウト画面左側の画像をマウスでドラッグすると、拡大や縮小、位置の変更ができます。
  - 画像の上下、左右のフチにマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↕や↔に変わります。この状態でドラッグすると画像を上下、左右に拡大、縮小できます。
  - 画像の4隅の角にマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↘や↙に変わります。この状態でドラッグすると画像を対角方向に引っ張って拡大、縮小できます。
  - マウスカーソルを画像の上に合わせると、マウスカーソルの形状が✥に変わります。この状態でドラッグすると画像をマウスの方向に移動できます。

- Windows
  プリンタ独自の機能を設定したいときは［プリンタ］右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

8 ［印刷］ボタンをクリックします。

目的別スキャナ活用法

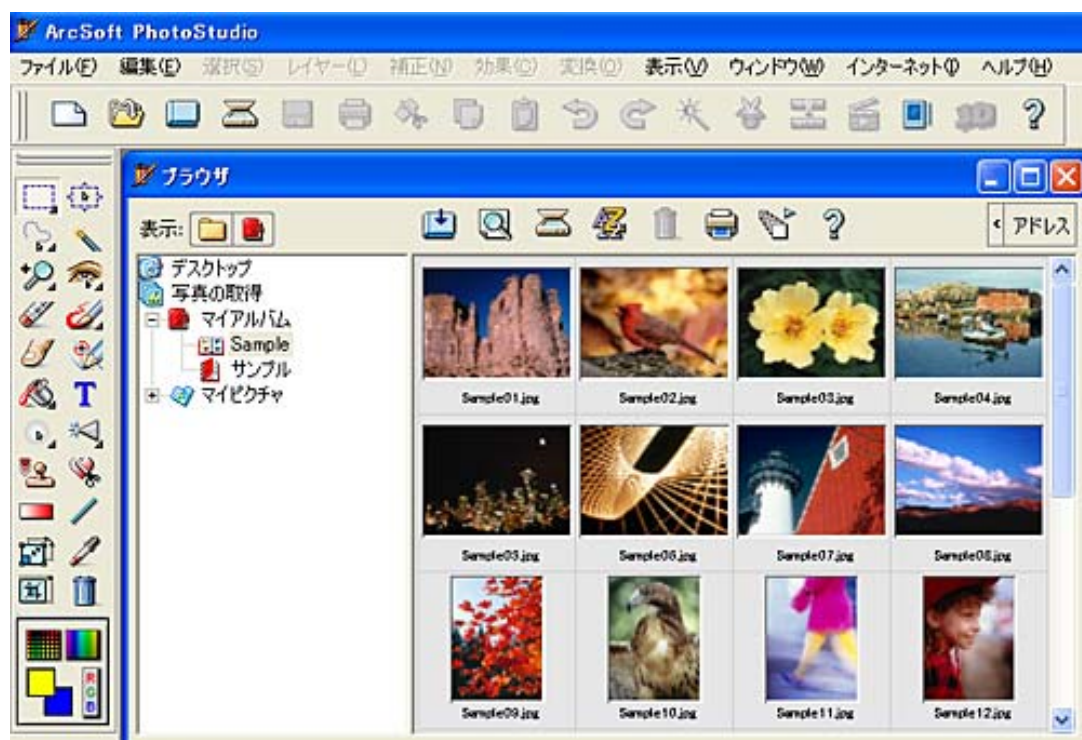
- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）

旅行や日常のスナップ写真をスキャンしてデジタルアルバム（写真のスクラップ）を作るときは、ArcSoft PhotoStudioを使うと簡単にできます。

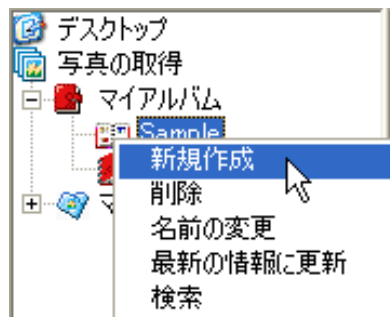
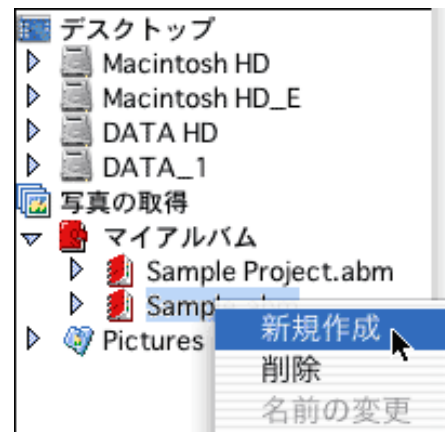
1 ArcSoft PhotoStudioを起動します。

2 コマンドバーの［ブラウザ］アイコンをクリック、または「ファイル」のプルダウンメニューから「ブラウザを開く」を選択します。

「ブラウザ」ウィンドウが開きます。

「ブラウザ」ウインドウにアルバムが表示されていないときは、［アルバム］アイコンをクリックします。

3 新しくアルバムを作るときは、次のように操作します。

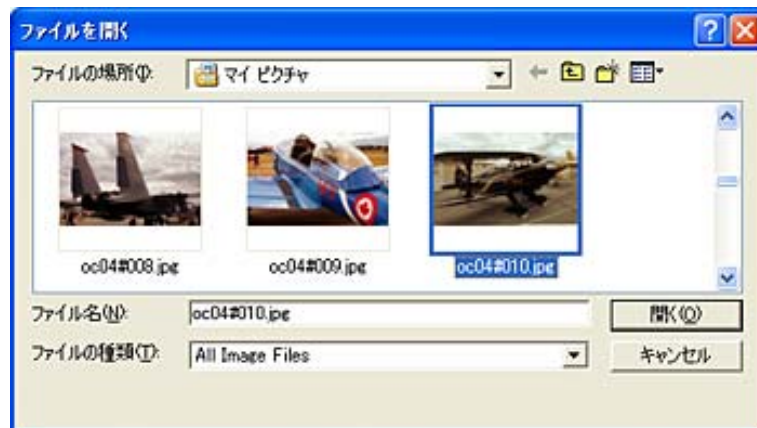
Windows ［アルバム］アイコンを右クリックし、メニューから「新規作成」を選択します。

Macintosh ［アルバム］アイコンを「コマンド」キーを押しながらクリックし、メニューから「新規作成」を選択します。

Windows

Macintosh

「マイアルバム」内に「新規アルバム」（Windows）または「無題.abm」（Macintosh）が作成されます。

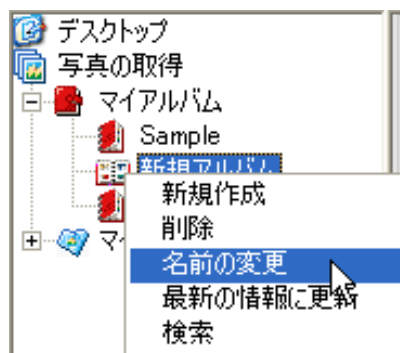
・ Macintosh
「無題.abm」に画像を何も入れずに他のアルバム等をクリックすると、「無題.abm」は消えてしまいます。

4 次の操作で、アルバムへ画像を登録します。

保存されている画像を登録するときは、［追加］アイコンをクリックし、「ファイルを開く」画面でアルバムへ追加する画像を指定します。

写真などをスキャンして登録するときは、［取り込み］アイコンをクリックし、ScanGear CSでスキャンします。→PhotoStudioでスキャンする

5 手順4の操作を繰り返し、アルバムに入れたい画像すべてを登録します。
「ブラウザ」ウインドウに登録した画像のサムネイル（縮小画像）が表示されます。

6 次の操作で、［新規アルバム］を他の名称に変更します。

- Windows ［新規アルバム］アイコンを右クリックし、メニューから「名前の変更」を選択し、他の名称に書き換えます。
- Macintosh ［無題.abm］アイコンを「コマンド」キーを押しながらクリックし、メニューから「名前の変更」を選択し、他の名称に書き換えます。

Windows

Macintosh

- ArcSoft PhotoStudioの詳しい使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROM内の電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudioマニュアル」をご覧ください。電子マニュアル（PDF）の読みかた

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法
- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

保存した画像を整理したい

ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）を使うと、コンピュータ内のいろいろな場所（フォルダ）に保存されている画像のまとめ、不要な画像の削除、サイズやファイル形式を統一して整理することができます。
また、何枚かの画像を1枚の用紙にレイアウトして印刷、フォルダ内のすべての画像を縮小画像（サムネイル）で印刷しインデックスにしたり、簡単な画像編集、ディスプレイの背景画やスクリーンセーバの作成、メール添付用の画像の作成などもできます。

- 扱うことができる画像のファイル形式は、以下の形式です。
  - Windows　JPEG形式、TIFF形式、Windows Bitmap形式、RAW形式、PCD形式、QuickTime Movie、AVI形式、MIDI形式、WAV形式
  - Macintosh　JPEG形式、TIFF形式、PICT形式、Windows Bitmap形式、QuickTime Movie、AVI形式
- PhotoStudio File（.PSF）（Windows）/PhotoStudioファイル（Macintosh）形式で保存された画像は扱えません。

1 ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）を起動します。
デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

2 フォルダエリア（ZoomBrowser EX）またはエクスプローラビュー（ImageBrowser）で編集するフォルダを表示します。

Windows

Macintosh

3 ブラウザエリアの画像をドラッグ アンド ドロップで、他のフォルダへ移したり、削除したりして編集します。
ドラッグ アンド ドロップは、ブラウザエリア内だけでなく、フォルダエリア（Windows）またはエクスプローラビュー（Macintosh）のフォルダへも移動できます。
ImageBrowser（Macintosh）では、「表示」の「新規ブラウザウィンドウ」で2つのブラウザウィンドウを表示して画像の移動ができます。

- **Windows** ZoomBrowser EX（Windows）の詳しい使いかたについては、キヤノスキャン セットアップCD-ROM内の電子マニュアル「ZoomBrowser EX/PhotoRecordソフトウェアガイド」をご覧ください。電子マニュアル（PDF）の読みかた
- **Macintosh** ImageBrowser（Macintosh）の詳しい使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROM内の電子マニュアル「ImageBrowserソフトウェアガイド」をご覧ください。電子マニュアル（PDF）の読みかた

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法
- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

Eメールに添付して送りたい

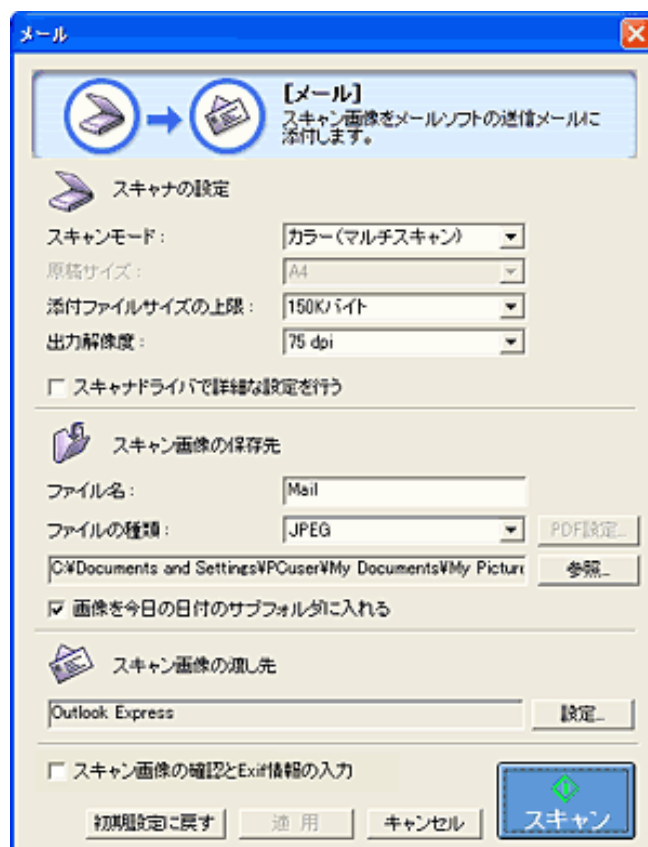
スキャンした画像をEメールに添付するときは、CanoScan Toolboxを使うと、最適なファイルサイズやファイル形式を選びながら、簡単に添付できます。

- Eメールに添付する画像は、JPEGやPDFなどのファイル形式にし、できるだけ容量を小さくして送ることがポイントです。大きな容量の画像を添付すると、メールの送受信に時間がかかり、送信相手に迷惑をかけるばかりでなく、送信や受信時のエラーの原因になることがあります。
- 画像のファイルサイズは、一般的には150kバイト以下にすることをお勧めします。スキャナのE-MAILボタンやToolboxのメールボタンでスキャンすると、ファイルサイズの上限が150kバイトになるように解像度が自動で設定されます。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

3 ［メール］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、スキャンモードやスキャン画像の保存先、ファイルの種類などを設定します。→ メール画面の設定のしかた

- 何枚かの写真を同時にセットし、［スキャンモード］を「カラー（マルチスキャン）」に設定しておけば、一度のスキャンで個別の画像として取り込み、添付することができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- ファイルの種類にPDFを選び、［PDF設定］で［マルチページPDFを作成］にチェックマークを付けておくと、複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめることができます。複数画像が扱えないメールソフトなどで便利です。
- メールソフトによっては、マルチスキャンした場合、画像が1つの送信画面に添付できない場合があります。（もしくは、画像分の送信画面ができることがあります。）

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は保存され、自動的にEメールソフトの新規メール（メッセージ）に添付されます。

6 メールに宛先や文面を入力し、送信します。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法
- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

ホームページに貼り付けたい

スキャンした画像をホームページに貼り付けるには、ファイル形式をJPEGで保存します。また、出力解像度が75dpiのときに原稿と同じサイズで表示され、出力解像度を大きくしてスキャンすると大きく、小さくすると小さくなります。
ホームページへ貼り付けるための画像は、CanoScan Toolboxを使うと簡単にできます。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

3 ［保存］ボタンをクリックします。

4 ［出力解像度］は「75dpi」、［ファイルの種類］は「JPEG」に設定します。→ 保存画面の設定のしかた

- 原稿と同じサイズで貼り付けるときは［出力解像度］を「75dpi」で設定し、拡大するときは大きく設定します。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は設定されている保存先にJPEG形式で保存されます。

6 保存した画像を、ホームページ作成ソフトで呼び出して貼り付けます。

・ ホームページへ貼り付ける方法については、ご使用のホームページ作成ソフトのマニュアルをご覧ください。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
  - 保存してある画像を貼り付ける
  - スキャンして貼り付ける
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

WordやExcelに貼り付けたい

スキャンした画像を、Microsoft WordなどのワープロソフトやMicrosoft Excelなどの表計算ソフトに貼り付けるには、次のように操作します。

- 保存してある画像を貼り付ける
  すでにスキャンして保存してある画像を貼り付ける手順です。
- スキャンして貼り付ける
  文書や表を作りながら、写真などをスキャンして貼り付ける方法です。

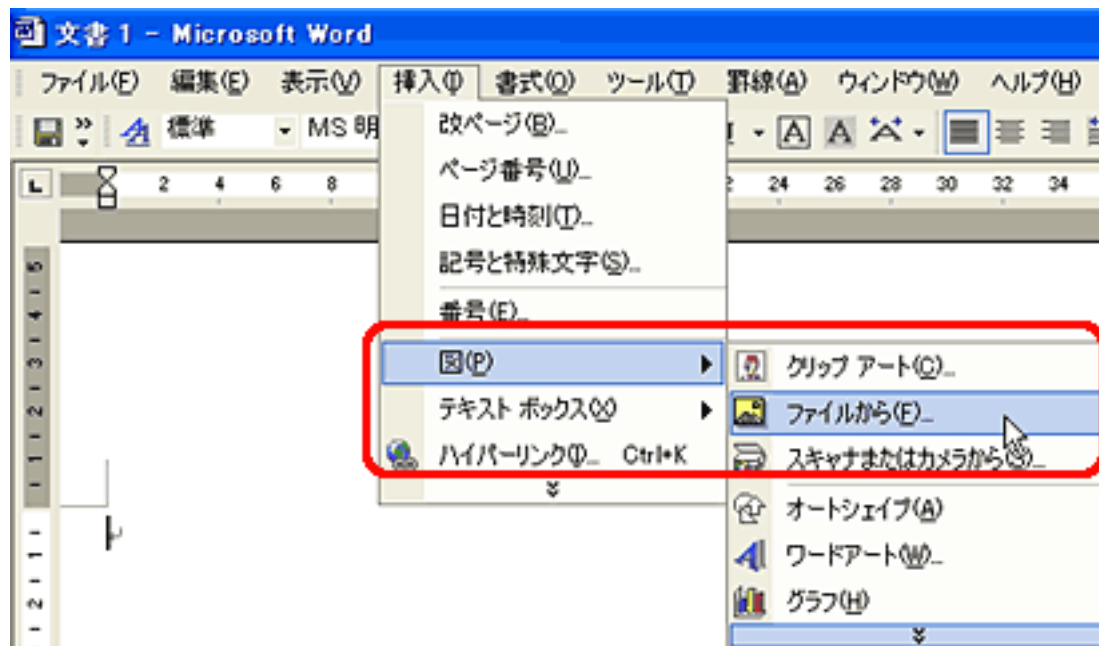
・貼り付ける画像のファイル形式は、PDFとPhotoStudio File（.PSF）（Windows）/PhotoStudioファイル（Macintosh）以外（BMPやPICT、TIFF、JPEG）ならどれでもかまいません。

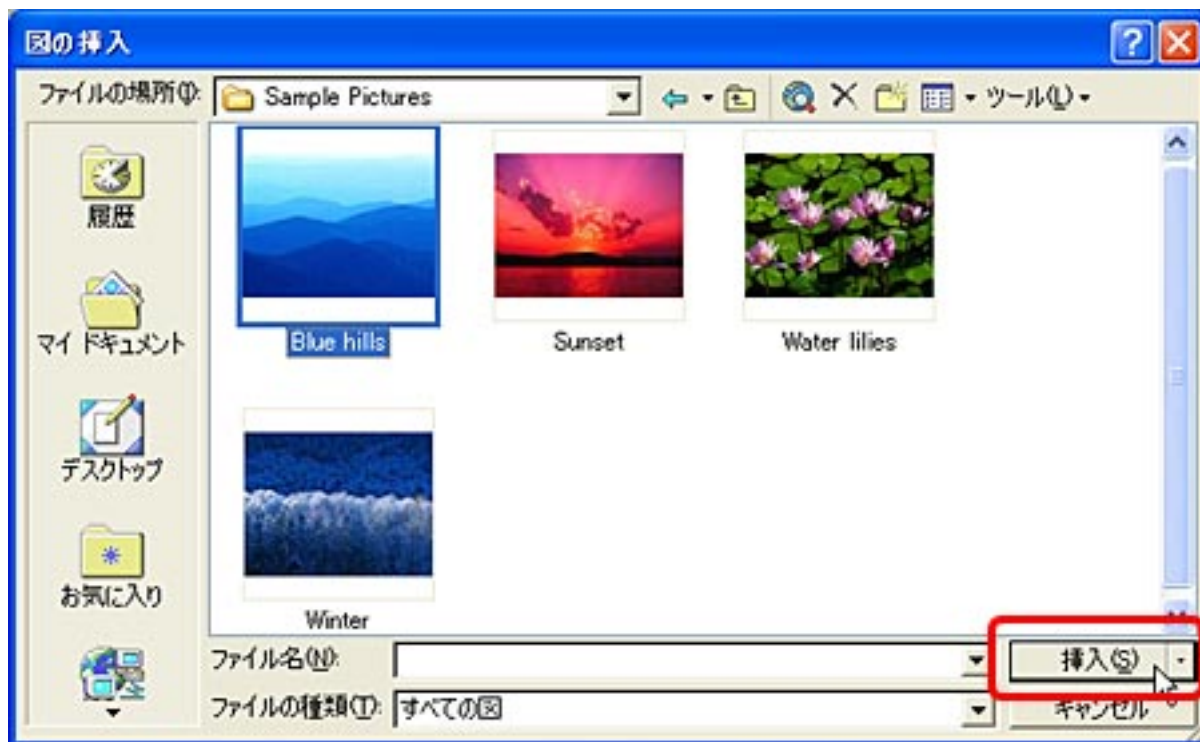
保存してある画像を貼り付ける

1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで［図］→［ファイルから］を選択します。

＜Microsoft Office XP-Word 2002の画面例＞

4 図の挿入（選択）ダイアログで貼り付ける（挿入する）画像を選択し、［挿入］ボタンをクリックします。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

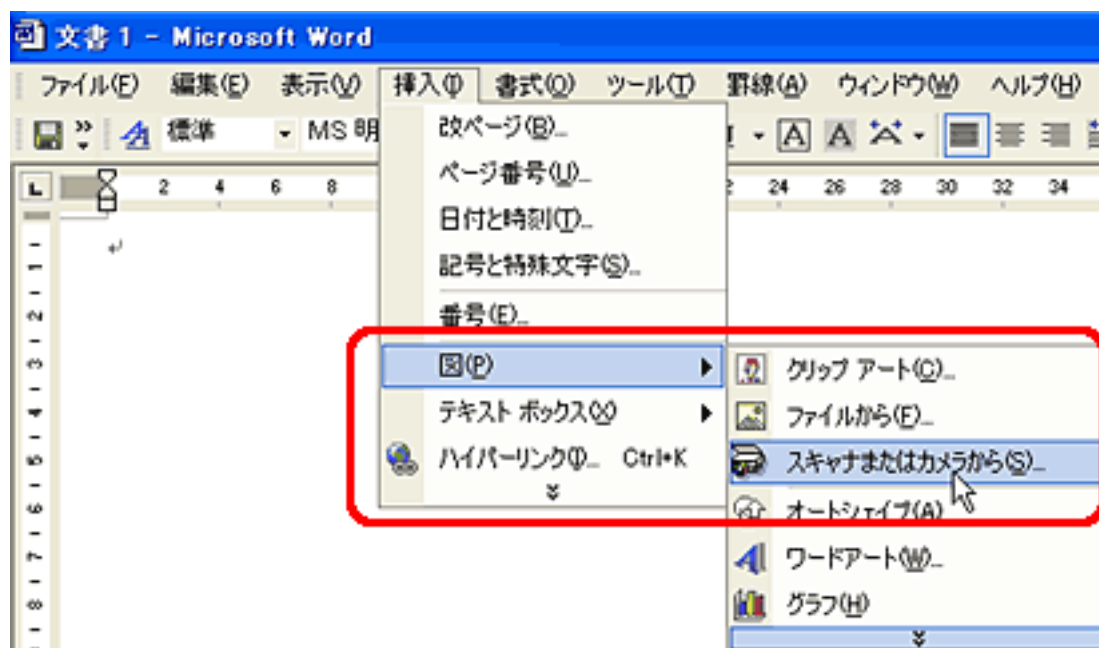
先頭へ戻る▲

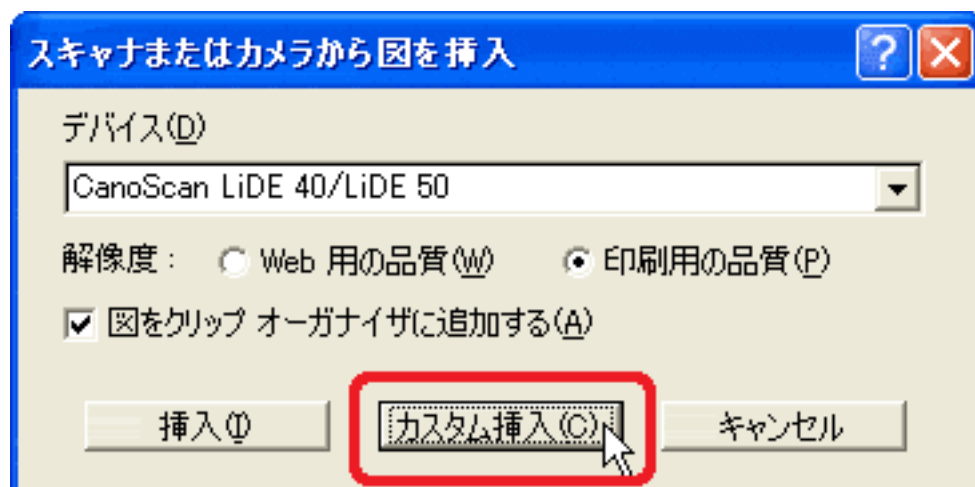
スキャンして貼り付ける

1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで［図］→［スキャナまたはカメラから］を選択します。

＜Microsoft Office XP-Word 2002の画面例＞

4 デバイスにお使いのスキャナ名称を選択します。

＜Windows: Microsoft Office XPの画面例＞

5 ［カスタム挿入］ボタンをクリックします。

ScanGear CSのメイン画面が表示されます。

6 ScanGear CSで画像をスキャンします。→ ScanGear CSで画像をスキャン
スキャンする範囲や解像度を指定してスキャンを実行すると、画像が文書や表に貼り付けられ（挿入され）ます。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

- マルチスキャン、マルチクロップ機能を使って、一度のスキャンで複数の画像を貼り付ける（挿入する）ことは、お勧めできません。1枚ずつ原稿を読み込んでお使いください。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）

新聞や雑誌、本や書類などの文字原稿を読み取ってテキストデータに変換するときは、CanoScan Toolboxの［OCR］ボタンでスキャンし、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」でテキストデータに変換します。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

3 ［OCR］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、出力解像度やファイルの種類などを設定します。→ OCR画面の設定のしかた

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」に読み取った原稿が表示されます。

6 「e.Typistエントリー」でテキストに変換します。

・ e.Typistエントリーの使いかたについては、電子マニュアル「e.Typistエントリー マニュアル」をお読みください。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
  - CanoScan Toolboxでマルチスキャンする
  - ScanGear CSの基本モードでマルチスキャンする
  - ScanGear CSの拡張モードでマルチスキャンする
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

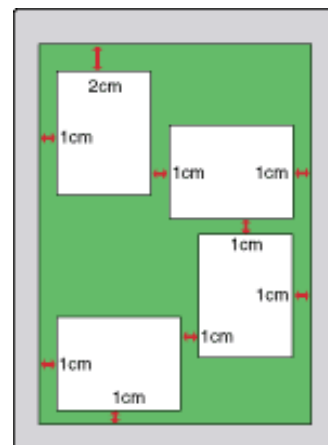
複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

複数の原稿を原稿台に並べ、一度のスキャンでそれぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込んだり、保存したり（マルチスキャン）することができます。操作方法には、次の3つの方法があります。

- CanoScan Toolboxでマルチスキャンする
  CanoScan Toolboxを使って、手軽にマルチスキャンをする方法です。
- ScanGear CSの基本モードでマルチスキャンする
  ScanGear CSの画面を呼び出し、基本モードでマルチスキャンをする方法です。
- ScanGear CSの拡張モードでマルチスキャンする
  ScanGear CSの画面を呼び出し、拡張モードでマルチスキャンをする方法です。

- 原稿の置きかた

  次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

  ・原稿台の左右の端と写真の間、写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
  ・原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
  ・原稿台の手前（EZボタン側）の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
  ・原稿の枚数の制限は10枚です。
  ・原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
- 長方形以外の変型した写真（いろいろな形に切りぬいたような写真）は正しく認識できません。

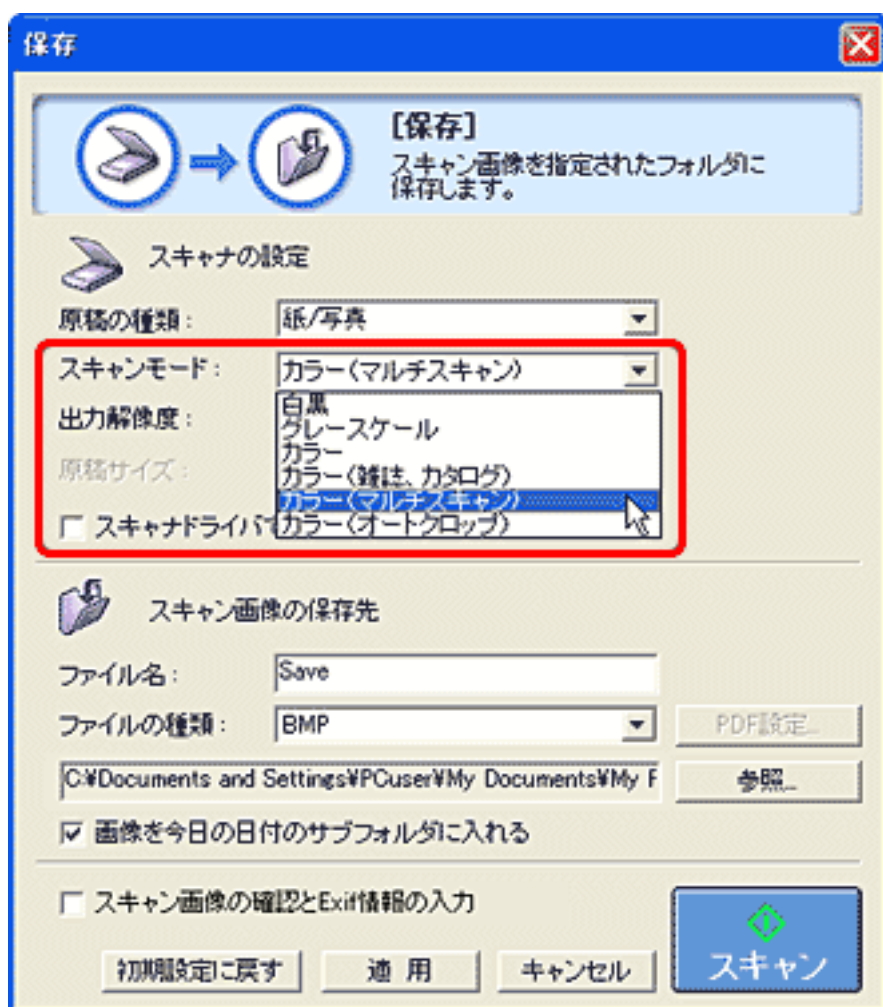
CanoScan Toolboxでマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

3 CanoScan Toolboxの目的のボタンをクリックして設定画面を表示します。

- OCRボタンはマルチスキャンできません。

4 ［スキャンモード］を「カラー（マルチスキャン）」に設定します。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

ScanGear CSの基本モードでマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan ToolboxやアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。

3 ScanGear CSが拡張モードのときは、［基本モード］ボタンをクリックして基本モード画面にします。

4 ［マルチスキャン］ボタンをクリックします。
→ マルチスキャンボタン

5 必要があればカラーモードや解像度などを設定し、［次へ］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれます。

- Macintoshでは、解像度［600dpi］は選択できません。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの拡張モードでマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxやアプリケーションソフトからを呼び出します。

3 ScanGear CSが基本モードのときは、［拡張モード］ボタンをクリックして拡張モード画面にします。

4 ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。

5 ［マルチクロップ］の［適用］ボタンをクリックします。→マルチクロップ

6 必要があれば、その他の項目を設定をします。

7 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれます。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法
- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

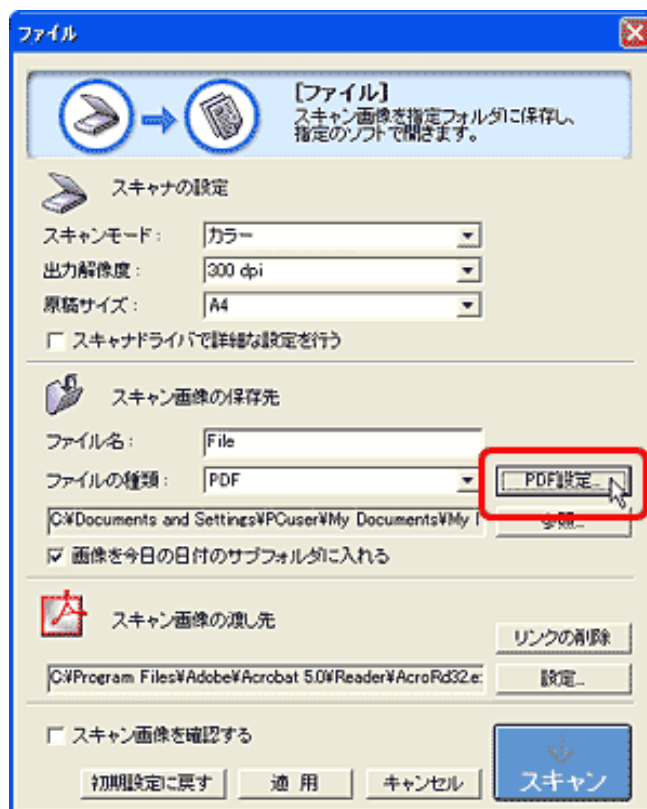
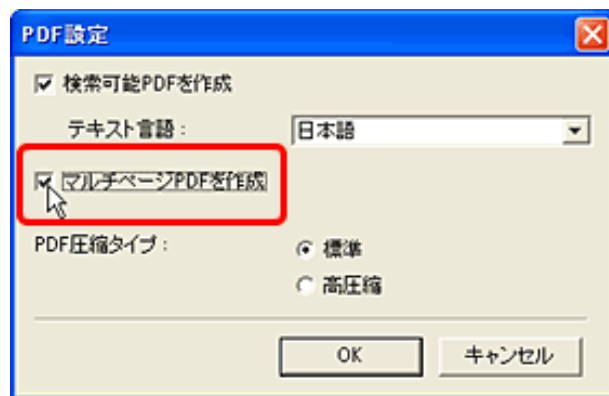
複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

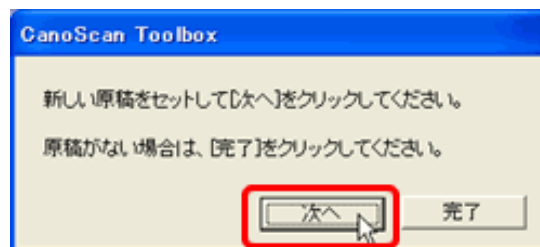
スキャンした画像を、PDF文書として保存します。出力解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できる他、複数ページの原稿を1つのPDFにまとめたり、文字の検索ができるPDF文書を作ることもできます。

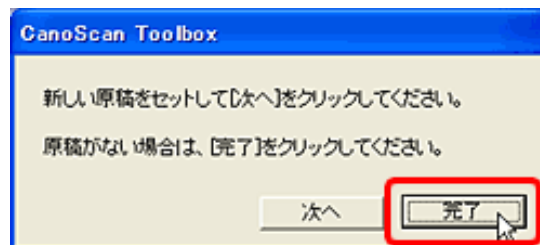
1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

3 ［ファイル］ボタンをクリックします。

4 ［PDF設定］ボタンをクリックします。

5 ［マルチページPDFを作成］をクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

6 1枚目の原稿をセットして、ファイル画面右下の［スキャン］ボタンをクリックします。

7 スキャンが終わったら、次の原稿をセットして［次へ］ボタンをクリックします。

8 すべての原稿のスキャンが終わるまで［次へ］ボタンをクリックしてスキャンを繰り返します。

9 すべての原稿をスキャンし終わったら［完了］ボタンをクリックします。

スキャンした画像は1つのPDFファイルとして設定されている保存先に保存され、Acrobat Readerに表示されます。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、［スキャンモード］「白黒」または「グレースケール」にすることをおすすめします。
- カラー原稿（［出力解像度］が「300dpi」）でマルチページPDFを作成する場合、1つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。
- すでに作成されたPDFファイルに原稿を追加することはできません。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

スキャナに付属するソフトウェア「ScanGear CS」と「CanoScan Toolbox」の使いかたと、その他付属のアプリケーションソフトの機能について紹介します。

- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh　OS X:　Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9:　Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
  - ScanGear CSの起動
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
  - 拡張モードの機能
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

ScanGear CS

ScanGear CSは、スキャナにセットされた原稿をスキャンするためのドライバソフトです。
単独で使用するソフトウェアではなく、アプリケーションソフトから呼び出して使います。

ScanGear CSには、簡単な設定だけで手早くスキャンできる「基本モード」と、より細かな設定でスキャンできる「拡張モード」が用意されています。

さらに、スキャナにセットした複数の原稿を一度の操作で別々の画像として同時にスキャンできる「マルチスキャン」という便利な機能も用意されています。

ScanGear CSの起動
スキャンの手順
基本モードの機能
拡張モードの機能

付属のソフトウェアの使いかた
- ScanGear CS
  - ScanGear CSの起動
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
  - 拡張モードの機能
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

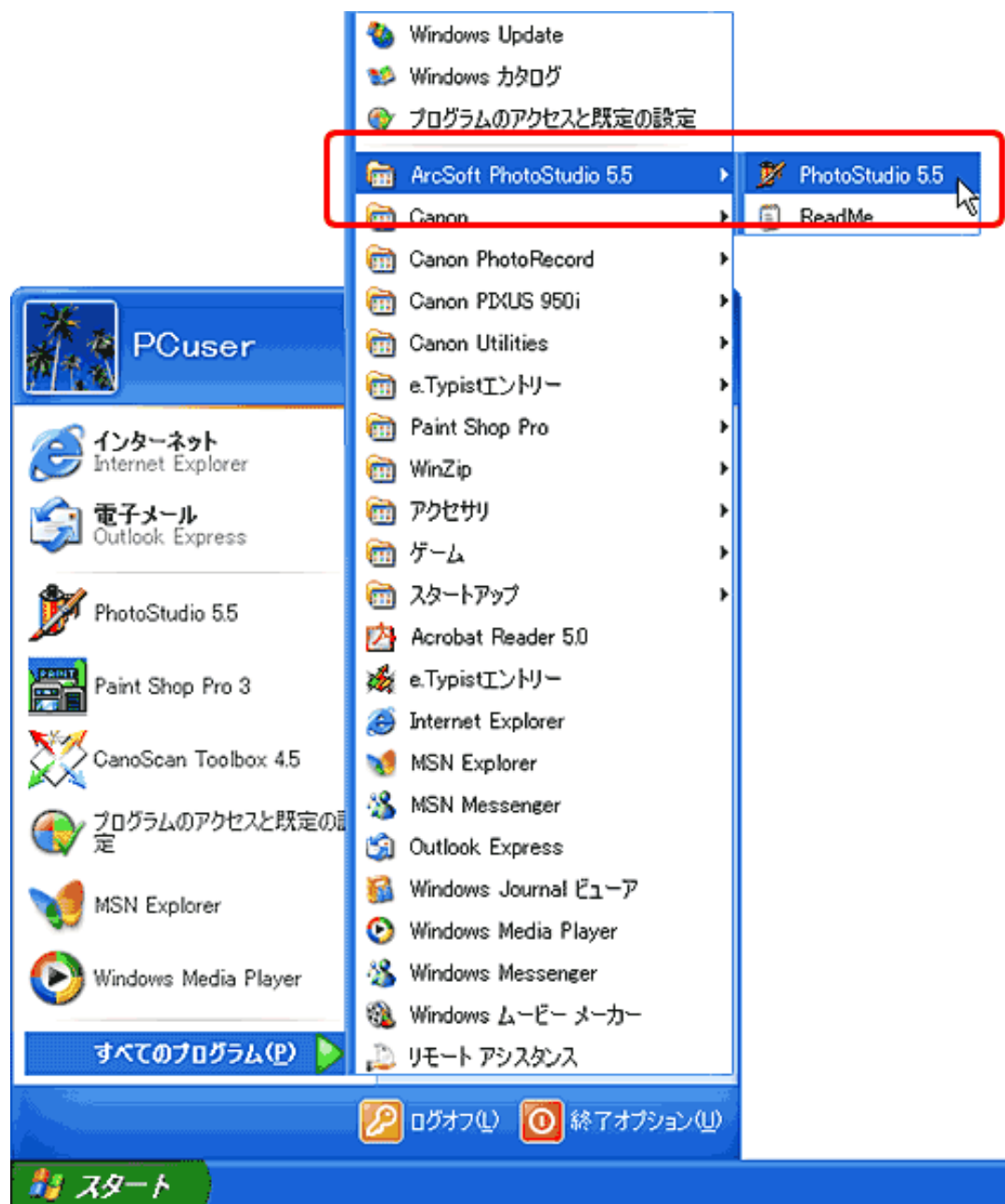
ScanGear CSの起動

ScanGear CSはTWAIN（トウェイン）という規格のスキャナ用のドライバソフトで、単独では起動できません。アプリケーションソフトから起動します。
一般的に、TWAIN対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する場合、TWAIN機器を選択（ソースの選択ともいいます）してから、「入力」や「取り込み」などの機能をメニューから選びます。
ここでは、ArcSoft PhotoStudioからScanGear CSを起動する例で説明します。

- ScanGear CSを起動するときは、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

PhotoStudioを起動します。

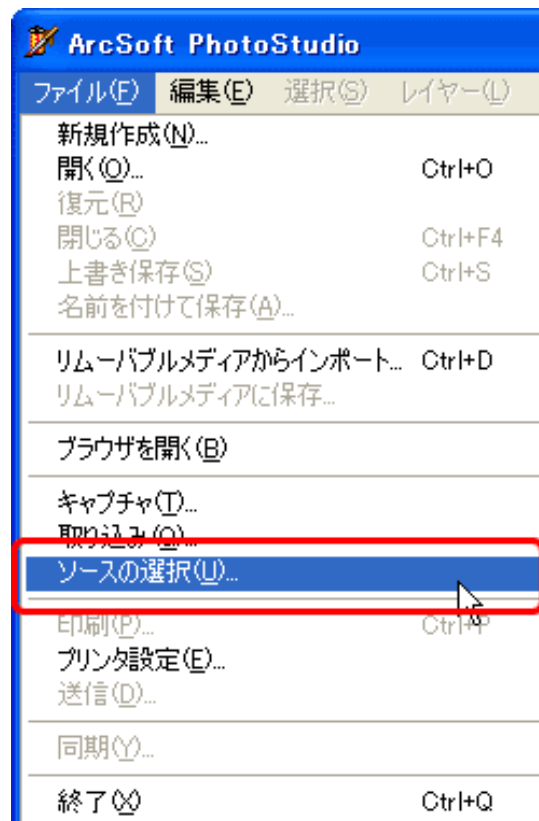
Windows

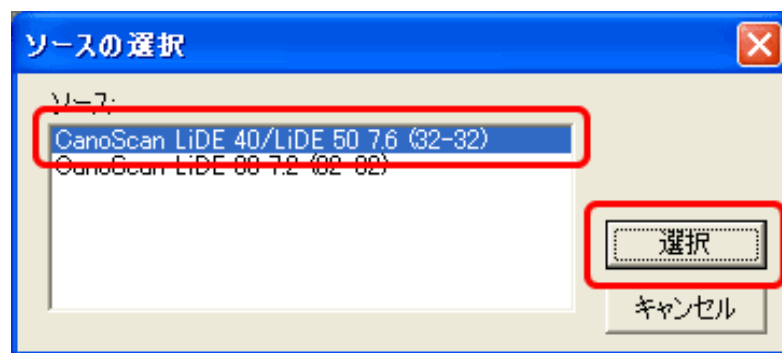
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

Macintosh

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

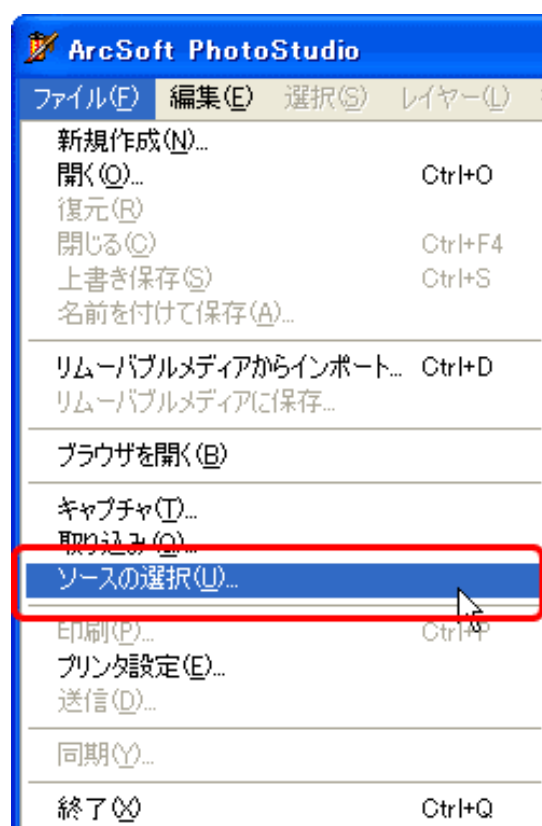
Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2 スキャナを選択します。

［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選択します。

［ソースの選択］画面（Windows）/［ソースを選択］画面（Macintosh）が表示されます。

お使いのスキャナ名を選択して［選択］（Windows）/［OK］（Macintosh）をクリックします。

* OSにより若干表示が異なります。

・ この操作は最初に設定しておけば、2回目以降必要ありません。

3 ScanGear CSを起動します。
［ファイル］の［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

- CanoScan ToolboxからScanGear CSを起動する手順については、ボタンの機能の各ボタン画面で表示される「スキャナドライバで詳細な設定を行う」の解説をご覧ください。
- ArcSoft PhotoStudio以外のTWAIN対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する方法については、「スキャンの手順」のアプリケーションソフトを使ってスキャンするまたは各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ScanGear CSの設定で、［スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる］をオンに設定しているときは、スキャンが終了するとScanGear CSは自動的に終了します。（インストール直後の状態では、オフに設定されています。→「拡張モード／設定シート／詳細設定」のスキャンシートのスキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる
- アプリケーションソフトによっては、［スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる］をオンに設定していなくても、スキャン後ScanGear CSのウィンドウを自動的に閉じるものもあります。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
  - ScanGear CSの起動
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
  - 拡張モードの機能
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

スキャンの手順

ScanGear CSを使ったスキャンには、基本モードを使う方法と拡張モードを使う方法があります。ここでは基本的な操作の手順を簡単に説明します。

基本モードのスキャン手順

1. ［原稿の種類］を選択します。
2. ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。
3. ［用途の選択］で画像の用途を選択します。
4. ［出力サイズの選択］で画像の出力サイズを選択します。
5. 原稿の一部を読み取りたいときは、範囲を指定します。
6. 必要があれば、ツールバーのボタンで画像を調整します。
7. ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、基本モードをご覧ください。

- 複数の原稿を一度にスキャンしたいときは、手順7の［スキャン］ボタンの代わりに［マルチスキャン］ボタンをクリックし、「マルチスキャン」画面で［カラーモード］や［解像度］などを設定し、［次へ］ボタンをクリックしてください。

拡張モードのスキャン手順

1. ［原稿の種類］を選択します。
2. ［カラーモード］を選択します。
3. ［出力解像度］を選択します。
4. ［原稿サイズ］を選択します。
5. ［プレビュー］ボタンをクリックします。
6. 原稿の一部を読み取りたいときは、［領域選択］で範囲を指定します。
7. 元の原稿を拡大、縮小してプリントしたいときは［プリントサイズ］を指定します。
8. 必要があれば、ツールバーのボタンや色調整シートをクリックし、画像を調整します。
9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、拡張モードをご覧ください。

- 手順5の［プレビュー］ボタンをクリックした後に、［マルチクロップ］の［適用］ボタンをクリックすると、手順6の［領域選択］、手順7の［プリントサイズ］、色調整シートの設定などはできなくなります。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
  - ScanGear CSの起動
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
    - ツールバーのボタン
  - 拡張モードの機能
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

基本モードの機能

簡単な操作ですぐにスキャンできるのが基本モードです。ScanGear CS をインストールした直後には、このモードになっています。［原稿の種類］、［用途の選択］と［出力サイズの選択］を選ぶだけで、使用目的に合ったカラーモードや解像度を設定することができます。スキャンの操作にあまり慣れていない方はこのモードをお使いください。

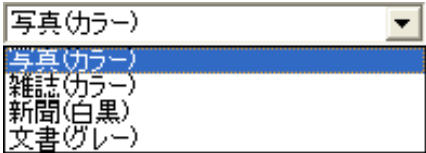
画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

ツールバー

ツールバーのボタンを使うと、オートクロップ、反転、回転、スキャン情報の表示などができます。

各ボタンの詳しい説明はツールバーのボタンをご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿の種類

読み取る原稿に合わせて、「写真（カラー）」、「雑誌（カラー）」、「新聞（白黒）」、「文書（グレー）」を選びます。

タイプ	使いかた
写真（カラー）	カラー写真をスキャンするとき
雑誌（カラー）	カラーの雑誌をスキャンするとき
新聞（白黒）	文字や線画だけの原稿をスキャンするとき
文書（グレー）	カラーの写真や原稿をモノクロでスキャンしたいとき 特に高解像度のモノクロ画像が必要なとき

先頭へ戻る▲

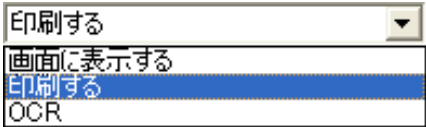
試しの画像を表示 プレビュー(P) プレビューボタン

試しに原稿を読み取るときに使います。

［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は原稿サイズに合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

・ スキャナをはじめて使う場合、自動的にスキャナの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビューが開始されるまでしばらくお待ちください。

先頭へ戻る▲

用途の選択

スキャンした画像を「画面に表示する」か「印刷する」か［OCR］かを選択します。
［OCR］は［原稿の種類］が［新聞（白黒）］か［文書（グレー）］のときに選択できます。
選択した項目で選択できる「出力サイズ」が異なります。

タイプ	出力解像度	使いかた
画面に表示する	150dpi	スキャンした画像をディスプレイで見るときに選択します。
印刷する	300dpi	スキャンした画像をプリンタで印刷するときに選択します。
OCR	300dpi	原稿の種類で「新聞（白黒）」、「文書（グレー）」を選択したときだけ表示されます。OCRソフトで文字を文字を読み取りたいときに選択します。

先頭へ戻る▲

出力サイズの選択

画面に表示する大きさ、または印刷の大きさをプルダウンメニューから選択します。
原稿の種類と用途で選択できる内容が異なります。

用途の選択で「印刷する」を選択した場合	用途の選択で「画面に表示する」を選択した場合	用途の選択で「OCR」を選択した場合
フリーサイズ フリーサイズ L判 LL判 はがき A4 カスタム設定	フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル カスタム設定	フリーサイズ フリーサイズ

- 「フリーサイズ」を選ぶと、クロップしたサイズと同じ大きさでスキャンします。

- 「フリーサイズ」以外を選ぶと：
  - 「印刷する」の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。スキャン範囲を、その大きさになるように拡大／縮小して出力します。「カスタム設定」では任意の出力サイズを選択できます。
  - 「画面に表示する」の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。これらの縦横のピクセル数は、通常ディスプレイ（コンピュータのモニター）で設定できる画面の大きさと同じですので、そのまま壁紙として使えます。また、デジタルカメラでも設定できる出力サイズですので、スキャンした画像を、デジタルカメラで撮影した画像と一緒に管理することもできます。「カスタム設定」では任意の出力サイズを縦横のピクセル数で選択できます。

- 「フリーサイズ」以外を選択すると、サイズに応じたクロップ枠（選択範囲）が表示されます。

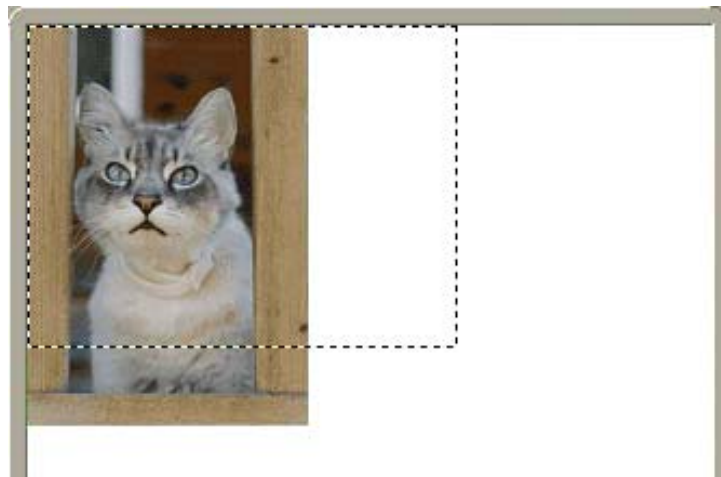
  クロップ枠の縦横を90度回転するときは右側の（縦横比切り替えボタン）をクリックしてください。
  枠の大きさや位置はマウスドラッグで変更できます。ただし、縦横比は変更できません。
  マウスドラッグのしかたについてはプレビューエリアをご覧ください。
- 「カスタム設定」を選択すると、次のような「カスタム設定」画面が表示されます。

「出力サイズ名」、「幅」、「高さ」を入力して［追加］ボタンを押すと「出力サイズ一覧」に登録されます。
［保存］ボタンを押すと、その設定が有効になると同時に「出力サイズ選択」のプルダウンメニューに名称が表示され、以降プルダウンメニューから選択できるようになります。

- 「カスタム設定」で登録できる「出力サイズ」の数は、用途に応じて最大10個まで設定できます。

先頭へ戻る▲

縦横比切り替えボタン

［出力サイズの選択］が、「フリーサイズ」以外のときに使用できる機能です。
このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横を入れ替えます。もう一度クリックすると、元に戻ります。

先頭へ戻る▲

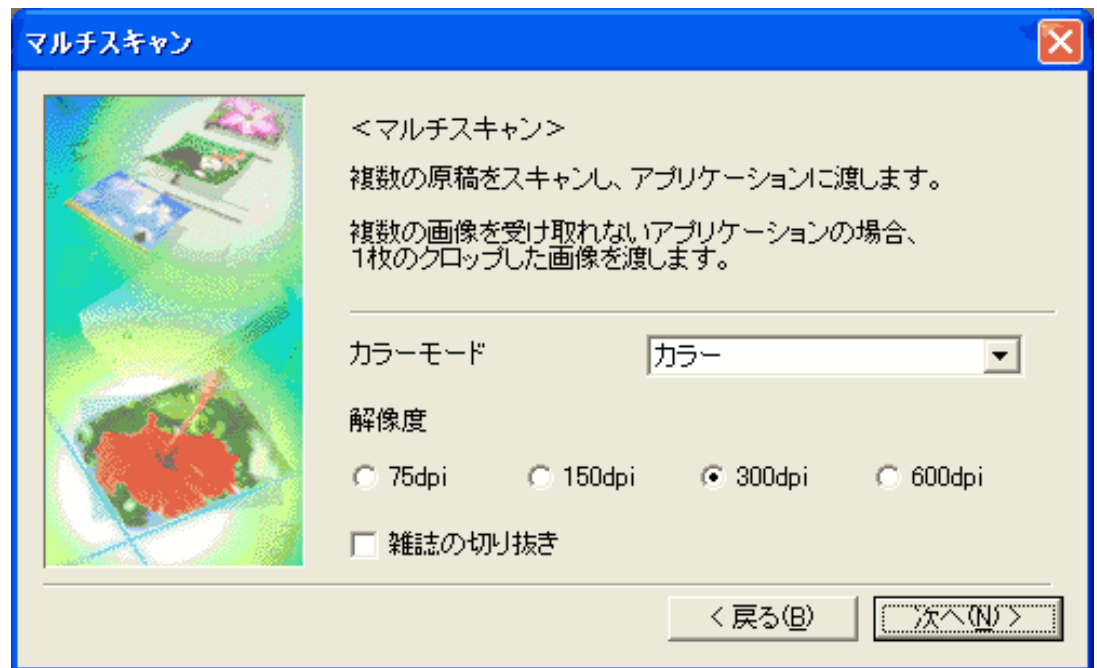
画像の読み取り スキャン(S) スキャンボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→ プレビューエリア
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。スキャンを続ける場合は［OK］ボタンを、スキャンを中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

マルチスキャン(M)>>　マルチスキャンボタン

マルチスキャンを使うと、原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。→ 原稿の置きかた
［マルチスキャン］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

設定項目を選択して［次へ］ボタンをクリックすると、マルチスキャンが開始され、スキャンされた複数の原稿がアプリケーションの画面に表示されます。

カラーモード	カラー、グレースケール、白黒の中から選択します。
解像度	75dpi、150dpi、300dpi、600dpiの中から選択します。
雑誌の切り抜き	本や雑誌に印刷されている写真や絵をスキャンするときに選択します。「モアレ」と呼ばれる濃淡のむらや縞模様が現れるのを防ぎます。

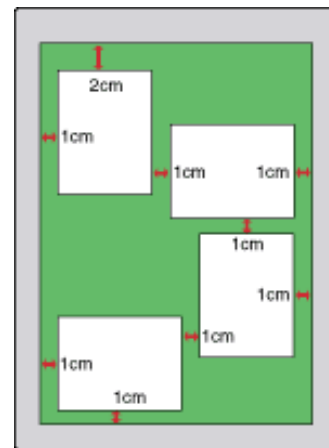
マルチスキャンを中止するには、［戻る］ボタンをクリックしてScanGear CSのメインウィンドウに戻ります。

 Macintosh

- 解像度［600dpi］は選択できません。
- ［雑誌の切り抜き］を選択すると、［300dpi］と［600dpi］は選択できなくなります。

原稿の置きかた

次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

- 原稿台の左右の端と写真の間、写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
- 原稿台の手前（EZボタン側）の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても、斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
  スキャンが終了すると、再び、ScanGear CSのメインウィンドウが表示されます。
- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。また、アプリケーションソフトによっては、マルチスキャンによってクロップされた画像のうち1枚目だけがアプリケーションソフトに渡される場合があります。その場合は、Toolbox、PhotoStudioなどを使用してマルチスキャンを行い、画像を保存した後、使用したいアプリケーションで保存した画像を開いてください。
- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
- 長方形以外の変型した写真（いろいろな形に切りぬいたような写真）は正しく認識できません。

- 「拡張モード／設定シート／詳細設定」の色の設定シートで［推奨］が選択されている場合、画像1枚ずつに自動色調整が行われます。

先頭へ戻る▲

拡張モード(V) >> 拡張モードボタン

このボタンをクリックすると、拡張モードに切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

先頭へ戻る▲

プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。

［出力サイズの選択］で「フリーサイズ」を選んだとき

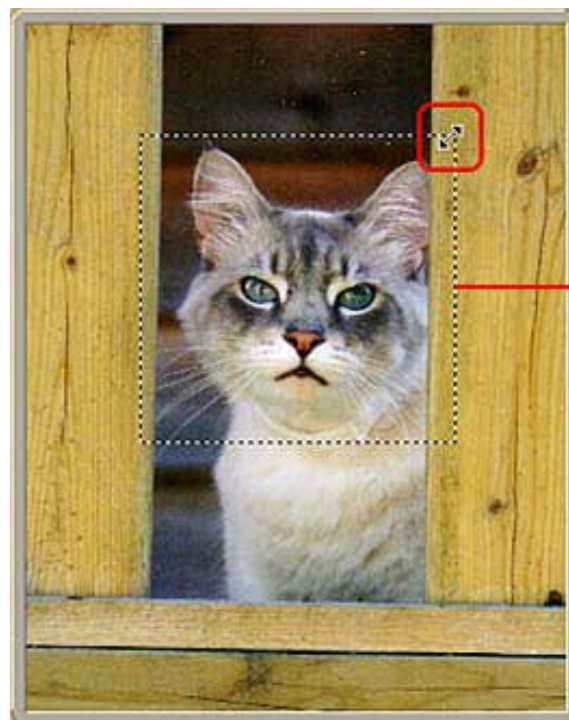
読み取り範囲の初期状態

プレビューボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。

読み取り範囲の指定

原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。
範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

読み取り範囲の変更

すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

クロップ枠

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔↕⤡⤢に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

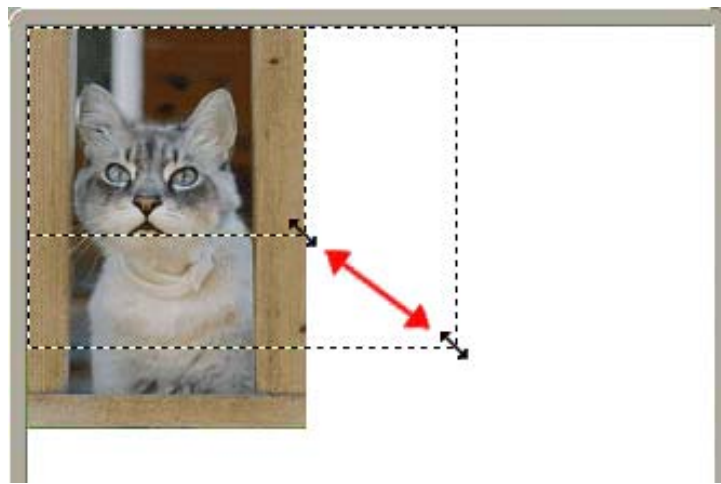
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に原稿サイズに合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード／設定シート／詳細設定」のプレビューシートのプレビュー後のクロップ枠の設定
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます。
- ツールバーを使うと、プレビュー画像で確認しながら、回転や反転をすることができます。ツールバーのボタンの使いかたについてはツールバーのボタンをご覧ください。

［出力サイズの選択］で「フリーサイズ」以外を選んだとき

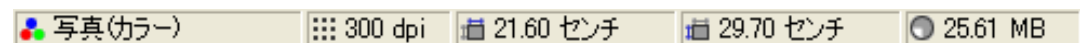
読み取り範囲の初期状態

プレビューボタンで読み取られた画像には、自動的に指定のピクセル数や出力サイズに合わせて、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。

読み取り範囲の変更

マウスでクロップ枠をドラッグして（カーソルは✥）、クロップ枠を移動させることができます。
クロップ枠の4辺や4隅をドラッグして（カーソルは↔ ↕ ⤡⤢）クロップ枠を拡大／縮小できますが、このときも、指定されたピクセル数は維持されます。

また、縦横比切り替えボタンで、クロップ枠を90度回転させることもできます。

先頭へ戻る▲

ステータスエリア

写真(カラー) | 300 dpi | 21.60 センチ | 29.70 センチ | 25.61 MB

ステータスエリアの表示から、カラーモードやスキャン解像度など、スキャンした画像についての情報を知ることができます。
左から順番に次のような情報が表示されます。

・カラーモード
・解像度（用途が「印刷する」は300 dpi、「画面に表示する」は150 dpi）

・画像の幅（用途が「印刷する」または「OCR」はセンチ、「画面に表示する」はピクセル）
・画像の高さ（用途が「印刷する」または「OCR」はセンチ、「画面に表示する」はピクセル）
・アプリケーションソフトに取り込んだ場合の画像サイズ（見積りファイルサイズ）

先頭へ戻る▲

ツールバーのボタン

 画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

- Windows
  ツールバーをメインウィンドウから切り離して、プレビューエリアの左右や下側に移動することができます。→ ツールバーの切り離しと移動

オートクロップボタン

このボタンをクリックすると、自動的にプレビューエリア内の画像部分だけが選択され、クロップ枠が表示されます。

- オートクロップボタンをクリックするたびに、選択される範囲が狭くなります。何度かクリックしても正しく囲まれないときは、手動でスキャン範囲を設定してください。→プレビューエリア

先頭へ戻る▲

鏡映ボタン

プレビューエリアの画像の左右を反転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を左右反転した後、再びプレビューを行うと、反転した画像は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

左回転ボタン

プレビューエリアごと画像を反時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

右回転ボタン

プレビューエリアごと画像を時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

情報ボタン

スキャンする画像の情報を表示します。

スキャンの情報

ドライババージョン：	7.6.0.0
LLDバージョン：	2.00
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	写真(カラー)
カラーモード：	カラー
出力解像度：	300 dpi
原稿サイズ：	原稿台全面
幅：	8.80 センチ
高さ：	12.66 センチ
プリントサイズ	
幅：	8.80 センチ
高さ：	12.66 センチ
拡大/縮小：	100 %
データサイズ：	4.45 MB
モアレ低減：	オフ
輪郭強調：	オン
ごみ傷低減：	なし
褪色補正：	なし
粒状感低減：	なし
色の設定：	推奨

先頭へ戻る▲

ツールバーの切り離しと移動 Windows

ツールバーを切り離す
ツールバーの端をクリックし、そのままマウスドラッグすると、グレーの枠が表示されます。ツールバーを表示させたい位置まで枠を移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがメインウィンドウから切り離されます。

- 切り離したツールバーを元の位置に戻すときは、ツールバーのタイトル部分をダブルクリックします。
- 切り離したツールバーを閉じるときは、ツールバーのクローズボックスをクリックします。再度、ツールバーを表示するときは、メインウィンドウ左上の［ScanGear CS］アイコンをクリックして表示されるメニューから［ツールバーを表示する］を選択します。
- メインウィンドウから切り離したツールバーや移動したツールバーは、ScanGear CSを終了し、再度起動すると元の位置に戻ります。

ツールバーを移動する
ツールバーの端をクリックし、マウスドラッグしたときに表示されるグレーの枠を、プレビューエリアの右側に移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがプレビューエリアの右側に移動します。同じように、左側、下側にもツールバーを移動できます。

ScanGear CS
基本モード
原稿の種類
写真(カラー)
試しの画像を表示
プレビュー(P)
用途の選択
印刷する
出力サイズの選択
フリー(等倍)
ScanGear CS
基本モード
原稿の種類
写真(カラー)
試しの画像を表示
プレビュー(P)
用途の選択
印刷する
出力サイズの選択
フリー(等倍)

先頭へ戻る▲

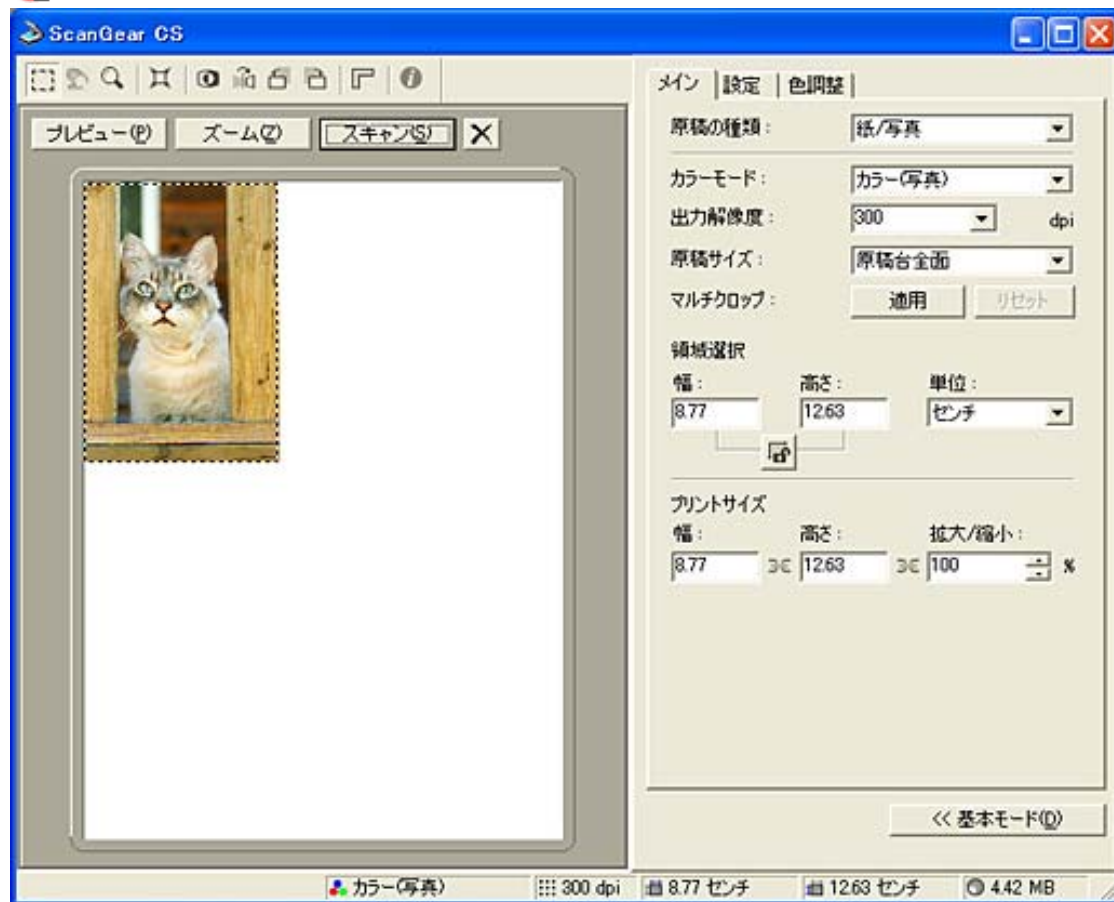
[拡張モードの機能]
■ ツールバーのボタン

■ メインシートの機能
■ 設定シートの機能
　└ 詳細設定画面
■ 色調整シートの機能
　├ ブライトネス／コントラスト
　├ ガンマ
　├ ヒストグラム
　└ トーンカーブ
■ ハーフトーンシートの機能

前のメニューに戻る

拡張モードの機能

拡張モードは、カラーモードや解像度、画像の明るさや色合いなどを詳しく設定してスキャンするモードです。スキャンの操作に慣れていて、画像補正の知識をお持ちの方はこちらのモードをお使いください。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

ツールバー

ツールバーのボタンを使うと、オートクロップ、反転、回転、スキャン情報の表示などができます。

各ボタンの詳しい説明はツールバーのボタンをご覧ください。

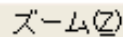
先頭へ戻る▲

プレビュー(P)　プレビューボタン

試しに原稿を読み取るときに使います。

［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は原稿サイズに合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

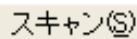
- このスキャナは、コンピュータに接続して初めて使う場合、自動的にキャリブレーションを行います。プレビュー時にメッセージが表示されたら、メッセージにしたがってキャリブレーションを実行してください。

先頭へ戻る▲

ズーム(Z) ズームボタン

プレビューエリア内で範囲を指定し、［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像を再スキャンして拡大表示します。
拡大表示されると、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わります。拡大表示を元に戻すには［戻す］ボタンをクリックします。

- 拡大表示した画像をさらに拡大することはできません
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い
  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。
  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

先頭へ戻る▲

スキャン(S) スキャンボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→ プレビューエリア
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。スキャンを続ける場合は［OK］ボタンを、スキャンを中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

クリアボタン

このボタンをクリックすると、プレビューエリアからプレビュー画像が消去されます。

先頭へ戻る▲

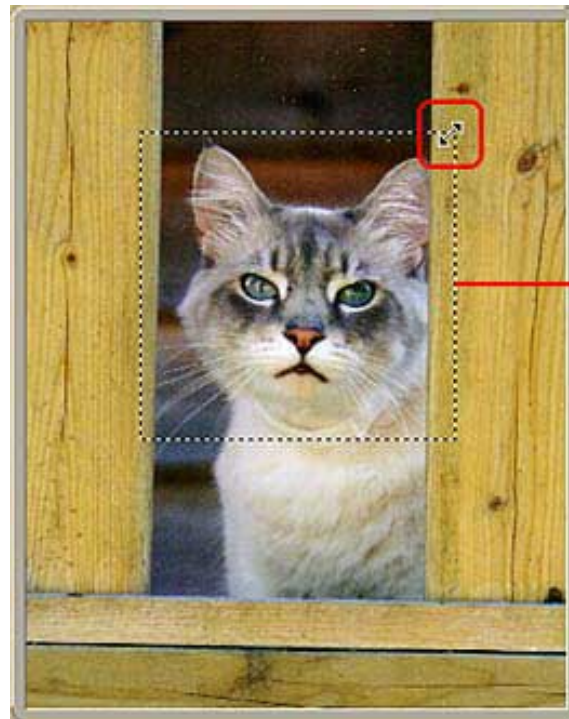
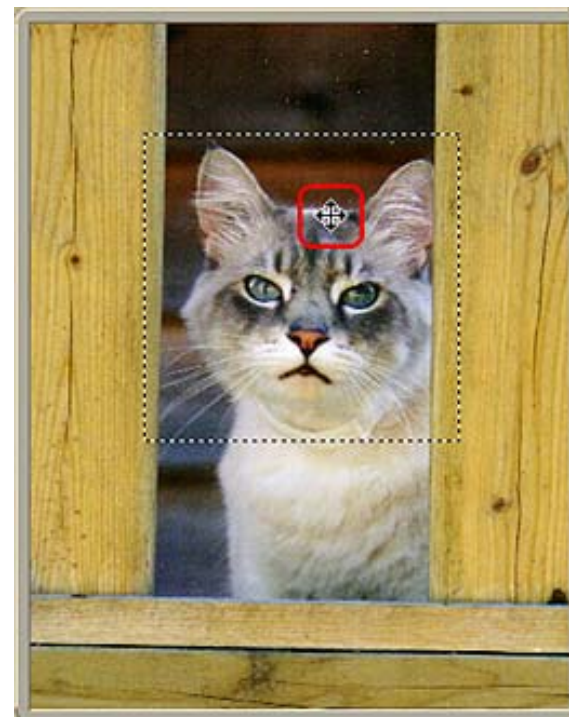
プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。

読み取り範囲の初期状態

プレビューボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。

読み取り範囲の指定
原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。 範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

読み取り範囲の変更
すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔ ↕ ⤡ ⤢に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

- 範囲を指定した後で、イメージタイプやカラーモード、解像度などの変更ができます。これらの設定を変更すると、変更結果がすぐにプレビュー画像に反映されます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に原稿サイズに合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード／設定シート／詳細設定」のプレビューシートのプレビュー後のクロップ枠の設定
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます
- プレビューエリア内で範囲を指定し［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲が拡大表示されます。→ズームボタン
- ツールバーを使うと、プレビュー画像で確認しながら、回転や反転をすることができます。ツールバーのボタンの使いかたについてはツールバーのボタンをご覧ください。

先頭へ戻る▲

<< 基本モード(D)　基本モードボタン

このボタンをクリックすると、基本モードに切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

先頭へ戻る▲

拡張モードのシート

拡張モードには複数のシートがあります。スキャンの設定をするときは、タブをクリックすることで、シートを切り替えて使います。

メイン　設定　ハーフトーン

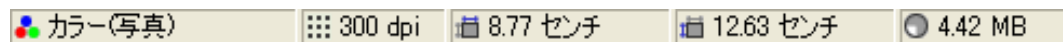
■メインシート
原稿の種類、カラーモード、出力解像度、領域選択（プレビューやスキャンの範囲指定）、プリントサイズの設定ができます。通常は、このタブの機能だけでスキャンできます。

■設定シート
モアレ低減、輪郭強調などの処理など、スキャン時の詳細な設定ができます。また、スキャンやプレビューを行うときの動作の設定、スキャナのテストなどもできます。

■色調整シート
プレビュー画像の明るさや色合いが思いどおりの画質になっていないときは、色調整シートで画像の調整をします。

■ハーフトーンシート
［カラーモード］を「白黒」にすると色調整タブがハーフトーンタブに変わります。白黒画像の色合い、明るさの調整ができます。「テキスト（OCR）」（Windows の場合）は表示されません。

先頭へ戻る▲

ステータスエリア

カラー(写真) | 300 dpi | 8.77 センチ | 12.63 センチ | 4.42 MB

ステータスエリアの表示から、カラーモードやスキャン解像度など、スキャンした画像についての情報を知ることができます。
左から順番に次のような情報が表示されます。

・カラーモード
・解像度
・画像の幅
・画像の高さ
・アプリケーションソフトに取り込んだ場合の画像サイズ（見積りファイルサイズ）

先頭へ戻る▲

ツールバーのボタン

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

- Windows
  ツールバーをメインウィンドウから切り離して、プレビューエリアの左右や下側に移動することができます。→ツールバーの切り離しと移動

クロップボタン

範囲を手動で設定するときにクリックします。十字の形のマウスポインタをドラッグして、範囲を枠（クロップ枠）で囲みます。

- クロップ枠の外でマウスをクリックすると、範囲の指定が解除されます。
- クロップ枠の外でマウスポインタをドラッグすると、新たに範囲の指定ができます。
- 範囲を指定しなかった場合、プレビューエリア全体がプレビューやスキャンする範囲になります。
- 選択できる最小の範囲は、［出力解像度］が600dpi、等倍表示の状態で96 x 96ピクセルです。

先頭へ戻る▲

画像移動ボタン

プレビュー画像をプレビューエリア内で移動するときに使います。
ズームボタンを使って拡大表示されているプレビュー画像をプレビューエリア内で移動して、確認することができます。
画像が拡大表示されているときにこのボタンをクリックすると、マウスポインタが手の形に変わります。そのまま画像の上でマウスをドラッグすると、それに合わせてプレビュー画像がプレビューエリア内で移動します。

- この機能は、プレビューエリアの画像を移動するだけで、実際のスキャンには反映されません。

- 画像移動ボタンは、ズームボタンで画像を拡大したときのみ有効です。

先頭へ戻る▲

ズームボタン

このボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスの左ボタンを押すと、その部分を中心に画像が拡大表示されます。
マウスの右ボタンをクリックすると、画像が縮小表示され拡大する前の大きさに戻ります。
ズームボタンを使って画像を拡大すると、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの操作で画像を移動できます。

- この機能は、プレビューエリアの表示を拡大するだけで、実際のスキャンには反映されません。

- Macintosh
  ズームボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスのボタンを押し、画像を拡大表示します。画像を縮小表示するときは、［option］キーを押しながらマウスのボタンを押します。
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い
  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。
  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

先頭へ戻る▲

 オートクロップボタン

このボタンをクリックすると、自動的にプレビューエリア内の画像部分だけが選択され、クロップ枠が表示されます。

- オートクロップボタンをクリックするたびに、選択される範囲が狭くなります。何度かクリックしても正しく囲まれないときは、クロップボタンをクリックして手動でスキャン範囲を設定してください

先頭へ戻る▲

 色反転ボタン

プレビュー画像の色を反転します。

- この機能を使って画像の色を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 反転した画像を、再び反転すると、元の画像に戻ります。
- 画像を反転した後、再びプレビューを行うと、反転した色は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

鏡映ボタン

プレビューエリアの画像の左右を反転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を左右反転した後、再びプレビューを行うと、反転した画像は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

左回転ボタン

プレビューエリアごと画像を反時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

右回転ボタン

プレビューエリアごと画像を時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

ルーラーボタン

範囲の寸法を知りたいときに使います。このボタンをクリックすると、プレビューエリアの上部と左側にルーラー（定規）が表示されます。

先頭へ戻る▲

情報ボタン

スキャンする画像の情報を表示します。

スキャンの情報

ドライババージョン：	7.6.0.0
LLDバージョン：	2.00
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	紙/写真
カラーモード：	カラー(写真)
出力解像度：	300 dpi
原稿サイズ：	原稿台全面
幅：	8.77 センチ
高さ：	12.63 センチ
プリントサイズ	
幅：	8.77 センチ
高さ：	12.63 センチ
拡大/縮小：	100 %
データサイズ：	4.42 MB
モアレ低減：	オフ
輪郭強調：	オン
ごみ傷低減：	なし
褪色補正：	なし
粒状感低減：	なし
色の設定：	推奨

先頭へ戻る▲

ツールバーの切り離しと移動

ツールバーを切り離す
ツールバーの端をクリックし、そのままマウスドラッグすると、グレーの枠が表示されます。ツールバーを表示させたい位置まで枠を移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがメインウィンドウから切り離されます。

- 切り離したツールバーを元の位置に戻すときは、ツールバーのタイトル部分をダブルクリックします。
- 切り離したツールバーを閉じるときは、ツールバーのクローズボックスをクリックします。再度、ツールバーを表示するときは、メインウィンドウ左上の［ScanGear CS］アイコンをクリックして表示されるメニューから［ツールバーを表示する］を選択します。
- メインウィンドウから切り離したツールバーや移動したツールバーは、ScanGear CSを終了し、再度起動すると元の位置に戻ります。

ツールバーを移動する
ツールバーの端をクリックし、マウスドラッグしたときに表示されるグレーの枠を、プレビューエリアの右側に移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがプレビューエリアの右側に移動します。同じように、左側、下側にもツールバーを移動できます。

ScanGear CS
プレビュー(P)
ズーム(Z)
スキャン(S)
メイン
設定
色調整
原稿の種類：
紙/写真
カラーモード：
カラー(写真)
出力解像度：
300
dpi
原稿サイズ：
原稿台全面
マルチクロップ：
適用
リセット
領域選択
幅：
高さ：
単位：
8.77
12.63
センチ
プリントサイズ
拡大/縮小：

先頭へ戻る▲

メインシートの機能

このシートでは、カラーモード、解像度、マルチクロップ（複数原稿のオートクロップ）、領域選択（プレビューやスキャンの範囲指定）、プリントサイズの設定を行います。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

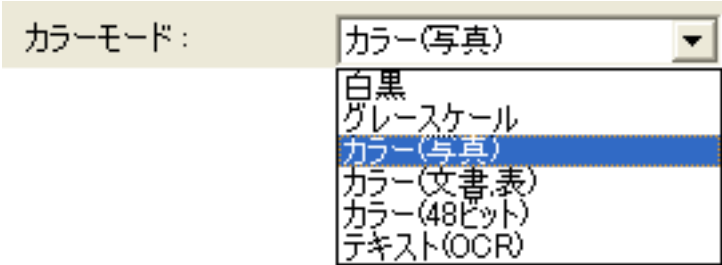
原稿の種類

原稿の種類： 紙/写真

紙/写真

スキャンする原稿の種類です。
かならず「紙/写真」になります。

先頭へ戻る▲

カラーモード

スキャンした画像をカラーにするか、グレースケールにするか、白黒またはテキスト（OCR）にするかを選択します。原稿の種類とスキャンした画像の用途に応じたカラーモードを選択してください。

カラーモードの種類	
白黒	写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の2色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、2値で表現します。スレッショルド値は任意に設定できます。
グレースケール	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を白黒256段階（グレースケール）で表現します。
カラー（写真）	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。
カラー(文書,表)	写真だけでなく、文字や表などが入ったカラー文書をスキャンするときに選択します。R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。
カラー（48ビット）	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色65536段階（16ビット）で表現します。
テキスト（OCR）	文字などをはっきりと読み取るときに選択します。特に、OCRソフトなどでテキストを読み込むときに選択します。300dpi以上、600dpi以下でスキャンしてください。 原稿を白と黒の2色だけで表現します。Macintoshでは選択できません。

- 「テキスト（OCR）」の場合、グレースケールで読み取り、白と黒の2値に変換するため、「白黒」よりスキャンにかかる時間が長くなります。
- 「カラー（48ビット）」は、「拡張モード／設定シート／詳細設定」のスキャンシートの48/16ビット出力を有効にするがオンになっていないと表示されません。

先頭へ戻る▲

出力解像度

出力解像度を選択します。
スキャナは、原稿を明るさや色の情報を持った点の集まりとして読み取ります。この点の密度を「解像度」といい、1インチあたりの点（ドット）の数を「dpi（ドット・パー・インチ）」で表します。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かく、低く（数字を小さく）すると粗く原稿をスキャンします。
解像度を、次の中から選択します。
75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpi。
また、25～2400dpiの範囲の数値（1dpi刻み）、あるいは4800dpi、7200dpi、9600dpiいずれかの数値を直接入力して設定することもできます。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかた、解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを、次の中から選択します。
名刺サイズ、L判縦、L判横、はがき縦、はがき横、LL判縦、LL判横、A5縦、A5横、B5、A4、Letter、原稿台全面。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）
原稿サイズを選択すると、プレビューエリアの大きさ（縦横比率）が、選択したサイズに合わせて変わります。

- この操作は、プレビューのときや、スキャン範囲を指定しないスキャンのときに、必要以上の範囲をスキャンしないようにするためのものです。
- 原稿のサイズがわからないときは、大きめのサイズに設定しておいてください。実際には、プレビュー後にスキャン範囲を指定してスキャンすることになります。
- Letterは、主に北米で使用されているサイズです。
- プレビュー後に原稿サイズを変更すると、試しの画像が消去されます。

先頭へ戻る▲

マルチクロップ

原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。
プレビューの後設定できるようになり、［適用］ボタンをクリックすると有効になります。

適用 適用ボタン

原稿台に置かれた複数の原稿をスキャンしたときに複数枚の画像を、1枚ずつ自動的にクロップ（範囲指定）します。
クロップされた画像のうち、指定した画像だけを読み取るようにすることもできます。その場合は、必要のない画像のクロップ枠を削除します。
クロップ枠を削除するには、Windowsでは、削除したい画像内で右クリックし［削除］を選択します。Macintoshでは、画像を選択し［Delete］キーを押します。

- クロップされた画像内でクリックすると、そのクロップ枠が選択された状態（点線が動いているように見える）になります。また、［Ctrl］キーを押しながらクリックすると、複数のクロップ枠を選択できます。

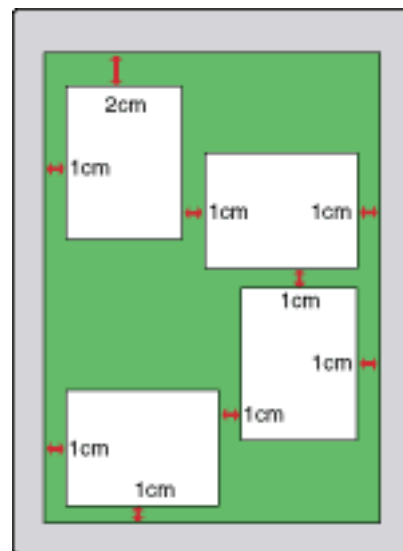
- 選択されたクロップ枠の選択状態を解除するには、枠の外側でクリックします。
- クロップ枠のサイズは変更できません。

リセット リセットボタン

複数の、指定された範囲を一度に解除します。

原稿の置きかた

次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

- 原稿台の左右の端と写真の間、写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
- 原稿台の手前（EZボタン側）の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても、斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。また、アプリケーションソフトによっては、マルチスキャンによってクロップされた画像のうち1枚目だけがアプリケーションソフトに渡される場合があります。その場合は、Toolbox、PhotoStudioなどを使用してマルチスキャンを行い、画像を保存した後、使用したいアプリケーションで保存した画像を開いてください。
- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
- 長方形以外の変型した写真（いろいろな形に切りぬいたような写真）は正しく認識できません。

- 「拡張モード／設定シート／詳細設定」の色の設定シートで［推奨］が選択されている場合、画像1枚ずつに自動色調整が行われます。

先頭へ戻る▲

領域選択

直接数値を入力して、スキャン範囲を設定することができます。

幅と高さ	［幅］と［高さ］の表示部に数値を入力します。入力後、マウスポインタで他の表示部をクリックするか［Enter］キーを押すと、クロップ枠の大きさが変わります。
単位	［幅］と［高さ］の単位（インチ、センチ、ピクセル）を変更できます。
縦横比固定ボタン	このボタンをクリックすると、（鍵がかかったアイコン）に変わります。この状態のとき、［幅］と［高さ］の比率が一定に保たれたままスキャン範囲の指定ができます。

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲は次のようになります。
  Windows　21,000 x 30,000ピクセル以下
  Macintosh　30,000 x 30,000ピクセル以下

- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。ただし、最小選択範囲は、拡大縮小100%、［出力解像度］600dpiの状態で96 x 96ピクセルです。
- オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。

先頭へ戻る▲

プリントサイズ

指定したスキャン範囲のプリントサイズ（出力サイズ）を設定します。

幅と高さ	［幅］または［高さ］の表示部に数値を入力します。入力後、マウスポインタで他の表示部をクリックするか［Enter］キーを押すと、入力した数値に連動して「拡大／縮小」の数値が変わります。
拡大／縮小	表示部右側の▲▼をクリックするか、直接数値を入力して設定します。数値を設定すると、数値に連動して［幅］と［高さ］の数値が変わります。

- ［プリントサイズ］を必要以上に大きく設定すると、スキャン時間が長くかかったり、ファイル容量が非常に大きくなることがあります。
- ［プリントサイズ］の［幅］と［高さ］の比率は、［領域選択］の［幅］と［高さ］の比率と連動しています。
- この設定を変更しても、クロップ枠の大きさと［出力解像度］の設定は変わりません。実際にスキャンするときの解像度（読み取り解像度といいます）は拡大／縮小の%に比例して変化します。

- ［拡大／縮小］の数値は1%単位で設定できます。［出力解像度］の設定によって、設定できる値が異なります。

出力解像度	拡大／縮小
300dpi	25～3200%
400dpi	25～2400%
1200dpi	25～800%
2400dpi	25～400%

- 解像度を4800、7200、9600dpiに設定した場合、拡大／縮小率は100%に固定され、変更できません。
- プリントサイズの決めかたについては「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」の出力解像度と倍率をご覧ください。

先頭へ戻る▲

設定シートの機能

このシートでは、原稿サイズ、モアレ低減などの処理など、スキャンするときの詳細な設定ができます。［詳細設定］ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定ができます。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

モアレ低減

メイン　設定　色調整

フィルタ処理：　モアレ低減

本や雑誌に印刷されている写真や絵をスキャンするときは、［モアレ低減］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます（オンの状態）。

- 本や雑誌の写真や絵は、細かな点の集まりで表現されています。そのままスキャンすると、点と点が干渉をおこし、「モアレ」といわれる濃淡のむらや縞模様が現れることがあります。［モアレ低減］は、このモアレを少なくする機能です。

- ［カラーモード］が「白黒」または「テキスト（OCR）」（Windowsの場合のみ）のときは、設定できません。
- ［出力解像度］が600dpiを超えるときは、設定できません。

- ［モアレ低減］がオンになっていても、［輪郭強調］がオンになっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、［輪郭強調］をオフにしてください。
- ScanGear CSのメインウィンドウを表示しないアプリケーションソフトから起動した場合は、設定できません。
  ただし、ScanGear CSを使用せず、CanoScan Toolboxからスキャンする場合は、［スキャンモード］で「カラー（雑誌、カタログ）」を選択するとモアレ低減を行えます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オフになっています。

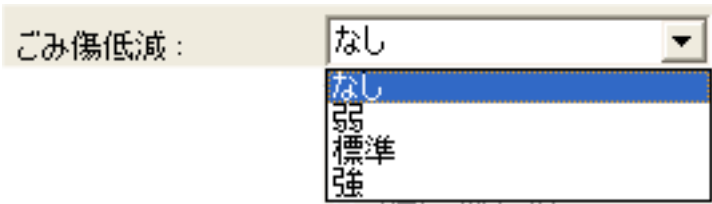
先頭へ戻る▲

輪郭強調

画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）を使うときは、［輪郭強調］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます（オンの状態）。
ピントのあまい写真などをスキャンするときに効果的で、全体がシャープな印象の画像になります。

- ［モアレ低減］をオンにしても十分にモアレが低減できない場合は、［輪郭強調］をオフにすることをおすすめします。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オンになっています。

先頭へ戻る▲

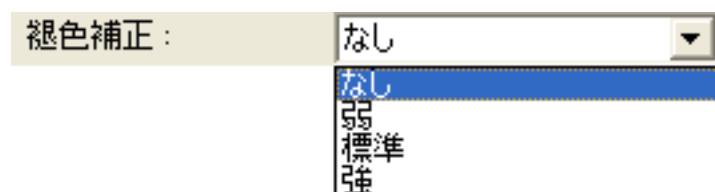
ごみ傷低減

写真原稿をスキャンしたときに、主にゴミや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行うときに、「弱」「標準」「強」のいずれかを選択します。

なし	ごみ傷低減を行いません。
弱	小さなゴミや傷を減らします。大きいゴミや傷は残ることがあります。
標準	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
強	大きいゴミや傷も減らすことできますが、処理をしたあとが残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまう場合があります。

- 印刷物をスキャンするときは、ごみ傷低減を［なし］（オフ）にすることをおすすめします。
- ［出力解像度］が600dpi以下で［モアレ低減］がオンの場合、［ごみ傷低減］は選択できません。［出力解像度］を601dpi以上に設定すると、［モアレ低減］が自動的にオフになり、［ごみ傷低減］が選択できます。
- 写真の種類によっては、本機能を使わない方がよい場合があります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「なし」（ごみ傷低減を行わない）になっています。

- スキャン解像度が2400dpiを超えると、ごみ傷低減機能がはたらきません。スキャン解像度が2400dpi以下になるように設定してください。たとえば、出力解像度が1200dpiでも倍率を400%に設定すると、1200dpiの4倍、つまり4800dpiのスキャンになります。（1200dpi x 400% = 4800dpi）

先頭へ戻る▲

褪色補正

保存状態が悪くて褪色または色カブリした写真を色補正します。「なし」、「弱」、「標準」、「強」から選択します。
プレビュー画像を表示した状態で褪色補正の設定を変更すると、変更結果がプレビュー画像に反映されます。

なし	褪色補正を行いません。
弱	わずかに褪色または色カブリした場合に指定します。
標準	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
強	かなり強く褪色または色カブリした場合に指定します。画像の色合いに影響を与えてしまう場合があります。

- この機能は、モノクロの写真では使用できません。
- ［カラーモード］が「白黒」または「グレースケール」のときは設定できません。
- この機能はプレビュー後に設定できます。
- スキャン範囲が小さすぎると、褪色補正できない場合があります。
- 通常よりスキャン時間がかかります。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「なし」になっています。

先頭へ戻る▲

粒状感低減

高感度フィルムや増感撮影されたフィルムから作成された写真、または高解像度でスキャンした場合に感じられる粒状感を低減する機能です。
「なし」、「弱」、「標準」、「強」から選択します。

なし	粒状感低減を行いません。
弱	わずかに粒状感の目立つ写真の場合に指定します。画像のシャープネスに影響を与えない設定です。
標準	通常はこの設定を選択することをおすすめします。画像のシャープネスと粒状感低減のバランスを適切に保つ設定です。
強	かなり強く粒状感の目立つ写真の場合に指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与えてしまう場合があります。

- スキャン範囲が小さすぎると、粒状感が低減できない場合があります。
- 通常よりスキャン時間がかかります。
- ［カラーモード］が「白黒」または「テキスト（OCR）」（Windowsのみ）のときは設定できません。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「なし」になっています。

キャリブレーション　キャリブレーションボタン

プレビュー画像の色合いが原稿と大きく違ったり、白の部分に色が付くようになってきたときは「キャリブレーション」を行ってください。
［キャリブレーション］ボタンをクリックすると、キャリブレーションがはじまり、スキャンした画像が正しい色合いになるように調整されます。

先頭へ戻る▲

詳細設定...　詳細設定ボタン

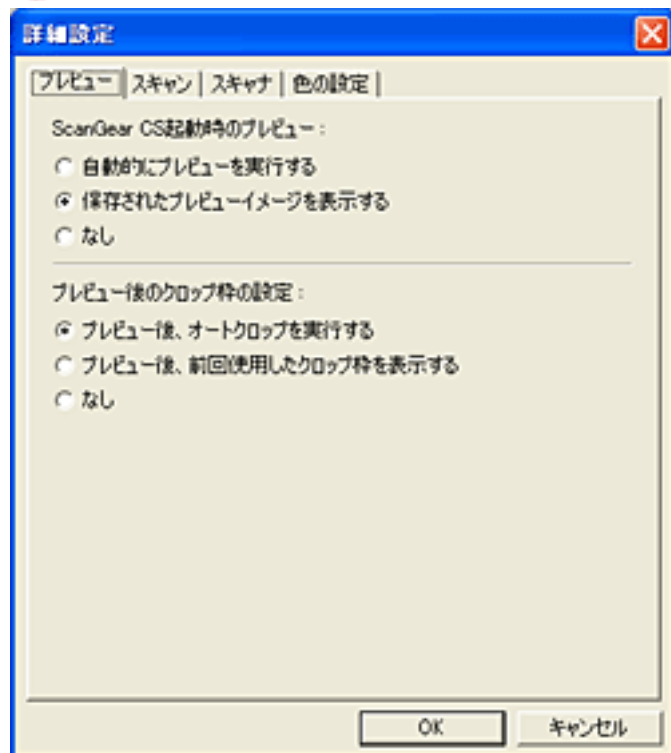
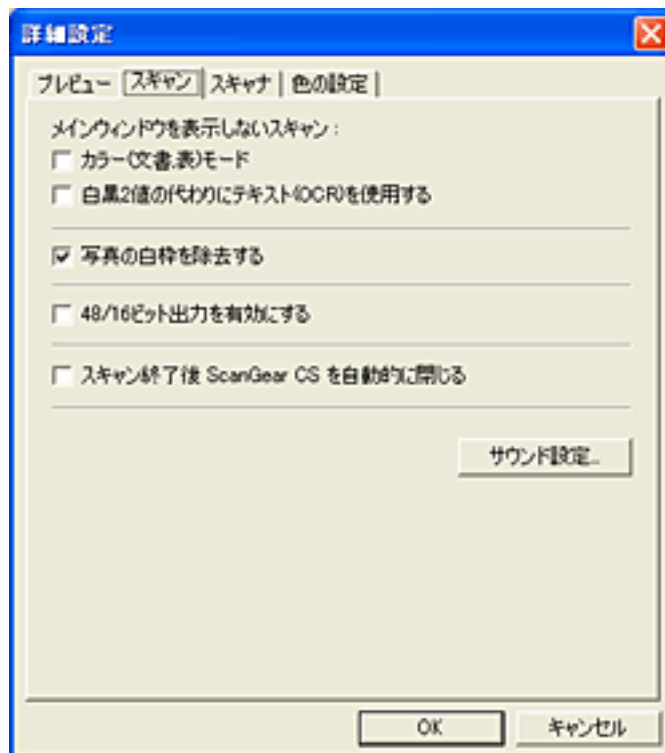
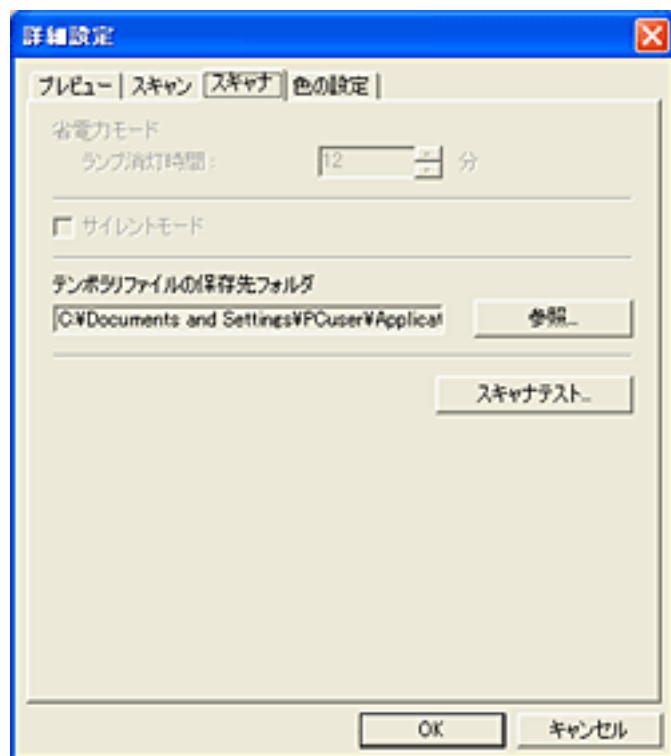
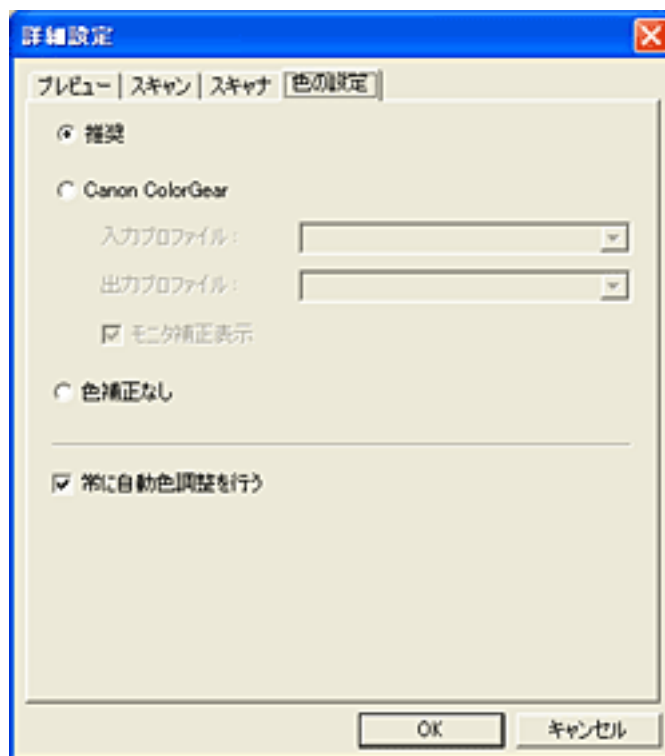
このボタンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。スキャンやプレビュー時の動作、スキャナのテストなどの設定ができます。

詳細設定

先頭へ戻る▲

詳細設定画面

詳細設定画面では、スキャンやプレビュー時の動作、オートクロップや自動色調整など、あらかじめ設定しておくことで自動的に行われる機能について設定します。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

プレビューシート

スキャンシート

スキャナシート

色の設定シート

プレビューシートでの設定項目

ScanGear CS起動時のプレビュー

ScanGear CS起動時のプレビュー：
- 自動的にプレビューを実行する
- 保存されたプレビューイメージを表示する
- なし

ScanGear CSを起動したときのプレビューの動作を設定します。次のいずれかをクリックします。

自動的にプレビューを実行する	起動後、自動でプレビューを開始します。
保存されたプレビューイメージを表示する	ScanGear CS終了時にプレビューエリアのプレビュー画像を保存し、次回ScanGear CSを起動したときに、このプレビュー画像を表示します。
なし	起動後、前回のプレビュー画像を表示しません。

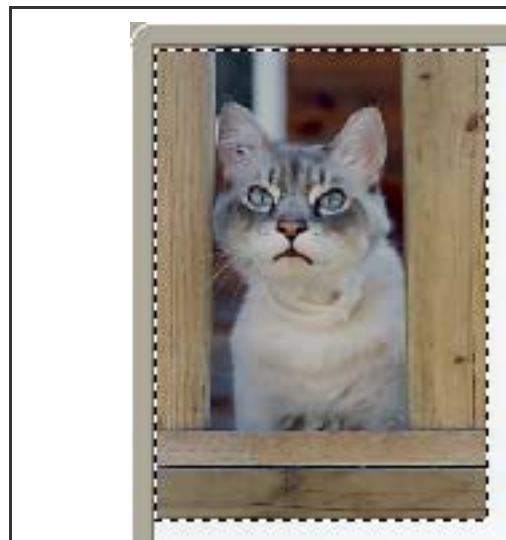
- ［保存されたプレビューイメージを表示する］にチェックマークを付けた場合は、プレビュー画像の保存時に、色調整シートの各設定項目、ツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンの設定も保存されます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［保存されたプレビューイメージを表示する］が選ばれています。

先頭へ戻る▲

プレビュー後のクロップ枠の設定

プレビュー後のクロップ枠の設定：
- プレビュー後、オートクロップを実行する
- プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する
- なし

プレビューした後のクロップの動作を設定します。次のいずれかをクリックします。

プレビュー後、オートクロップを実行する	プレビューした後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップします。
プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する	プレビューした後、前回クロップした範囲と同じ枠を表示します。
なし	プレビューした後、クロップ枠は表示しません。

オートクロップを実行したときのプレビュー後の状態	オートクロップを実行しないときのプレビュー後の状態

- 「オートクロップ」は、原稿台に置かれた原稿を1枚とみなしてクロップします。したがって、複数枚の原稿が置かれていた場合には、すべての原稿を含んで1枚の原稿になるようにクロップします。これに対して「マルチクロップ」は、複数の原稿をそれぞれ検知して枚数分のクロップを行います。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では「プレビュー後、オートクロップを実行する」がオンになっています。

先頭へ戻る▲

スキャンシートでの設定項目

メインウィンドウを表示しないスキャン

メインウィンドウを表示しないスキャン：
☐ カラー（文書,表）モード
☐ 白黒2値の代わりにテキスト（OCR）を使用する

OCRソフトなど、アプリケーションソフトによっては、スキャン時にScanGear CS のメインウィンドウを表示しないものがあります（UIオフモード）。これらのアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの設定値でスキャンが実行され、カラーモードの変更はできません。アプリケーションソフトの設定値を無視して、特定のカラーモードでスキャンしたい場合は、この項目で設定します。

カラー（文書, 表）モード	この項目にチェックマークを付けた場合は、アプリケーションソフトの設定にかかわらず、カラーモードを［カラー（文書,表）］にしてスキャンします。
白黒2値の代わりにテキスト（OCR）を使用する（Windowsのみ）	この項目にチェックマークを付けた場合は、アプリケーションソフトの設定にかかわらず、カラーモードを「テキスト（OCR）」にしてスキャンします。

- この設定は、UIモード（メインウィンドウを表示するモード）のときは無効になります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オフになっています。

先頭へ戻る▲

白枠除去を実行する

☑ 白枠除去を実行する

マルチクロップ、マルチスキャンを使った場合にのみ有効な機能です。
マルチスキャン、マルチクロップでスキャンした場合、周囲に白い余白のある写真原稿の白い余白の部分を自動的に除いてクロップします。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオンになっています。

先頭へ戻る▲

48／16ビット出力を有効にする

48/16ビット出力を有効にする

この項目をオンにすると、拡張モードの［カラーモード］に「カラー（48ビット）」と「グレースケール（16ビット）」が追加され、より高精細なスキャンができるようになります。

- 「グレースケール（16ビット）」は、本スキャナでは設定できません。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。
- 拡張モード画面で、「カラー（48ビット）」を選択した後、詳細設定画面で［48／16ビット出力を有効にする］をオフにすると、「カラー（48ビット）」は「カラー（写真）」に変更されます。

先頭へ戻る▲

スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる

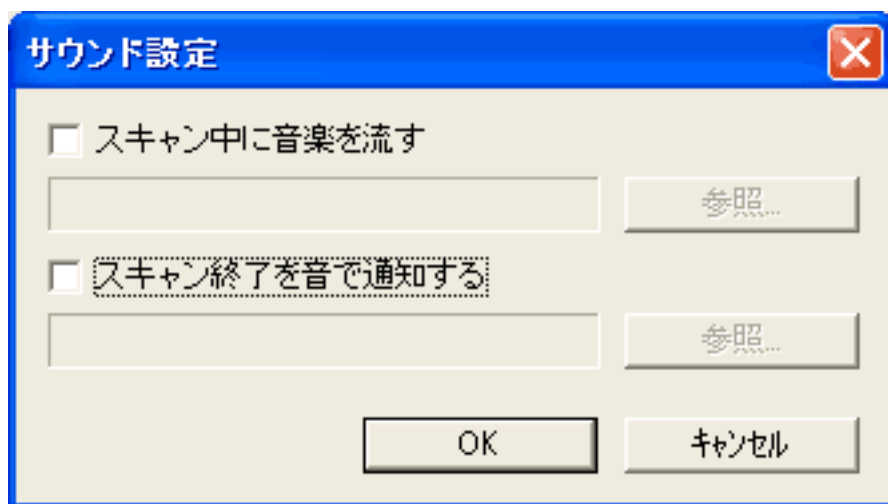
スキャン終了後 ScanGear CSを自動的に閉じる

この項目にチェックマークを付けた場合（オンの状態）、スキャン終了後ScanGear CS のメインウィンドウは自動で閉じられます。

- アプリケーションソフトによっては、この項目の設定内容に関わらず、スキャン終了後ScanGear CSのメインウィンドウを自動的に閉じます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。

先頭へ戻る▲

サウンド設定... サウンド設定ボタン

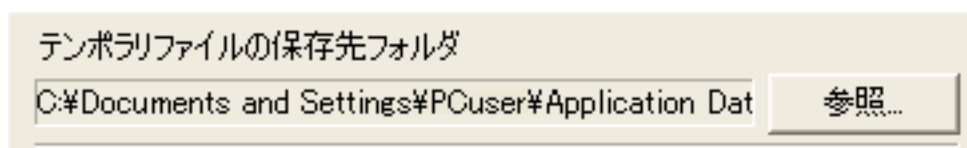
スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。
［サウンド設定］ボタンをクリックすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。

［スキャン中に音楽を流す］［スキャン終了時に通知する］にチェックマークを付け、それぞれ［参照］ボタンをクリックして、サウンドファイルを指定します。

- Macintosh ［スキャン中に音楽を流す］は使用できません。
- ボリュームの設定は、コンピュータ側で設定してください。ScanGear CSでは設定できません。
- ［スキャン終了時に通知する］をオンにすると、スキャン画像がアプリケーションソフトに表示されるまで通常より時間がかかります。終了音の長さによっては、通常より最大10秒ほど時間がかかる場合があります。

- 指定できるファイルは次のとおりです。
  MIDIファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
  オーディオファイル（*.wav、*.aiff）
  MP3ファイル（*.mp3）

先頭へ戻る▲

スキャナシートでの設定項目

テンポラリファイルの保存先フォルダ

画像を一時的に保存しておくフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定します。
起動ディスクに空き容量が少ない場合には、他のハードディスクに保存先フォルダを設定してください。

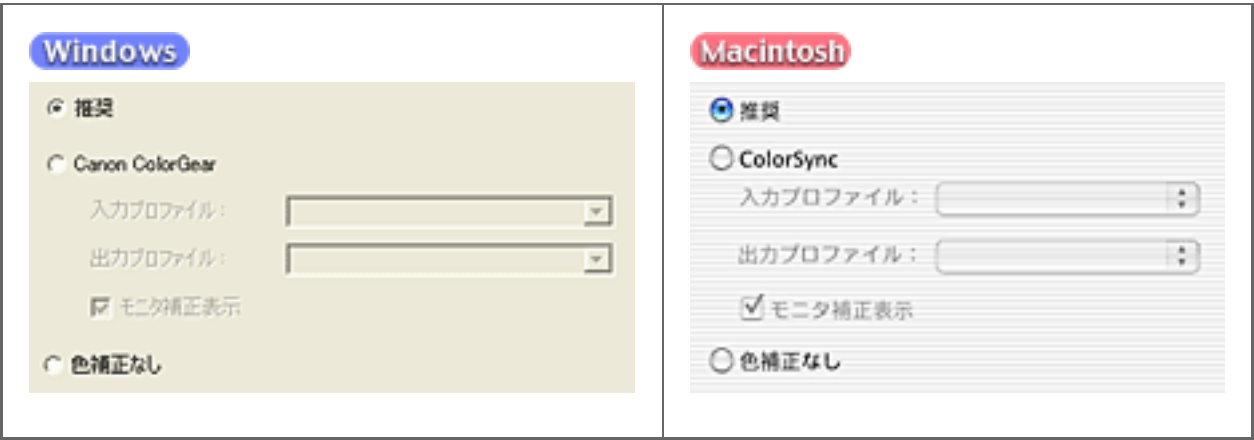
先頭へ戻る▲

スキャナテスト... ［スキャナテスト］ボタン

スキャナを使用中に故障かなと思われる症状が起こったときは「スキャナのテスト」を行ってください。
［スキャナテスト］ボタンをクリックすると、スキャナ自己診断画面が表示されます。この画面の［スタート］ボタンをクリックすると、スキャナの自己診断がはじまります。

先頭へ戻る▲

色の設定シートでの設定項目

推奨・Canon ColorGear (ColorSync)・色補正なし

色の調整方法について、［推奨］、［Canon ColorGear (Windows)／ColorSync (Macintosh)］、［色補正なし］から選択します。

推奨	原稿の色合いを、モニタ画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定を選択することをおすすめします。
Canon ColorGear Windows ColorSync Macintosh	カラーマネージメントシステムである、Canon ColorGear/ColorSyncを使用して色調整を行います。原稿、モニタ表示、カラープリントの間の色調が近似するように調整します。
色補正なし	ScanGear CSが内部的に行っている色補正を行いません。

- Canon ColorGear/ColorSyncを選ぶと、色調が自動調整されるため、色調整シートの機能は使用できなくなります（色調整タブは表示されなくなります）。
- 色補正なしを選ぶと、自動色調整機能は使用できません。
- この設定は、［カラーモード］が「白黒」または「テキスト（OCR）」のときは無効になります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［推奨］になっています。

Canon ColorGear(Windows)/ColorSync(Macintosh)について

Canon ColorGear(Windows)/ColorSync(Macintosh)を選ぶと、入力プロファイル・出力プロファイル・モニタ補正表示を設定できます。

入力プロファイル	スキャナプロファイルを指定します。
出力プロファイル	sRGB、Adobe RGB、モニタプロファイル、プリンタプロファイル等のRGBカラースペースのプロファイルを指定します。
モニタ補正表示	・チェックを入れると、プレビュー画像はモニタのRGBカラースペースに変換して表示されます。最終取り込み画像は、出力プロファイルで設定されたカラースペースに変換されます。 ・チェックを入れないと、プレビュー画像、最終取り込み画像ともに、出力プロファイルで設定されたカラースペースに変換されます。 ・カラーマネージメント対応アプリケーションソフトを使用している場合は、チェックを入れて使用してください。

カラーマネージメントは、ScanGear CS、OS（モニタの設定）、アプリケーションソフト(*)、プリンタドライバの設定が正しく設定されている場合に、正しく機能します。
OS（モニタ）の設定、アプリケーションソフトの設定についてはカラーマネージメントについてを参照してください。

*カラーマネージメント対応のアプリケーションソフトが必要です。Adobe Photoshop (5.0以降)、Adobe Photoshop Elements、Adobe Illustrator(9.0以降)などがカラーマネージメント対応のアプリケーションソフトです。本スキャナに同梱されているArcSoft PhotoStudioは、カラーマネージメントに対応していません。カラーマネージメントによる正確な色調整を行うには、対応アプリケーションソフトをご用意ください。

先頭へ戻る▲

常に自動色調整を行う

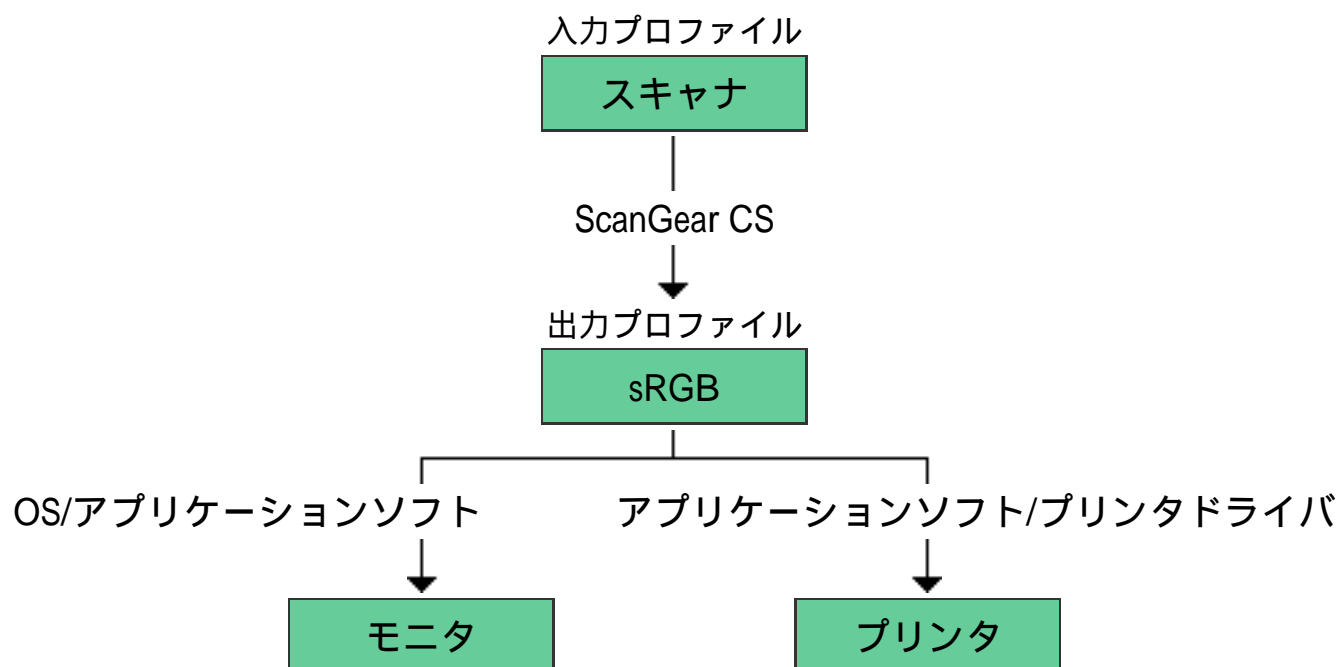
☑ 常に自動色調整を行う

この項目にチェックマークを付けると、スキャンした画像に対して、常に自動色調整を行います。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオンになっています。

カラーマネージメントについて

カラーマネージメントは、以下の例のような流れで、原稿、モニタ表示、カラープリント間の色調が近似するように調整します。

例）出力プロファイルとして、sRGBを選択した場合（初期値）

ScanGear CSは、スキャナのカラースペースからsRGBのカラースペースへ変換します。
モニタに表示するときは、OSでのモニタの設定と、アプリケーションソフトでの作業スペースの設定を行うことで、sRGBのカラースペースからモニタのカラースペースへ変換して表示します。
プリンタに出力するときは、アプリケーションソフトでのプリント設定と、プリンタドライバの設定を行うことで、sRGBのカラースペースからプリンタのカラースペースへ変換してプリントします。

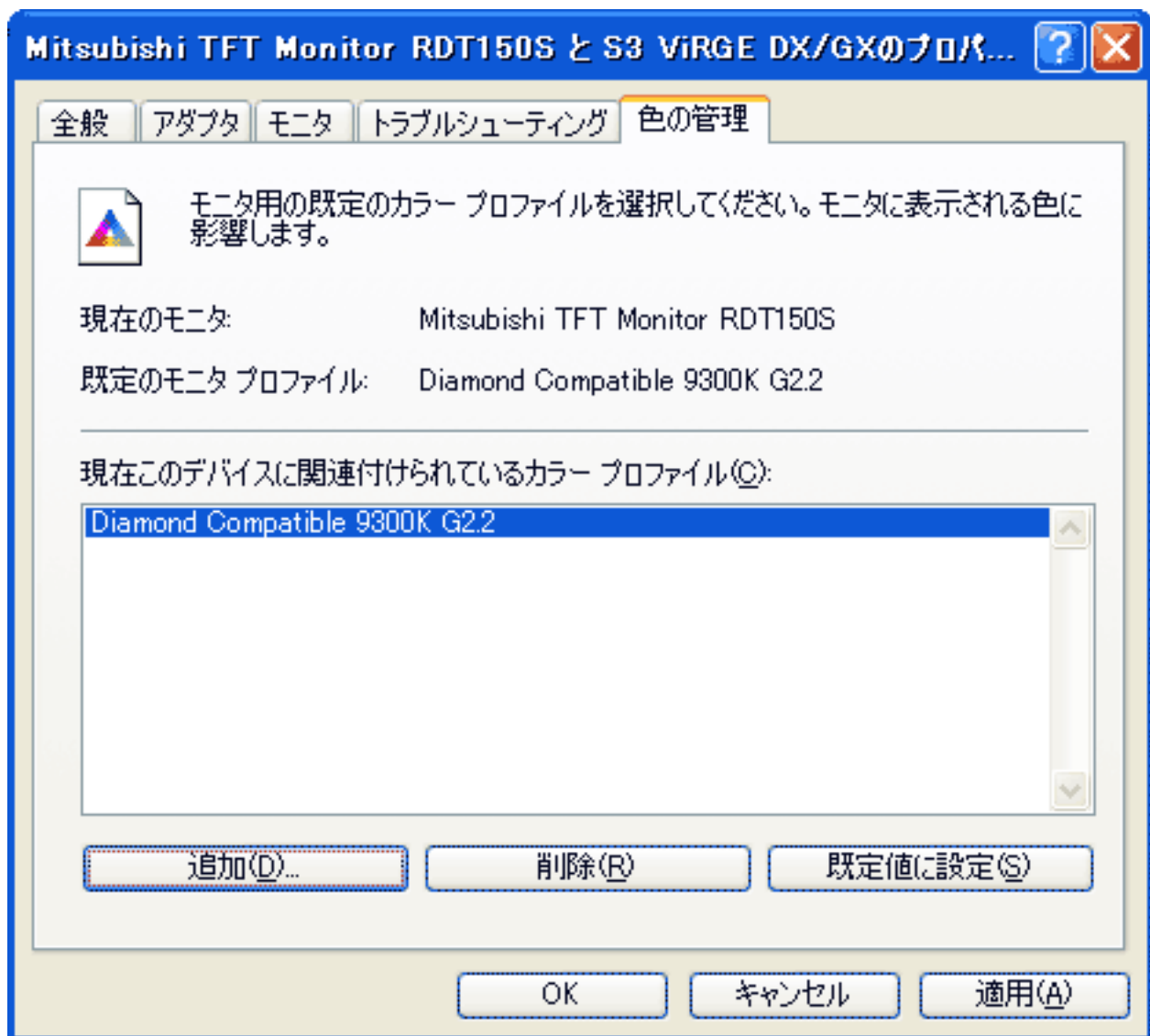
OSでのモニタ設定の方法
アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定（Photoshop 7.0）
アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定（Photoshop Elements 2.0）

OSでのモニタ設定の方法

Windows

1 ［コントロールパネル］－［画面］－［設定］タブ－［詳細］ボタンの順に選択肢、［色の管理］タブをクリックします。

2 ［追加］ボタンをクリックします。

3 ご使用のモニタに合ったプロファイルを選択します。
複数のプロファイルが選択されている場合は、ご使用のモニタ以外のプロファイルを削除します。

プロファイルは、通常はモニタメーカーから提供されています。また、Adobeガンマユーティリティ等のプロファイル作成ツールを用いて作成することもできます。

4 ［OK］をクリックします。クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。

Macintosh

1 Mac OS Xでは、［システム環境設定］の［ディスプレイ］で［カラータブ］をクリックします。
Mac OS 9では、［コントロールパネル］の［モニタ］を選択し、［カラー］ボタンをクリックします。

Mac OS Xの場合：

Mac OS 9の場合：

2 ご使用のモニタに合ったプロファイルを選択します。

3 クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定 (Photoshop 7.0)

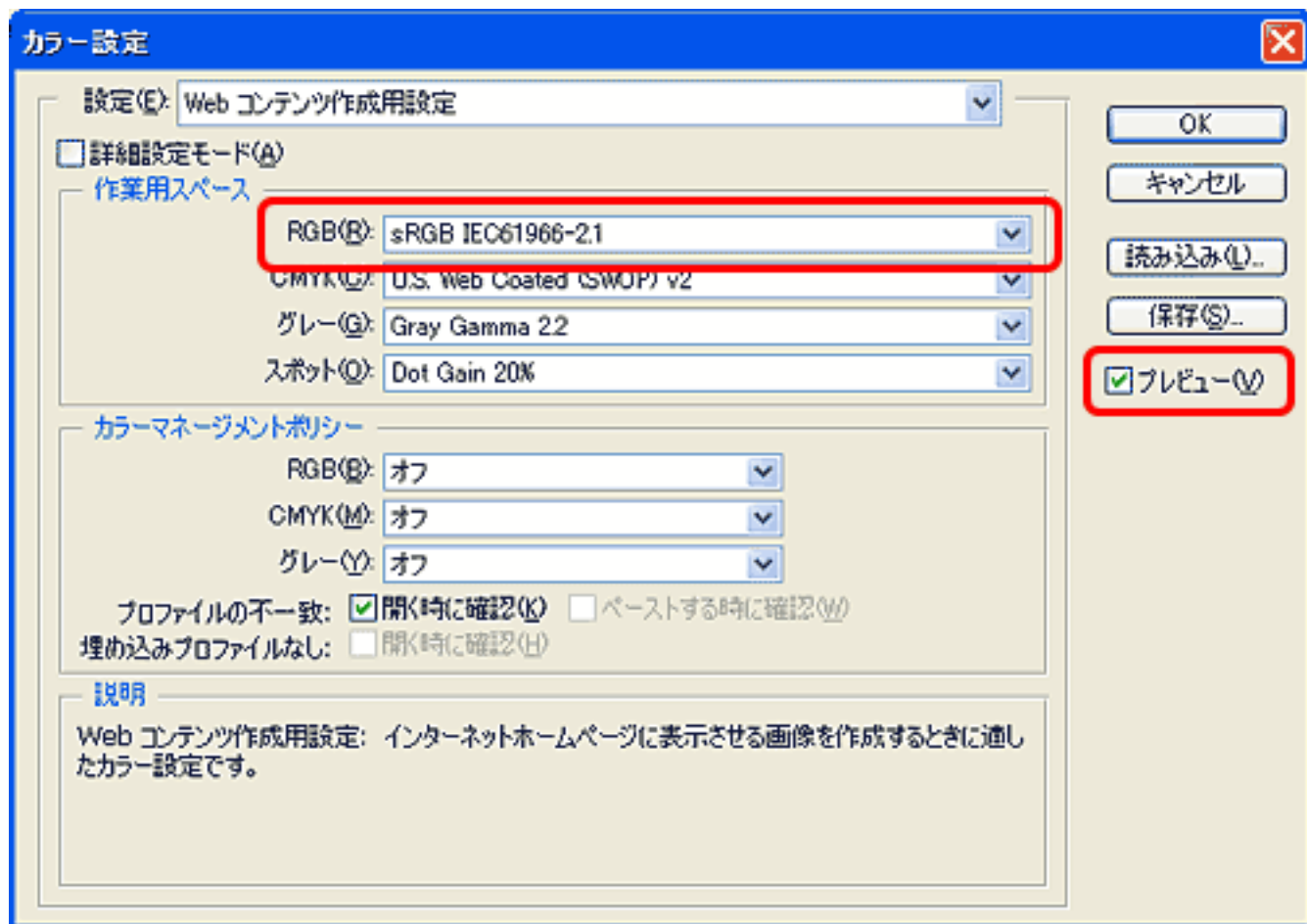
ここではPhotoshop 7.0での設定を説明します。詳細はアプリケーションソフトのマニュアル等を参照してください。

作業スペースの設定

画像編集用の画面の作業スペースの設定を行います。

1. ［編集］－［カラー設定］を開きます。

2. ［作業用スペース］－［RGB］メニューにプロファイルを設定します。プルダウン項目からScanGear CSの［出力プロファイル］の設定と同じプロファイルを選択します。
同じプロファイルがリストに表示されないときは、［詳細設定モード］チェックボックスにチェックを入れ、再度リストを開きます。

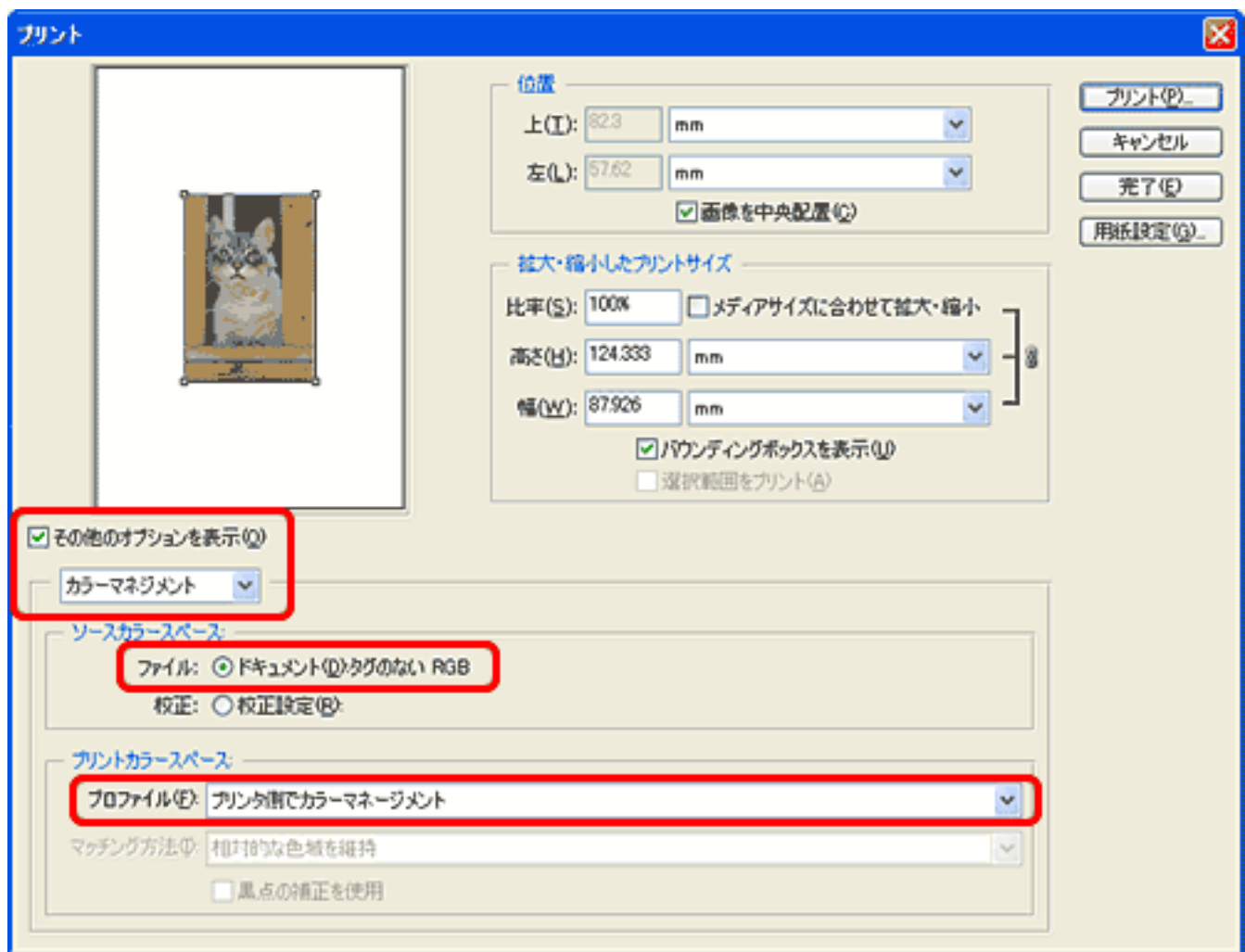
3. ［プレビュー］チェックボックスにチェックを入れます。

4 ［OK］をクリックして、［カラー設定］のダイアログを閉じます。

プリントの設定

プリンタ出力用のカラースペースの設定を行います。

1 画像が開いている状態で、［ファイル］－［プリントプレビュー］を選択します。

2 ［その他のオプションを表示］チェックボックスにチェックを入れます。

3 ［その他のオプションを表示］チェックボックスの下のコンボボックスから［カラーマネジメント］を選択します。

4 ［ソースカラースペース］－［ファイル］に表示されているプロファイルに対応して、［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューの中から［カラースペースを変換しない］、［プリンタ側でカラーマネージメント］のいずれかを選択します。

下記の表を参照してください。

アプリケーションソフトの設定		プリンタドライバの設定
［ソースカラースペース］－［ファイル］の表示	［プリントカラースペース］－［プロファイル］の設定	色調整の設定
タグのないRGB	プリンタ側でカラーマネージメント	ICM
出力プリンタのプロファイル	カラースペースを変換しない	色補正なし
その他のプロファイル	プリンタ側でカラーマネージメント	ICM

※プリンタドライバでの［色調整の設定］などの項目も、上記に応じて設定してください。

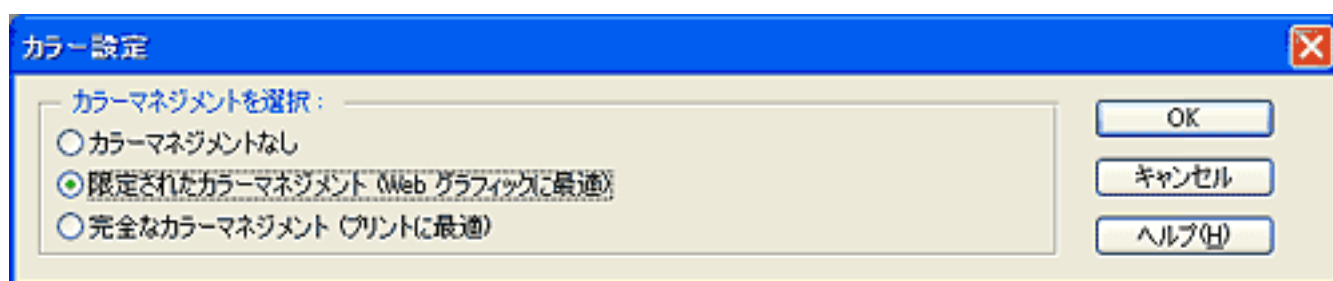
- 「プリンタ側でカラーマネージメント」を選択したとき、「ソースカラースペース」の「ファイル」の表示で表示されているカラースペースの情報が、画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。［タグのないRGB］が表示されているときは、作業スペースで設定されているカラースペースが画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。

アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定(Photoshop Elements 2.0)

ここではPhotoshop Elements 2.0での設定を説明します。詳細はアプリケーションソフトのマニュアル等を参照してください。

作業スペースの設定

画像編集用の画面の作業スペースの設定を行います。

1 ［編集］－［カラー設定］を開きます。

2 カラーマネージメントを選択します。
- ScanGear CSの［出力プロファイル］の設定で「sRGB」を選択した場合は「限定されたカラーマネジメント（Webグラフィックに最適）」を選びます。
- ScanGear CSの［出力プロファイル］の設定で「AdobeRGB」を選択した場合は「完全なカラーマネジメント（プリントに最適）」を選びます。
- それ以外の場合は「カラーマネジメントなし」を選びます。

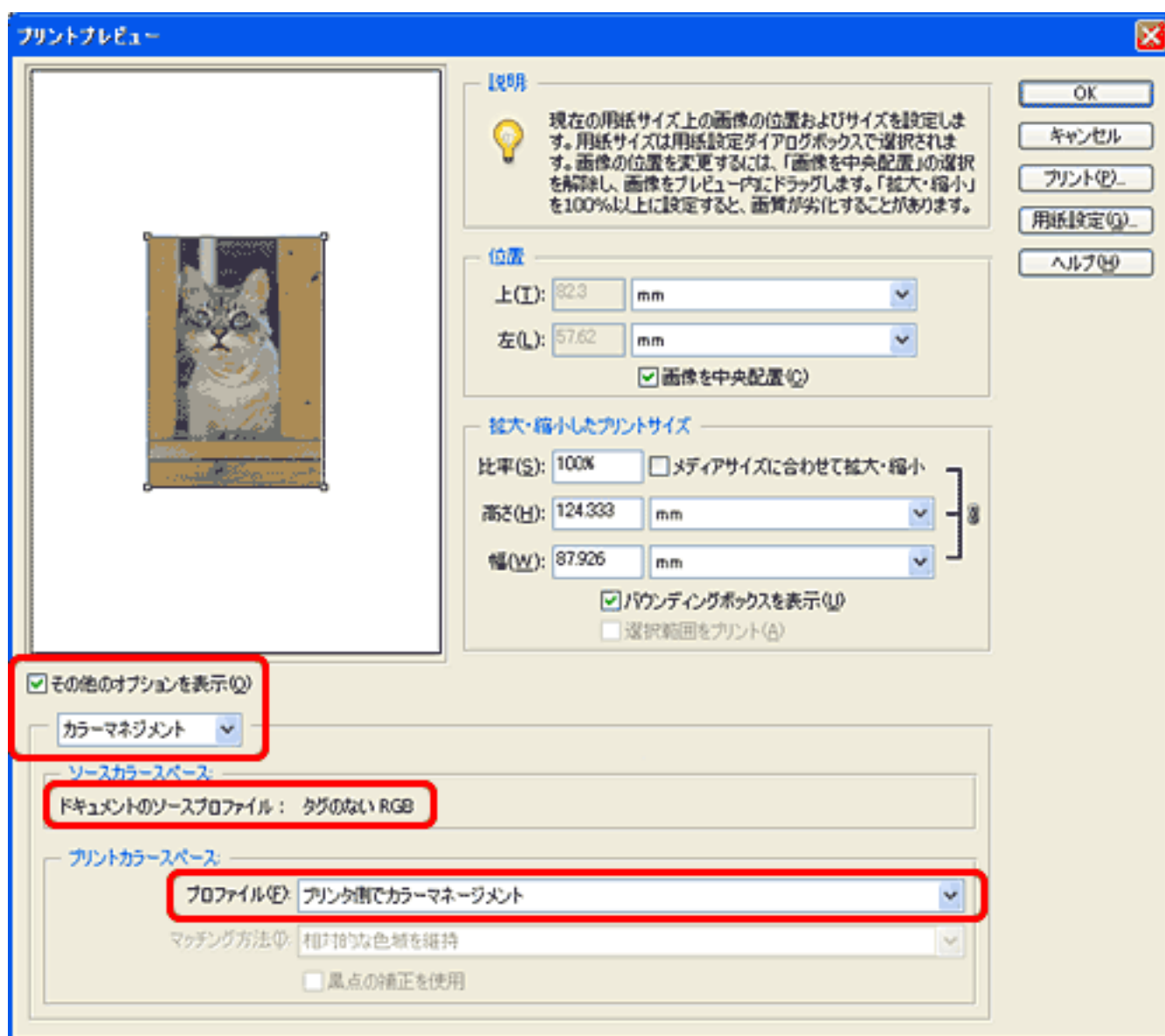
3 ［OK］をクリックして、［カラー設定］画面を閉じます。

プリントの設定

プリンタ出力用のカラースペースの設定を行います。

1. 画像が開いている状態で、［ファイル］－［プリントプレビュー］を選択します。

2. ［その他のオプションを表示］チェックボックスにチェックを入れます。

3. ［その他のオプションを表示］チェックボックスの下のコンボボックスから［カラーマネジメント］を選択します。

［ソースカラースペース］－［ドキュメントのソースプロファイル］に表示されているプロファイルに対応して、［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューの中から［カラースペースを変換しない］、［プリンタ側でカラーマネージメント］のいずれかを選択します。

下記の表を参照してください。

アプリケーションソフトの設定		プリンタドライバの設定
［ソースカラースペース］－［ドキュメントのソースプロファイル］の表示	［プリントカラースペース］－［プロファイル］の設定	色調整の設定
タグのないRGB	プリンタ側でカラーマネージメント	ICM
出力プリンタのプロファイル	カラースペースを変換しない	色補正なし
その他のプロファイル	プリンタ側でカラーマネージメント	ICM

※プリンタドライバでの［色調整の設定］などの項目も、上記に応じて設定してください。

- 「プリンタ側でカラーマネージメント」を選択したとき、「ソースカラースペース」の「ファイル」の表示で表示されているカラースペースの情報が、画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。［タグのないRGB］が表示されているときは、作業スペースで設定されているカラースペースが画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

色調整シートの機能

このシートでは、画像全体の明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色合いにかかわる詳細な設定ができます。
色調整シートは、カラーモードが「カラー」「グレースケール」のときに表示されます。
「白黒」のときはハーフトーンシートに変わり、「テキスト（OCR）」（Windowsの場合のみ）のときは表示されません。

- ［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync（Macintosh）］がオンのとき、色調整シートは表示されません。→「拡張モード／設定シート／詳細設定」の色の設定シート

- 色調整シートを使って画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、スキャン時にもここで調整した結果が反映されます。

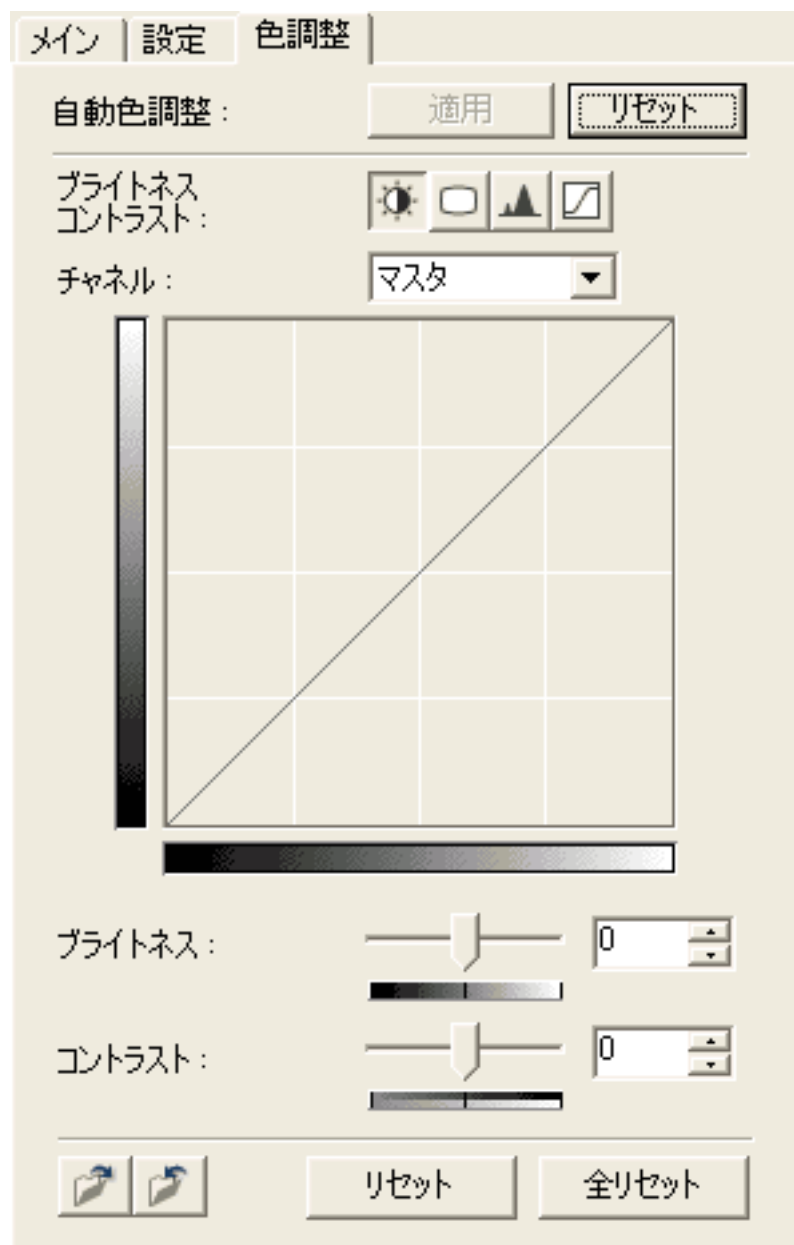
色調整シートのボタンをクリックすると、シート内の設定項目が変わります。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

ブライトネス／コントラスト

ガンマ

ヒストグラム

トーンカーブ

自動色調整 適用 適用ボタン

範囲を指定し［自動色調整］の［適用］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像（クロップ枠で囲まれた画像）の明るさや色合いが最適な状態に自動調整されます。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 自動色調整は選択範囲内（クロップ枠の内側）のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- ［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync（Macintosh）］がオンのときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード／設定シート／詳細設定」の色の設定シート

先頭へ戻る▲

自動色調整　リセットボタン

色調整を行わない状態に戻します。

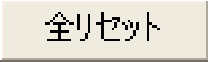
先頭へ戻る▲

 ロードボタン

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。

先頭へ戻る▲

 保存ボタン

各機能の設定状態をカラー調整ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。

- カラー調整ファイルの拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）になります。

先頭へ戻る▲

リセットボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

先頭へ戻る▲

全リセットボタン

「マスタ」「赤」「緑」「青」およびコントラスト／ブライトネス、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

チャネル

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）をさまざまな割合（階調）でミックスすることにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

マスタ	赤（R）、緑（G）、青（B）を統合した状態での調整／設定を行います。
赤	画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
緑	画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
青	画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

 ・ ［カラーモード］が「グレースケール」のとき、チャネルは表示されません。

先頭へ戻る▲

グラフ表示部

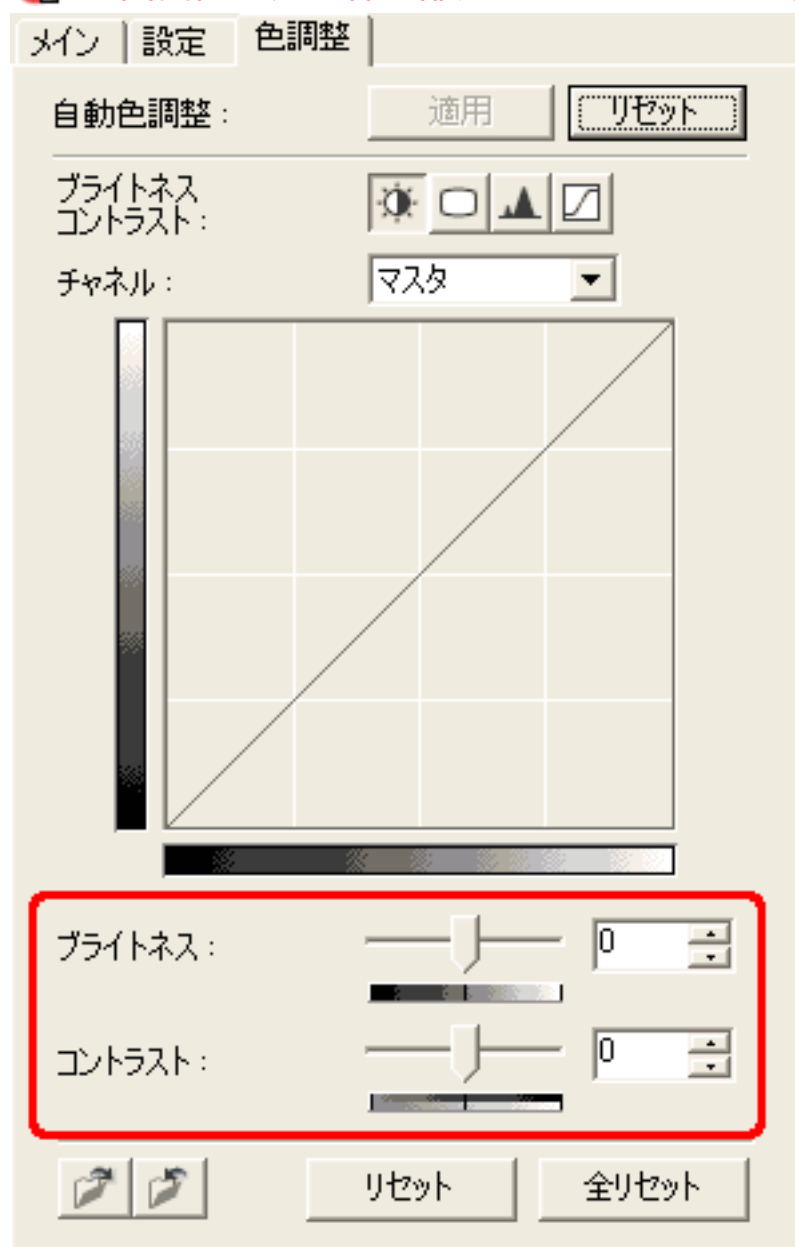
ブライトネス／コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブの各設定内容を表すグラフが表示されます。「トーンカーブ」を選択したときは、グラフを直接編集して調整することができます。

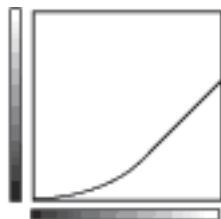
先頭へ戻る▲

ブライトネス／コントラスト

画像全体、または画像の各要素のRGBの明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）を調整します。スキャンする前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。
［ブライトネス／コントラスト］ボタンを選択してから行います。［ブライトネス／コントラスト］ボタンをクリックすると、色調整シートにブライトネス／コントラストの設定項目が表示されます。

- ［カラーモード］がカラーとグレースケールのときに有効な調整項目です。
- ブライトネスとコントラストの調整方法の詳細は、「もっと上手にスキャンする」のブライトネスとコントラストの調整方法をご覧ください。

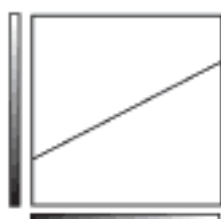
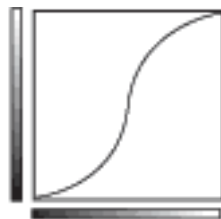
画面内の赤い枠の部分をクリックすると詳細説明を表示します。

ブライトネス

スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明るくなり、左に動かすほど暗くなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

 ・ 入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

コントラスト

スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明暗差が大きくなり、左に動かすほど少なくなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

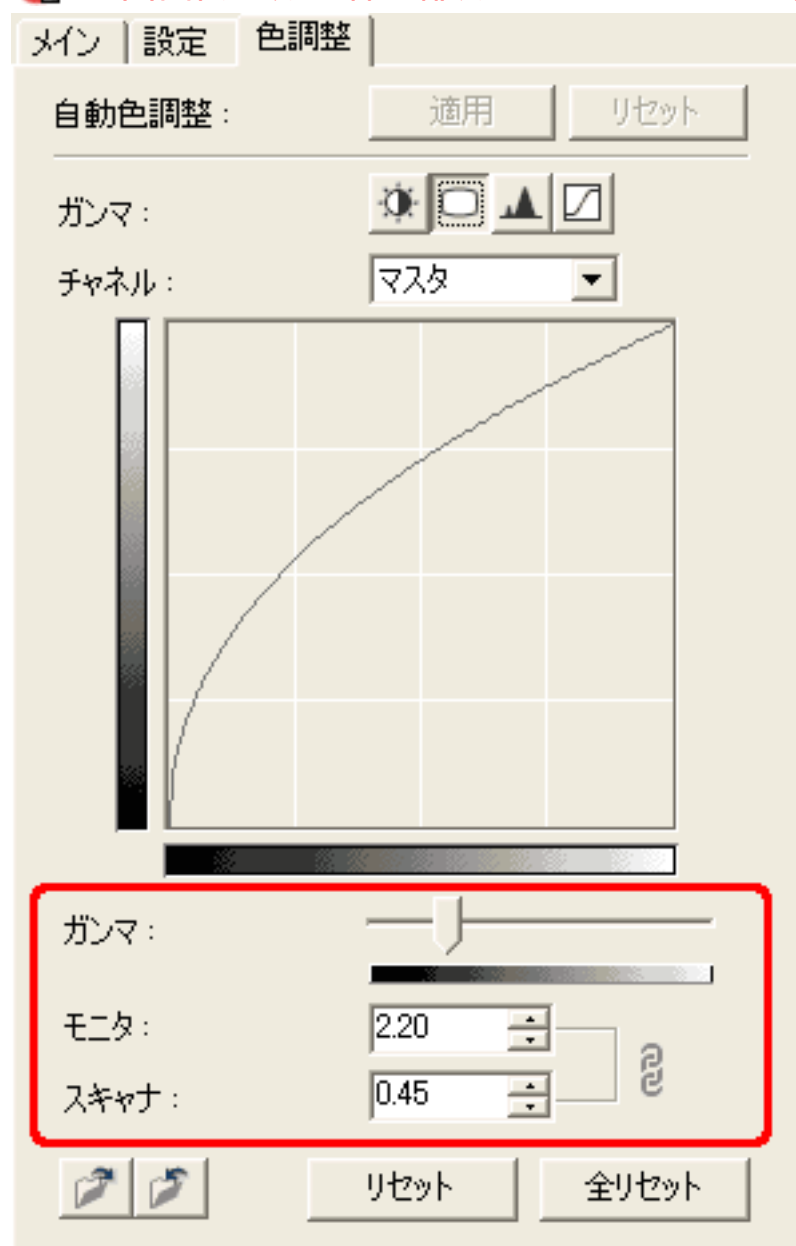
・ 入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

ガンマ

モニタ（ディスプレイ）のガンマ値を設定することで、そのモニタの特性に合った明るさに調整します。元の画像の色調と、モニタに表示された画像の色調が違う場合に設定します。
画像の調整は、［ガンマ］ボタンを選択してから行います。［ガンマ］ボタンをクリックすると、色調整シートにガンマの設定項目が表示されます。

- ［カラーモード］がカラーとグレースケールのときに有効な調整項目です。
- ガンマ値の設定に関する詳細は「もっと上手にスキャンする」のガンマ値の設定方法をご覧ください。

画面内の赤い枠の部分をクリックすると詳細説明を表示します。

ガンマ

スライダを左右にドラッグしてガンマ値を設定します。右に動かすほどモニタのガンマ値が大きくなり、左に動かすほど小さくなります。ここでの設定と連動して、［スキャナ］と［モニタ］の数値とグラフが変化します。

先頭へ戻る▲

モニタ／スキャナ

モニタ：2.20
スキャナ：0.45

［スキャナ］または［モニタ］のガンマ値を直接入力します。入力できる値は0.10 ～ 10.00 です。［スキャナ］と［モニタ］の項目は連動しており、片方に数値を入力すると、もう片方には入力した数値の逆数が自動的に設定されます。また、ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

先頭へ戻る▲

ヒストグラム

どれだけの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を適切に指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。
画像の調整は、ヒストグラムボタンを選択してから行います。

- ［カラーモード］がカラーとグレースケールのときに有効な調整項目です。
- ヒストグラムの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンする」のヒストグラムの見かたと調整をご覧ください。

暗点スライダ

スライダを左右にドラッグして暗点レベルを設定します。ここの設定より暗いデータはすべてレベル0（シャドウ）になります。ここでの設定と連動して、暗点レベル入力ボックスの数値が変化します。

 ・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

中間点スライダ

明点と暗点の中間に自動的に移動します。左右にドラッグして中間点レベルを設定することもできます。この設定の明るさがレベル128（ハイライトとシャドウの中間）になります。

 ・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

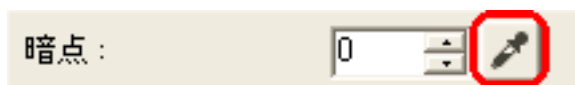
先頭へ戻る▲

明点スライダ

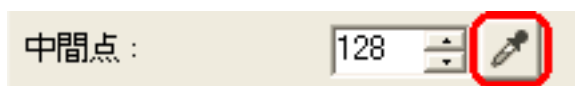
スライダを左右にドラッグして明点レベルを設定します。ここの設定より明るいデータはすべてレベル255（ハイライト）になります。ここでの設定と連動して、明点レベル入力ボックスの数値が変化します。

 ・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

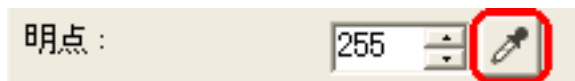
先頭へ戻る▲

暗点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を黒（0）に設定します。

先頭へ戻る▲

中間点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を中間点に設定します。

先頭へ戻る▲

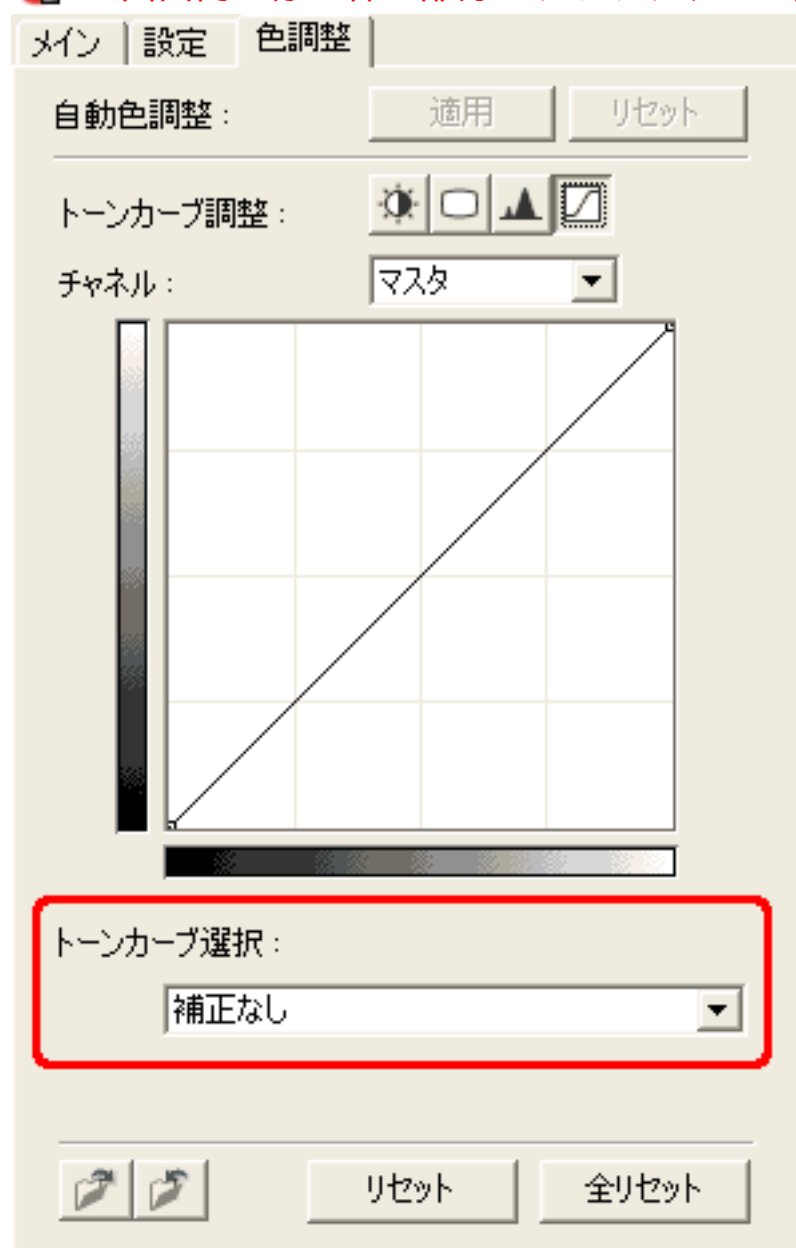
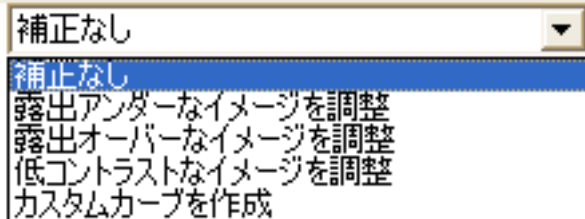
明点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を白（255）に設定します。

先頭へ戻る▲

トーンカーブ

明暗のバランスを示した「トーンカーブ」というグラフの形を編集して入力と出力のバランスを調整し、画像の明るさを調整します。トーンカーブによる設定では、特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。
画像の調整は、［トーンカーブ］ボタンを選択してから行います。［トーンカーブ］ボタンをクリックすると、色調整シートにトーンカーブの設定項目が表示されます。

- ［カラーモード］がカラーとグレースケールのときに有効な調整項目です。
- トーンカーブの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンするには」のトーンカーブの見かたと調整をご覧ください。

画面内の赤い枠の部分をクリックすると詳細説明を表示します。

トーンカーブ選択

トーンカーブの調整を、次の中から選択します。

・補正なし
・露出アンダーなイメージを調整
・露出オーバーなイメージを調整
・低コントラストなイメージを調整
・カスタムカーブを作成

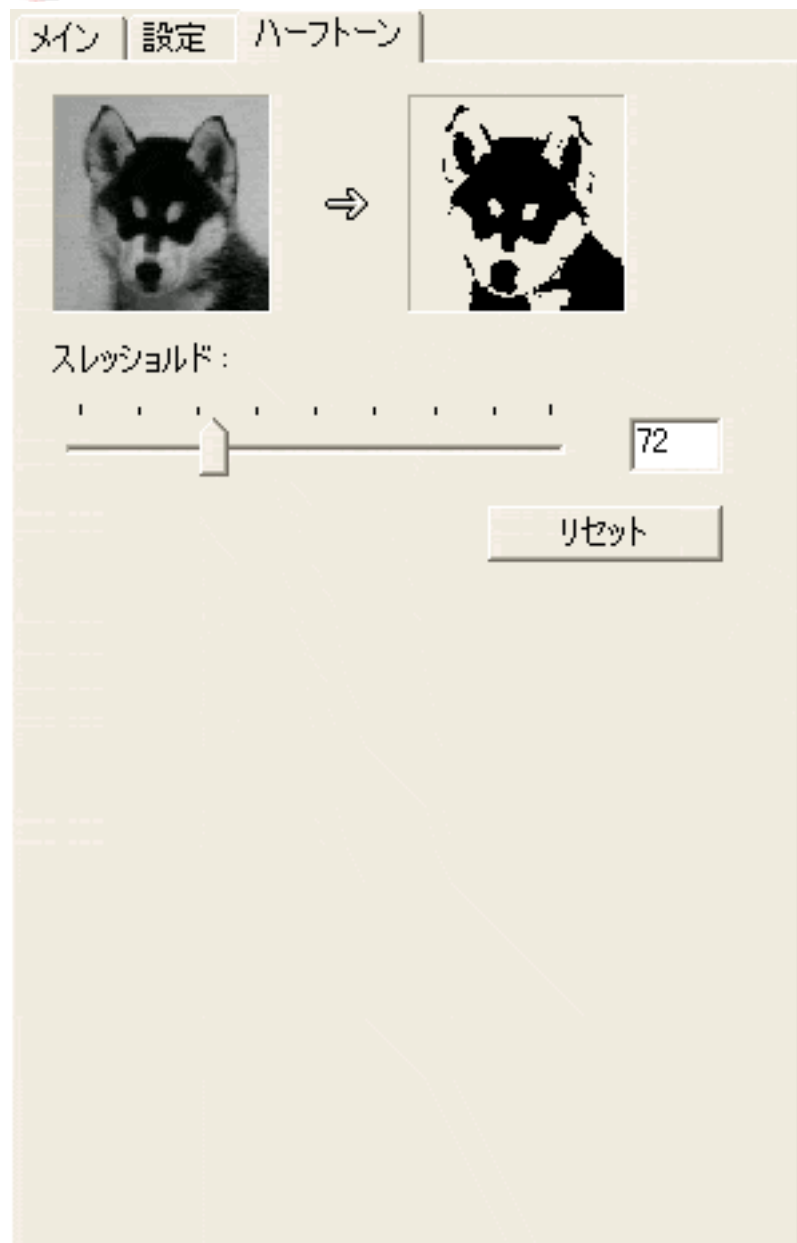
トーンカーブ選択ー「カスタムカーブの作成」の設定
「カスタムカーブを作成」を選択すると、グラフ表示部が編集可能になります。次のような操作でグラフを編集できます。

- グラフ表示部の任意の点をクリックすると、その点を通る滑らかな曲線が作られます。指定した点は黒で表示されます。指定できる点の数は両端を含めて15個以内です。
- 点を移動するときは、マウスドラッグをします。このとき、トーンカーブも連動して変形します。
- 点を削除するときは、グラフの外に点をドラッグします。（Windows の場合は、右クリックで削除できます）
- グラフ表示部を直接クリックしても、「カスタムカーブを作成」を選択した状態になります。

先頭へ戻る▲

ハーフトーンシートの機能

カラーやグレースケールの画像では明るさを0～255の数値で表現しますが、白黒の場合は中間色の部分も、白（255）と黒（0）のいずれかに分けて表現します。このときの、白と黒に分ける境を「スレッショルド」といいます。スレッショルドは、文字原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減するときに便利な機能です。ハーフトーンシートでは、このスレッショルドの設定を行います。

画面内をクリックすると詳細説明を表示します。

- ［カラーモード］が「白黒」のときに有効な調整項目です。「白黒」にすると、色調整シートがハーフトーンシートに変わります。

スレッショルド

スライダを左右にドラッグしてスレッショルドを設定します。右に動かすほど値は大きくなり、左に動かすほど値は小さくなります。ここでの設定と連動して、入力ボックスの数値が変化します。

- 入力ボックスに、スレッショルドの値を直接入力することもできます。入力できる値は0 ～ 255 です。ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

スレッショルドの調整
スレッショルドの値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。

先頭へ戻る▲

リセット リセットボタン

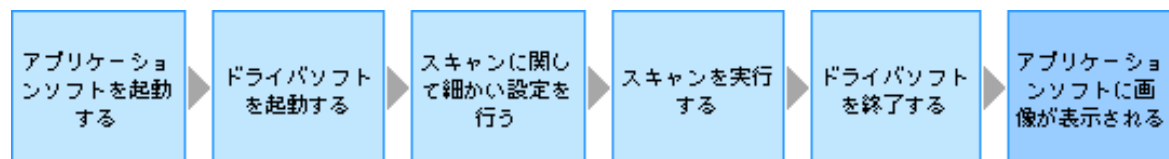
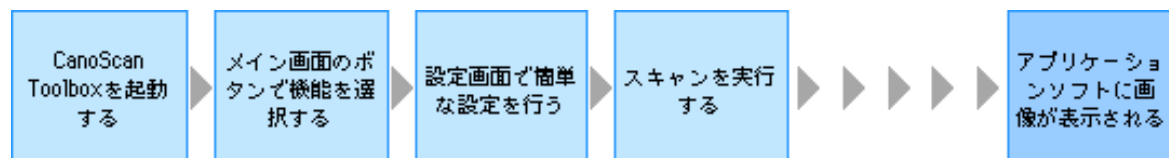
このボタンをクリックすると、変更されたスレッショルドの値が初期値に戻ります。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた
ScanGear CS
CanoScan Toolbox
・CanoScan Toolboxの起動
・スキャンの手順
・ボタンの機能
その他のアプリケーションソフトウェア
ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
ImageBrowser（Macintosh）
PhotoStudio
e.Typistエントリー
Acrobat Reader

CanoScan Toolbox

CanoScan Toolboxは、スキャナをより便利に活用するためのソフトウェアです。

たとえば、「写真をスキャンして画像処理アプリケーションソフトで表示させたい」というようなとき、通常は、次のような手順が必要です。

ところが、CanoScan Toolboxを使うと、次のような手順になります。

さらに、スキャナ前面のEZボタンを利用すれば、次のようになります。

このように、スキャナをより気軽に、手早く活用するためのソフトウェアがCanoScan Toolboxです。

なお、「CanoScan Toolbox」のことを略して「Toolbox」と表記します。

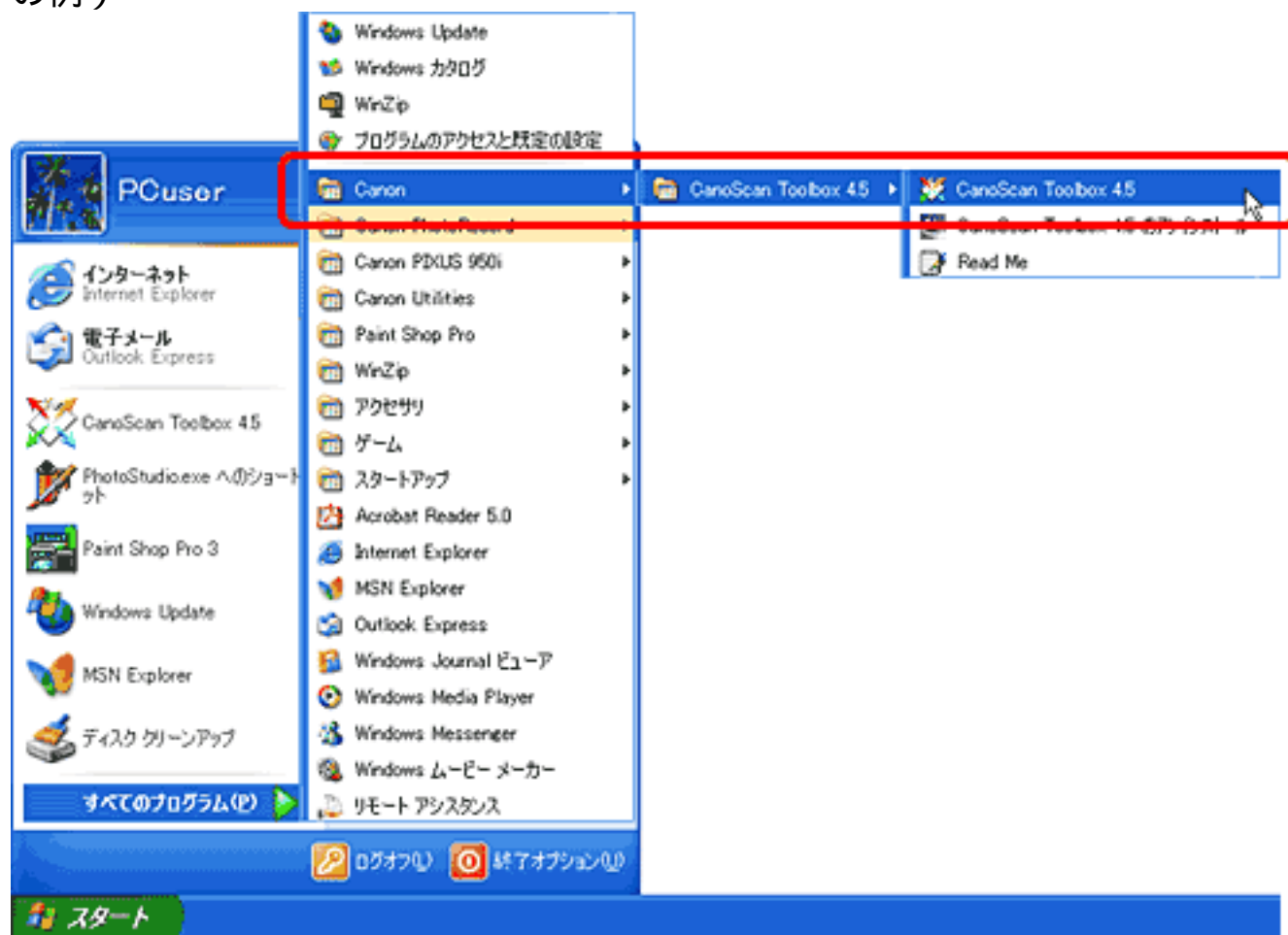
具体的な操作方法については、下の各項目をクリックしてください。

CanoScan Toolboxの起動
スキャンの手順
ボタンの機能

CanoScan Toolboxの起動

・ Toolbox を起動するときは、ScanGear CSがインストールされ、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

Windows

［スタート］をクリックし、［（すべての）プログラム］の［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.5］から［CanoScan Toolbox 4.5］を選択します。（下の画面はWindows XPの例）

これで、Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- Toolboxを終了するときは、メイン画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

Macintosh

Mac OS X：Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.5］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox］アイコンをダブルクリックします。

これで、Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- Toolboxを終了するときは、メイン画面で［クローズボックス］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

スキャンの手順

Toolboxを使ったスキャンの基本的な手順を簡単に説明します。

1. Toolboxのメイン画面で目的のボタンをクリックします。
   - スキャンした原稿を印刷したいとき→［コピー］ボタン
   - スキャンした原稿を確認しながらレイアウトして印刷したいとき→［プリント］ボタン
   - スキャンした原稿をメールで送信したいとき→［メール］ボタン
   - スキャンした原稿をテキストデータにしたいとき→［OCR］ボタン
   - スキャンした原稿を指定した先へ保存したいとき→［保存］ボタン
   - スキャンした原稿をPDF形式の文書にしたいとき→［ファイル］ボタン
   - スキャンした原稿を画像ファイルとして管理したり、編集したいとき→［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン

2. 原稿の種類やスキャンの方法、解像度（コピー、プリントでは入力解像度、その他では出力解像度）などを選択します。
（設定する項目は目的の機能により異なります。）

3. 必要に応じて、スキャンした画像の保存先やプリンタの設定を行います。

4. ［スキャン］ボタンをクリックします。

5. （［プリント］ボタンのみ）
印刷レイアウト画面で設定をして、［印刷］をクリックします。

- Toolboxを使ったスキャンの詳しい操作手順については、「スキャンの手順」の「CanoScan Toolboxを使ってスキャンする」をご覧ください。

ボタンの機能

- ［コピー］ボタン（コピー画面）
  - 並行処理コピー
- ［プリント］ボタン（プリント画面）
  - 印刷レイアウト画面
    - スキャン画像の確認とExif情報の入力
      - Exif設定画面
- ［メール］ボタン（メール画面）
  - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - Exif設定画面
    - ［PDF設定］画面
- ［OCR］ボタン（OCR画面）
- ［保存］ボタン（保存画面）
  - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - Exif設定画面
    - ［PDF設定］画面
- ［ファイル］ボタン（ファイル画面）
  - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［PDF設定］画面
- ［スキャン-1］［スキャン-2ボタン］（スキャン画面）
  - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - Exif設定画面
- ［設定］ボタン（設定画面）
- 前のメニューに戻る

ボタンの機能

Toolboxのメイン画面には、次のようなボタンが用意されています。

Windows

ボタンをクリックするとボタンの機能の説明を表示します。

Macintosh

ボタンをクリックするとボタンの機能の説明を表示します。

機能ボタン

ボタンをクリックすると各機能の設定に関する詳細説明を表示します。

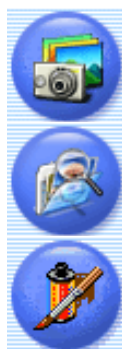
 ［コピー］ボタン　スキャンした画像を、プリンタで印刷します。

 ［プリント］ボタン　原稿をスキャンし、「印刷レイアウト画面」で用紙や印刷方法、大きさや位置などを決めて印刷します。写真の焼き増しや引き伸ばし印刷に便利です。

 ［メール］ボタン　スキャンした画像を、メールソフトの新規メールに添付します。ファイルの種類や保存先などの設定ができます。

 ［OCR］ボタン　スキャンした画像（文字原稿）を、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」でテキストデータとして読み取ります。出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。

 ［保存］ボタン　スキャンした画像を、指定された保存先へ保存します。出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。

 ［ファイル］ボタン　スキャンした画像を、「Adobe Acrobat Reader」のPDF文書として保存します。出力解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できます。

［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン	スキャンした画像を、付属のアプリケーションソフトへ渡します。初期設定では、［スキャン-1］ボタンに「ZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）」、［スキャン-2］ボタンに「ArcSoft PhotoStudio」が登録されています。

［設定］ボタン	スキャナ本体前面のEZボタンを、Toolboxの別の機能に対応させることができます。

- これらの機能を使うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのアプリケーションソフトがインストールされていることが必要です。すべてのアプリケーションソフトをインストールすると、［OCR］ボタンには「e.Typist エントリー」が、［ファイル］ボタンには「Adobe Acrobat Reader」が、［スキャン-1］ボタンには「ZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）」が、［スキャン-2］ボタンには「ArcSoft PhotoStudio」が自動的に登録されます。
- ［コピー］ボタン、［プリント］ボタンを使うには、プリンタドライバがインストールされプリンタが使用できる状態になっていることが必要です。また、スキャナとプリンタがパソコンに接続され、同時に使用できる状態になっている必要があります。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9: Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

- OCRソフトとは、本や新聞などの活字をテキストデータに変換するソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集できます。
- ［OCR］ボタン、［ファイル］ボタン、［スキャン-1］および［スキャン-2］のボタンには、別のアプリケーションソフトをリンク（登録）することができます。他のアプリケーションソフトをリンクする方法については、各ボタンの「スキャン画像の渡し先」をご覧ください。
- ［スキャン-1］ボタンおよび［スキャン-2］ボタンのボタン名を変更することができます。ボタンの下にある「スキャン-1」または「スキャン-2」の部分をクリックすると、文字入力ができる状態になります。キーボードを使ってリンクしたアプリケーションソフトの名前などを入力してください。
  アプリケーションソフトの名前は、半角8文字（全角4文字）までの文字で入力します。文字の入力が終わったら、［Enter］または［return］キーを押します。

EZボタンアイコン

スキャナ前面のEZボタンが、Toolboxのどの機能に割り当てられているかを示しま

す。割り当てられている機能ボタンの上にEZボタンのアイコンが表示されます。

- EZボタンについてはEZボタンでスキャンするをご覧ください。
- EZボタンをToolboxの他の機能に変更することができます。割り当てる機能を変更するには、メイン画面のEZボタンアイコンを別の機能ボタンの上にドラッグします。操作の詳細については、［設定］ボタンのボタンのリンクをご覧ください。

その他のボタン

Windows

［最小化］ウィンドウを最小化します。
［閉じる］Toolboxを終了します。

Macintosh

［シェードボックス］タイトルバーだけの表示にします。（もう一度クリックすると元に戻ります。）
［クローズボックス］Toolboxを終了します。

先頭へ戻る▲

［コピー］ボタン（コピー画面）

原稿をスキャンして、プリンタで印刷します。

- スキャンした画像を印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。

- Windows
  Canon PIXUSシリーズのプリンタをお使いの場合には、スキャナでの画像の読み込みと並行してプリンタで印刷を行い、処理時間を短縮する並行処理コピーができます。→並行処理コピー

Toolboxのメイン画面で（［コピー］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Windows

Macintosh

- Windows お使いのプリンタによって表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

原稿の種類

原稿の種類：　紙/写真

紙/写真

スキャンする原稿の種類を選択します。
かならず「紙/写真」になります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンの方法を選択します。

スキャンモード：　カラー

白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

次の6つのモードから選択できます。

白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷されます。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

入力解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像を出力できます。

■白黒、グレースケールの場合

入力解像度：高画質(600dpi)
ドラフト(150dpi)
標準(300dpi)
高画質(600dpi)

■カラーの場合

入力解像度：高画質(300dpi)
ドラフト(75dpi)
標準(150dpi)
高画質(300dpi)
拡大印刷(600dpi)

次の4つの解像度を選択できます。

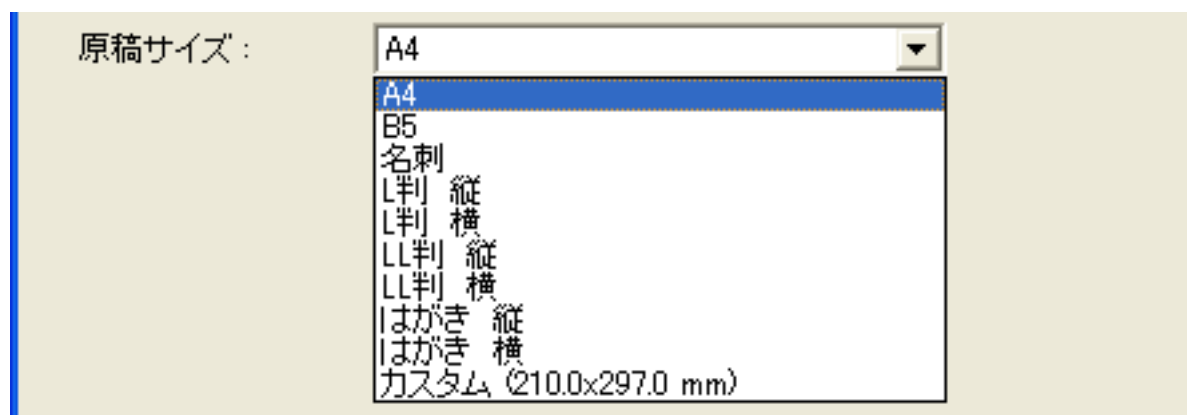
ドラフト	白黒、グレースケールの場合は150dpiでスキャンします。 カラーの場合は75dpiでスキャンします。
標準	白黒、グレースケールの場合は300dpiでスキャンします。 カラーの場合は150dpiでスキャンします。
高画質	白黒、グレースケールの場合は600dpiでスキャンします カラーの場合は300dpiでスキャンします。
拡大印刷	カラーの場合は600dpiでスキャンします。 Windows 白黒、グレースケールの場合には選択できません。 Macintosh 白黒、グレースケールおよび［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合には選択できません。

- 拡大／縮小で「用紙に合わせる」が選択された場合には、状況に応じて自動的に解像度が変更されます。
- Macintoshの場合、原稿の横幅が4096ピクセル以上の画像は印刷できないため、原稿サイズによっては、［高画質（600dpi）］、「拡大印刷（600dpi）」が選択できません。

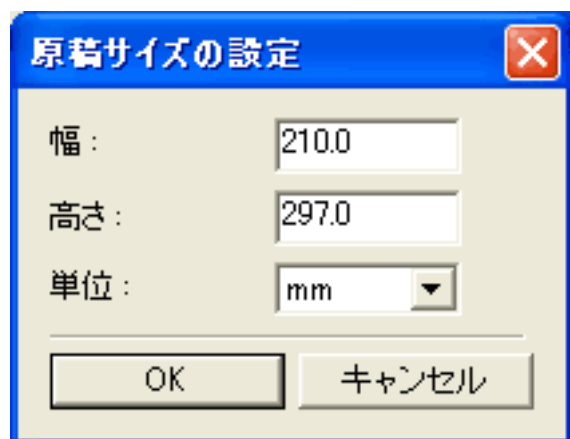
- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

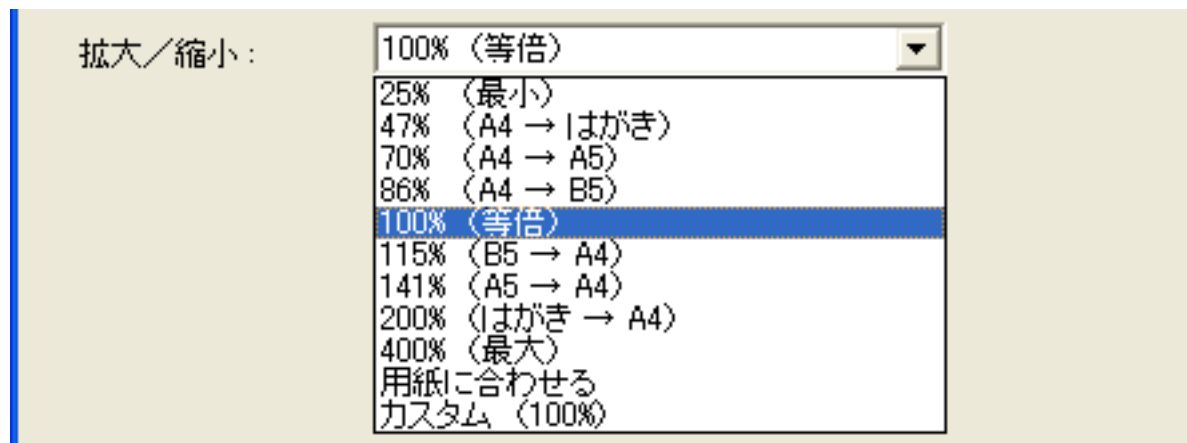
スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

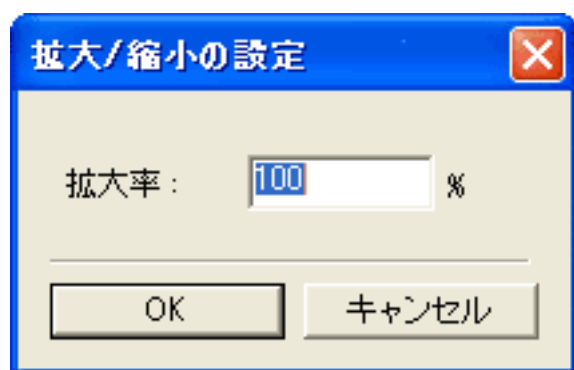
先頭へ戻る▲

拡大／縮小

印刷する用紙や使用目的に合わせ、自由に拡大や縮小が選択できます。

原稿のサイズと印刷する用紙に合わせ、次のような9種類の拡大率（%）や自動設定、手動による拡大率指定が選択できます。

25%（最小）、47%（A4→はがき）、70%（A4→A5）、86%（A4→B5）、100%（等倍）、115%（B5→A4）、141%（A5→A4）、200%（はがき→A4）、400%（最大）、用紙に合わせる、カスタム

［用紙に合わせる］を選択した場合は、スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

「カスタム」を選択した場合は、［パーセンテージ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。 25～400%の範囲が入力できます。

先頭へ戻る▲

明るさ

明るさ：

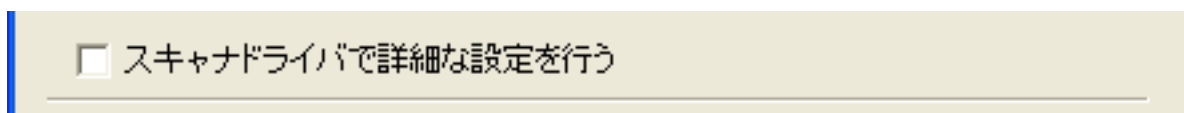
スキャンの明るさを設定します。
ツマミを左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［明るさ］は設定できません。

- ［スキャンモード］が「白黒」の場合は、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

先頭へ戻る▲

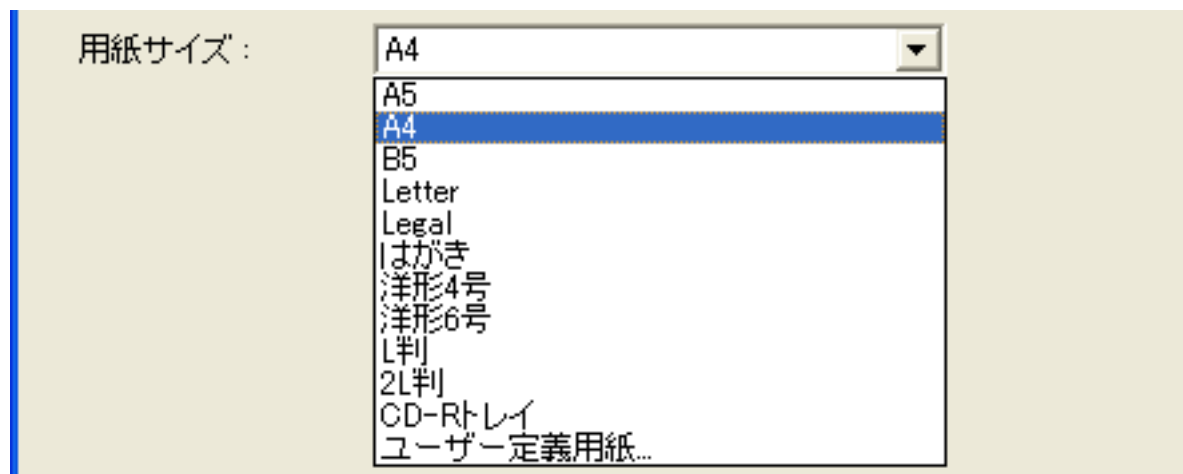
スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
［原稿の種類］［スキャンモード］［入力解像度］［原稿サイズ］などのスキャナの設定項目はすべてグレーアウトになって設定できなくなり、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

先頭へ戻る▲

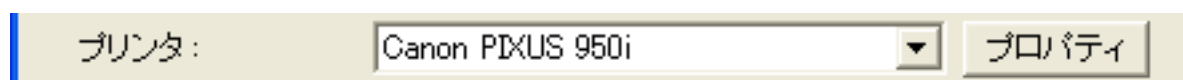
プリンタの設定　Windows

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

 ・ 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

先頭へ戻る▲

コピー枚数

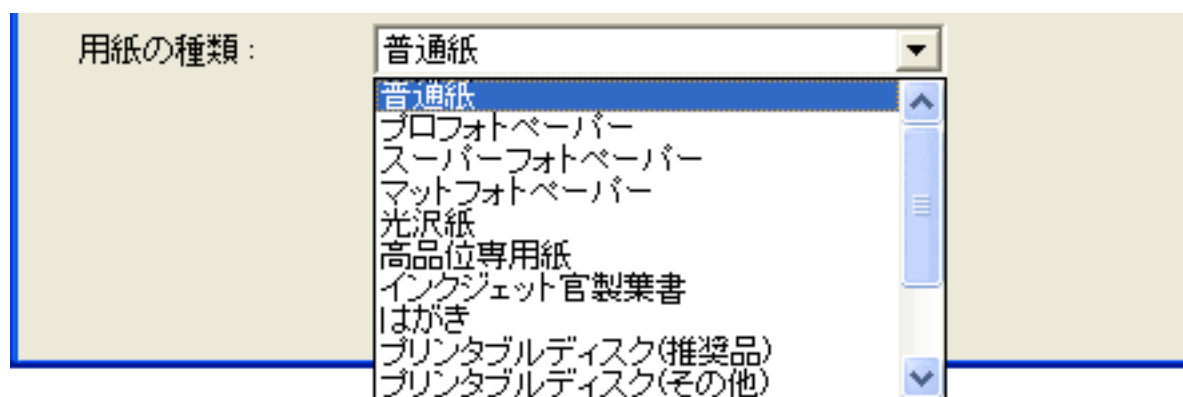
印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］ボタン、［▼］ボタンをクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

先頭へ戻る▲

プリンタ

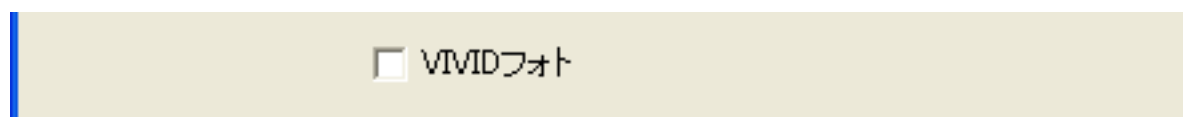
複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

先頭へ戻る▲

用紙の種類

用紙の種類：普通紙
- 普通紙
- プロフォトペーパー
- スーパーフォトペーパー
- マットフォトペーパー
- 光沢紙
- 高品位専用紙
- インクジェット官製葉書
- はがき
- プリンタブルディスク(推奨品)
- プリンタブルディスク(その他)

使用する用紙の種類を選択します。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。

先頭へ戻る▲

VIVIDフォト

☐ VIVIDフォト

この項目にチェックマークを付けると、原稿を鮮やかな色味で印刷します。
草木や空、海を背景にした人物写真などに効果があります。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「VIVIDフォト」に対応しているモデルのみ選択できます。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Macintosh

プリンタ選択 ［プリンタ選択］ボタン（Mac OS 9のみ）

印刷するプリンタを選択します。
［プリンタ選択］ボタンをクリックすると、セレクタの画面が表示されます。
セレクタの画面で使用するプリンタを選択します。

・ Mac OS Xでは、プリンタは［用紙設定］ボタンで選択してください。

先頭へ戻る▲

用紙設定 ［用紙設定］ボタン

印刷する用紙の設定を行います。
用紙のサイズや印刷方向、拡大/縮小などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

・ Mac OS Xは、［対象プリンタ］のプルダウンメニューで使用するプリンタを選択します。

先頭へ戻る▲

［印刷設定］ボタン

印刷する部数やページ、印刷の品質や方法などを設定します。

先頭へ戻る▲

［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- スキャナ前面にある COPYボタン、SCANボタン、FILEボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。
設定を変更した場合、［適用］ボタンが押されていないと、設定した内容は無効になります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容で原稿をスキャンして、印刷します。
「スキャナドライバで詳細な設定を行う」にチェックマークを付けた場合は、ScanGear CSの画面が表示されます。

- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択し、複数の原稿をスキャンした場合は、複数の原稿を印刷します。
- プリンタで印刷する方法については、「目的別スキャナ活用法」の原稿をコピーしたい、写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

Windows 並行処理コピー

Canon PIXUSシリーズのプリンタをお使いの場合には、スキャナでの画像の読み込みと並行してプリンタで印刷を行い、処理時間を短縮する並行処理コピーができます。

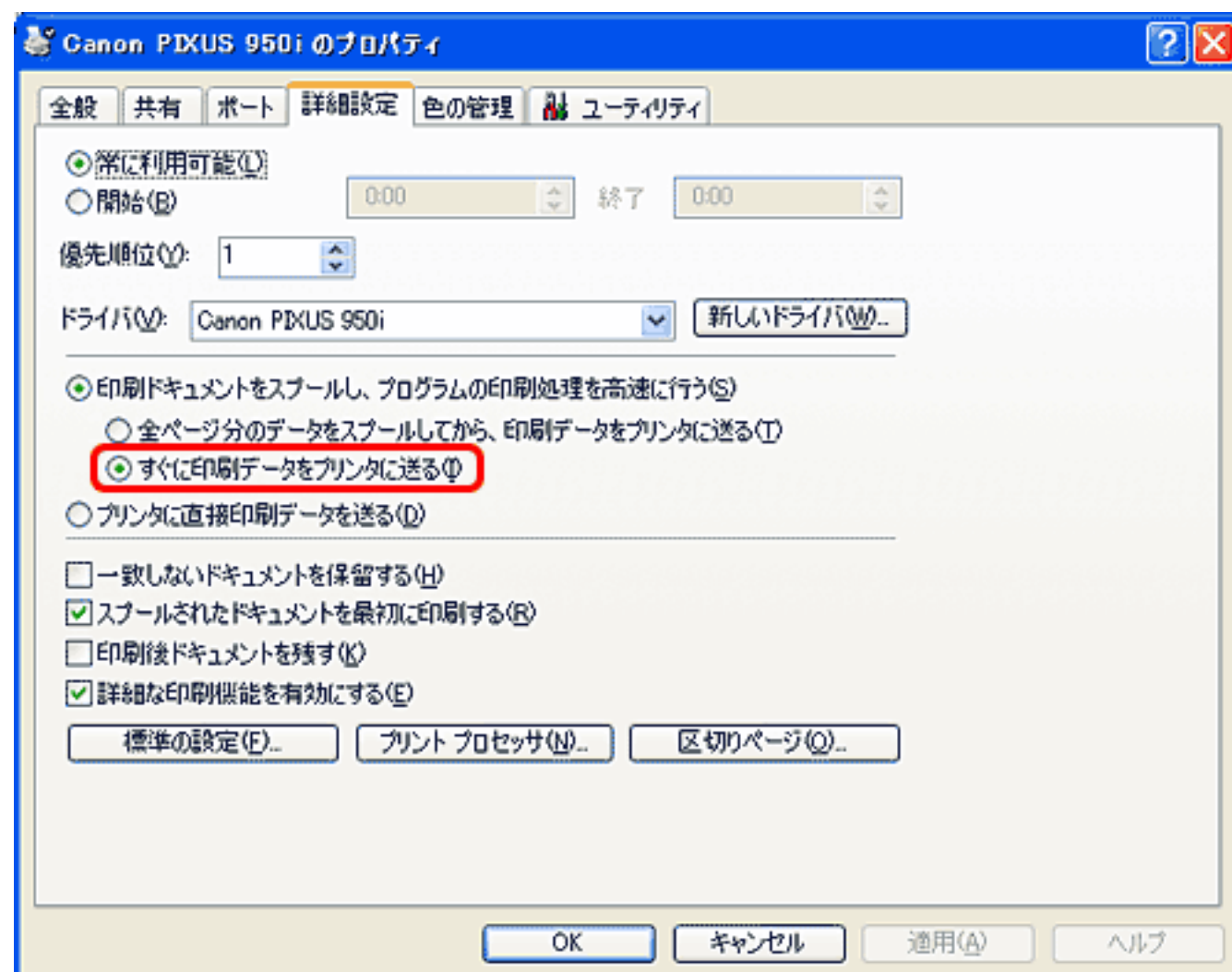
システム構成

対応プリンタ	PIXUS 950i/PIXUS 850i/PIXUS 550i/PIXUS 6100i/PIXUS 6500i/PIXUS 9100i F930/F900/895PD/F890PD/F890/S700/S530/535PD/S500 プリンタドライバのバージョンアップが必要です。（ドライバ Ver.1.6以上）*
インタフェース	スキャナ側：USB2.0 プリンタ側：USB1.1/2.0 （IEEE1394、パラレルは対応していません）
対応OS	Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional

* 対応機種について詳しくは、キヤノスキャンホームページをご参照ください。

プリンタドライバの設定

かならず「すぐに印刷データをプリンタに送る」を選択します。

- プリンタドライバを表示するには
  [スタート]メニューの[プリンタとFAX]を開いて、使用しているプリンタを右クリックして、「プロパティ」を選びます。プロパティのダイアログで「詳細設定」タブをクリックします。

CanoScan Toolboxの設定

並行処理コピーを行うには、次のような設定条件があります。

コピー
[コピー]
スキャン画像をコピーします。
スキャナの設定
原稿の種類：
紙/写真
スキャンモード：
カラー
入力解像度：
高画質(300dpi)
原稿サイズ：
A4
拡大/縮小：
100% (等倍)
明るさ：
スキャナドライバで詳細な設定を行う
プリンタの設定
用紙サイズ：
A4
コピー枚数：
1
プリンタ：
Canon PIXUS 950i
プロパティ
用紙の種類：
普通紙
VIVIDフォト
初期設定に戻す
適用
キャンセル
スキャン
原稿の種類：
紙 / 写真
スキャンモード：
白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
出力解像度：
ドラフト（75dpi）
標準（150dpi）
高画質（300dpi）
スキャナドライバで詳細な設定を行う：
チェックしない
用紙の種類：
普通紙

先頭へ戻る▲

［プリント］ボタン（プリント画面）

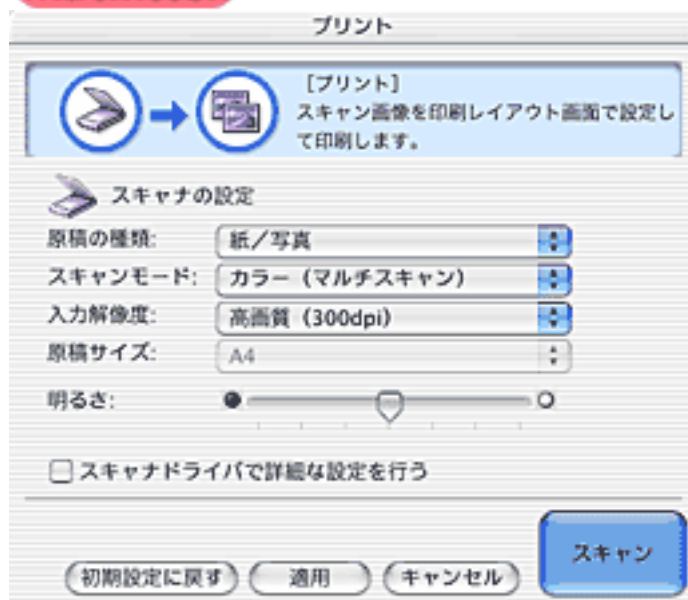
原稿をスキャンし、印刷レイアウト画面で用紙や印刷方法、大きさや位置などを決めて印刷します。

・スキャンした画像を印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。

Toolboxのメイン画面で（［プリント］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Windows

Macintosh

・Windows お使いのプリンタによって表示内容が一部異なります。

プリント画面では、［スキャン］ボタンのクリックで、スキャンが開始され、原稿読み取りが終わると、「印刷レイアウト」画面に、スキャン画像が表示されます。印刷レイアウト画面で設定や、編集を行い、［印刷］ボタンをクリックすると、プリンタへの出力が行われます。→印刷レイアウト画面

先頭へ戻る▲

原稿の種類

原稿の種類：　紙/写真
紙/写真

スキャンする原稿の種類を選択します。
かならず「紙/写真」になります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンの方法を選択します。

スキャンモード：　カラー（マルチスキャン）
白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

次の6つのモードから選択できます。

白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが、印刷レイアウト画面に送られます。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

入力解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像を出力できます。

■白黒、グレースケールの場合

入力解像度：高画質(600dpi)
ドラフト(150dpi)
標準(300dpi)
高画質(600dpi)

■カラーの場合

入力解像度：高画質(300dpi)
ドラフト(75dpi)
標準(150dpi)
高画質(300dpi)
拡大印刷(600dpi)

次の4つの解像度を選択できます。

ドラフト	白黒、グレースケールの場合は150dpiでスキャンします。 カラーの場合は75dpiでスキャンします。
標準	白黒、グレースケールの場合は300dpiでスキャンします。 カラーの場合は150dpiでスキャンします。
高画質	白黒、グレースケールの場合は600dpiでスキャンします カラーの場合は300dpiでスキャンします。
拡大印刷	カラーの場合は600dpiでスキャンします。 Windows 白黒、グレースケールの場合には選択できません。 Macintosh 白黒、グレースケールおよび［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合には選択できません。

- Macintoshの場合、原稿の横幅が4096ピクセル以上の画像は印刷できないため、原稿サイズによっては、［高画質（600dpi)］、「拡大印刷（600dpi）」が選択できません。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

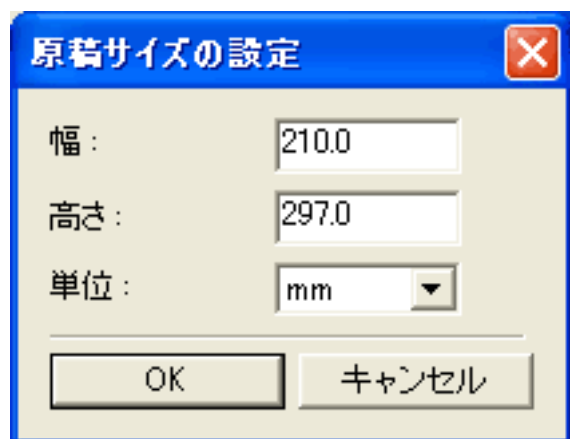
先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

先頭へ戻る▲

明るさ

明るさ：

スキャンの明るさを設定します。
ツマミを左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［明るさ］は設定できません。

- ［スキャンモード］が「白黒」の場合は、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

先頭へ戻る▲

スキャナドライバで詳細な設定を行う

□ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
［原稿の種類］［スキャンモード］［入力解像度］［原稿サイズ］などのスキャナの設定項目はすべてグレーアウトになって設定できなくなり、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷レイアウト画面に転送されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- スキャナ前面にある COPYボタン、 SCANボタン、 FILEボタン、 E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。
設定を変更した場合、［適用］ボタンが押されていないと、設定した内容は無効になります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容で原稿をスキャンして、印刷レイアウト画面を表示します。→印刷レイアウト画面
「スキャナドライバで詳細な設定を行う」にチェックマークを付けた場合は、先にScanGear CSの画面が表示され、スキャンボタンを押した後に印刷レイアウト画面が表示されます。

- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択し、複数の原稿をスキャンした場合は、複数の原稿をレイアウトして印刷できます。
- プリンタで印刷する方法については、「目的別スキャナ活用法」の原稿をコピーしたい、写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

印刷レイアウト画面

印刷時のレイアウトについての設定を行います。
プリント画面で［スキャン］ボタンをクリックすると、スキャン終了後に次のような画面が表示されます。

Windows

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Macintosh

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

印刷レイアウト

プリンタ選択
用紙設定
印刷設定
センタリング: 適用
用紙に合わせる: 適用
用紙全体に拡大: 適用
テキストボックス: 追加 書式設定
出力サイズ: 幅: 19.4センチ
高さ: 27.7センチ
出力解像度: 134 dpi
保存 印刷 終了

先頭へ戻る▲

表示エリア

印刷の出力イメージを表示します。
外側の太枠は、用紙のサイズを示しています。内側の赤色の枠は印刷可能領域を、青色の枠は、画像の大きさを示しています。
表示エリアでは、印刷時の画像の大きさと位置を調整することができます。

画像の大きさを調整する
画像の四隅または4辺上にポインタを移動し、ポインタが ↖、↔または、↕ になったら、ドラッグして拡大または縮小します。縦横の比率を固定したまま拡大、縮小できます。
画像をダブルクリックすると、原稿の等倍の大きさになり、センタリングして表示されます。

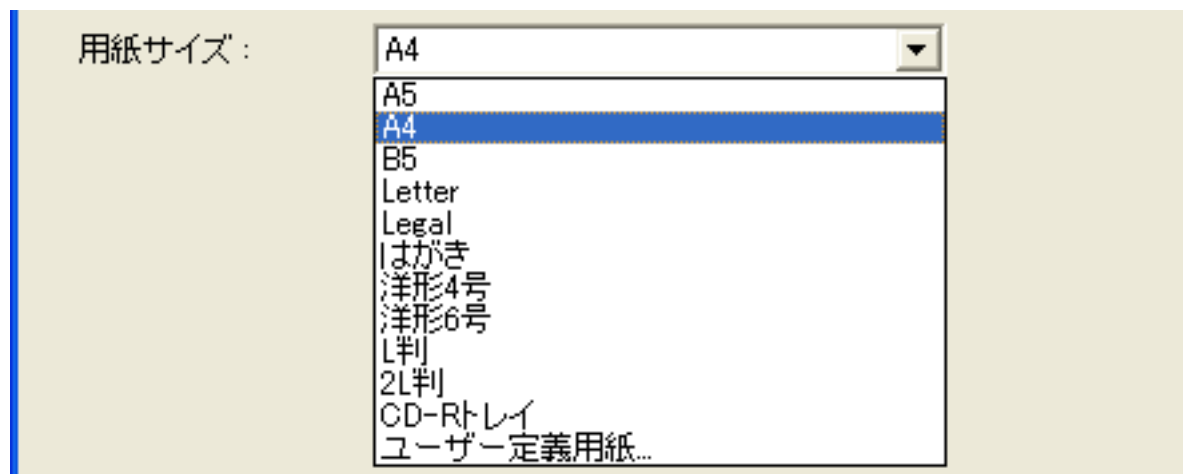
画像の位置を調整する
画像の上にポインタを移動し、ポインタが✥になったら、ドラッグして任意の位置に移動します。

先頭へ戻る▲

サムネイル表示エリア

複数の画像をスキャンしたときに、すべての画像のサムネイル（縮小した画像）を表示します。サムネイルをクリックすると、表示エリアにクリックした画像が表示されます。

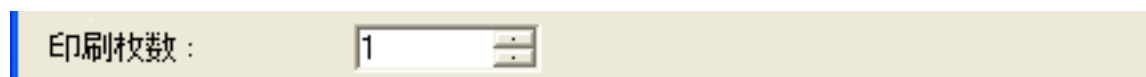
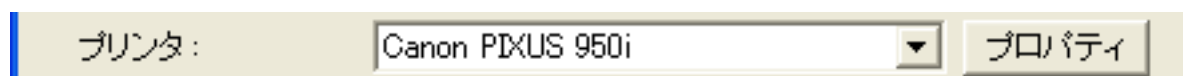
先頭へ戻る▲

プリンタの設定　Windows

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

 ・ 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

先頭へ戻る▲

印刷枚数

印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］ボタン、［▼］ボタンをクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

先頭へ戻る▲

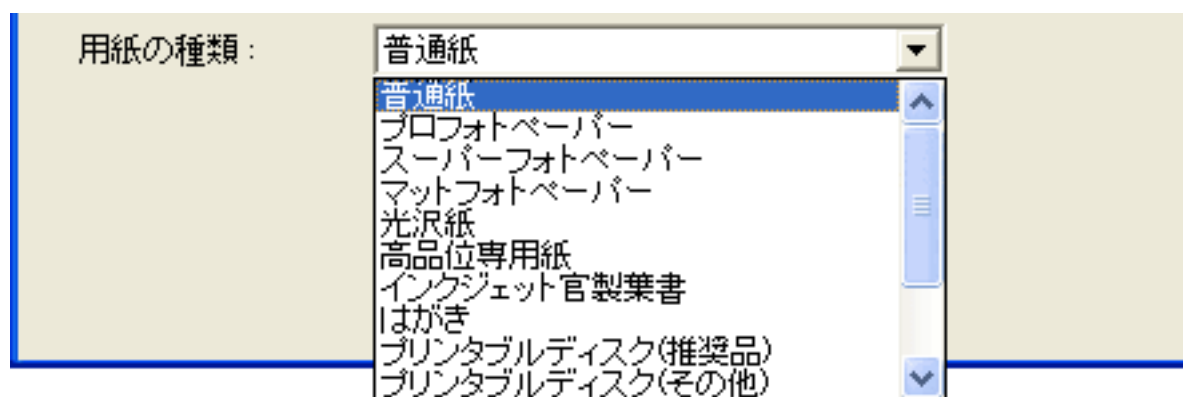
プリンタ

複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

先頭へ戻る▲

用紙の種類

用紙の種類： 普通紙

普通紙
プロフォトペーパー
スーパーフォトペーパー
マットフォトペーパー
光沢紙
高品位専用紙
インクジェット官製葉書
はがき
プリンタブルディスク(推奨品)
プリンタブルディスク(その他)

使用する用紙の種類を選択します。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。

先頭へ戻る▲

VIVIDフォト

☐ VIVIDフォト

この項目にチェックマークを付けると、原稿を鮮やかな色味で印刷します。
草木や空、海を背景にした人物写真などに効果があります。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「VIVIDフォト」に対応しているモデルのみ選択できます。

先頭へ戻る▲

フチなし全面印刷

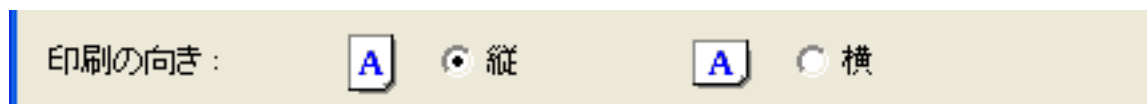
☐ フチなし全面印刷

この項目にチェックマークを付けると、フチなしで用紙の全面に画像を印刷します。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「フチなし全面印刷」に対応しているモデルのみ選択できます。
- フチなし全面印刷は、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

先頭へ戻る▲

印刷の向き

印刷の向き： A 縦 A 横

印刷の向きを選択します。［縦］または［横］を選択します。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Macintosh

プリンタ選択 ［プリンタ選択］ボタン（Mac OS 9のみ）

印刷するプリンタを選択します。
［プリンタ選択］ボタンをクリックすると、セレクタの画面が表示されます。
セレクタの画面で使用するプリンタを選択します。

・ Mac OS Xでは、この項目はグレーアウトして、使用できなくなります。プリンタは［用紙設定］ボタンで選択してください。

先頭へ戻る▲

用紙設定 ［用紙設定］ボタン

印刷する用紙の設定を行います。
用紙のサイズや印刷方向、拡大/縮小などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。
Mac OS Xは、［対象プリンタ］のプルダウンメニューで使用するプリンタを選択します。

・お使いのプリンタによって表示される画面や設定できる項目は異なります。

先頭へ戻る▲

印刷設定 ［印刷設定］ボタン

印刷する部数やページ、印刷の品質や方法などを設定します。

プリント

プリンタ： 950i

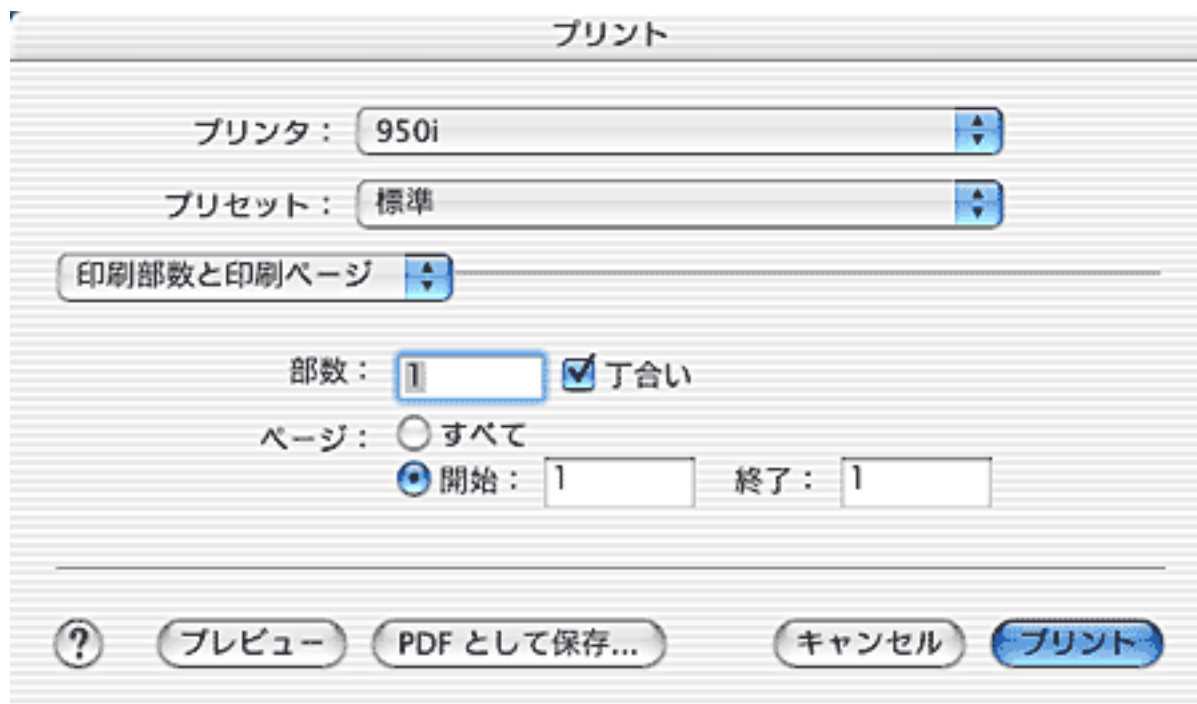
プリセット： 標準

印刷部数と印刷ページ

部数： 1 丁合い

ページ： すべて

開始： 1 終了： 1

? プレビュー PDF として保存... キャンセル プリント

先頭へ戻る▲

センタリング

センタリング：	適用

［適用］ボタンをクリックすると、用紙の中央に画像を配置します。

- 表示エリアで画像の配置を確認できます。

先頭へ戻る▲

用紙に合わせる

用紙に合わせる：	適用

［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

先頭へ戻る▲

用紙全面に拡大

用紙全面に拡大： 適用

［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像が、印刷する用紙全体に自動的に拡大されます。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、画像の上下または左右が用紙からはみ出る場合があります。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

先頭へ戻る▲

テキストボックス

テキストボックス： 追加 書式設定

印刷時に出力する文字を入力します。
画像のタイトルや日付、コメントなどを印刷できます。

［追加］ボタン
このボタンをクリックすると、テキストボックスが表示され、文字を入力できます。

- テキストボックスは10個まで追加できます。
- テキストボックスに入力した文字を編集するには、テキストボックスの中をダブルクリックしてI型のカーソルを表示し、文字の修正、削除を行います。
- テキストボックスを削除するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、キーボードの［Delete］キーを押します。または、テキストボックスを選択し、マウスを右クリックして「削除」を選びます（Windowsのみ）。
- テキストボックスを移動するには、テキストボックスの枠上にポインタを移動し、ポインタがになったら、ドラッグします。
- テキストボックスの大きさを変更するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、テキストボックスの四隅および各辺中央の赤い四角の部分をドラッグして拡大/縮小します。

［書式設定］ボタン
このボタンをクリックすると、テキストボックスに入力した文字の書式を設定する画面が表示されます。

［フォント名］［スタイル］［サイズ］［文字飾り］［色］［文字セット］（Macintoshの場合は、［フォント］［サイズ］［色］［スタイル］）を設定し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- このボタンは、テキストボックスが選択されているときにのみ有効です。

先頭へ戻る▲

出力サイズ

出力サイズ：	幅：	19.78 センチ
	高さ：	28.88 センチ
	出力解像度：	130 dpi

スキャンした画像の出力サイズと出力解像度を表示します。
［幅］［高さ］の右側の▼をクリックすると、表示する単位を「インチ」、「センチ」または「ピクセル」から選択できます。

・［幅］と［高さ］を異なる単位で表示することはできません。

・表示エリア上で画像を拡大、縮小すると、［幅］［高さ］の表示も変更され、それに応じて出力解像度の値も変更されます。

先頭へ戻る▲

保存　［保存］ボタン

表示エリアに表示されている画像を保存します。
「スキャン画像の確認とExif情報の入力」のウインドウで、ファイルの保存先やファイル形式を指定します。→スキャン画像の確認とExif情報の入力

先頭へ戻る▲

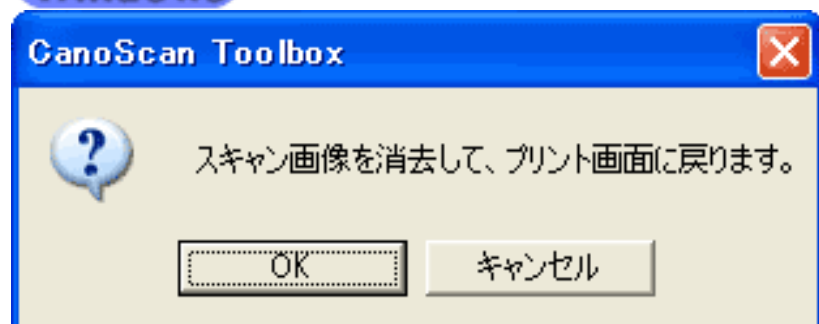
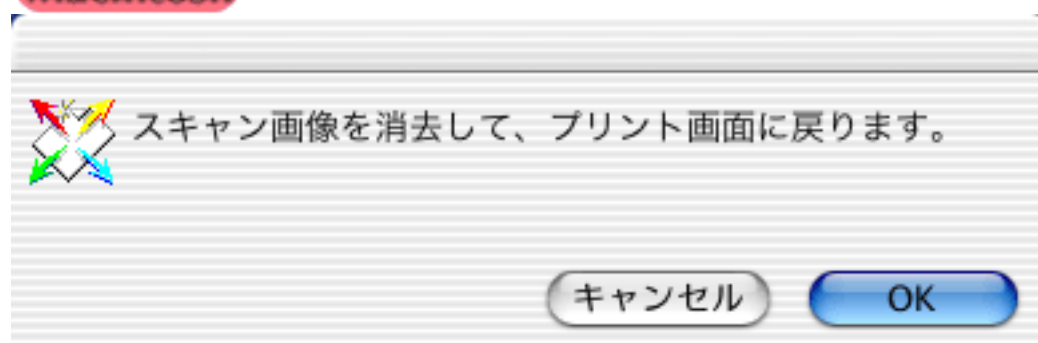
印刷　［印刷］ボタン

設定した内容で印刷をはじめます。

・プリンタで印刷する方法については、「目的別スキャナ活用法」の原稿をコピーしたい、写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

終了　［終了］ボタン

印刷レイアウト画面を終了します。
このボタンをクリックすると、終了を確認する画面が表示されます。

［OK］ボタンをクリックし、印刷レイアウト画面を終了してコピー画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の確認とExif情報の入力

スキャン後、サムネイル（縮小画像）を確認し、ファイルの種類や保存先を指定することができます。

- ［ファイル］ボタンではExif情報の入力はできません。
- ［プリント］ボタンでは、印刷レイアウト画面の［保存］ボタンをクリックすると、この画面になります。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

サムネイル表示

スキャン画像のサムネイル表示です。チェックマークの付いている画像がアプリケーションに送られます。
画像をダブルクリックすると、拡大して表示されます。

先頭へ戻る▲

ファイルの種類

保存するファイル形式を指定します。ボタンの種類に応じて、次のものが選択できます。

Windows	［プリント］ボタン	BMP、JPEG/EXIF、TIFF
	［メール］ボタン	JPEG/EXIF、PDF
	［保存］ボタン	BMP、JPEG/EXIF、TIFF、PDF
	［ファイル］ボタン	PDF
	［スキャン］ボタン	BMP、JPEG/EXIF、TIFF
Macintosh	［プリント］ボタン	PICT、JPEG/EXIF、TIFF
	［メール］ボタン	JPEG/EXIF、PDF
	［保存］ボタン	PICT、JPEG/EXIF、TIFF、PDF
	［ファイル］ボタン	PDF
	［スキャン］ボタン	PICT、JPEG/EXIF、TIFF

先頭へ戻る▲

Exif設定... / PDF設定...　［Exif設定］/［PDF設定］ボタン

ファイルの種類でJPEG/EXIF形式を選択したときは、［Exif設定］ボタンでタイトルや撮影データなど、Exif情報を添付することができます。→Exif設定画面

ファイルの種類でPDF形式を選択したときは、［PDF設定］ボタンでテキスト検索やマルチページ、圧縮タイプなど、PDFの設定をすることができます。→PDF設定画面

先頭へ戻る▲

保存先の設定

インストールした直後の状態では、以下の場所になっています。変更するときは［参照］ボタンをクリックし、保存先のフォルダを選択してください。

Windows ［マイドキュメント］－［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh
Mac OS X： Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。
Mac OS 9： Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

画像を今日の日付のフォルダに入れる

スキャンした画像を保存先のフォルダ内に、さらにスキャンした日付のフォルダを作って保存するときは、ここをクリックしてチェックマークを付けます。

先頭へ戻る▲

追加　［追加］ボタン

複数の原稿をまとめてスキャンするときは、このボタンをクリックします。
いったん前の画面に戻りますので、原稿を替えて［スキャン］ボタンをクリックします。
最大24枚までスキャンできます。

先頭へ戻る▲

転送（保存）　［転送（保存）］ボタン

スキャンした画像を、指定した保存先へ転送（保存）し、作業を終了します。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

作業を中断（キャンセル）し、前の画面に戻ります。
スキャンした画像はすべて消去されます。

・ Windows 画面右上のクローズボックス×をクリックしてもキャンセルできます。

先頭へ戻る▲

Exif設定画面

スキャン画像の確認画面の「ファイルの種類」で「JPEG/EXIF形式」を選択すると、［Exif設定］ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、「Exif設定画面」が表示され、画像にタイトルや撮影データなど、Exif情報を添付することができます。

- Exifとは、デジタルカメラの画像（JPEG）にいろいろな撮影データを添付するための規格です。スキャナでスキャンした画像にこのデータを添付することで、デジタルカメラの画像といっしょに管理したり、プリントしたりすることができるようになります。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Windows

Exif 設定

Exif情報 : Save0001.JPG

基本情報

Exif Version : 2.21
メーカー名 : Canon
モデル名 : CanoScan LiDE 40/LiDE 50
使用ソフトウェア名 : CanoScan Toolbox 4.5
色空間情報 : sRGB
実効画像幅 : 1050(pixels)
実効画像高 : 1500(pixels)
画像の幅の解像度 : 300
画像の高さの解像度 : 300
解像度の単位 : dot/inch
スキャン日時 : 2003/07/03 11:31:00
ファイルソース : 反射型スキャナ

拡張情報

画像タイトル :
作者名 :
撮影日 :
撮影シーンタイプ :
露出モード :
シャッタースピード :
絞り値 :
フラッシュ :
フィルム感度 :
ユーザコメント :

画像タイトル(半角英数) :
作者名(半角英数) :
撮影日 : 2003/07/03
撮影シーンタイプ : 標準
露出モード : 自動露出
シャッタースピード : 1/60(Sec)
絞り値 : F2.8
フラッシュ : なし
フィルム感度 : ISO 400
ユーザコメント :

前回設定した入力内容を引き継ぐ

適用 OK キャンセル

Macintosh

Exif設定：Save0001

Exif情報

基本情報	
Exif Version	: 2.21
メーカー名	: Canon
モデル名	: CanoScan LiDE 40/LiDE 50
使用ソフトウェア名	: CanoScan Toolbox 4.5
色空間情報	: sRGB
実効画像幅	: 1051(Pixels)
実効画像高	: 1500(Pixels)
画像の幅の解像度	: 300
画像の高さの解像度	: 300
解像度の単位	: dot/inch
スキャン日時	: 2003/7/2 19:33:19
ファイルソース	: 反射型スキャナ

拡張情報	
画像タイトル(半角英数)	:
作者名(半角英数)	:
撮影日	:
撮影シーンタイプ	:
露出モード	:
シャッタースピード	:
絞り値	:
フラッシュ	:
フィルム感度	:
ユーザコメント	:

画像タイトル(半角英数):
作者名(半角英数):
撮影日: 2003 年 7 月 2 日
撮影シーンタイプ: 標準
露出モード: 自動露出
シャッタースピード: 1/60(Sec)
絞り値: F2.8
フラッシュ: なし
フィルム感度: 400
ユーザコメント:
前回設定した入力内容を引き継ぐ
適用　キャンセル　OK

Exif情報表示部

現在設定されているExif情報を表示します。「基本情報」はスキャナやソフトウェアから自動的に得られた情報です。「拡張情報」は、画面右側の各項目に値を入力（設定）し、［適用］ボタンをクリックすると、表示されます。

先頭へ戻る▲

Exif拡張情報入力部

タイトルや撮影データなど、Exif情報を入力するエリアです。入力したい項目のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、その項目が入力または選択可能になります。

- 必要な情報の入力が終わったら［適用］ボタンをクリックして情報を画像に添付します。
- 「前回設定した入力内容を引き継ぐ」をクリックしてチェックマークを付けると、直前に入力して画像に添付した情報が自動的に表示されます。

先頭へ戻る▲

適用　［適用］ボタン

Exif拡張情報入力部で入力されたり、選択された情報を画像に添付してExif情報表示部に表示します。

先頭へ戻る▲

OK　［OK］ボタン

Exif拡張情報入力部で入力されたり、選択された情報を画像に添付して画面を閉じます。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

設定を中断（キャンセル）して画面を閉じます。

- ［適用］ボタンがクリックされていなかった場合、入力したり選択したデータはすべて消去されます。

先頭へ戻る▲

［メール］ボタン（メール画面）

原稿をスキャンした後、メールソフトを起動し、スキャンした画像ファイルを添付した新規メールを作成します。画像ファイルは、添付に適したファイルサイズに圧縮できます。

- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9: Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

Toolboxのメイン画面で（［メール］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

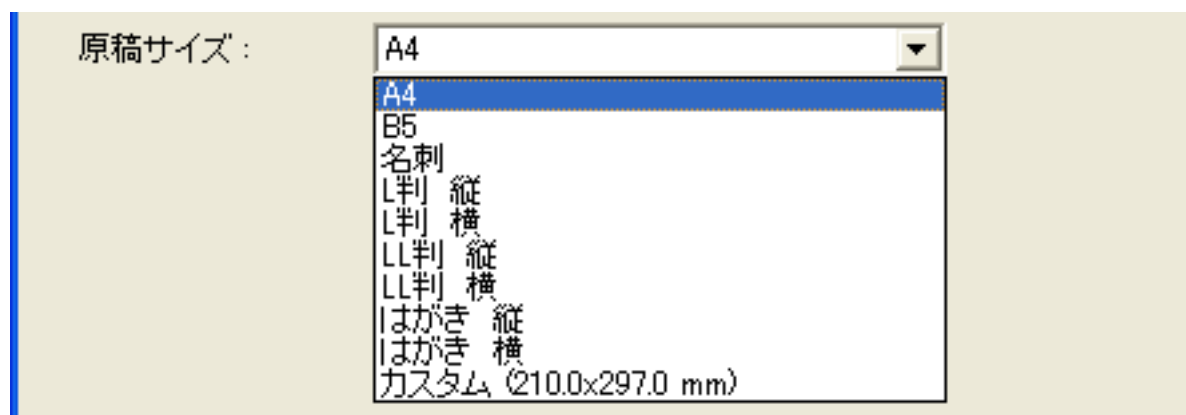
スキャンの方法を選択します。

次の6つのモードから選択できます。

白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

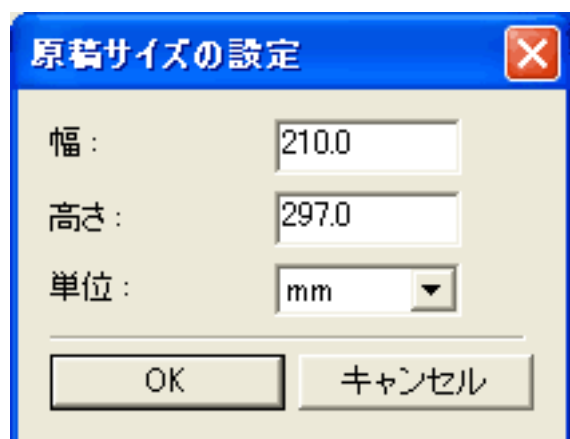
- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合、原稿台に置いた枚数分の添付されたメール作成画面、または画像の添付されたメール作成画面が原稿台に置いた枚数分、表示されます。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

先頭へ戻る▲

添付ファイルサイズの上限

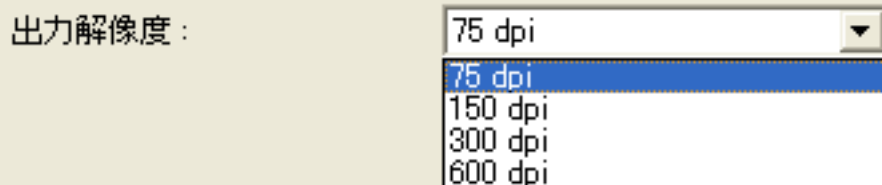
添付ファイルサイズの上限：150Kバイト
150Kバイト
300Kバイト
600Kバイト
900Kバイト

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限を選択します。
「150Kバイト」、「300Kバイト」、「600Kバイト」、「900Kバイト」の中から選択できます。
一般的なメールで利用する場合には、「150Kバイト」にしておくことをおすすめします。

- ［添付ファイルサイズの上限］の設定に応じて、［出力解像度］の選択肢が変化します。
- ［スキャンモード］が「白黒」の場合は、［添付ファイルサイズの上限］は選択できません。
- ［ファイルの種類］が「PDF」の場合は、［添付ファイルサイズの上限］は選択できません。
- ［添付ファイルサイズの上限］の設定値は、目安です。画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。

先頭へ戻る▲

出力解像度

出力解像度：75 dpi
75 dpi
150 dpi
300 dpi
600 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高いほど精細な画像が得られますが、ファイルサイズが大きくなります。
選択肢は、［スキャンモード］、［原稿サイズ］および［添付ファイルサイズの上限］の設定に応じて変化します。ただし、［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」の場合、［出力解像度］は「75dpi」、「150dpi」、「300dpi」、「600dpi」（Macintoshの場合は、最大300dpi）から選択します。

- ［ファイルの種類］が「PDF」の場合、［出力解像度］は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。ただし、［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」のときは、Windowsの場合も最大300dpiになります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
［スキャンモード］［原稿サイズ］などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- Windowsの場合、［ファイルの種類］が「PDF」のとき、ScanGear CSでカラー／原稿台全面／400dpiを超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、［ファイルの種類］が「PDF」のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する［ファイルの種類］が「JPEG」の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがメールソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

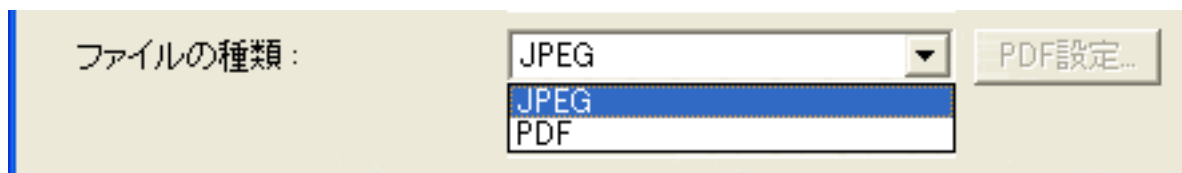
先頭へ戻る▲

ファイル名

ファイル名： Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 保存先に、同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択して複数の原稿をスキャンした場合、ファイル名にデフォルトのものを選択していると、1枚目から「0001」のような連続した4桁の番号がファイル名の後ろに付けられます。
  例：Mail0001→Mail0002→Mail0003・・・
  ファイル名にデフォルト以外のものを指定していると、1枚目には、そのファイル名がそのまま付けられ、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような連続した4桁の番号が付けられます。
  例：abc→abc0001→abc0002・・・
- 拡張子は自動的に付けられます。

先頭へ戻る▲

ファイルの種類

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
「JPEG」、「PDF」から選択できます。

- 「JPEG」は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。
- 白黒画像の場合は、PDFのみ選択できます。
- PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

保存する［ファイルの種類］で「PDF」を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、［PDF設定］画面が表示されます。→［PDF設定］画面

先頭へ戻る▲

保存先

C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンをクリックします。Macintoshの場合は［開く］ボタン（Mac OS 9）または［選択］ボタン（Mac OS X）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows ［マイドキュメント］ー［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］ー［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ー［Pictures］ー［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。
Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］ー［CanoScan Toolbox 4.5］ー［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Mail0001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、「2003-08-16」フォルダには、「Mail0002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

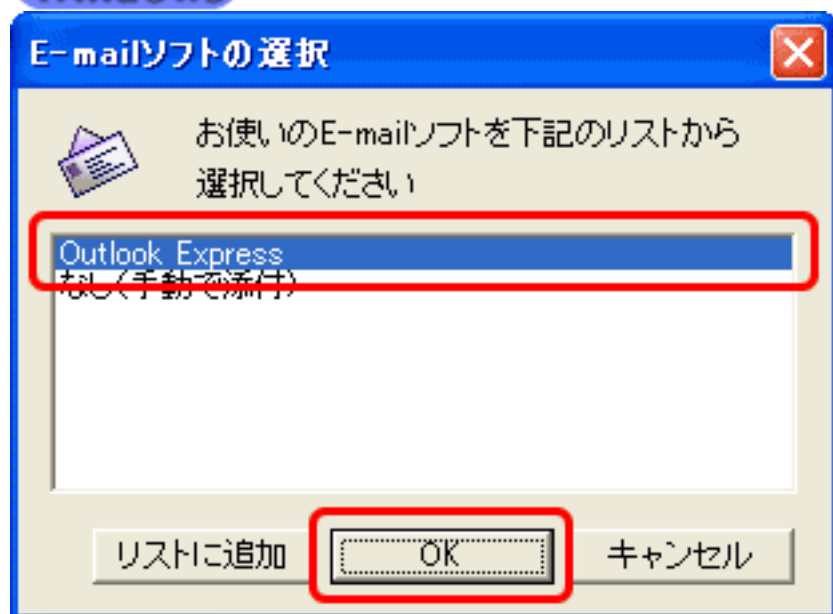
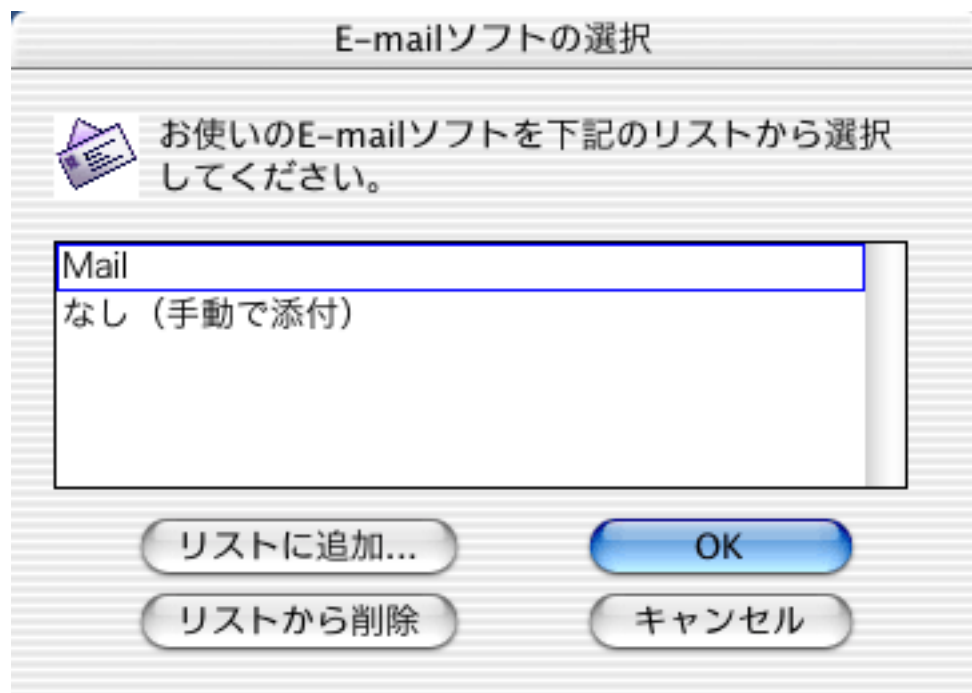
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Mail0001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、「2003-08-16」フォルダには、「Mail0001.JPG」から連番でファイ

ル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の渡し先

メールの送信に使うメールソフトを設定します。枠内には現在設定されているメールソフト名が表示されています。
枠内にメールソフト名が表示されていない場合、あるいは他のメールソフトを使いたい場合は、［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、使いたいメールソフトを選んで、［OK］ボタンをクリックします。
使いたいメールソフトがリストに表示されない場合は、「なし（手動で添付）」を選択します。ただし、この場合には、メールソフトは起動しませんので、送信メールを開き、画像ファイルを添付する操作を行ってください。

Windows

Macintosh

- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh　OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9: Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の確認とExif情報の入力

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、ファイルの種類や保存先を指定できます。→スキャン画像の確認とExif情報の入力

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
［スキャン］ボタンでスキャンせず、［キャンセル］ボタンを押したとき、次回からこの設定内容で表示されます。

- スキャナ前面にあるCOPYボタン、SCANボタン、FILEボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

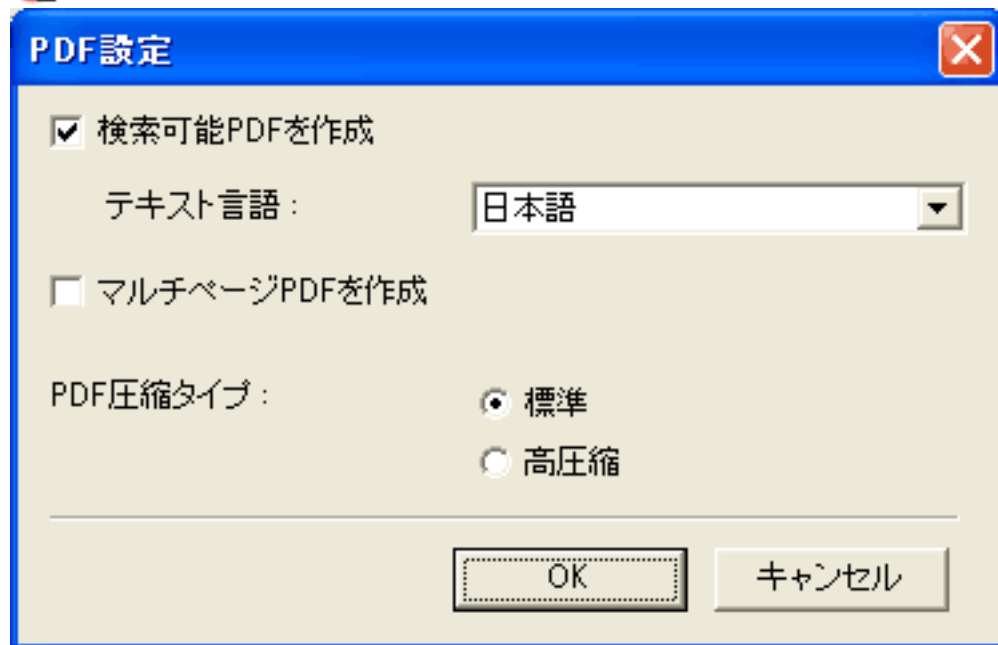
設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にメールソフトが起動して、画像の添付されたメールの送信画面が表示されます。

- ［スキャンモード］の「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合は、複数の画像が添付されたメール送信画面、あるいは、画像の添付された複数のメール送信画面が表示されます。
- ［スキャンモード］の「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンしたときに、複数のメール送信画面が表示される場合、［ファイルの種類］で「PDF」を選択し、PDFの設定で［マルチページPDFを作成］にチェックマークを付けておくと、表示されるメール送信画面を1つにすることができます。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］画面

保存する［ファイルの種類］で「PDF」を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

検索可能なPDFを作成する

［検索可能PDFを作成］にチェックマークを付けると、原稿中の文字を認識することが可能です。保存したPDFファイルは、簡単なキーワード検索などに利用できます。この項目にチェックマークを付けたときは、検索可能なPDFファイルを作成するときの言語を［テキスト言語］から「日本語」または「英語」を選択します。

キーワード検索の手順

作成されたPDFファイルをダブルクリックし、Acrobat Readerを起動させ、PDFファイルを表示させます。

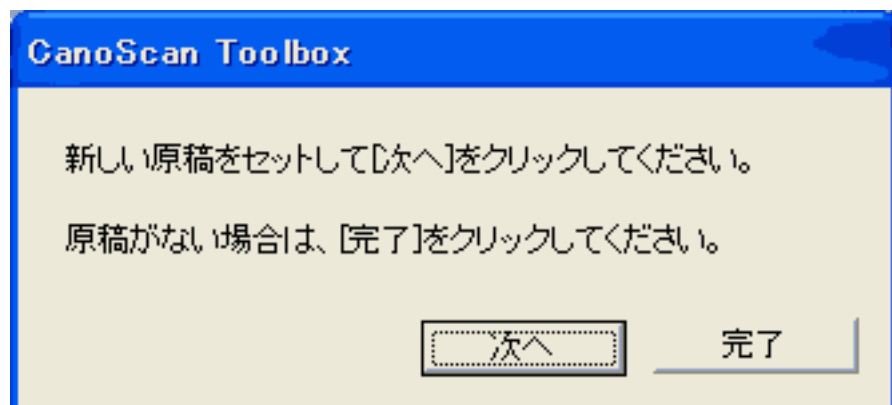
1. ［編集］-［検索］メニューを選択
2. 「検索する文字列」に、検索したい文字を入力
3. ［検索］ボタンをクリック
4. 該当するキーワードが選択されます

- 検索可能なPDFファイルを作成するには、［出力解像度］の設定を300dpi以上にしてください。

- 原稿の状態や書体によっては文字を認識できない場合があります。このようなときは、キーワード検索はできません。

- 原稿中の文字をテキストデータに変換し、編集作業などを行いたい場合は、［OCR］ボタンで原稿をスキャンしてください。

マルチページPDFを作成する

［マルチページPDFを作成］にチェックマークを付けると、複数ページの原稿を1つのPDFファイルにします。
原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。
スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

- ［マルチページPDFを作成］にチェックマークを付けると［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」の場合でも原稿台にある複数の原稿を1つのPDFファイルにします。ただし、「カラー（マルチスキャン）」で続けて複数の原稿をスキャンしても、すでに作成されたPDFファイルに原稿を追加することはできません。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、［スキャンモード］を「白黒」または「グレースケール」にすることをおすすめします。
- カラー原稿（［出力解像度］が「300dpi」）でマルチページPDFを作成する場合、１つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。

PDFファイルの圧縮タイプを選ぶ

PDFファイルを作成するときの圧縮率を選択します。
画像（写真、イラストなど）が圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。
「標準」または「高圧縮」を選択します。

先頭へ戻る▲

［OCR］ボタン（OCR画面）

原稿をスキャンした後、OCR ソフト（画像データを文字データに変換するソフト）を起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。初期設定では、e.Typistエントリーが起動します。

Toolboxのメイン画面で（［OCR］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目 をクリックすると詳細説明を表示します。

OCR

[OCR]
スキャン画像を指定フォルダに保存し、OCRソフトで開きます。

スキャナの設定

スキャンモード： 白黒
出力解像度： 300 dpi
原稿サイズ： A4

スキャン画像の保存先

ファイル名： OCR
ファイルの種類： BMP
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

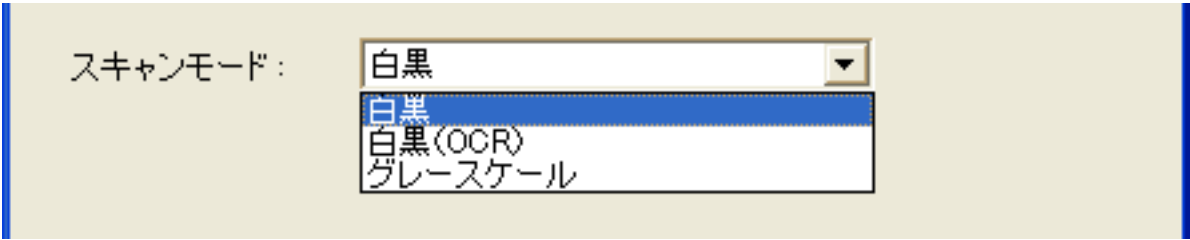
スキャン画像の渡し先

リンクの削除
C:¥Program Files¥eTypist¥Mlaunch.exe　設定...

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

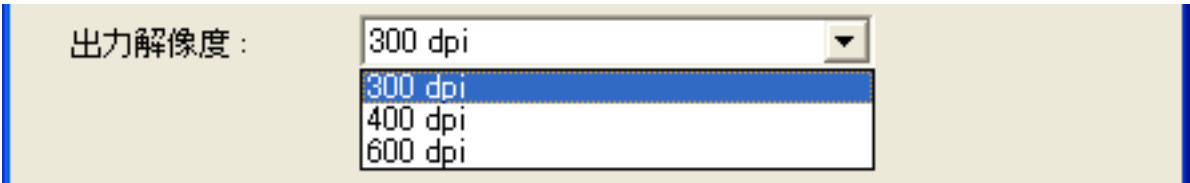
スキャンモード

スキャンの方法を選択します。
次の3つ（Macintoshの場合は「白黒」のみ）のモードから選択できます。

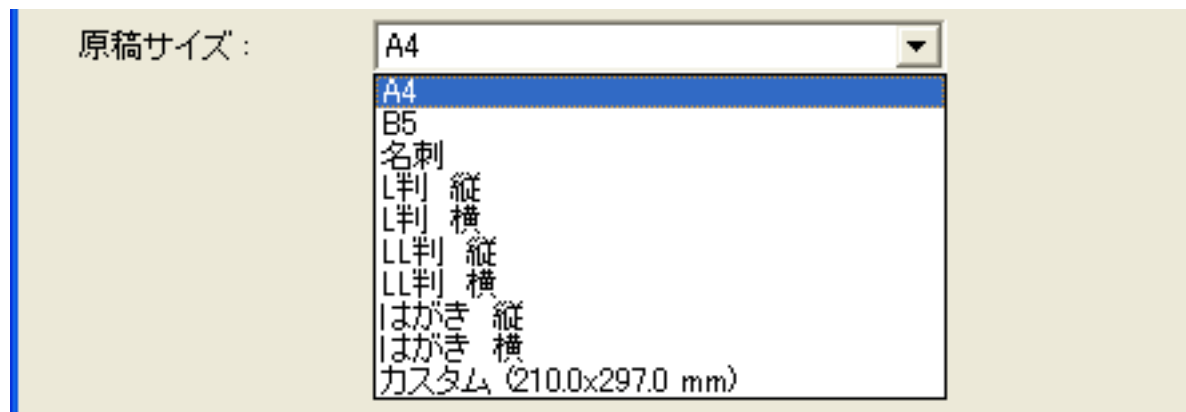
白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
白黒（OCR）	白黒2値の画像をより鮮明にスキャンします。Macintosh では選択できません。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。 Macintoshでは選択できません。

- OCRソフトによっては、グレースケールの画像を受け取れない場合があります。この場合には、「白黒」または「白黒（OCR）」を選択してください。

先頭へ戻る▲

出力解像度

出力解像度：
300 dpi
300 dpi
400 dpi
600 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
Windowsの場合は、「300dpi」、「400dpi」、「600dpi」の中から選択できます。
Macintoshの場合は、「300dpi」、「400dpi」の中から選択できます。

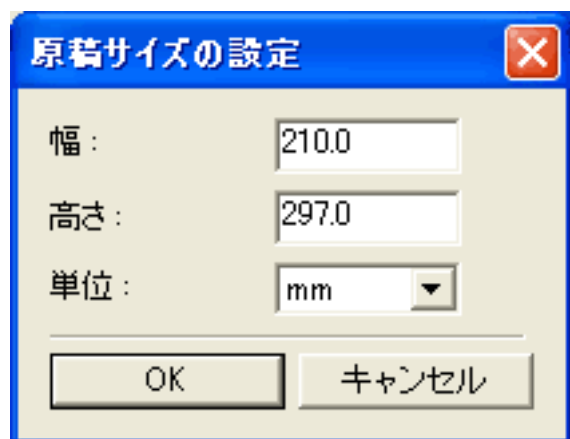
- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4 」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

ファイル名

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

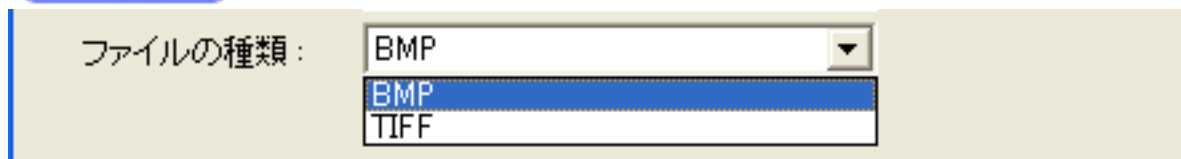
- 保存先に、同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 拡張子は自動的に付けられます。

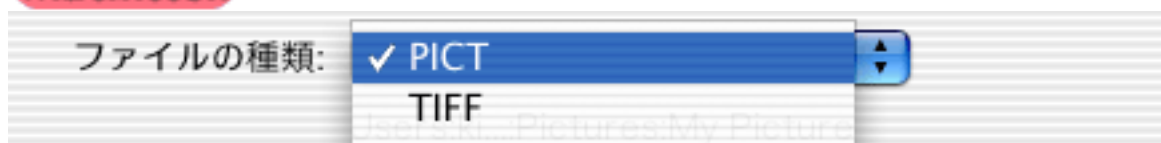
先頭へ戻る▲

ファイルの種類

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

Windows

ファイルの種類： BMP
BMP
TIFF

「BMP」、「TIFF」から選択できます。

Macintosh

「PICT」、「TIFF」から選択できます。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンをクリックします。Macintoshの場合は［開く］ボタン（Mac OS 9）または［選択］ボタン（Mac OS X）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

［マイドキュメント］－［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh

Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

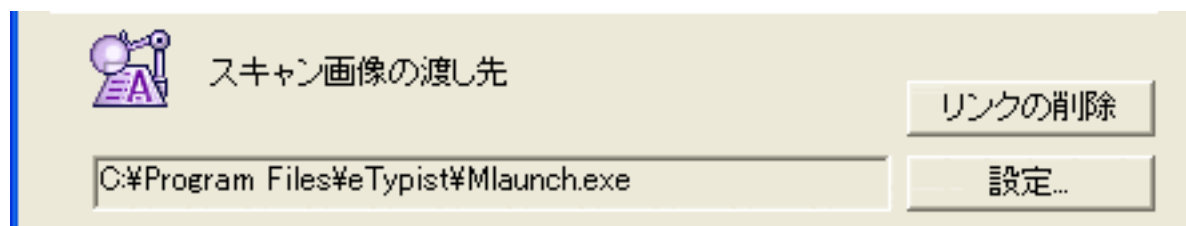
☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「OCR0001.BMP」というファイル名の画像が保存されている場合、「2003-08-16」フォルダには、「OCR0002.BMP」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「OCR0001.PIC」というファイル名の画像が保存されていても、「2003-08-16」フォルダには、「OCR0001.PIC」から連番でファイル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の渡し先

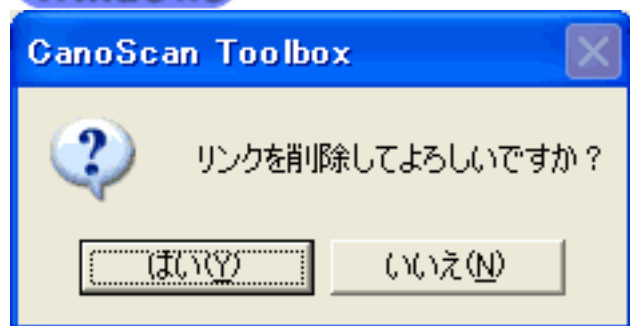
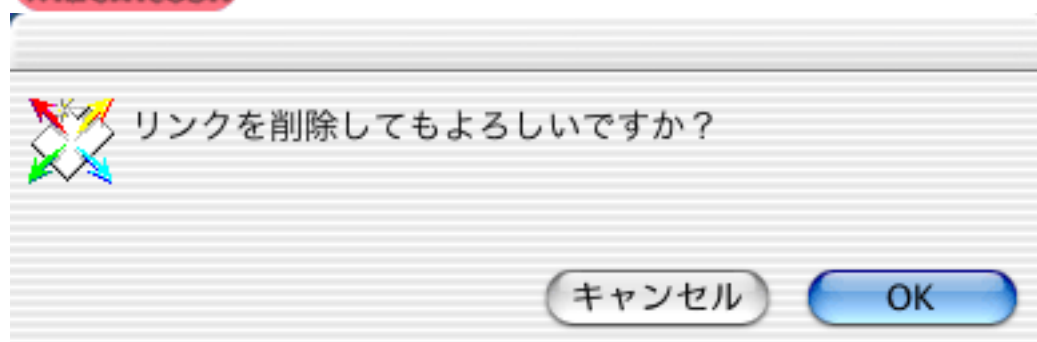
スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、e.Typist エントリーが設定されています。

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず、実行可能なファイル（Windowsで

は、exeの拡張子が付いています）を設定してください。

- 設定したアプリケーションによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションのショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

- ［スキャン画像の渡し先］に設定されているアプリケーションソフトがないと、アプリケーションソフトの設定を要求するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、アプリケーションの選択画面でアプリケーションを選択してください。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
［スキャン］ボタンでスキャンせず、［キャンセル］ボタンを押したとき、次回からこの設定内容で表示されます。

- スキャナ前面にあるCOPYボタン、SCANボタン、FILEボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にOCRソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- 初期設定では、e.Typistエントリーが起動します。

先頭へ戻る▲

［保存］ボタン（保存画面）

原稿をスキャンして、画像ファイルまたはPDFファイルとして保存します。

Toolboxのメイン画面で （［保存］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

保存

［保存］
スキャン画像を指定されたフォルダに保存します。

スキャナの設定

原稿の種類：紙/写真
スキャンモード：カラー
出力解像度：300 dpi
原稿サイズ：A4

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名：Save
ファイルの種類：JPEG　PDF設定...
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の確認とExif情報の入力

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

原稿の種類

原稿の種類：紙/写真
紙/写真

スキャンする原稿の種類を選択します。
かならず「紙/写真」になります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンの方法を選択します。

スキャンモード：カラー
白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

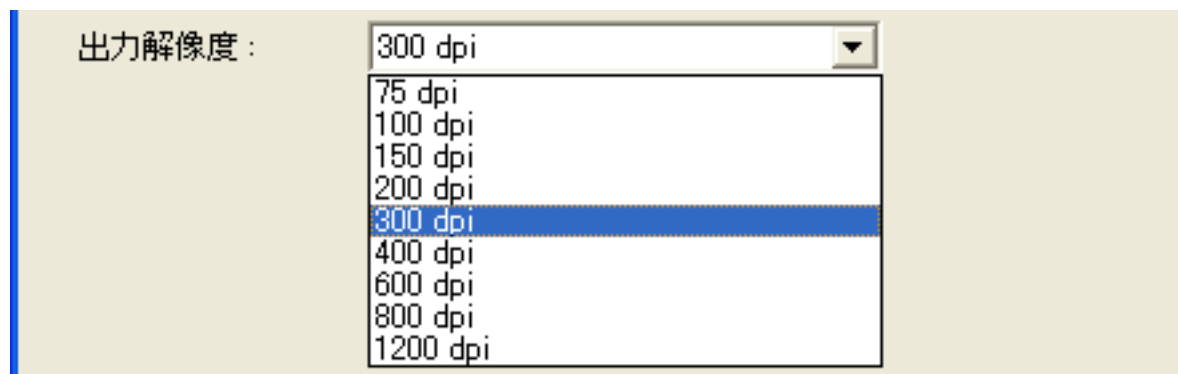
次の6つのモードから選択できます。

白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- 「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルを保存します。

先頭へ戻る▲

出力解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

「75 dpi」、「100 dpi」、「150 dpi」、「200 dpi」、「300 dpi」、「400 dpi」、「600 dpi」、「800 dpi」「1200 dpi」の中から選択できます。

- ［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」の場合、［出力解像度］は「75dpi」、「150dpi」、「300dpi」、「600dpi」（Macintoshの場合は、最大300dpi）から選択します。
- ［スキャンモード］が「カラー（雑誌・カタログ）」の場合、［出力解像度］は最大600dpiになります。
- ［ファイルの種類］が「PDF」の場合、［出力解像度］は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。ただし、［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」のときは、Windowsの場合も最大300dpiになります。
- ［ファイルの種類］が「PICT」の場合、横幅4096 pixelまでというPICTファイルの仕様があるため、選択している［原稿サイズ］に応じて、表示される［出力解像度］が変わります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、［カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

先頭へ戻る▲

スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。［原稿の種類］［スキャンモード］［原稿サイズ］などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- Windowsの場合、［ファイルの種類］が「PDF」のとき、ScanGear CSでカラー／原稿台全面／400dpiを超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、［ファイルの種類］が「PDF」のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する［ファイルの種類］が「JPEG」の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが保存されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGearCS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

先頭へ戻る▲

ファイル名

ファイル名： Save

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

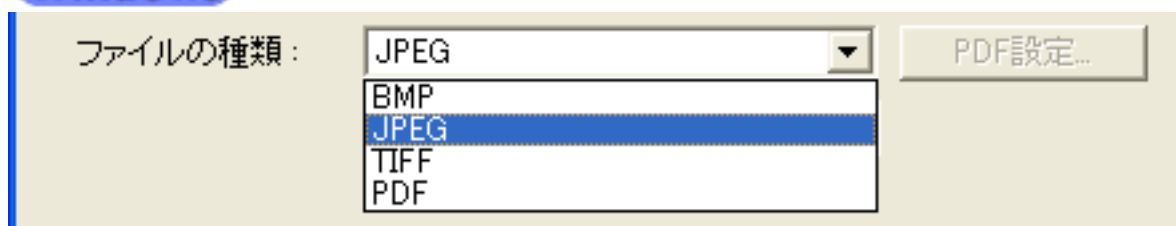
- 保存先に、同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択して複数の原稿をスキャンした場合、ファイル名にデフォルトのものを選択していると、1枚目から「0001」のような連続した4桁の番号がファイル名の後ろに付けられます。
  例：Save0001→Save0002→Save0003・・・

  ファイル名にデフォルト以外のものを指定していると、1枚目には、そのファイル名がそのまま付けられ、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような連続した4桁の番号が付けられます。
  例：abc→abc0001→abc0002・・・
- 拡張子は自動的に付けられます。

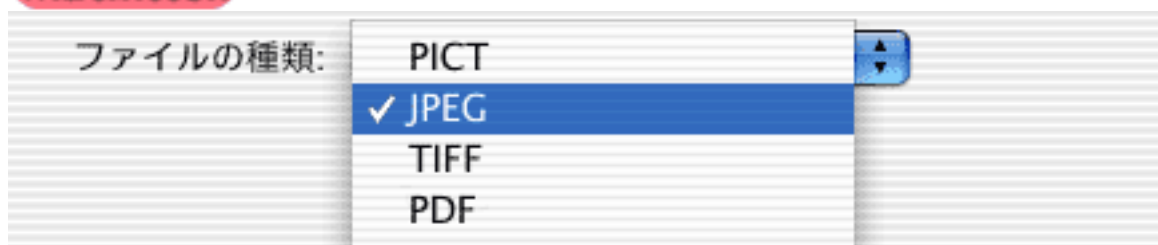
先頭へ戻る▲

ファイルの種類

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

Windows

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

「BMP」、「JPEG」、「TIFF」、「PDF」から選択できます。

Macintosh

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

「PICT」、「JPEG」、「TIFF」、「PDF」から選択できます。

- 「JPEG」は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。
- PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

保存する［ファイルの種類］で「PDF」を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、［PDF設定］画面が表示されます。→［PDF設定］画面

先頭へ戻る▲

保存先

C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンをクリックします。Macintoshの場合は［開く］ボタン（Mac OS 9）または［選択］ボタン（Mac OS X）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows　［マイドキュメント］－［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh　Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。
Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Save0001.BMP」というファイル名の画像が保存されている場合、「2003-08-16」フォルダには、「Save0002.BMP」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Save0001.PIC」というファイル名の画像が保存されていても、「2003-08-16」フォルダには、「Save0001.PIC」から連番でファイ

ル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の確認とExif情報の入力

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、ファイルの種類や保存先を指定できます。→スキャン画像の確認とExif情報の入力

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適　用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
［スキャン］ボタンでスキャンせず、［キャンセル］ボタンを押したとき、次回からこの設定内容で表示されます。

- スキャナ前面にある、COPYボタン、SCANボタンFILEボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると指定の保存先に画像ファイルが保存されます。

- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択した場合は、複数のファイルが保存されます。

先頭へ戻る▲

［ファイル］ボタン（ファイル画面）

原稿をスキャンした後、ファイルをPDF形式で保存し、リンク（登録）されているアプリケーションソフトを起動してそのアプリケーションソフトに文書ファイルを渡します。
初期設定では、Acrobat Reader（PDFファイルを表示するアプリケーションソフト）が起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。

Toolboxのメイン画面で（［ファイル］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

ファイル

［ファイル］
スキャン画像を指定フォルダに保存し、指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

スキャンモード：カラー
出力解像度：300 dpi
原稿サイズ：A4
☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名：File
ファイルの種類：PDF　［PDF設定...］
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　［参照...］
☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

［リンクの削除］
C:¥Program Files¥Adobe¥Acrobat 5.0¥Reader¥AcroRd32.e　［設定...］

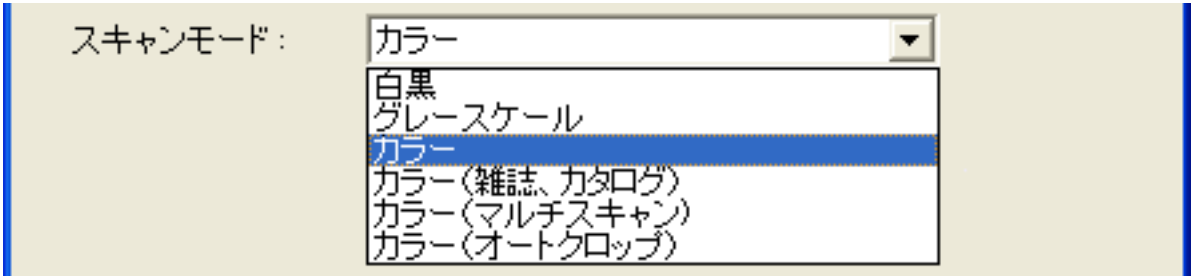
☐ スキャン画像を確認する

［初期設定に戻す］［適　用］［キャンセル］［スキャン］

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンの方法を選択します。

次の6つのモードから選択できます。

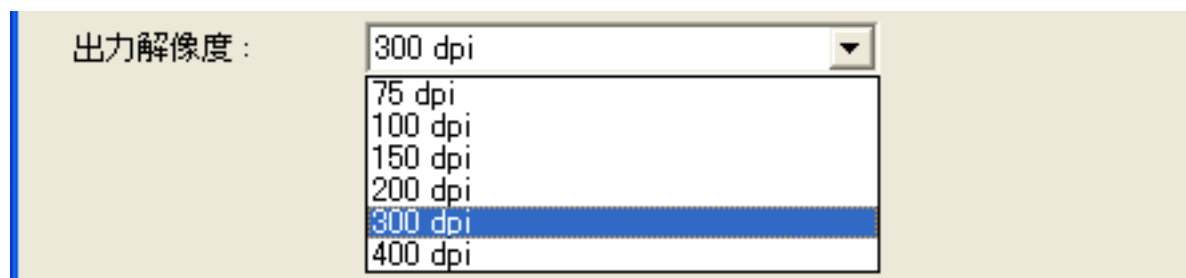
白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数のPDFファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- PDFの設定が［マルチページPDFを作成］になっているときは、「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］画面をご覧ください。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

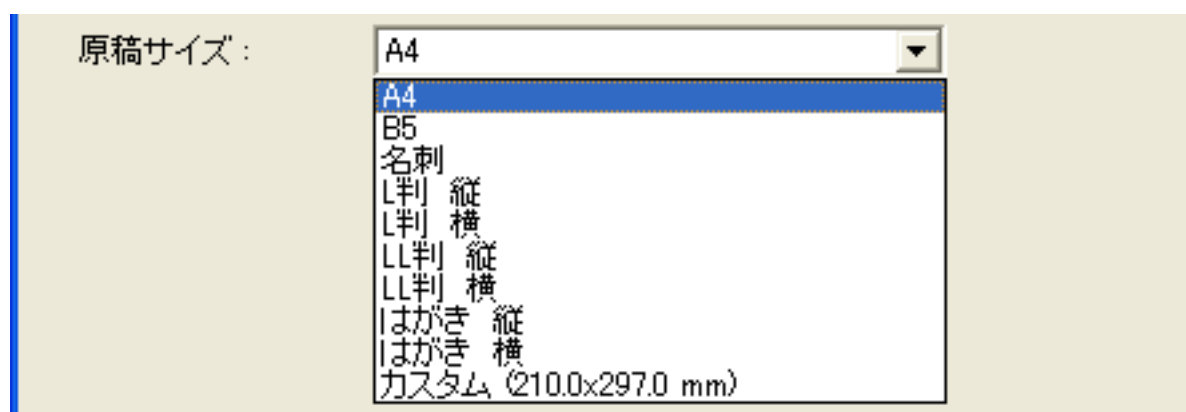
出力解像度

出力解像度：
300 dpi
75 dpi
100 dpi
150 dpi
200 dpi
300 dpi
400 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

Windows 「75dpi」、「100dpi」、「150dpi」、「200dpi」、「300dpi」、「400dpi」の中から選択できます。

Macintosh 「75dpi」、「100dpi」、「150dpi」、「200dpi」、「300dpi」の中から選択できます。

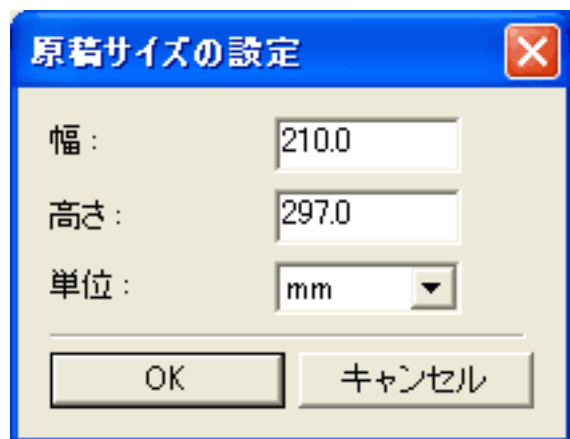
- ［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」の場合、［出力解像度］は「75dpi」、「150dpi」、「300dpi」から選択します。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

先頭へ戻る▲

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
［スキャンモード］［出力解像度］［原稿サイズ］などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- Windowsの場合、ScanGear CSでカラー／原稿台全面／400dpiを超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、この設定は選択できません。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGearCS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

先頭へ戻る▲

ファイル名

ファイル名： File

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 保存先に、同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択して複数の原稿をスキャンした場合、ファイル名にデフォルトのものを選択していると、1枚目から「0001」のような連続した4桁の番号がファイル名の後ろに付けられます。
  例：File0001→File0002→File0003・・・
  ファイル名にデフォルト以外のものを指定していると、1枚目には、そのファイル名がそのまま付けられ、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような連続した4桁の番号が付けられます。
  例：abc→abc0001→abc0002・・・
- 拡張子は自動的に付けられます。

先頭へ戻る▲

ファイルの種類

ファイルの種類： PDF ▼ PDF設定...

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
「PDF」のみ選択できます。

- PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

保存する［ファイルの種類］で「PDF」を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、［PDF設定］画面が表示されます。→［PDF設定］画面

先頭へ戻る▲

保存先

C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンをクリックします。Macintoshの場合は［開く］ボタン（Mac OS 9）または［選択］ボタン（Mac OS X）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows　［マイドキュメント］ー［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh　Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］ー［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ー［Pictures］ー［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。
Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］ー［CanoScan Toolbox 4.5］ー［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

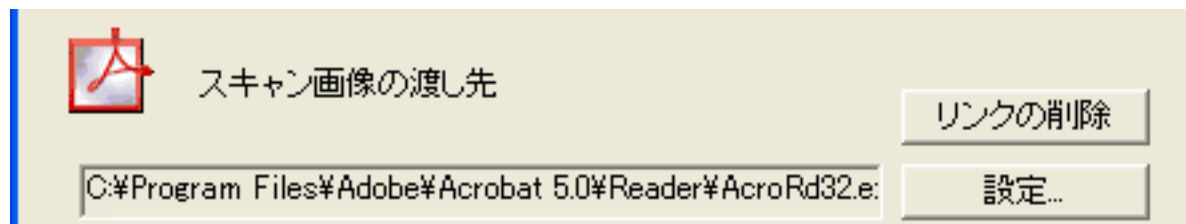
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「File0001.PDF」というファイル名の画像が保存されている場合、「2003-08-16」フォルダには、「File0002.PDF」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「File0001.PDF」というファイル名の画像が保存されていても、「2003-08-16」フォルダには、「File0001.PDF」から連番でファイ

ル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の渡し先

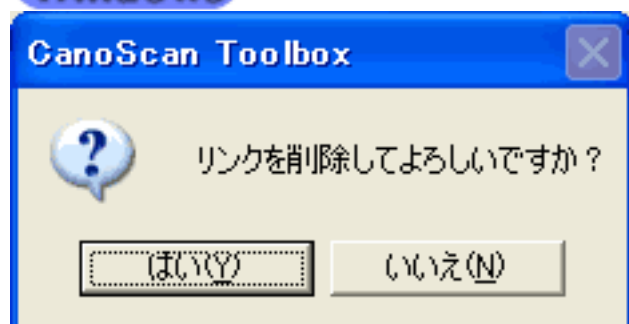
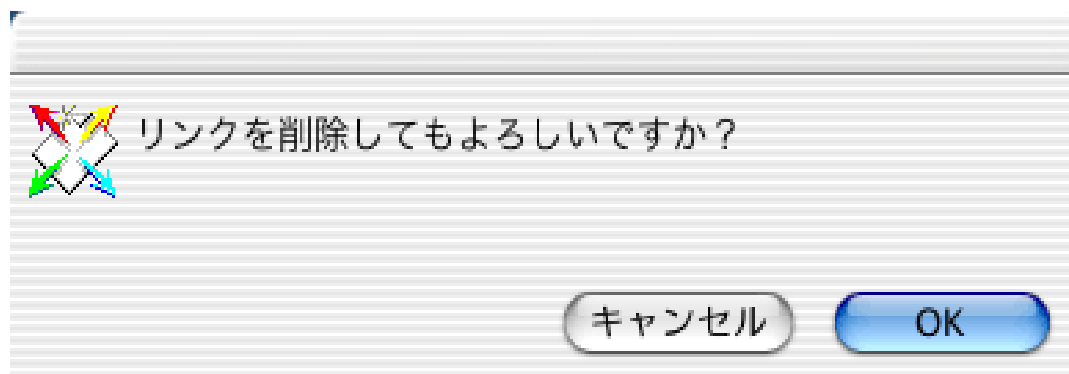
スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後は、 Acrobat Readerが設定されています。

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず、実行可能なファイル（Windowsでは、exeの拡張子が付いています）を設定してください。

- 設定したアプリケーションによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションのショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

・［スキャン画像の渡し先］に、PDFファイルを開けないアプリケーションソフトを登録すると、画像を表示できないことがあります。また、リンクを削除すると、［スキャン画像の渡し先］には「保存のみ」と表示され、スキャンした画像ファイルの保存だけが行われます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像を確認する

☐ スキャン画像を確認する

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、保存先を指定できます。→スキャン画像の確認とExif情報の入力

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
［スキャン］ボタンでスキャンせず、［キャンセル］ボタンを押したとき、次回からこの設定内容で表示されます。

・スキャナ前面にあるCOPYボタン、SCANボタン、FILEボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

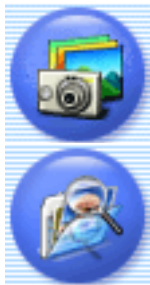
設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にPDFファイルを表示するアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択した場合は、複数のファイルが開かれます。ただし、PDFの設定が［マルチページPDFを作成］になっているときは、１つのPDFファイルが開かれます。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- 初期設定では、Acrobat Readerが起動します。

先頭へ戻る▲

［スキャン-1］ ［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）

原稿をスキャンした後、リンク（登録）されているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。
初期設定では、［スキャン-1］ボタンはZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）が、［スキャン-2］ボタンはPhotoStudioが起動します。

Toolboxの / （［スキャン-1］ボタン）または、（［スキャン-2］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。（下の画面は、［スキャン-1］ボタンをクリックしたときの画面例です。）

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

スキャン

［スキャン］
スキャン画像を指定フォルダに保存し、指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

原稿の種類： 紙/写真
スキャンモード： カラー(マルチスキャン)
出力解像度： 300 dpi
原稿サイズ： A4

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名： Scan1
ファイルの種類： JPEG

C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My Documents¥My F　参照...

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

リンクの削除

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

原稿の種類

原稿の種類：　紙/写真
紙/写真

スキャンする原稿の種類を選択します。
かならず「紙/写真」になります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンの方法を選択します。

次の6つのモードから選択できます。

白黒	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー	モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- 「カラー（マルチスキャン）」で複数の原稿をスキャンした場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルを、リンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

先頭へ戻る▲

出力解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

出力解像度： 300 dpi
75 dpi
100 dpi
150 dpi
200 dpi
300 dpi
400 dpi
600 dpi
800 dpi
1200 dpi

「75 dpi」、「100 dpi」、「150 dpi」、「200 dpi」、「300 dpi」、「400 dpi」、「600 dpi」、「800 dpi」、「1200 dpi」の中から選択できます。

- ［スキャンモード］が「カラー（オートクロップ）」、「カラー（マルチスキャン）」の場合、［出力解像度］は「75dpi」、「150dpi」、「300dpi」、「600dpi」（Macintoshの場合は、最大300dpi）から選択します。

- ［スキャンモード］が「カラー（雑誌・カタログ）」の場合、［出力解像度］は最大600dpiになります。
- ［ファイルの種類］が「PICT」の場合、横幅4096 pixelまでというPICTファイルの仕様があるため、選択している［原稿サイズ］に応じて、表示される［出力解像度］が変わります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

先頭へ戻る▲

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

「A4」、「B5」、「名刺」、「L判縦」、「L判横」、「LL判縦」、「LL判横」、「はがき縦」、「はがき横」、「カスタム」。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、LL判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

「カスタム」を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- ［スキャンモード］が「カラー（マルチスキャン）」、「カラー（オートクロップ）」の場合、［原稿サイズ］は選択できません。

先頭へ戻る▲

スキャナドライバで詳細な設定を行う

□ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
［原稿の種類］［スキャンモード］［原稿サイズ］などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する［ファイルの種類］が「JPEG」の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGearCS」の基本モードまたは拡張モードをご覧ください。

先頭へ戻る▲

ファイル名

ファイル名： Scan1

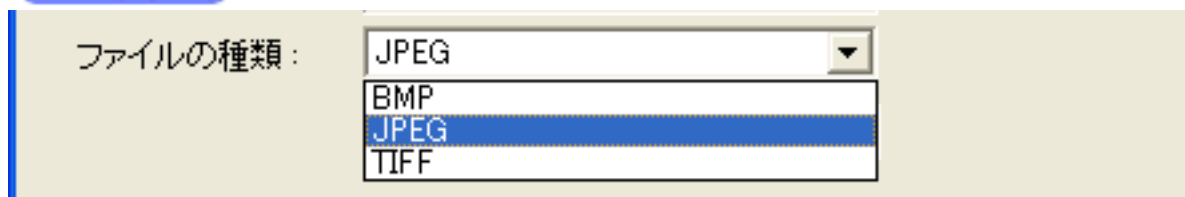
スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 保存先に同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- ［スキャンモード］で「カラー（マルチスキャン）」を選択して複数の原稿をスキャンした場合、ファイル名にデフォルトのものを選択していると、1枚目から「0001」のような連続した4桁の番号がファイル名の後ろに付けられます。
  例：Scan10001→Scan10002→Scan10003・・・
  ファイル名にデフォルト以外のものを指定していると、1枚目には、そのファイル名がそのまま付けられ、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような連続した4桁の番号が付けられます。
  例：abc→abc0001→abc0002・・・
- 拡張子は自動的に付けられます。

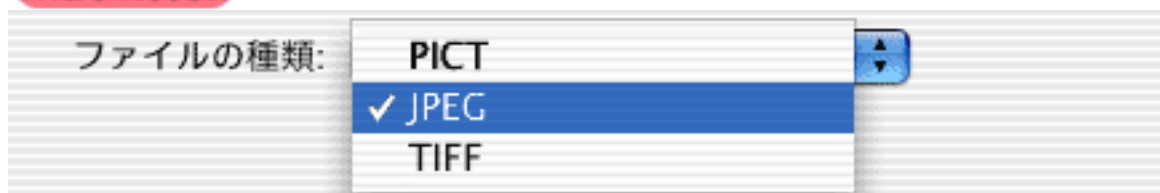
先頭へ戻る▲

ファイルの種類

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

Windows

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

「BMP」、「JPEG」、「TIFF」から選択できます。

Macintosh

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

「PICT」、「JPEG」、「TIFF」から選択できます。

- 「JPEG」は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

先頭へ戻る▲

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンをクリックします。Macintoshの場合は［開く］ボタン（Mac OS 9）または［選択］ボタン（Mac OS X）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows ［マイドキュメント］－［マイピクチャ］フォルダ

Macintosh Mac OS X：Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

Mac OS 9：Macintosh HDの［Applications (Mac OS 9)］－［CanoScan Toolbox 4.5］－［My Pictures］フォルダ

先頭へ戻る▲

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Scan10001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、「2003-08-16」フォルダには、「Scan10002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2003-08-15」など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、「2003-08-15」フォルダに「Scan10001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、「2003-08-16」フォルダには、「Scan10001.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の渡し先

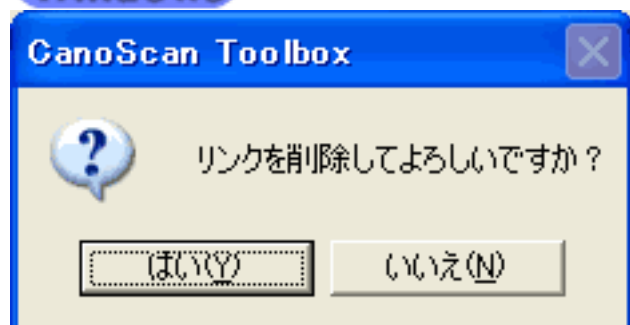
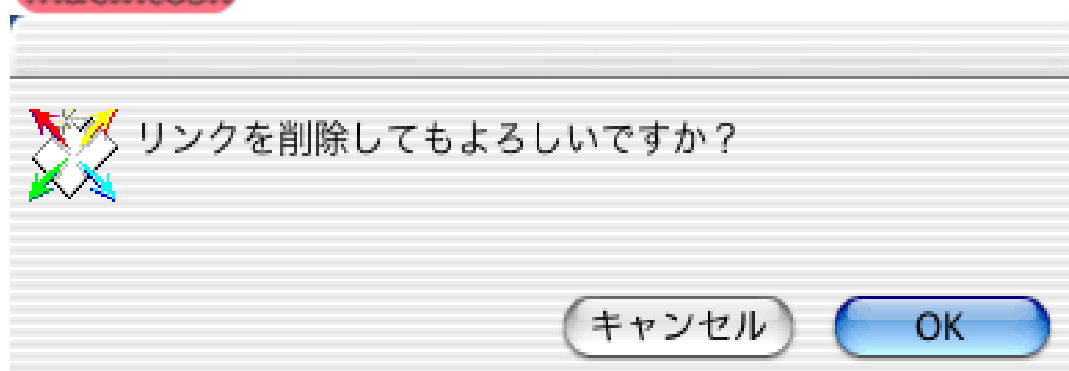
スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、［スキャン-1］にはZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）が、［スキャン-2］にはPhotoStudioが設定されています。

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず、実行可能なファイル（Windowsでは、exeの拡張子が付いています）を設定してください。

- 設定したアプリケーションによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションのショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）にはToolboxから画像を受け取ることのできるアプリケーションソフトをリンクしてください。

- Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビットのいずれかとなります。これ以外のビット数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の確認とExif情報の入力

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、ファイルの種類や保存先を指定できます。→スキャン画像の確認とExif情報の入力

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
［スキャン］ボタンでスキャンせず、［キャンセル］ボタンを押したとき、次回からこの設定内容で表示されます。

- スキャナ前面にある COPYボタン、 SCANボタン、 FILEボタン、 E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンの手順」のEZボタンでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。

- ［スキャンモード］の「カラー（マルチスキャン）」を選択した場合は、複数の画像ファイルがアプリケーションソフトに渡されます。
- ［スキャン-1］ボタンの場合、初期設定では ZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）が起動します。
- ［スキャン-2］ボタンの場合、初期設定では PhotoStudioが起動します。

先頭へ戻る▲

［設定］ボタン（設定画面）

スキャナ前面のEZボタンに割り当てる機能を設定します。また、複数台のスキャナを接続している場合に、使用するスキャナを選択します。

Toolboxの（［設定］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

設定

［設定］
スキャナの選択：使用するスキャナを選択します。
ボタンのリンク：スキャナにあるボタンの機能を設定します。

スキャナの選択

スキャナ： CanoScan LiDE 40/LiDE 50

ボタンのリンク

スキャナのボタンを押した時の動作を選択してください

SCANボタン： スキャン－1

FILEボタン： ファイル

COPY SCAN FILE E-MAIL

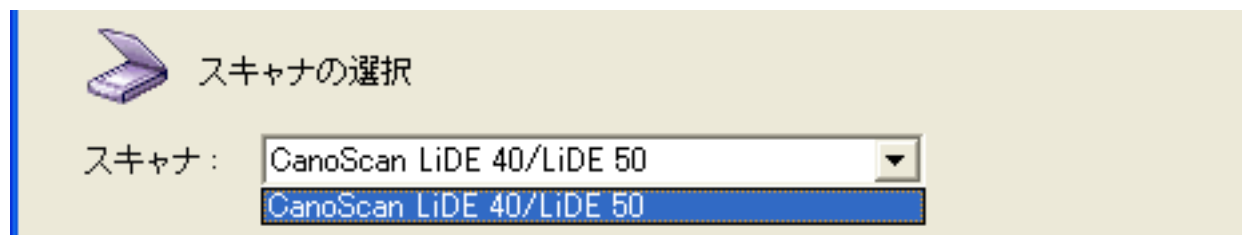
COPYボタン： コピー

E-MAILボタン： メール

初期設定に戻す　OK　キャンセル

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャナの選択

Toolboxに対応したスキャナを2台以上接続している場合に、使用するスキャナを選択します。

先頭へ戻る▲

ボタンのリンク

ボタンのリンク

スキャナのボタンを押した時の動作を選択してください

SCANボタン：
スキャン−1

FILEボタン：
ファイル

COPY SCAN FILE E-MAIL

COPYボタン：
コピー

E-MAILボタン：
メール

コピー
プリント
メール
OCR
保存
ファイル
スキャン−1
スキャン−2
メイン画面表示

初期設定に戻す OK キャンセル

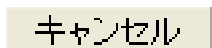
スキャナ前面の COPYボタン、 SCANボタン、 FILEボタン、 E-MAILボタンに割り当てるToolboxの機能を設定します。
各ボタンに「コピー」「プリント」「メール」「OCR」「保存」「ファイル」「スキャン-1」「スキャン-2」「メイン画面表示」のボタンの機能を設定できます。

- 2つ以上のEZボタンに同じ機能を割り当てることはできません。（たとえば、SCANボタンに［コピー］ボタンの機能、COPYボタンにも［コピー］ボタンの機能を割り当てることはできません。）

- 初期設定では、SCANボタンに［スキャン-1］ボタンの機能が、COPYボタンに［コピー］ボタンの機能が、E-MAILボタンに［メール］ボタンが、FILEボタンに［ファイル］ボタンの機能が割り当てられています。
- 「メイン画面表示」を選択した場合、割り当てたEZボタンを押すとToolboxのメイン画面が表示されます。
- EZボタンに割り当てる機能を変更するには、Toolboxのメイン画面で、EZボタンアイコンを割り当てたい機能ボタンの上にドラッグしても簡単に変更できます。

上の例では、［スキャン-1］ボタンの上のSCANボタンアイコンを［スキャン-2］ボタンの上に移動することで、スキャナ前面のSCANボタンが［スキャン-2］の機能（この場合は、PhotoStudio）となります。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

OK　［OK］ボタン

設定した内容を保存し、現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

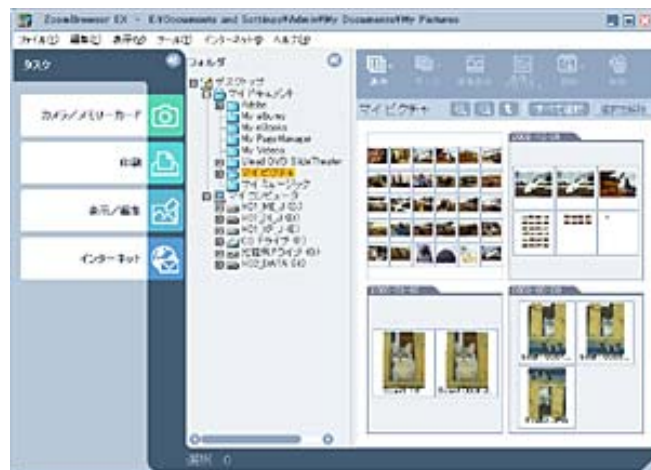
キャンセル　［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた
- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

Windows ZoomBrowser EX/PhotoRecord

ZoomBrowser EXは、コンピュータ内に保存されている画像や、スキャナやデジタルカメラから取り込んだ画像を、簡単な操作で移動したりコピーして、分類や仕分けができます。また、画像の簡単な編集やスライドショー、メールへの添付、PhotoRecordを使ったレイアウト印刷などもできます。
PhotoRecordは、複数の画像をA4サイズなどの用紙にレイアウトしてアルバムを作ったり、背景や枠を付けてカードを作ったりするソフトです。単独で使うこともできますが、ZoomBrowser EXの印刷機能として、ZoomBrowser EXから呼び出して使うこともできます。

ZoomBrowser EX

PhotoRecord

ソフトウェアの使いかた

「目的別スキャナ活用法」の保存した画像を整理したいをご覧ください。

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「ZoomBrowser EX/PhotoRecordソフトウェアガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　キヤノン販売（株）お客様相談センター
電話0570-01-9000
http://canon.jp/　「サポート」

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

Macintosh ImageBrowser

コンピュータ内に保存されている画像や、スキャナやデジタルカメラから取り込んだ画像を、簡単な操作で移動したりコピーして、分類や仕分けができます。
また、画像の簡単な編集やスライドショーをすることもできます。

画像を整理する

画像を編集する

ソフトウェアの使いかた

「目的別スキャナ活用法」の保存した画像を整理したいをご覧ください。

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「ImageBrowserソフトウェアガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　キヤノン販売（株）お客様相談センター
電話0570-01-9000
http://canon.jp/　「サポート」

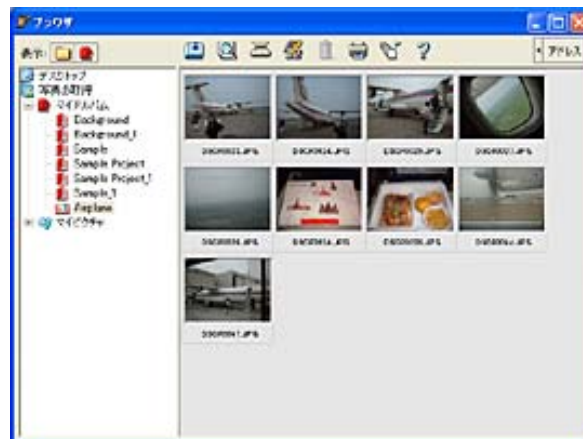
付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

PhotoStudio

画像加工と編集用ツールのほか、色調補正や特殊効果など、画像編集に必要な機能を備えています。
また、画像のアルバム管理、複数回の取り消し/やり直し、複数レイヤー、編集可能なテキスト、マクロ、バッチ処理などのハイエンドな機能も充実しています。

画像をスキャンする

画像を加工する

アルバムを作る

・ この画面は、Windows版PhotoStudioの画面です。

スキャンの方法

「スキャンの手順」のPhotoStudioでスキャンするをご覧ください。

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudio マニュアル」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　アークソフトジャパン
電話03-5795-1392
http://www.arcsoft.jp/　「サポート」

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader

e.Typistエントリー

「e.Typistエントリー」は、スキャンした本や新聞の活字（画像データ）をテキストデータに変換する「OCR（オーシーアール）」と呼ばれるソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集することができます。日本語と英語の文字認識ができます。

文字原稿を読み取る　　e.Typistエントリー

 ・ この画面は、Windows版e.Typistエントリーの画面です。

スキャンの方法

スキャンの手順の詳しくは以下をご覧ください。

- Windows e.Typistエントリーでスキャンする
- Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする

マニュアルを見る

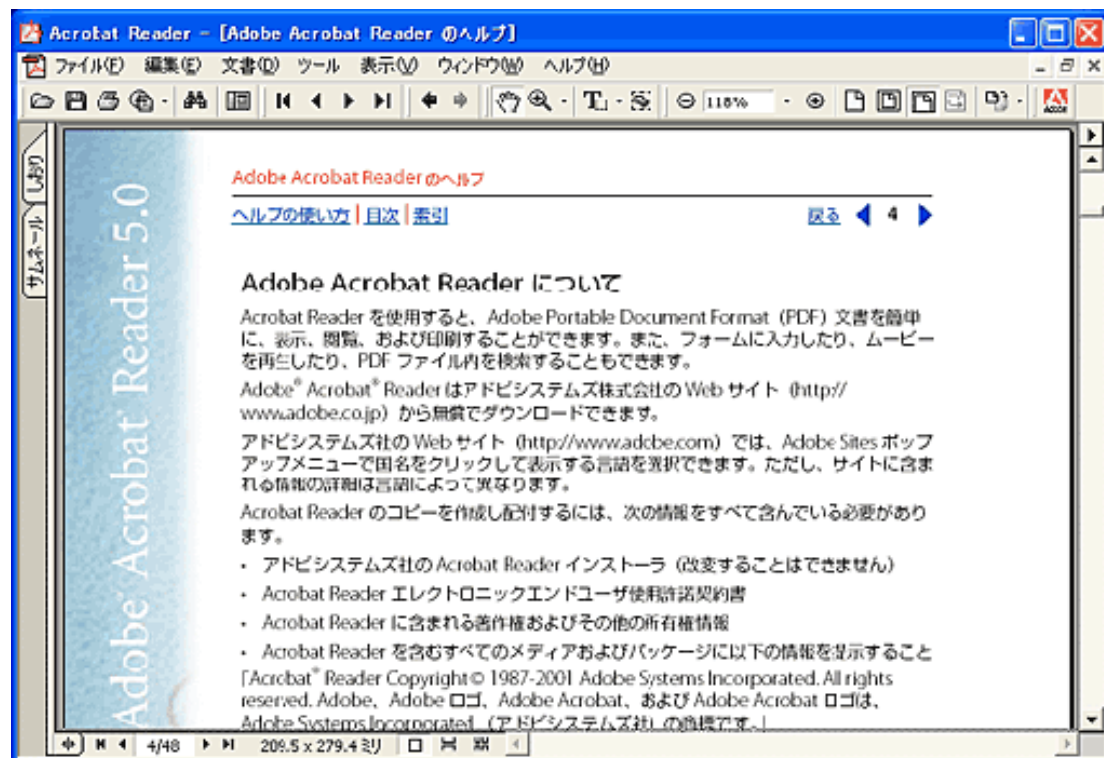
キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「e.Typistエントリー マニュアル」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　メディアドライブ（株）
電話03-5724-5381
http://www.mediadrive.co.jp/　「よくある質問」

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
- CanoScan Toolbox
- その他のアプリケーションソフトウェア
  - ZoomBrowser EX/PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader
    - 電子マニュアル（PDF)の読みかた

Acrobat Reader

Acrobat Readerは、PDF（Portable Document Format）を表示、印刷するためのソフトウェアです。アドビシステムズのサイトから、いつでも最新版を無償でダウンロードすることができます。

Acrobat Reader 5.0

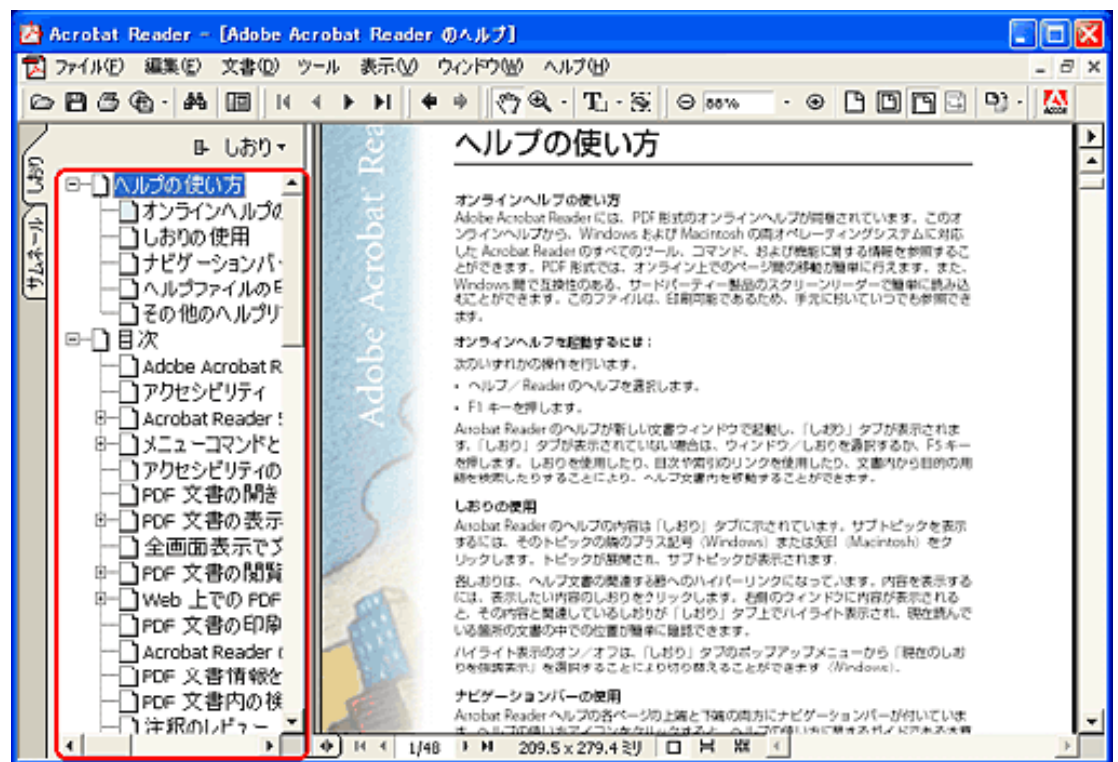
 ・ この画面は、Windows版Acrobat Reader 5.0の画面です。

Acrobat Readerの起動

Windows PDFファイルをダブルクリックするか、またはWindowsの［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］→［Acrobat Reader］を選択します。
Acrobat Readerが起動します。

Macintosh ［Acrobat Reader］フォルダをダブルクリックし、［Acrobat Reader］アイコンをダブルクリックします。
Acrobat Readerが起動します。

マニュアルを見る

Acrobat Readerの［ヘルプ］メニューから［Readerのヘルプ］を選択します。
Acrobat Readerのヘルプ（PDF）が表示されます。

Acrobat Readerのヘルプには、必要なページを検索しやすいように「しおり」が付いています。画面の左側にWindowsのエクスプローラのように階層状に並んでいるのが「しおり」です。目的の項目をクリックすると、該当のページが直接表示されます。

お問い合わせ先： アドビシステムズ（株）
http://www.adobe.co.jp/
「テクニカルソリューションデータベース」

電子マニュアル（PDF）の読みかた

電子マニュアルは、コンピュータの画面に表示して読むマニュアルです。付属のソフトウェアの電子マニュアル（PDF）を読むときは「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でインストールした「Adobe Acrobat Reader」を使います。
別冊の「まず使えるようにしよう」の「電子マニュアルの見かた」をご覧ください。

Adobe Acrobat Readerの主な機能
表示された電子マニュアルを読むときに最低限必要となる基本操作をWindowsの例で説明します。操作は、Windowsの場合でもMacintoshの場合でも、一部を除いてほとんど同じです。

表示を拡大するときは、このボタンをクリックした後、ページ内をクリックします。表示を縮小するには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。Macintoshの場合は［option］キーを押しながらクリックします。

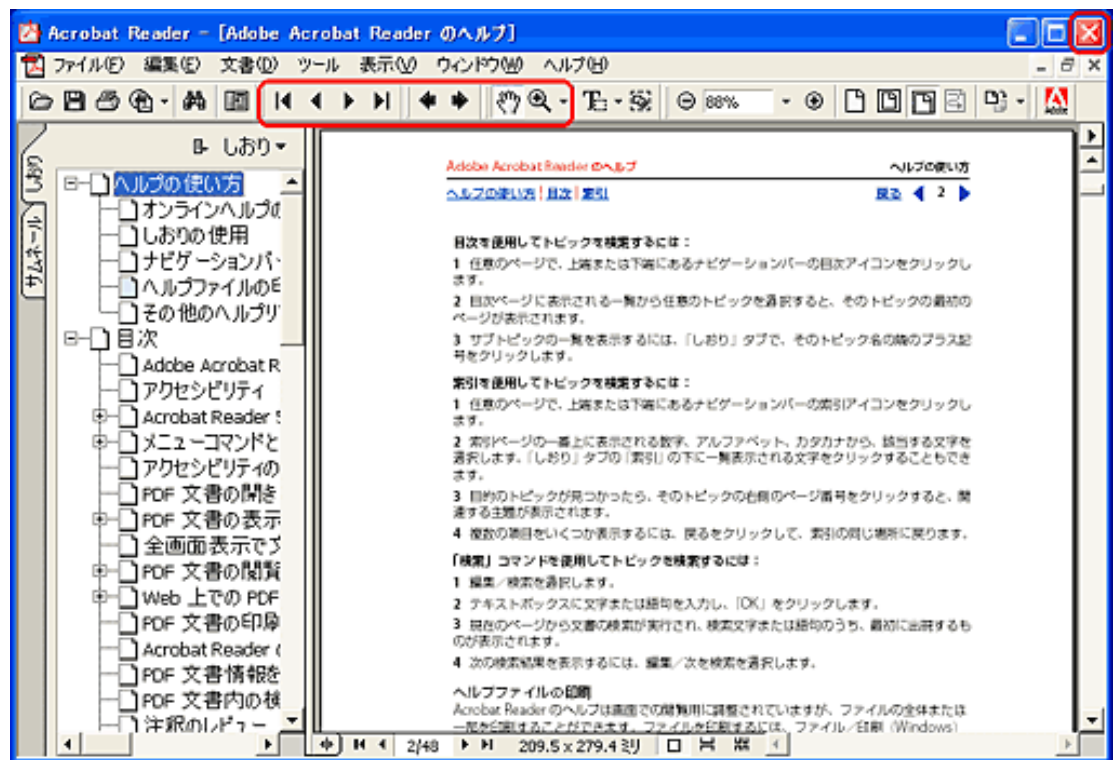
前ページに戻るときにクリックします。

次のページを表示するときにクリックします。

先頭ページを表示するときにクリックします。

最終ページを表示するときにクリックします。

前の画面に戻るときにクリックします。

次の画面に進むときにクリックします。

もっと上手にスキャンする

もっと美しくスキャンしたい、もっと思いどおりにスキャンしたいと考えている人のために、ScanGear CSを使ったスキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

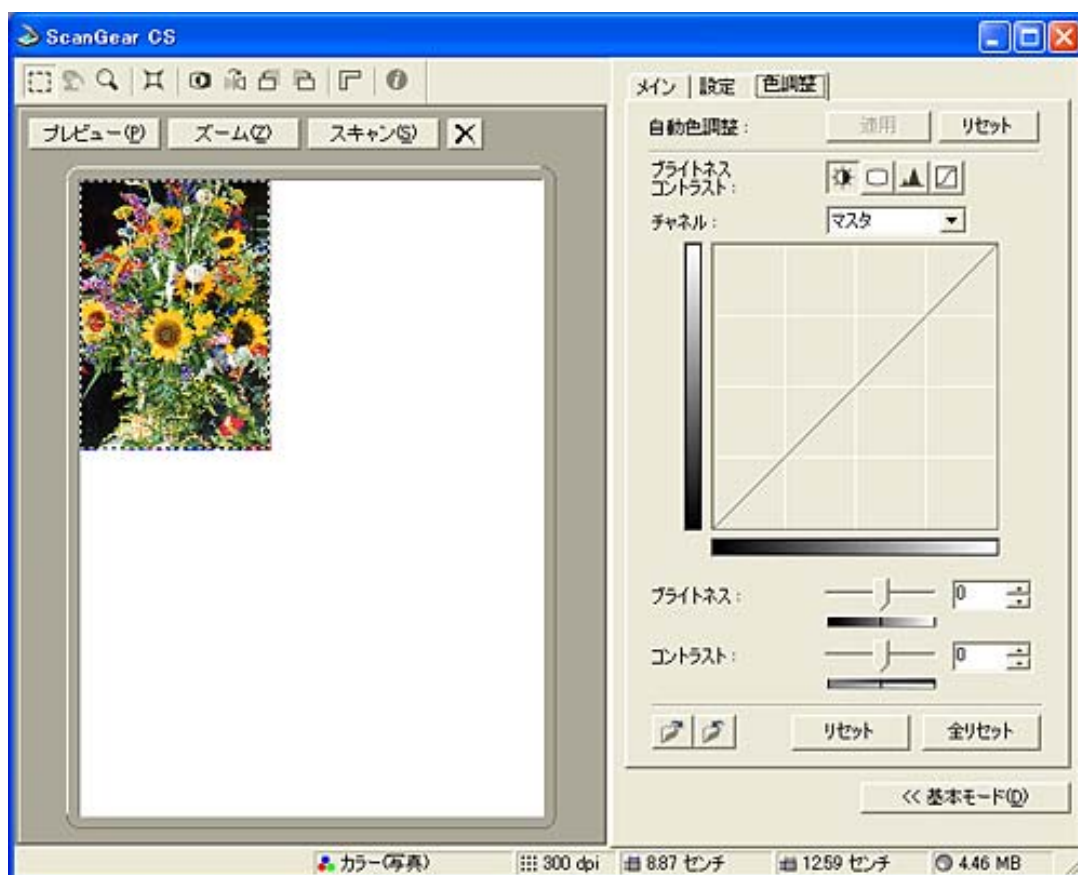
  Macintosh　OS X:　Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
  OS 9:　Outlook Express、EUDORA

  * MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

もっと上手にスキャンする
スキャン画像を好みの色合いに調整するには
もっとくっきりした画質でスキャンするには
解像度の決めかた
解像度とデータ容量
ブライトネスとコントラストの調整方法
ガンマ値の設定方法
ヒストグラムの見かたと調整
トーンカーブの見かたと調整
スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

スキャン画像を好みの色合いに調整するには

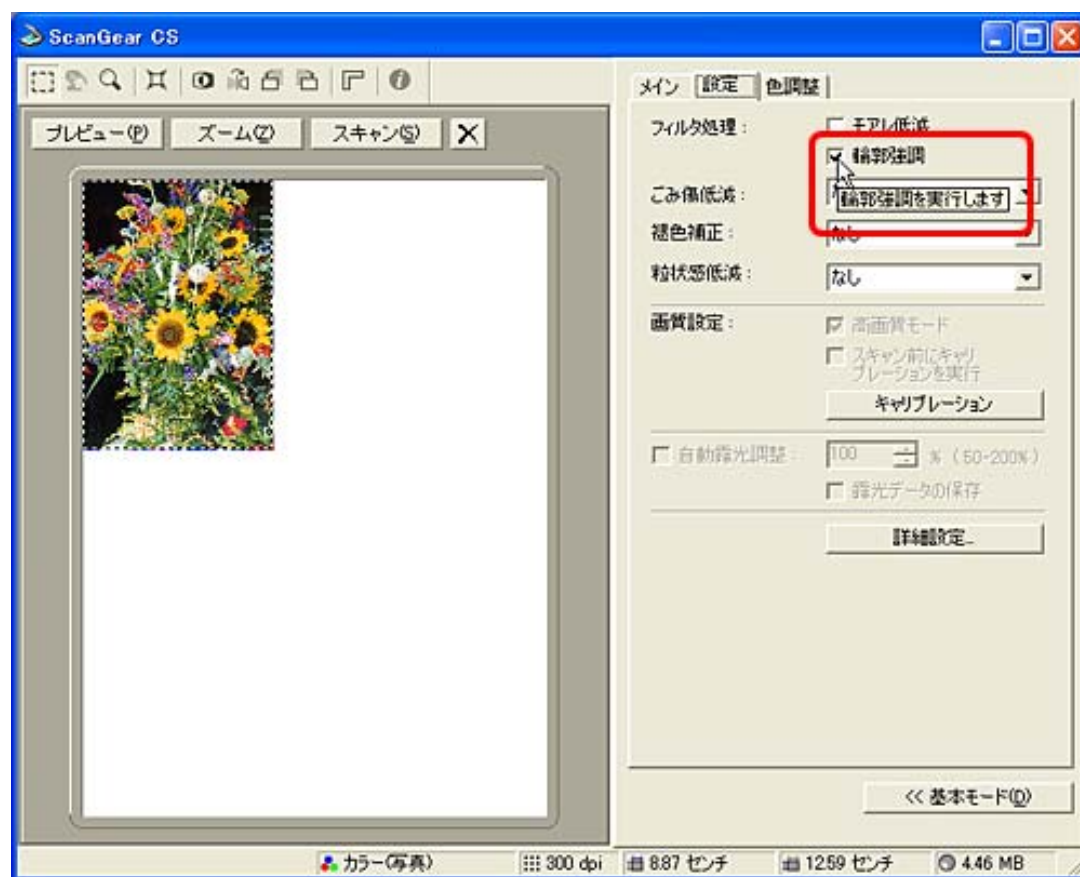
スキャンした画像の色合いが、どうも自分のイメージと違う、あるいは原稿より鮮やかな色合いでスキャンしたいときなど、次のような方法でスキャンします。

ScanGear CSの画面を表示し、拡張モードで「ブライトネス／コントラスト」、「ガンマ値」、「ヒストグラム」、「トーンカーブ」などを調整してスキャンします。

ブライトネスとコントラストの調整方法
ガンマ値の設定方法
ヒストグラムの見かたと調整
トーンカーブの見かたと調整

もっと上手にスキャンする

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

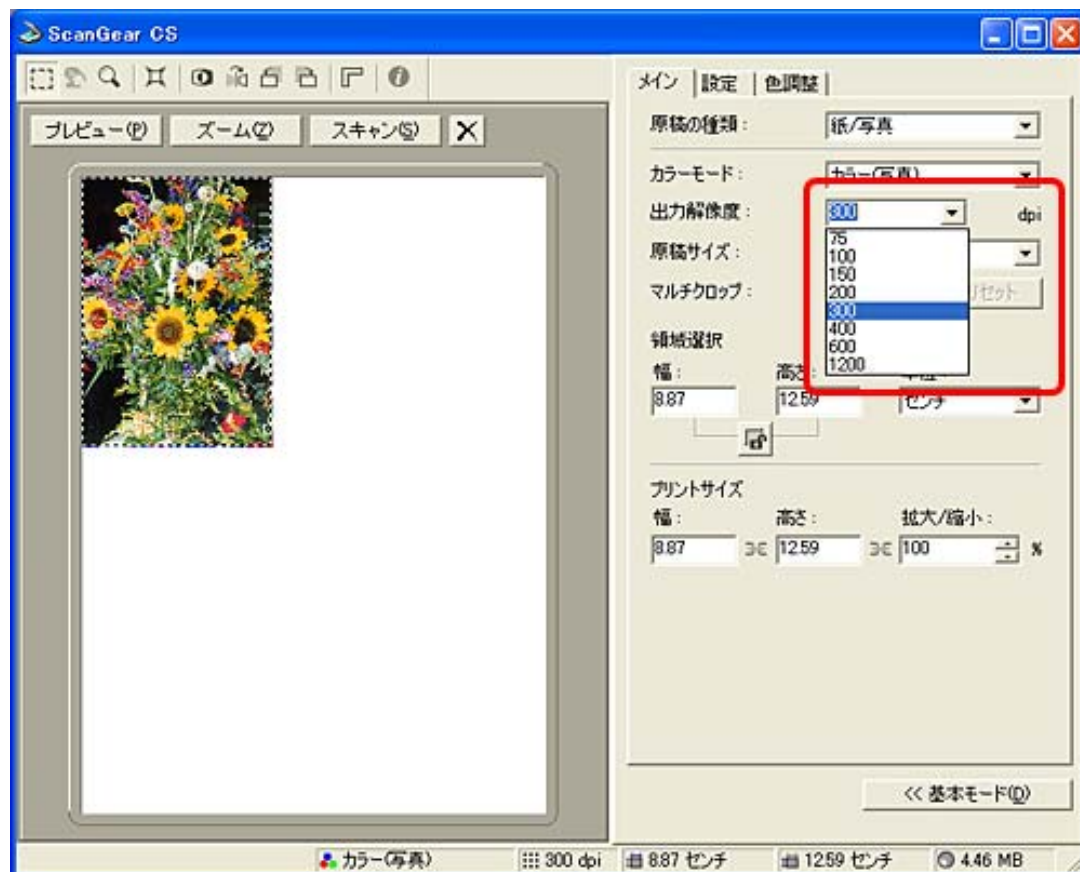
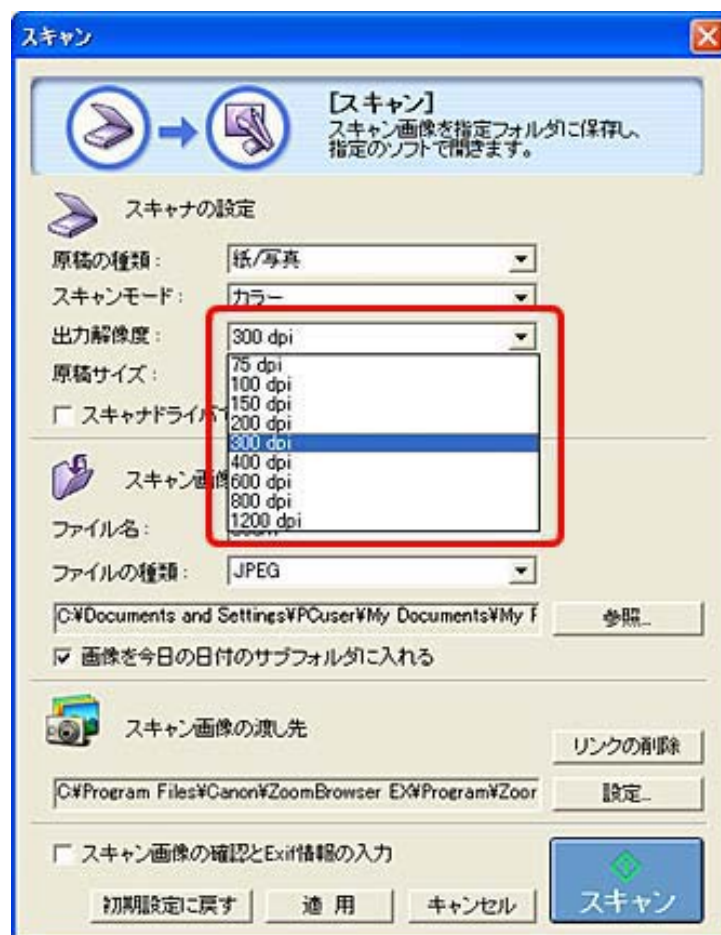
もっとくっきりした画質でスキャンするには

ぼやけ気味の写真などをくっきりした画質にしたいときは、ScanGear CSの拡張モードで、輪郭強調（アンシャープマスク）をオンにしてスキャンします。

輪郭強調

もっと上手にスキャンする
- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

解像度の決めかた

スキャナで読み取られた画像は、明るさや色の情報を持った点の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細かさや粗さは、この解像度によって決まります。解像度の数字を大きくすると、きめ細かく、数字を小さくすると粗い画像になります。
解像度は、ScanGear CS、またはCanoScan Toolboxの各ボタンの画面で設定します。

ScanGear CS／拡張モード

CanoScan Toolbox／スキャン画面

- この画面はスキャン画面の例です。メール画面、OCR画面、保存画面、ファイル画面の場合も同じように［出力解像度］で設定します。コピー画面、プリント画面の場合は［入力解像度］で設定します。

出力解像度と倍率

ScanGear CSやCanoScan Toolboxで指定できる解像度は「出力解像度」です。これは、スキャン結果として得られる画像データの解像度を指定するもので、実際に画像をスキャンするときの解像度（入力解像度）ではありません。
実際に画像をスキャンするときの解像度（入力解像度）は、「出力解像度」と「拡大／縮小*」を掛けたものになります。たとえば、「出力解像度」が300 dpiで「拡大／縮小」が200%であれば、入力解像度は600 dpiになります。

適切な出力解像度

［原稿の種類］が「紙/写真」のとき、拡大率を100%より大きくし出力解像度を300dpiより高くした場合、スキャン時間や保存容量が非常にかかります。
出力解像度や拡大率は不必要に高くしないようご注意ください。

＜適切な出力解像度の例＞
L判（8.9cm x 12.7cm）のカラー写真を2倍に拡大して印刷するとき

出力解像度：300dpi
拡大率：200%

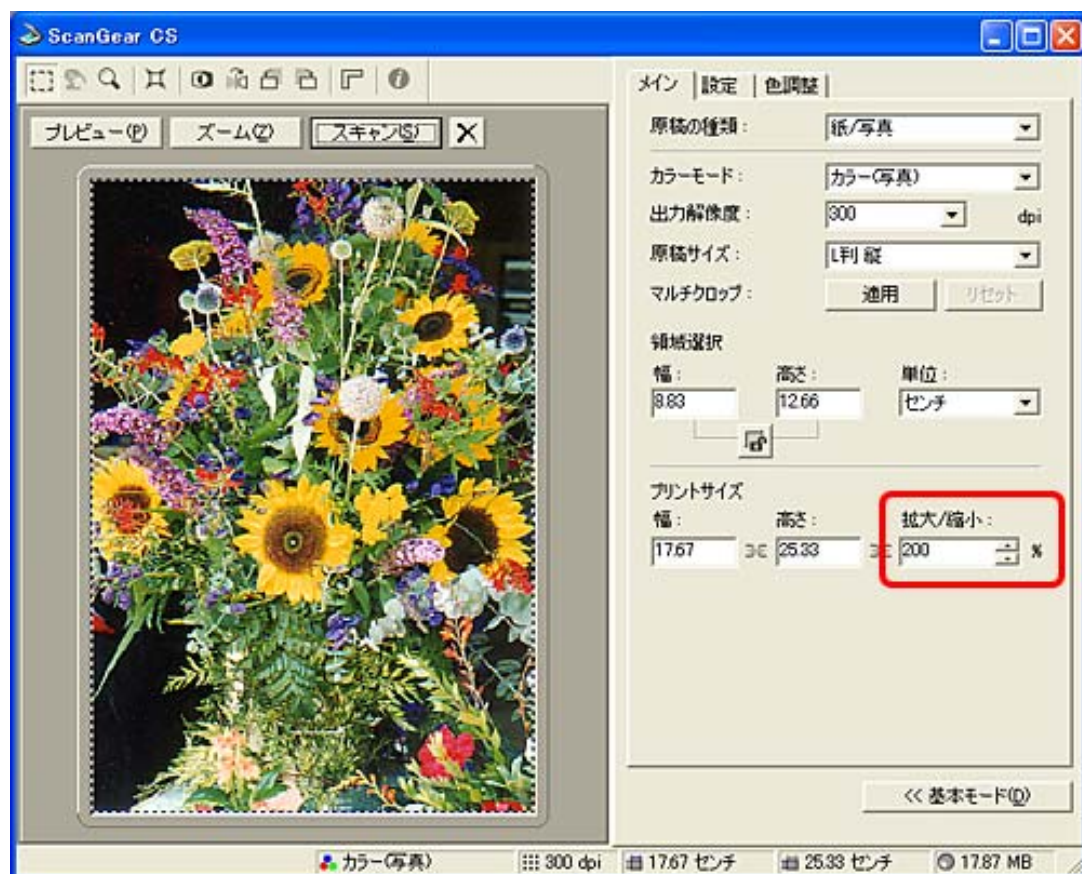
寸法を2倍に拡大して印刷

実際にスキャンする解像度：
600dpi

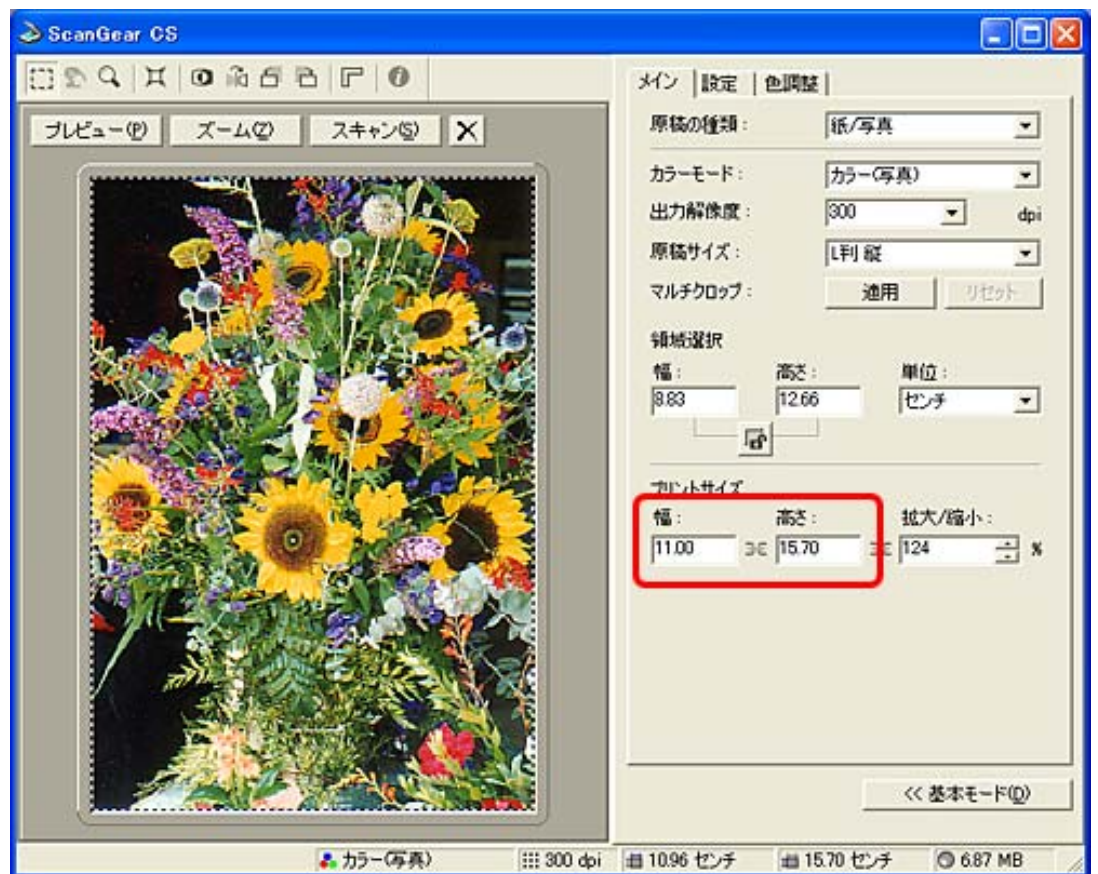
印刷時の解像度：300dpi

・ScanGear CSでの設定方法

元の原稿を拡大／縮小して印刷する場合は、拡張モードの［プリントサイズ］で［拡大／縮小］に拡大率を設定します。
たとえば、元の原稿を縦横2倍の大きさで印刷する場合は、［拡大／縮小］に200%を設定します。逆に、1/2に縮小する場合は、［拡大／縮小］に50%を設定します。
スキャナは、ScanGear CSの［拡大／縮小］のパーセンテージに比例してスキャン時の解像度（読み取り解像度といいます）を変えてスキャンします。

- 必要以上に［出力解像度］を大きく設定すると、警告メッセージが表示されます。
- CanoScan Toolboxで目的の出力解像度が選択できないときは、［スキャナドライバで詳細な設定を行う］をクリックしてチェックマークを付け、ScanGear CSの拡張モードで設定してください。

［拡大／縮小］の数値を指定すると、その値に連動して［幅］と［高さ］が変わり、印刷したときのサイズを確認することができます。

・決まったプリントサイズで印刷するには

印刷するときのプリントサイズが決まっている場合は、［幅］または［高さ］に数値を入力します。

入力した数値に連動して［拡大／縮小］の数値が変わります。たとえば、幅10cm高さ5cmの画像を、幅15cm高さ7.5cmで印刷する場合、［拡大／縮小］は150%に変わります。
スキャナは、この拡大／縮小に比例して読み取り解像度を変えてスキャンします。

・ディスプレイに表示するとき

スキャンした画像を、ディスプレイに表示する場合には、一般的なディスプレイの解像度である［75dpi］、［拡大／縮小］は100%を選択します。

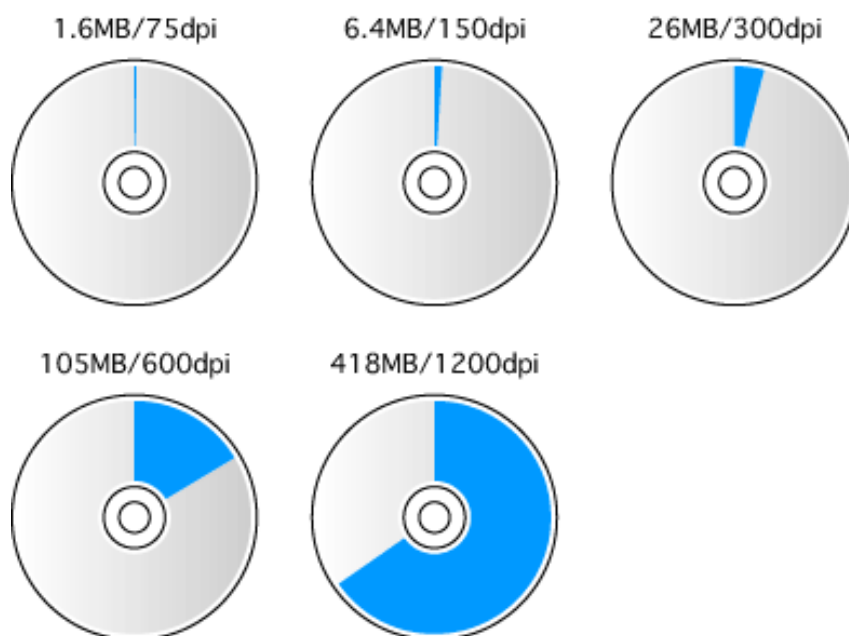
先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする
- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

解像度とデータ容量

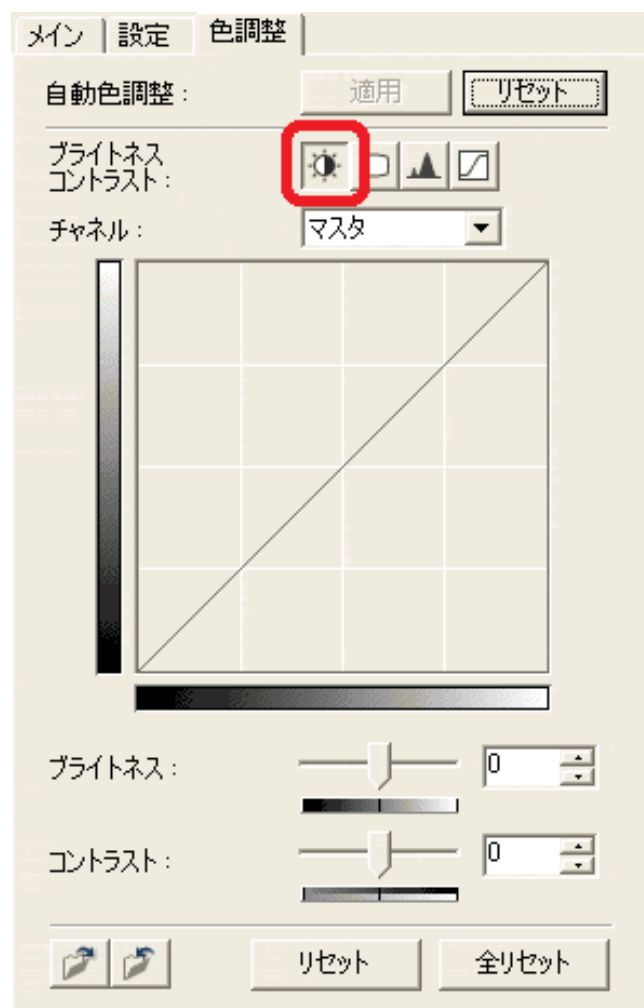
解像度は、スキャンした画像の使用目的に合わせ、必要最小限に設定します。解像度を2倍にすると、データ容量は4倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。必要以上に解像度を高く設定することは避けてください。

【例】
A4サイズ（21×29.7cm）の原稿を、カラーモード「カラー」に設定してスキャンした場合、データ容量は解像度によって次のように変化します。

下の図は、データ容量をわかりやすくしたイメージ図です。
円は1枚のCD-ROM（640MB）を表現しています。

※ この値はあくまで目安であり、実際のデータ容量は画像によって異なります。

もっと上手にスキャンする
- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

ブライトネスとコントラストの調整方法

ScanGear CSの拡張モード／色調整シートで［ブライトネス／コントラスト］を選びます。

ブライトネスの調整

画像の明るさを調整します。
画像が全体的に暗かったり、明るすぎたりするときに調整すると効果的です（［チャネル］には「マスタ」を指定）。ただし、ブライトネスの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、ブライトネスの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

ブライトネス=標準

ブライトネス>標準

ブライトネス<標準

コントラストの調整

コントラストとは、画像の明暗の差のことです。
コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、暗い部分と明るい部分の違いがはっきりします。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、暗い部分と明るい部分の違いがぼんやりします。

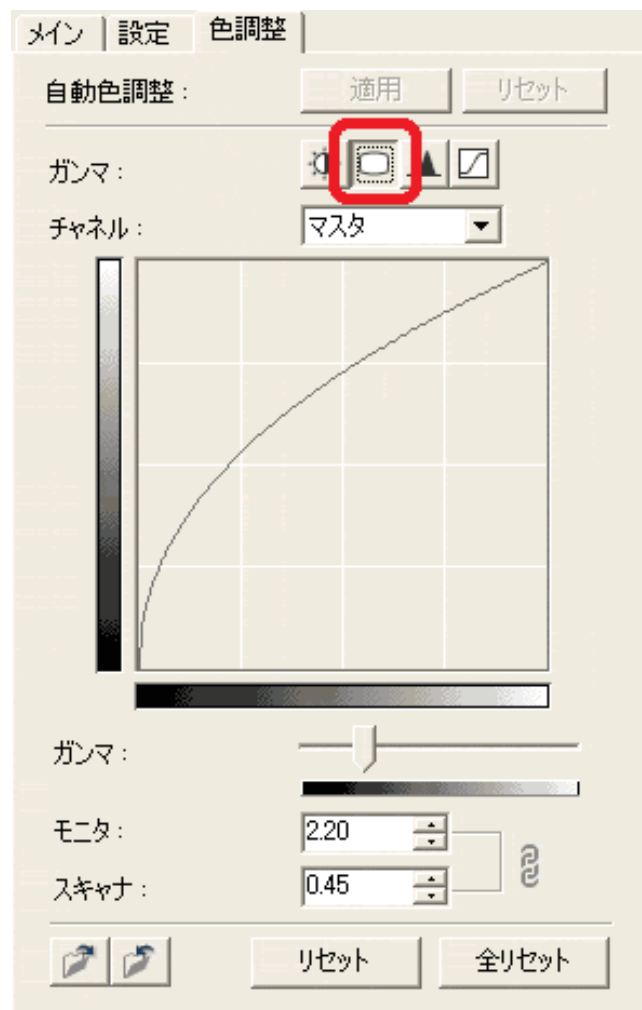
コントラスト=標準	コントラスト＞標準	コントラスト＜標準

写真画像のピントがぼけているようなときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする
- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

ガンマ値の設定方法

ScanGear CSの拡張モード／色調整シートで［ガンマ］を選びます。

ガンマ補正の目的は、「元となる原稿の明るさとコンピュータのディスプレイ（モニタ）で見る画像の明るさを一致させる」ことです。
ディスプレイは色を再現するときの特性をそれぞれ持っており、その特性は「ガンマ値」で示されます。一般的なディスプレイのガンマ値は1.4 から2.2で、もともとの画像を多少暗めに再現します。これを避けて元の原稿に忠実な画像をディスプレイに再現するには、ガンマ値を補正する必要があります。
ScanGear CSでは、あらかじめ一般的なディスプレイのガンマ値（Windows：2.2、Macintosh：1.8）に合わせて設定されていますが、ガンマ値がScanGear CSの初期設定値でないディスプレイを使用する場合は、そのディスプレイのガンマ値をここで設定します。
ディスプレイのガンマ値を設定すると、次の計算式（ディスプレイのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。

1/ディスプレイのガンマ値　=　スキャナのガンマ値
1/2.2 = 0.45
（ディスプレイのガンマ値が2.2の場合、スキャナのガンマ値は0.45）

- ご使用のディスプレイのガンマ値については、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

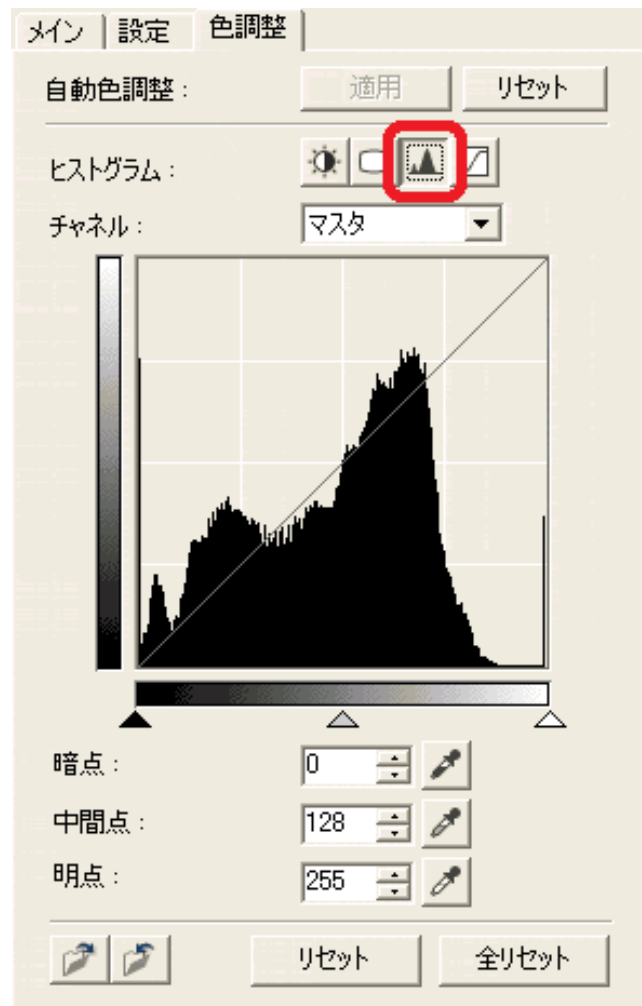
先頭へ戻る▲

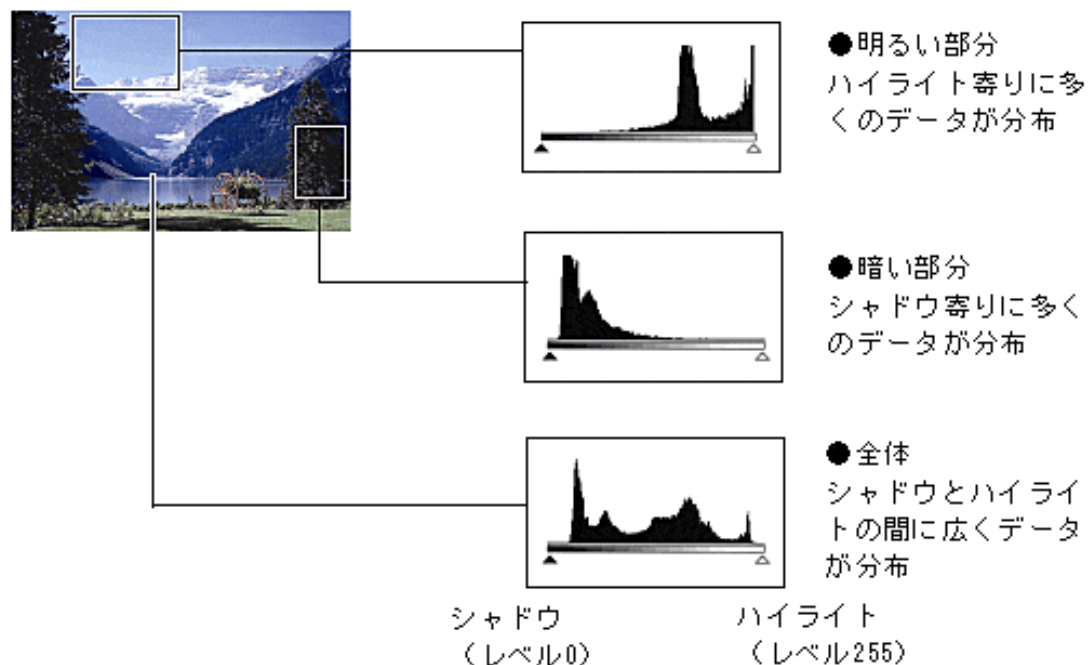
もっと上手にスキャンする

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

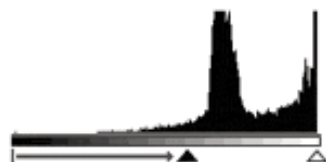
ヒストグラムの見かたと調整

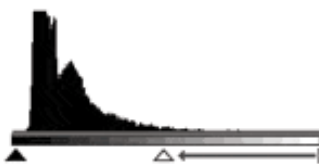
ヒストグラムは、画像の明るさの分布を示すグラフです。

ScanGear CSの拡張モード／色調整シートで［ヒストグラム］を選びます。

ヒストグラムの見かた

指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。

ヒストグラムの調整

暗点スライダと明点スライダの位置を移動し、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。暗点スライダより左にあるデータはすべてレベル0（黒）になり、明点スライダより右にあるデータはすべてレベル255（白）のデータになります。
初期設定では［自動色調整］がオンになっています。下図のような調整が自動的に行われます。

【例1】ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライダの位置をハイライト寄りに移動

【例2】シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

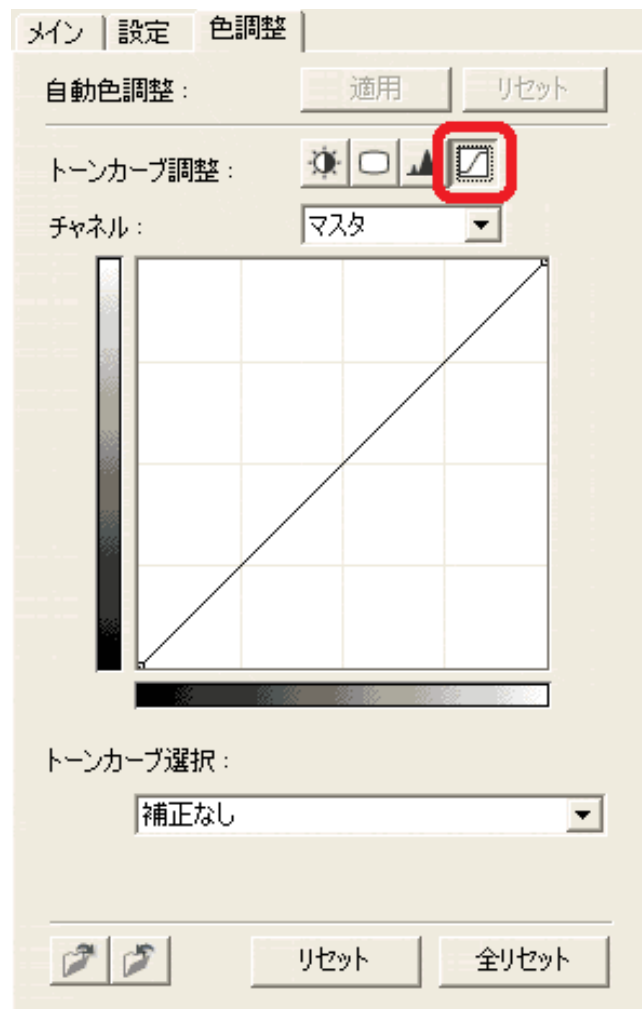
【例3】広くデータが分布している画像

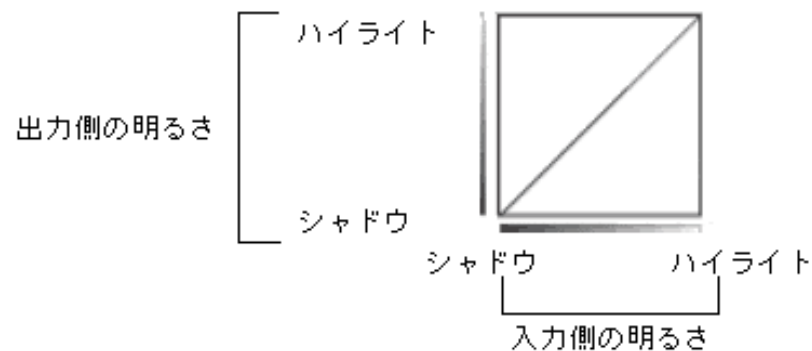
暗点スライダの位置をハイライト寄りに、明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする
スキャン画像を好みの色合いに調整するには
もっとくっきりした画質でスキャンするには
解像度の決めかた
解像度とデータ容量
ブライトネスとコントラストの調整方法
ガンマ値の設定方法
ヒストグラムの見かたと調整
トーンカーブの見かたと調整
スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

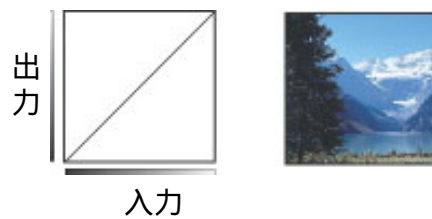
トーンカーブの見かたと調整

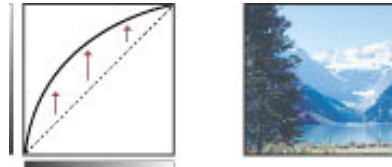
ScanGear CSの拡張モード／色調整シートで［トーンカーブ］ を選びます。

トーンカーブの見かた

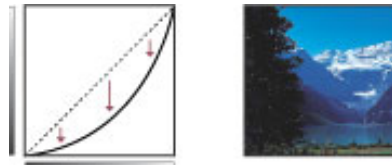
ScanGear CSでは、スキャナからの画像の読み取りが「入力」、ディスプレイへの表示が「出力」となります。この入力と出力の明暗のバランスを示したものがトーンカーブです。

トーンカーブの調整

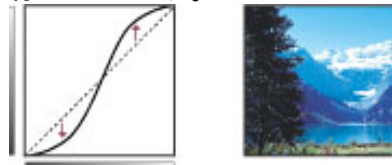
トーンカーブの形によって、画像の色調は次のように調整されます。

未調整の状態

入力

【例1】上膨らみの曲線の場合

入力側の中間調のデータが出力側のハイライトよりの形になるので、ディスプレイの表示は明るい感じの色調に調整されます。

【例2】下膨らみの曲線の場合

入力側の中間調のデータが出力側のシャドウよりの形になるので、ディスプレイの表示は暗い感じの色調に調整されます。

【例3】S 字形の曲線の場合

入力側のハイライトとシャドウが強調されるためコントラストが強調された画像になります。

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

スキャンした画像を保存するとき、画像ファイルのファイル形式を選択することができます。スキャンした画像を何に使うのか、どのアプリケーションで扱うのかによってなど、条件に適したファイル形式を指定する必要があります。
アプリケーションや使用するコンピュータ（Windows、Macintosh）によっても、扱うことのできるファイル形式が異なります。
ここでは、各ファイル形式の特徴を紹介します。

BMPファイル

Windows の標準的なビットマップファイル形式です。
Windows のほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Windows 上だけで画像ファイルを活用する場合には、よく用いる形式です。
一般に「.bmp 」という拡張子が使われます。
なお、Macintosh のCanoScan Toolbox の場合、このファイル形式は選択できません。

PICTファイル

Macintoshの標準的なグラフィックファイル形式です。
Macintoshのほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Macintosh上だけで画像ファイルを活用する場合には、この形式にしておけば、まず間違いありません。
なお、WindowsのCanoScan Toolboxの場合、このファイル形式は選択できません。

JPEGファイル

ISOの団体「Joint Photographic Experts Group 」が提唱した画像フォーマットです。
WEB（ホームページ）上や、デジタルカメラの画像でよく使われるファイル形式です。
この形式は圧縮率が高いのが特徴です。もともとのデータサイズの1/10〜1/50 の圧縮が可能です。ただし、この形式の圧縮は非可逆圧縮と呼ばれる圧縮のため、圧縮時に一部のデータを消失します。これは最初の状態には戻らない、つまり「画像が少しだけ劣化する」ということです。このため、何度も「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返すと、だんだん劣化が目立つようになってきます。
一般に「.jpg 」という拡張子が使われます。
画像タイプが白黒のときには選択できません。

Exifファイル

JEIDA(日本電子工業振興協会)によって策定されたファイル形式で、Exchangeable image file format for Digital Still Cameraの頭文字から命名されています。
多くのデジタルカメラで標準的に使用されている形式です。
JPEGファイルに、撮影日や使用カメラの機種名、シャッタースピード、撮影シーンタイプ、コメントなどを付加したもので、JPEGファイルと互換性があります。拡張子も、通常は「.JPG」が使用されます。
ダイレクトプリント機能を持ったプリンタで使用するためには、Exif 2.2以降の形式である必要があります。CanoScan Toolboxでは、この形式のファイルを作成することができます。

TIFFファイル

「Tagged Image File Format」の略称です。さまざまなコンピュータ上、アプリケーション上で、比較的互換性の高いファイル形式です。ただし、ファイルの先頭にタグ

と呼ばれるデータを付加することでファイル形式を拡張できる特徴を持つため、場合によっては互換性のないデータも存在します。
一般に「.tif」という拡張子が使われます。

PDFファイル

「Portable Document format」の略称です。PostScript（ページ記述言語）を元にアドビシステムズ社が開発したファイル形式で、Acrobat Readerという閲覧用のソフトウェアを使用して、表示、印刷することができます。
Acrobat Readerは無償で配布され、さまざまなコンピュータやOSで使用することができるため、OSやフォントなどの使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくPDF文書をやり取りできます。また、比較的データ容量も小さくなるため、ネットワーク環境での使用に適しています。

・ PhotoStudio File

レタッチソフトPhotoStudio独自のファイル形式です。
Windows版では、.PSFの拡張子が付きます。
レイヤー*ごとに画像を保存できますが、そのため、JPEGなどの汎用的なファイル形式と互換性はありません。また、他のレタッチソフトでも扱えません。
PhotoStudio以外のアプリケーションソフトで画像を扱うときは、レイヤーを結合してから、［名前を付けて保存］でJPEGなどの汎用的なファイル形式を指定して、画像をいったん保存します。

* 別々の透明なシートに描かれた画像を重ね合わせる機能での、透明なシートにあたるものです。

先頭へ戻る▲

困ったときには

スキャナを使っていて動かない、エラーメッセージが表示されるなどのトラブルに対処する方法を紹介します。

- インストールのトラブル
- 接続のトラブル
- スキャンのトラブル
- ソフトウェアのトラブル
- その他のトラブル
- ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

インストールのトラブル

前頁へ戻る

症状　1： キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない
症状　2： WindowsでAdobe Acrobat Readerのインストール時に「アンインストールが完了していません。・・・」のメッセージが表示された
症状　3： インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった
症状　4： 「メモリが足りません...」のメッセージが出てインストールできない

症状 1：　キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない

原因　1：	CD-ROMが正しくセットされていない。
対処　　：	「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットし直してください。

原因　2：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついている。または、CD-ROMが手あかなどでよごれている。
対処　1：	CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、かるくぬぐって取り除いてください。
対処　2：	CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないようにかるくぬぐって取り除いてください。
対処　3：	CD-ROMドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

- 絶対にCD-ROMドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

原因　3：	CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない。

対処　：　以下の手順で［キヤノスキャンセットアップ］を直接起動してください。

Windows

1. ［スタート］メニューの［マイコンピュータ］をクリック（Windows XPの場合）、または、デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリック（Windows XP以外の場合）
2. ［CanoScan］（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリック
3. ［SetUp］アイコンをダブルクリック

Macintosh

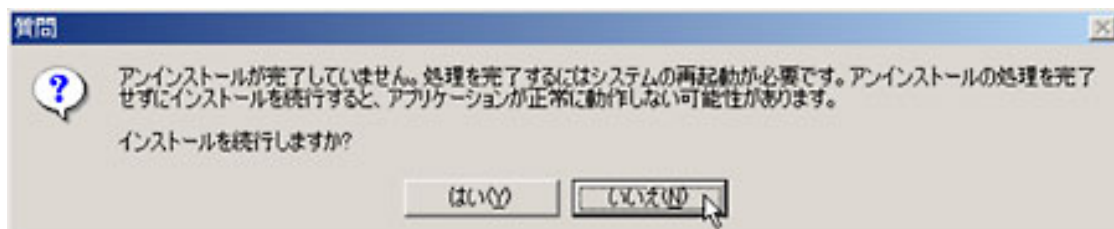
1. デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリック
2. ［SetUp］アイコンをダブルクリック

※ Mac OS Xをお使いの場合は、かならずこの操作を行なってください。

- ［CanoScan］（CD-ROMドライブ）アイコンやCD-ROMアイコン、［SetUp］アイコンが表示されない場合は、CD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。
- ［CanoScan］（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリックして開いても［SetUp］アイコンが見あたらない場合は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMが壊れている可能性があります。お客様相談センターまでお問い合わせください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る▶

症状 2：　Adobe Acrobat Readerのインストール時に、［アンインストールが完了していません。・・・］のメッセージが表示された

原因　：　古いバージョンのAdobe Acrobat Readerがハードディスク内に残っている。

対処　：　以下の手順で古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除してから、インストールします。

1. ［いいえ］ボタンをクリックしてインストールを中止します。
2. メインメニュー画面に戻り、［ソフトウェアの削除］の［アプリケーションソフトの削除］を選択して古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除します。
3. メインメニュー画面に戻り、「ソフトウェアのインストール」を選び、メッセージにしたがってインストールします。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

症状 3： インストールの途中で［ハードディスク容量不足］のメッセージが出てインストールできなくなった

原因	：	インストール先のハードディスクドライブが一杯になり、インストールできなくなった。
対処	：	次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールをし直してください。

Windows

- ハードディスクドライブ（C:）内の不要なファイルやアプリケーションソフトを削除します。かならず［ごみ箱］を右クリックして、［ごみ箱を空にする］を実行します。
- ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］で［ディスククリーンアップ］を選択し、ハードディスクドライブ（C:）の不要なファイルを削除します。
- ハードディスクドライブ（C:）の［Windows］フォルダ（Windows 2000ではWinnt）内の［Temp］フォルダを開き、その中のファイルを削除します。
- Windows 2000/XPでは、ハードディスクドライブ（C:）の［Documents and Settings］→［ログインユーザ名］フォルダを表示させ、［ツール］メニューの［フォルダオプション］→［表示］で［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。その後、［Local Settings］→［Temp］フォルダ内のファイルを削除します。

Macintosh

- Mac OS Xの場合、不要なファイルを選択し、［ファイル］メニューから［ゴミ箱に入れる］を選択し、[Finder]メニューから[ゴミ箱を空にする]を選択します。
- Mac OS 9.xの場合、ハードディスク（Macintosh HD）内の不要なファイルやアプリケーションソフトをゴミ箱へ入れて消去します。その後、かならず［特別］メニューから［ゴミ箱を空にする］を選択します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 4： ［メモリがたりません...］のメッセージが出てインストールできない

原因	：	作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない。
対処	：	開いているアプリケーションをすべて閉じるか、コンピュータを再起動して、その直後にインストールし直してください。

先頭へ戻る▲

接続のトラブル

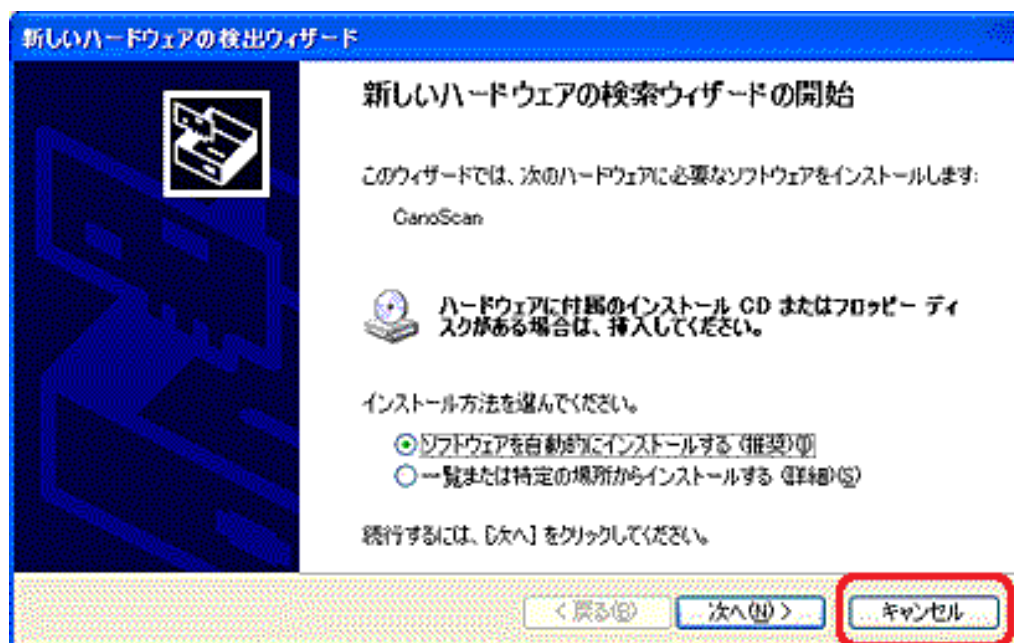
前頁へ戻る

症状　5：Windowsでスキャナを接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードまたは新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示される

症状　6：Mac OS 9でスキャナを接続すると、「装置が動作するために必要なソフトウェアがない」または「USB装置（デバイス）に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」などと表示される

症状　7：いろいろ試してもスキャナが動かない

症状 5 ：Windowsでスキャナを接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードまたは新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示される

原因	：	「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した。
対処	：	「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面の［キャンセル］ボタンをクリックして終了し、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアをインストールしてください。

先頭へ戻る

前頁へ戻る

症状 6： Mac OS 9でスキャナを接続すると、「装置が動作するために必要なソフトウェアがない」または「USB装置（デバイス）に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」などと表示される

原因　：	「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した。
対処　：	［キャンセル］ボタンでメッセージを消し、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットしてソフトウェアをインストールしてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 7： いろいろ試してもスキャナが動かない

原因　：	スキャナがコンピュータから認識されていない可能性がある。
対処　1：	コンピュータを再起動してみてください。 これだけでスキャナが認識され、動作するようになることがあります。
対処　2：	スキャナが認識されているかどうかを確認して、対処します。以下の手順をおこなってください。 →Windowsの場合 →Macintoshの場合

Windows

［手順A　確認］

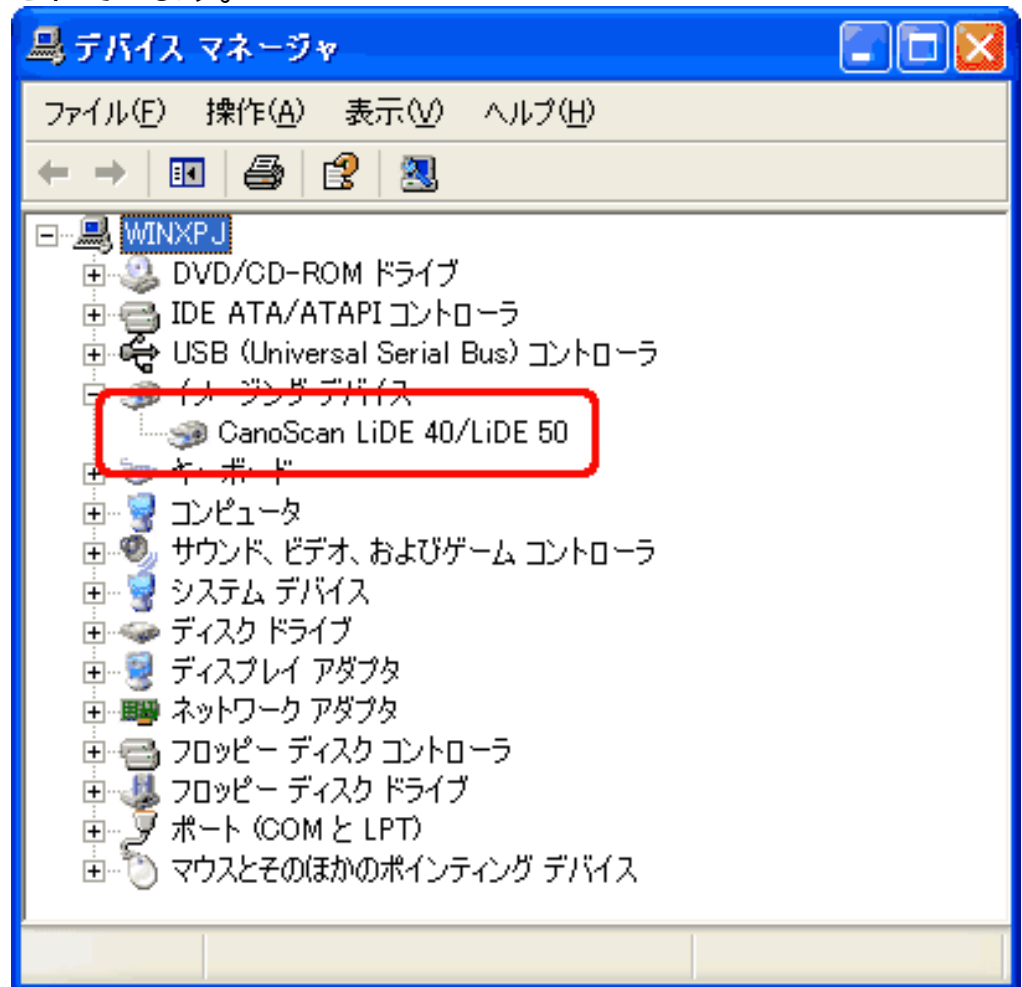
・Windows XPの場合

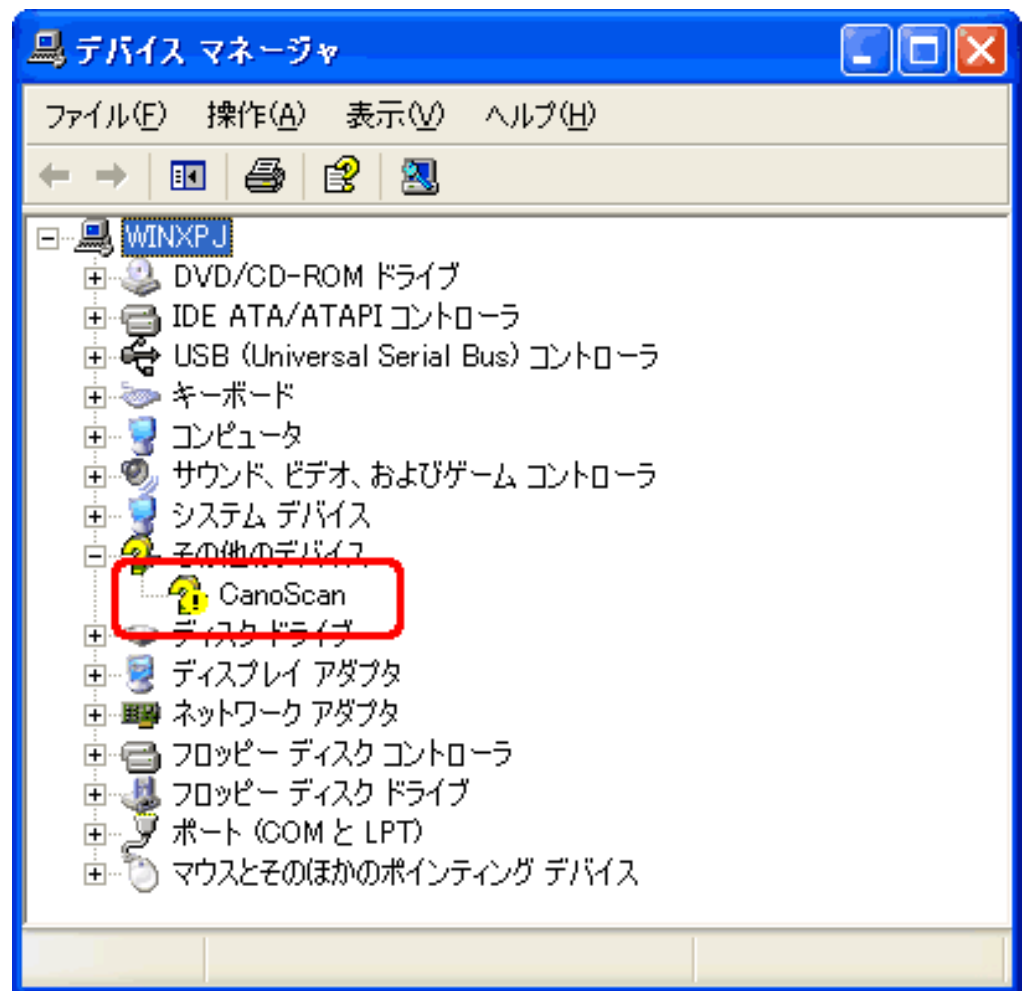
1. ［スタート］メニューで［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。
2. ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］ボタンを選択します。

・Windows 98/Me/2000の場合

1. ［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、プルダウンメニューから［プロパティ］を選択します。
2. ［デバイスマネージャ］タブ（Windows 98/Meの場合）/［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］ボタン（Windows 2000の場合）を選択します。

● スキャナが認識されているとき

「イメージングデバイス」の下に、お使いのスキャナの機種名が表示されています。

● スキャナが認識されていないとき

お使いのスキャナの機種名が表示されません。または、「その他のデバイス」の下に「CanoScan」と表示されています。

［手順B　ScanGear CSの削除］

USBケーブルをはずし、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、［ソフトウェアの削除］から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

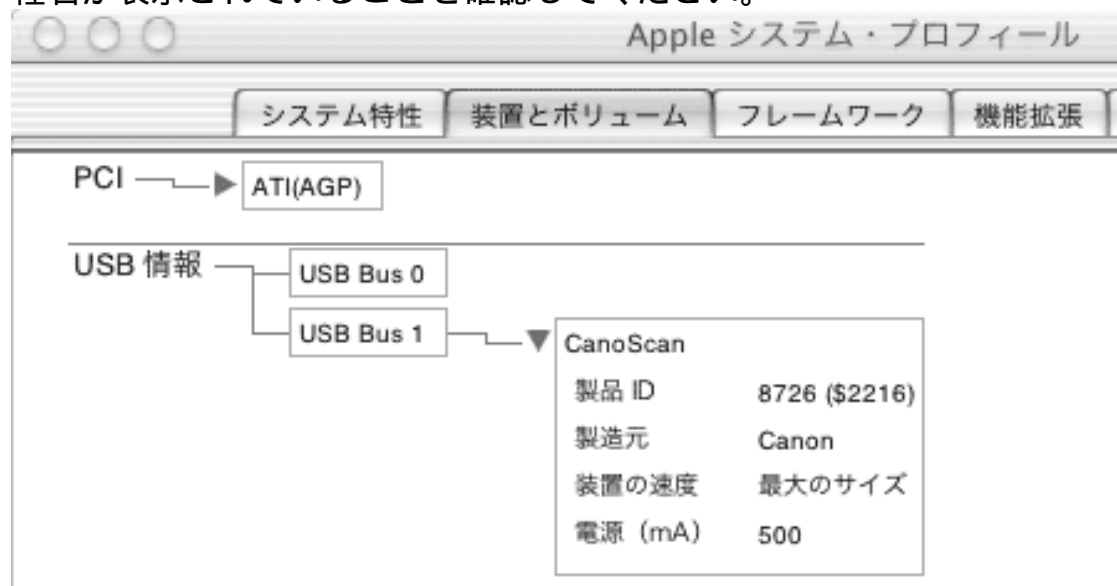
［手順C　ScanGear CSの再インストール］

ScanGear CSをもう一度インストールして、コンピュータを再起動します。

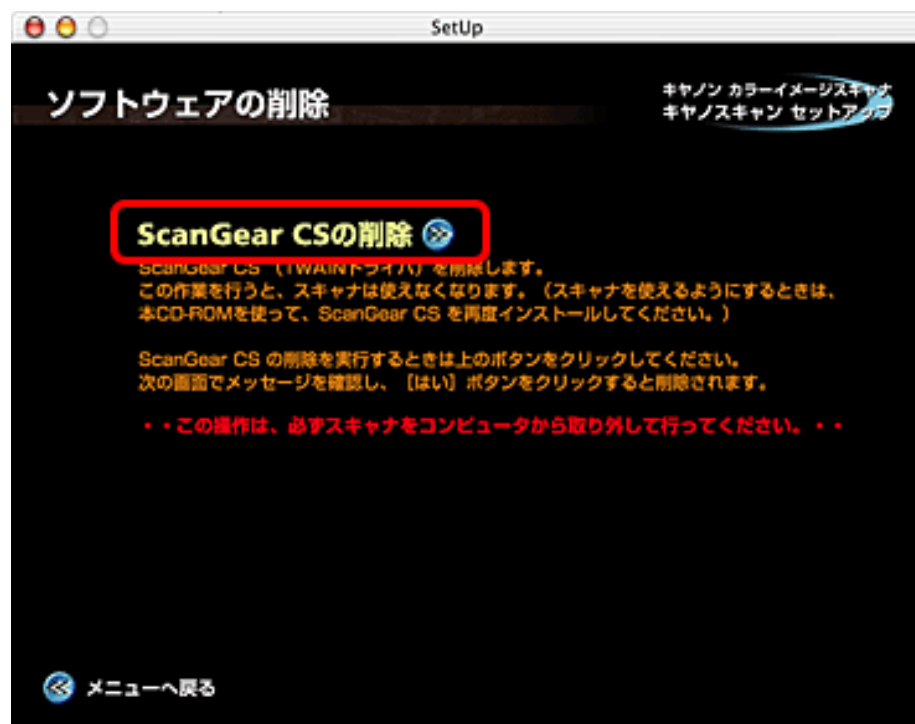
※インストール済みのアプリケーションは、左側のチェックをはずしておきます。

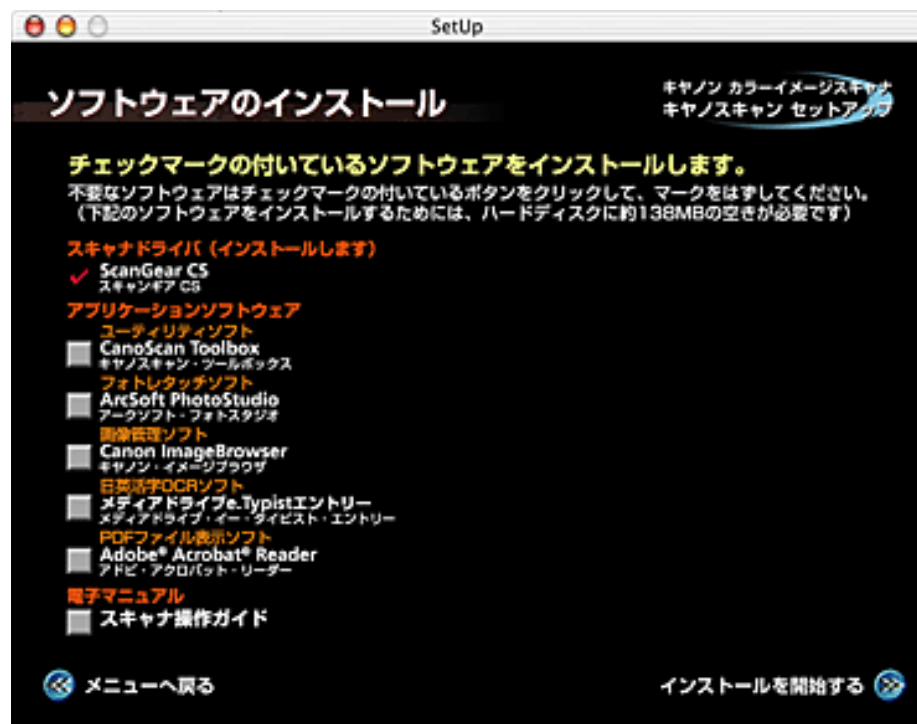
Macintosh

［手順A　確認］

Mac OS Xの場合：［アプリケーション］フォルダ内の［ユーティリティ］フォルダの［Apple System Profiler］をダブルクリックしてApple システム・プロフィールを起動し、［装置とボリューム］タブでお使いの機種名が表示されていることを確認してください。

Mac OS 9の場合：［アップル］メニューの［Appleシステム・プロフィール］の［デバイスとボリューム］のタブを選択してお使いの機種名が表示されていることを確認してください。

［手順B　ScanGear CSの削除］

USBケーブルをはずし、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、［ソフトウェアの削除］から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

［手順C　ScanGear CSの再インストール］

ScanGear CSを再インストールして、コンピュータを再起動します。

※インストール済みのアプリケーションは、左側のチェックをはずしておきます。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

スキャンのトラブル

前頁へ戻る

症状　８：ScanGear CSがアプリケーションソフトから呼び出せない

症状　９：「スキャナ本体にエラーが発生しました。」などのエラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない

症状１０：プレビューしようとしたらスキャナから異音がして「ロックスイッチを解除し、・・・」というエラーメッセージが表示され、プレビューできない

症状１１：スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

症状１２：スキャナ前面のEZボタンが使えない

症状１３：スキャナ前面のEZボタンを押したら「アプリケーションの選択」画面が表示された

症状１４：スキャナ前面のEZボタンを押したりCanoScan ToolboxのボタンでスキャンするとZ別のアプリケーションに画像が渡される

症状１５：スキャンした画像がきたない（ディスプレイに表示された画像）

症状１６：スキャンした画像の周囲に余白ができる

症状１７：「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない

症状１８：スキャンに時間がかかる

症状１９：「メモリが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

症状 ８：　ScanGear CSがアプリケーションソフトから呼び出せない

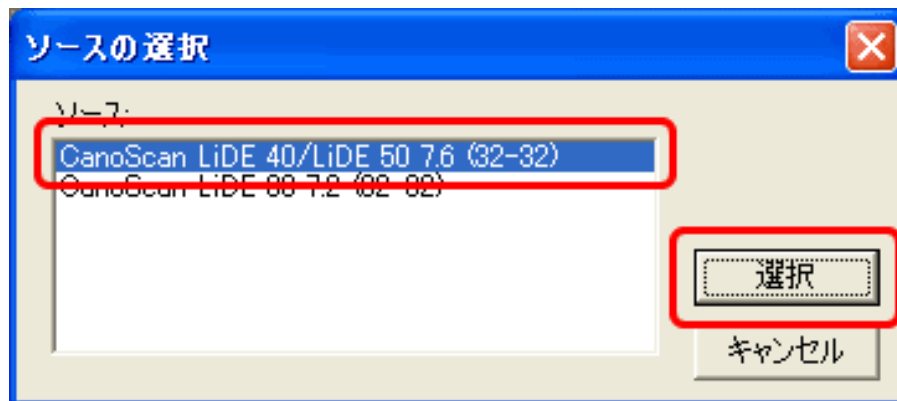
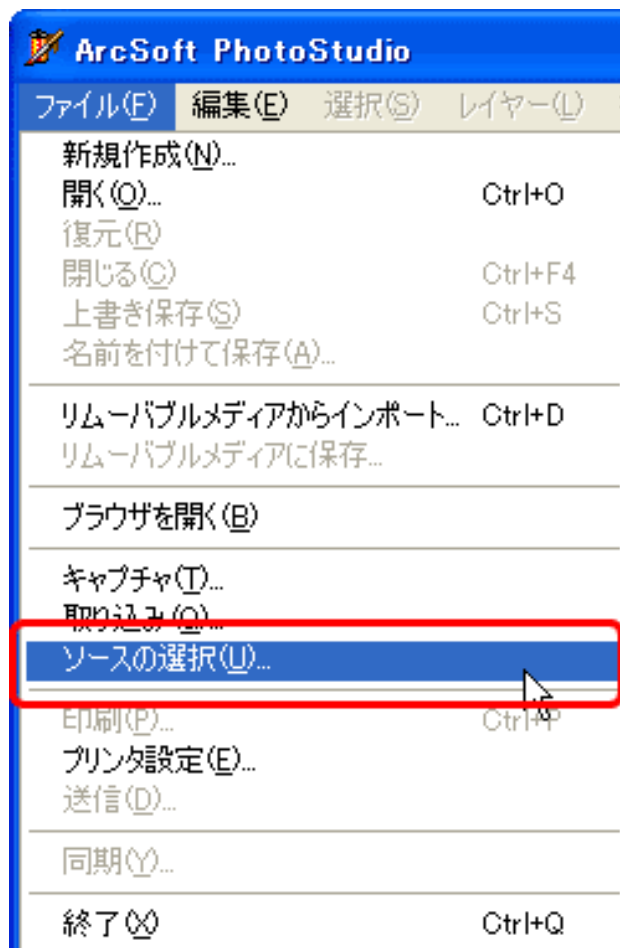
原因　１：　スキャナドライバScanGear CSがインストールされていない。

対処　　：　「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットし、ソフトウェアをインストールしてください。

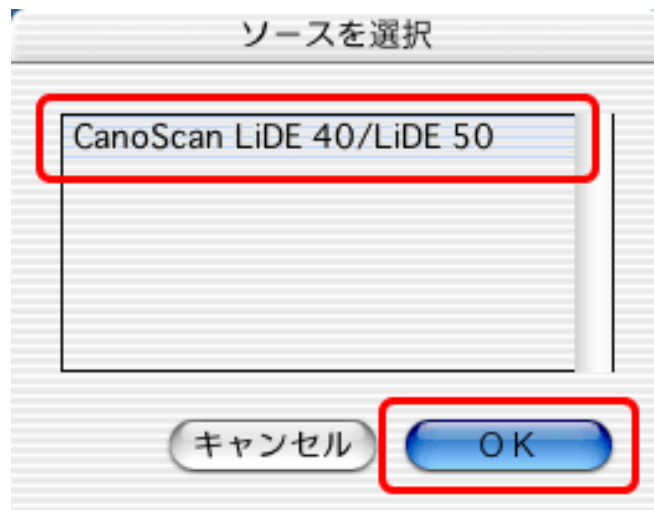
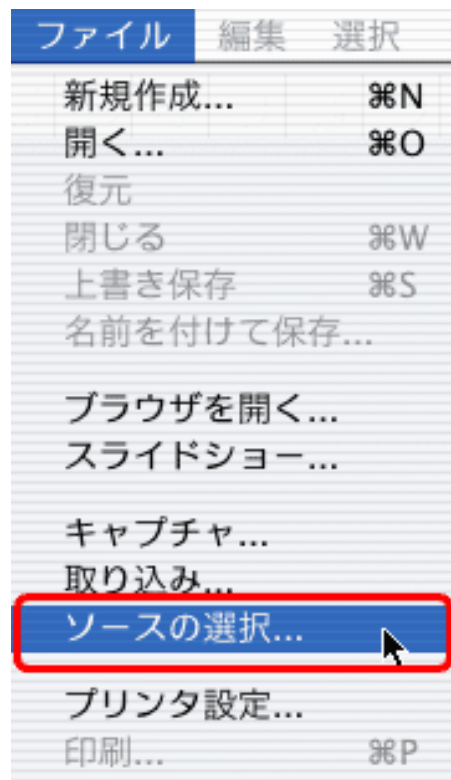
原因　２：　アプリケーションソフトで本スキャナが選択されていない。

対処　　：　アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［ソースの選択］や［読み込み］などで本スキャナを選択してください。

ArcSoft PhotoStudioの例

Windows

* OSにより若干表示が異なります。

・ 古いアプリケーションを使用している場合、「ソースの選択」ではなく「TWAIN対応機器の選択」と表示される場合もあります。

Macintosh

[先頭へ戻る▲](#)

[前頁へ戻る▶](#)

症状９：　「スキャナ本体にエラーが発生しました。」などのエラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない

原因　１	：	USBケーブルの接続不良。
対処	：	USBケーブルを接続し直してください。 かならず、スキャナに同梱されているUSBケーブルをお使いください。
原因　２	：	USBポートが正常に機能していない。
対処	：	コンピュータ本体の他のUSBポートに差し替えてください。
原因　３	：	USBハブを使用している。
対処	：	コンピュータ本体のポートに直接差し込んでください。

・ USB ポートの数が不足してUSB ハブが必要な場合は、500mA の電源を供給することの可能な自己電源型（コンセントから電源を取るタイプ）をご使用ください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１０：　プレビューしようとしたらスキャナから異音がして「ロックスイッチを解除し、・・・」というエラーメッセージが表示され、プレビューできない

原因	：	スキャナ本体のロックが解除されていない。
対処	：	一旦ソフトを終了させてから、ロックを解除してUSBケーブルを接続し直してください。ロック解除の方法は、マニュアル「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」を参照してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１１：　スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

原因　１	：	出力解像度の設定が高すぎる。
対処	：	コンピュータを再起動し、出力解像度またはプリントサイズを下げてスキャンし直してください。

原因　２	：	ハードディスクの空き容量が少ない。
対処　１	：	コンピュータをリセットして再起動し、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してからスキャンし直してください。不要なファイルの削除方法は、症状３の対処をご参照ください。
対処　２	：	アプリケーションソフトからScanGear CSを開き、拡張モードの設定シートで［詳細設定］ボタンをクリックして、［テンポラリファイルの保存先］を空き容量が十分あるドライブに変更してください。

原因　３	：	複数の機器をUSBポートに接続している。
対処	：	スキャナ以外の機器を外してお使いください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１２：　スキャナ前面のEZボタンが使えない

原因　１：　必要なソフトウェアがインストールされていない。

対処　１：　キヤノスキャンセットアップCD-ROMを使用して、すべてのソフトウェアを再インストールしてください。

対処　２：　COPY（コピー）ボタンを使用するには、ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。

対処　３：　E-MAIL（Eメール）ボタンを使用するには、下記のいずれかをインストールします。

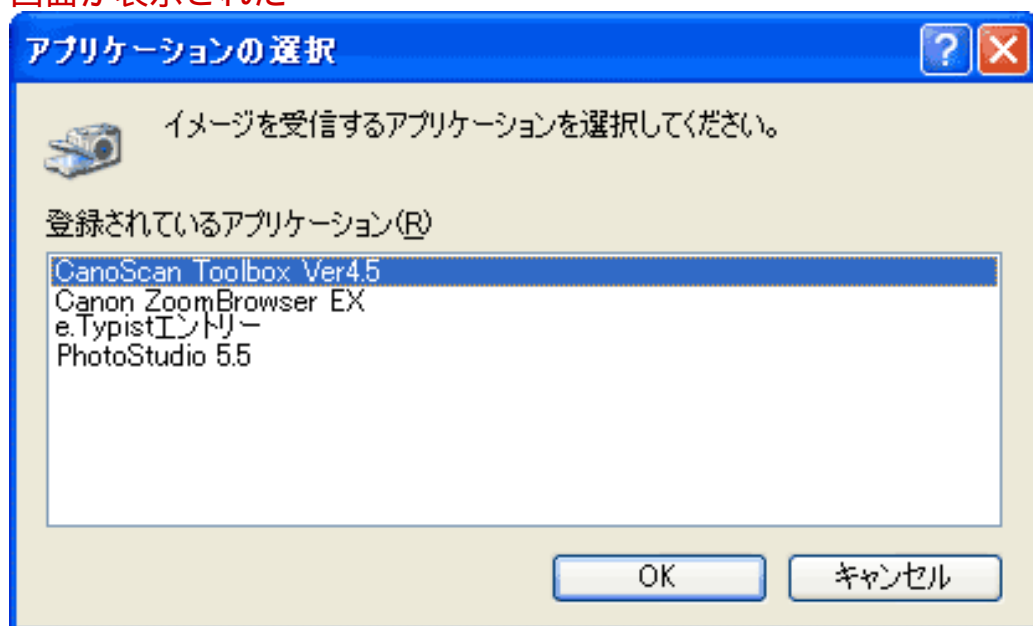
Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

Macintosh OS X: Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）、EUDORA、MS Entourage*
OS 9: Outlook Express、EUDORA

* MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

先頭へ戻る▲

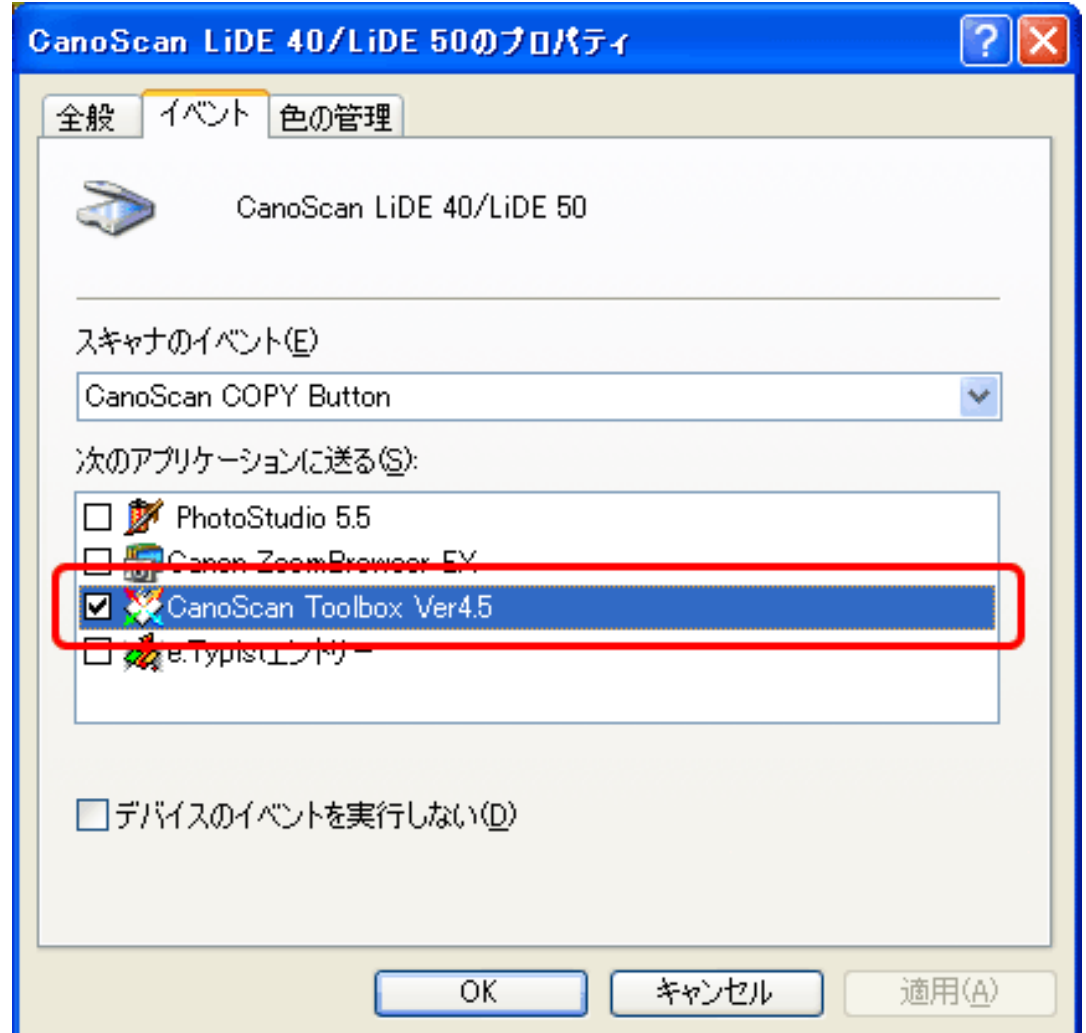
前頁へ戻る▶

症状１３：　Windows スキャナ前面のEZボタンを押したら「アプリケーションの選択」画面が表示された

原因　　：　「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」の手順通りにソフトウェアをインストールしなかった、あるいは何らかの理由で設定が変わってしまった。

対処　１： 1. ［スタート］メニューの［コントロールパネル］を開き、［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

2. ［CanoScan LiDE 40/LiDE 50］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3. ［イベント］タブをクリックし、各EZボタン毎に起動するアプリケーションだけにチェックマークを付けます。

- 通常はCanoScan Toolboxだけにチェックマークを付けます。

4. ［適用］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

対処　２： 症状１４の、スキャン画像の渡し先の設定方法を行ってください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る▶

症状１４： スキャナ前面のEZボタンを押したりCanoScan Toolboxのボタンでスキャンすると別のアプリケーションに画像が渡される

原因　：　CanoScan Toolboxでの設定が変更されている。

対処　１：　CanoScan Toolboxの設定を変更してください。
EZボタンに連動しているソフトウェアはCanoScan Toolboxで管理しています。キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアをインストールした直後は、SCANボタンにはZoomBrowser EX（Windows）/ImageBrowser（Macintosh）、COPYボタンにはプリンタで印刷、FILEボタンにはAcrobat Reader、E-MAILボタンにはメールの機能が割り当てられていますが、CanoScan Toolboxの設定を変えると、別のソフトウェアをリンク(登録)させることができます。

スキャン画像の渡し先の設定方法

CanoScan ToolboxのOCR、ファイル、スキャン-1/-2では、スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定できます。「スキャン画像の渡し先」でアプリケーションソフトを登録してください。

アプリケーションソフトを設定する方法

CanoScan ToolboxのOCR、ファイル、スキャン-1/-2の、「スキャン画像の渡し先」で［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。
目的のアプリケーションソフトは、かならず、実行可能なファイルを設定してください。

Windows
アプリケーションソフトは多くの場合、［Program Files］フォルダの下に、会社名やアプリケーション名のフォルダが作成され、その中に格納されています。かならず「.exe」の拡張子が付けられています*。そのファイルをダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* 拡張子が表示されないときは、ファイルエクスプローラーの［ツール］－［フォルダオプション］－［表示］で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」から、チェックマークをはずします。

Macintosh
アプリケーションソフトは多くの場合、［アプリケーション］/［Applications (Mac OS 9)］フォルダの下に、会社名やアプリケーション名のフォルダが作成され、その中に格納されています。Macintoshでは、拡張子は付けられませんので、アイコンなどを頼りに実行可能ファイルを探します。そのファイルをクリック/ダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* フォルダもアイコン化されていることがあります。注意してください。

・ 設定したアプリケーションによっては動作しないことがあります。

・アプリケーションのショートカット/エイリアスを設定すると、動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトのリンクの削除

［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１５：　スキャンした画像がきたない（ディスプレイに表示された画像）

原因　1：　スキャン解像度が低い。

対処　　：　画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げてください。
くわしくは、「もっと上手にスキャンするには」の解像度の決めかたを参照してください。

原因　2：　アプリケーションソフトの仕様による。

対処　　：　アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

原因　3：　モアレが発生しているため。

対処　　：　印刷物をスキャンしたとき縞模様が出る場合は、ScanGear CSの拡張モードで［モアレ低減］をオンにしてみてください。
設定方法は、「ScanGear CSのことが知りたい」の拡張モード／設定シートを参照してください。

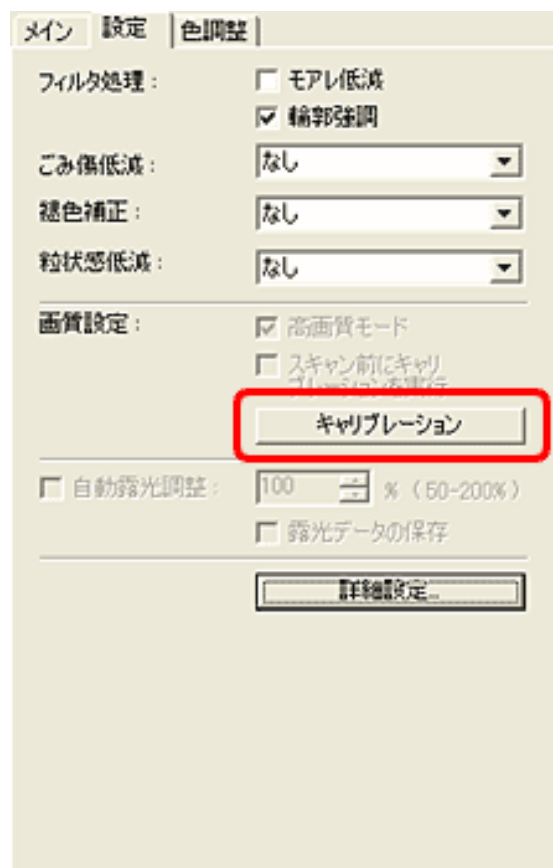
原因　4：　ディスプレイの表示色数が低い。

対処　　：　ディスプレイの表示色を16ビット以上に設定してください。

Windows
［コントロールパネル］→［画面］→［設定］で画面のプロパティを表示してディスプレイの表示色を「中（16ビット）」または「High Color（16ビット）」以上に設定してください。
Macintosh
OS Xの場合：［システム環境設定］の画面で［ディスプレイ］アイコンをクリックし、［ディスプレイ］タブの［カラー］で「約32000色」以上に設定してください。
OS 9の場合：［コントロールパネル］の［モニタ］で、ディスプレイの［カラー階調］を「約32000」以上に設定してください。

原因　5：　原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている。

対処　　：　「インフォメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

原因　６：	キャリブレーションデータの更新が必要になった。
対処　　：	ScanGearCSの拡張モードを開き、設定シートで手動キャリブレーションをおこなってください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１６：　スキャンした画像の周囲に余白ができる

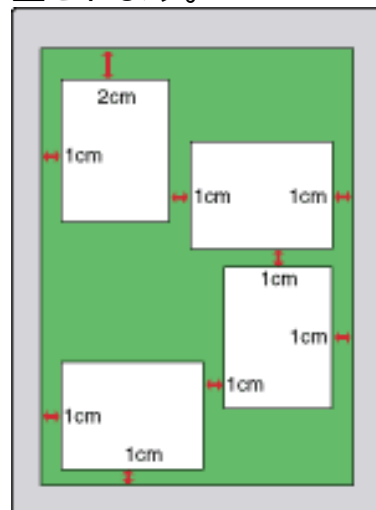
原因　　：	原稿より広くスキャン範囲を指定した。
対処　１：	スキャンする範囲を指定してください。 ScanGear CSのオートクロップボタンをクリックすると、原稿サイズを自動的に範囲指定します。写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合や範囲設定したい場合は、手動で範囲指定してください。手動の範囲指定の方法は、プレビューエリアをお読みください。
対処　２：	EZボタンからスキャンするときは、CanoScan Toolboxの原稿サイズの設定を変えてください。 EZボタンを押し、スキャン進行ダイアログが表示されているときに［キャンセル］ボタンを押します。CanoScan Toolbox の設定ダイアログが表示されますので、［原稿サイズ］を選択し直します。規定サイズ以外の原稿の場合は、「カスタム」を選択し縦横のサイズを指定します。その後、［スキャン］ボタンをクリックし、スキャンします。 詳細は、原稿サイズをお読みください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

症状１７：　「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない

原因　１：	写真を置く位置がサポート外の場所である。
対処　：	スキャナの原稿台に写真を置く位置を確認してください。 「マルチスキャン」、「マルチクロップ」を行うときは、次のことにご注意ください。

- 原稿台の左右の端と写真の間、写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
- 原稿台の手前（EZボタン側）の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
- 長方形以外の変型した写真（いろいろな形に切りぬいたような写真）は正しく認識できません。

マルチスキャンについての詳細は、こちらをお読みください。
マルチクロップについての詳細は、こちらをお読みください。

原因　２：	アプリケーションソフトの仕様による。
対処　：	アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。この場合は、マルチスキャン、マルチクロップ機能を使わずに1枚ずつスキャンしてください。

原因　３：	原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている。
対処　：	「インフォメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

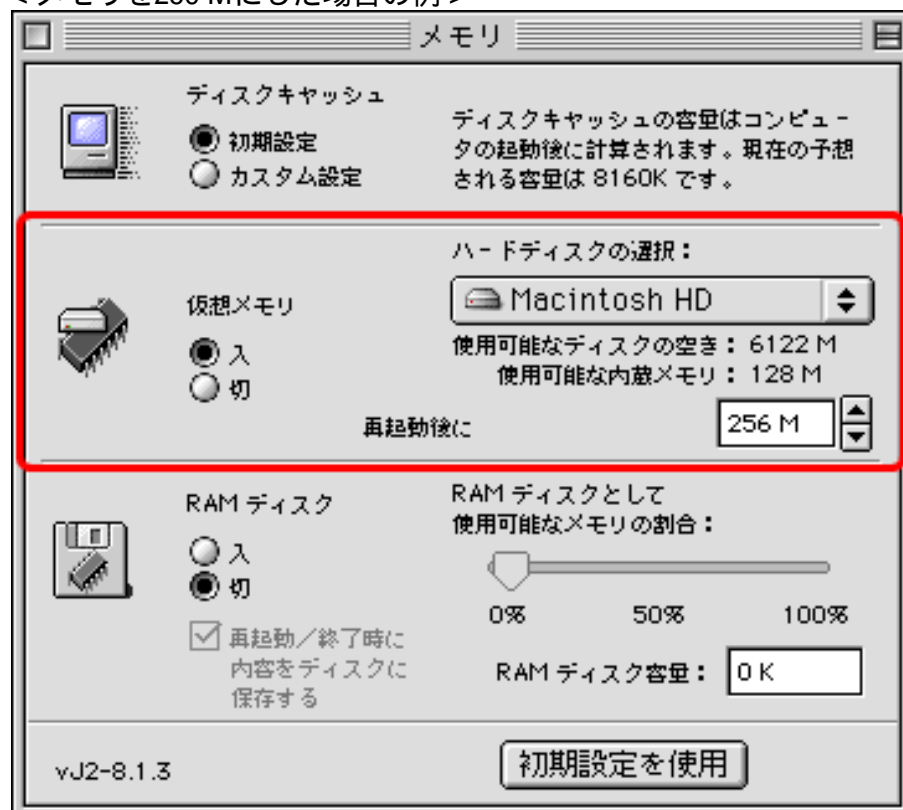
症状１８：　スキャンに時間がかかる

原因	：	必要以上に解像度を高くしてスキャンしている。
対処	：	出力解像度は、画面で見る時は75dpi、プリンタで印刷するときは300dpi程度に設定します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

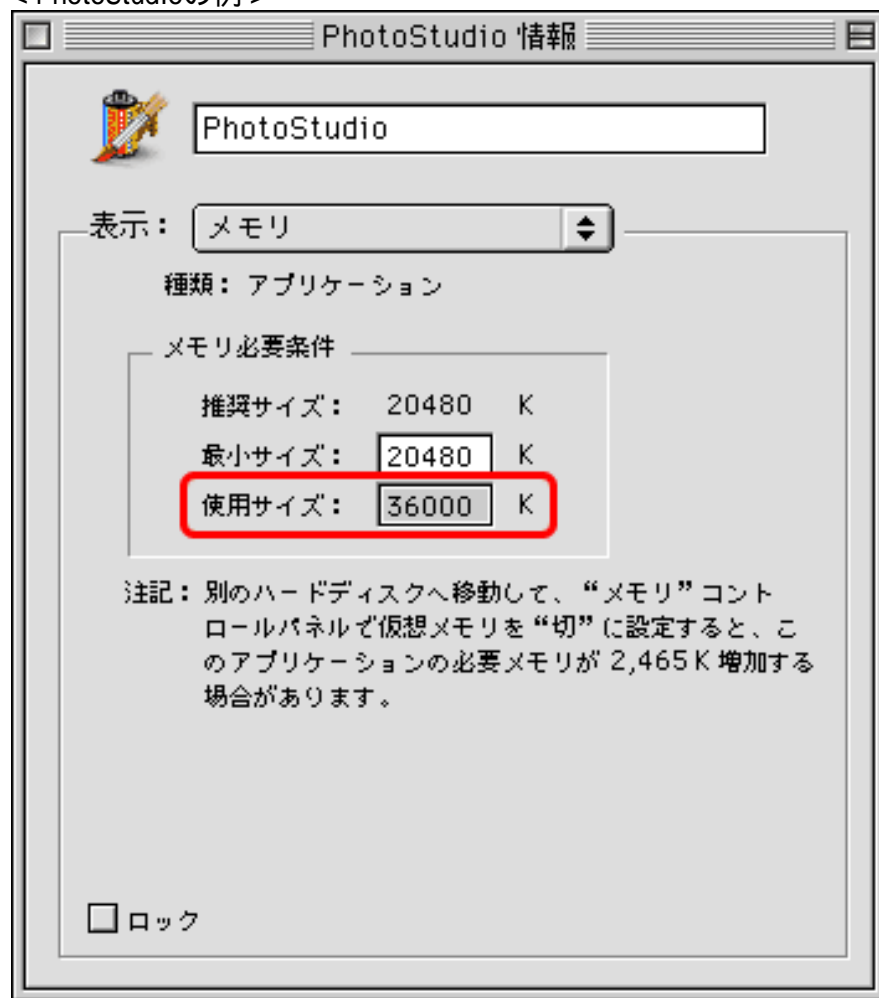
症状１９：　Macintosh 「メモリが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

原因	：	使用中のアプリケーションなどでメモリを使用しているため、スキャンに必要なメモリ容量が確保できない。
対処	１：	起動中のアプリケーションを終了してから、もう一度実行してください。
対処	２：	Mac OS 9で［アップルメニュー］の［コントロールパネル］から［メモリ］を選択し、仮想メモリを「入」にしてからメモリを128MB以上に設定してください。

< メモリを256 Mにした場合の例 >

・ Mac OS 9でのみ変更できます。

対処 3： アプリケーションに対する割当てメモリを増やしてください。

1. アプリケーションソフトを終了する。
2. 使用するアプリケーションソフトのプログラムアイコンを1回クリックする。
3. ［ファイル］メニューの［情報を見る］で［メモリ］を選択する。
4. ［使用サイズ］の数値を増やす。

< PhotoStudioの例 >

・ 使用サイズの数値を大きくしすぎると、その他の動作に影響することがありますのでご注意ください。
・ Mac OS Xではメモリの変更ができません。Mac OS 9でのみ変更できます。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

ソフトウェアのトラブル

前頁へ戻る

症状２０：CanoScan Toolboxで使用しているメールソフトが、Eメールソフトの選択画面に表示されない

症状２１：スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

症状２２：スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

症状２３：スキャンした画像が開けない

症状２４：これまで使っていたWindowsをWindows XPにアップグレードしたらスキャナが動かなくなった

症状２５：Mac OS Xでスキャンできない

症状２６：ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）で、保存した画像が見つからない

症状２０：CanoScan Toolboxで使用しているメールソフトが、Eメールソフトの選択画面に表示されない

原因　：　そのメールソフトが、CanoScan Toolboxで標準的には使用できないソフトである。

対処　：　送信メールに画像ファイルを自動で添付する機能は、以下のメールソフトのみに対応しています。

Windows

- Outlook Express
- Microsoft Outlook
- EUDORA
- Netscape Messenger

メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。

Macintosh （Mac OS X）

- Mail（Mac OS X 10.2以上のみ）
- EUDORA
- MS Entourage*

* MS Entourageでは、マルチスキャンされた複数の画像はサポートされていません。

Macintosh （Mac OS 9）

- Outlook Express
- EUDORA

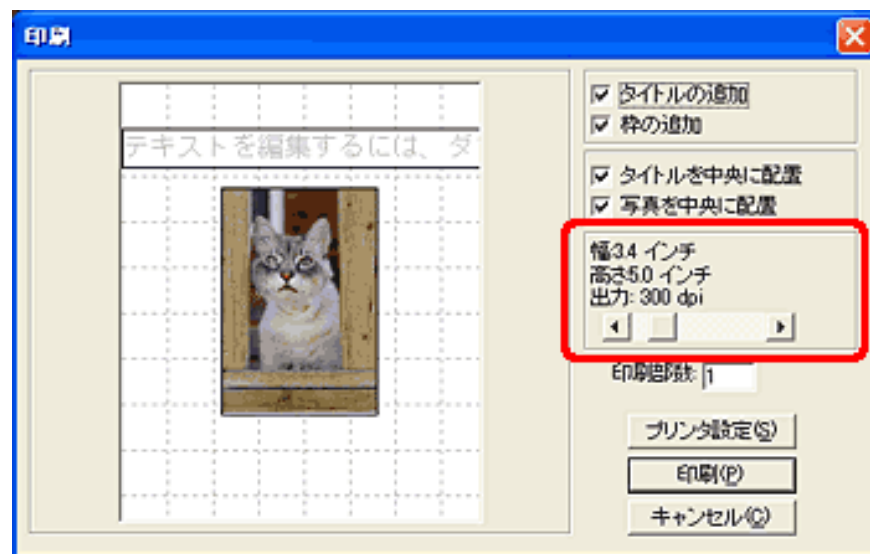
上記以外のメールソフトをお使いの場合、Eメールソフトの選択画面で「なし(手動で添付)」を選択し、画像ファイルを送信メールに手動で添付してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状２１：　スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

対処　：　アプリケーションソフトで印刷する大きさを設定してください。

■ArcSoft PhotoStudioの場合

1. 印刷したい画像を選択した状態で、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
2. 印刷ダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状２２：　スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

対処　１：　アプリケーションソフトで、画像表示を拡大（縮小）編集してください。ただし、［ペイント］、［Imaging］で画像を開くと、大きく表示されるときがあり、縮小できません。この場合は、付属のアプリケーションソフトで開いてください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

対処　２：　スキャナドライバで、解像度を変更してスキャンし直してください。解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。
詳しい設定方法については、このスキャナ操作ガイドの「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたをご覧ください。

対処　３：　アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状２３：　スキャンした画像が開けない

対処　　：　ファイルの拡張子が、アプリケーションソフトに対応していません。ArcSoft PhotoStudioなどのアプリケーションソフトで再スキャンし、拡張子を変更して保存し直してください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

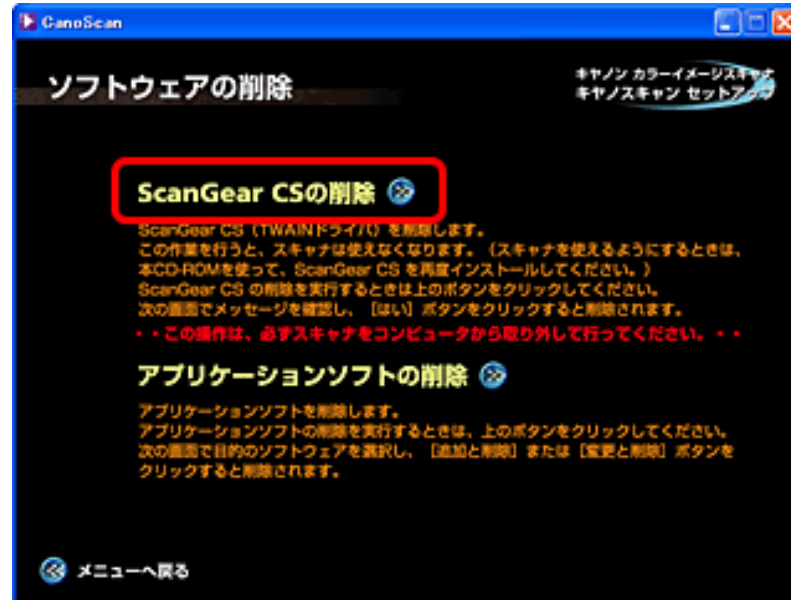
先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状２４：　これまで使っていたWindowsをWindows XPにアップグレードしたらスキャナが動かなくなった

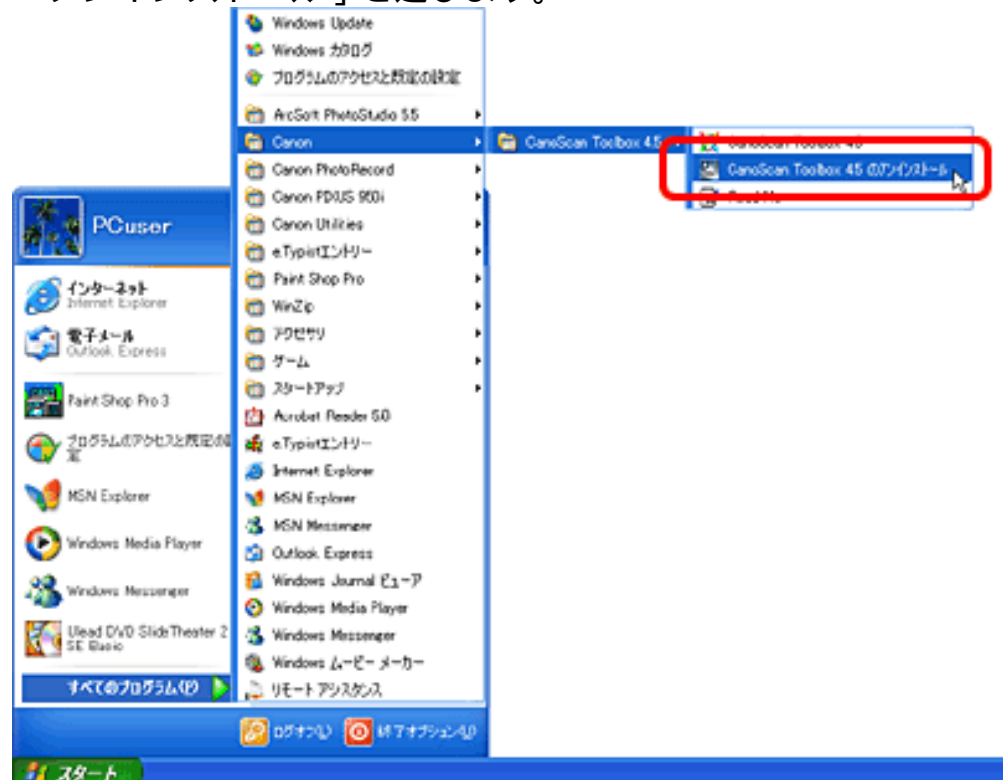
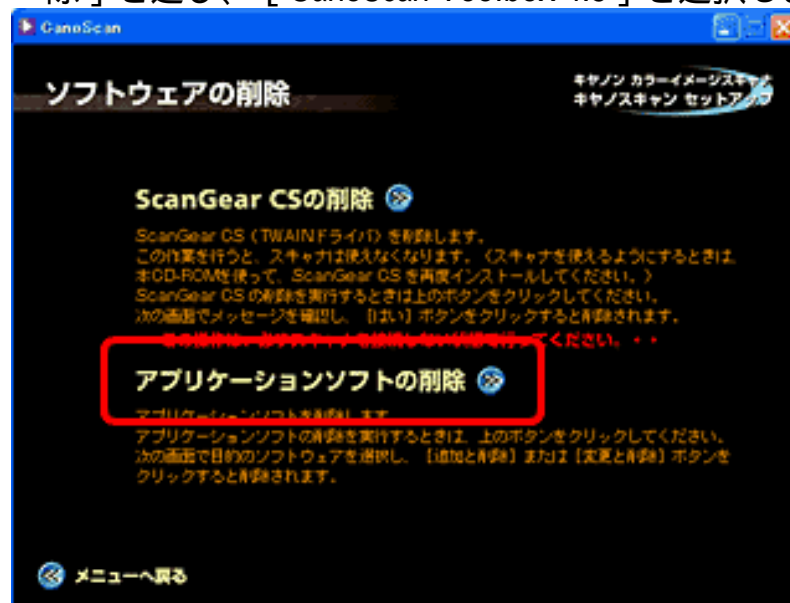
原因　　：　スキャナのドライバがインストールしてある場所がこれまでのWindows 98/Me/2000とWindows XPとでは異なる。

対処　：　接続しているケーブルをはずし、ScanGear CSとCanoScan Toolboxをいったんアンインストール（削除）してから、再インストールします。

［手順　ScanGear CSの削除］

「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、［ソフトウェアの削除］から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

［手順　CanoScan Toolboxの削除］

次のどちらかの方法で削除します。

・スタートボタンからの削除
　［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.5］→［CanoScan Toolbox 4.5のアンインストール］を選びます。

・セットアップCD-ROMからの削除
「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、［ソフトウェアの削除］から［アプリケーションソフトの削除］を選び、［CanoScan Toolbox 4.5］を選択します。

［手順　ScanGear CS、CanoScan Toolboxの再インストール］

「まず使えるようにしよう-スキャナ基本ガイド」のP.4～5の手順でソフトウェアを再インストールしてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状２５：　Mac OS Xでスキャンできない

原因	：	Mac OS Xのクラシックモードが起動している。
対処	：	クラシックモードをかならず停止した状態でご使用ください。 クラシックモードが動いている場合は、アップルメニューの［システム環境設定］-［Classic］で［停止］または［強制終了］を実行し、ネイティブモードに切り替えてください。 Mac OS Xの環境でスキャナドライバをインストールしていない場合は、クラシックモードの停止後、ScanGear CSをインストールしてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状２６： ZoomBrowser EX（Windows）またはImageBrowser（Macintosh）で、保存した画像が見つからない

原因	：	画像保存先のフォルダがわからない。
対処	：	フォルダエリア（Windows）、またはエクスプローラビュー（Macintosh）で画像保存先のフォルダを正しく選択する。

Toolboxをインストールした直後の状態の場合、スキャンした画像は次の所に保存されています。

Windows

「マイドキュメント」の「マイピクチャ」フォルダ内に「（スキャン時の日付）」フォルダが作られ、その中に保存されています。

Macintosh （Mac OS X）

「ユーザ*」フォルダ内の「（ログインしているアカウント名）」フォルダの「Pictures」の「My Pictures」フォルダ内に「（スキャン時の日付）」フォルダが作られ、その中に保存されています。

* Mac OS Xの仕様のため、「ユーザ」フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では「Users」と表示されることがあります。

Macintosh （Mac OS 9）

「Applications (Mac OS 9)」フォルダ内の「CanoScan Toolbox 4.5」の「My Pictures」フォルダ内に「（スキャン時の日付）」フォルダが作られ、その中に保存されています。

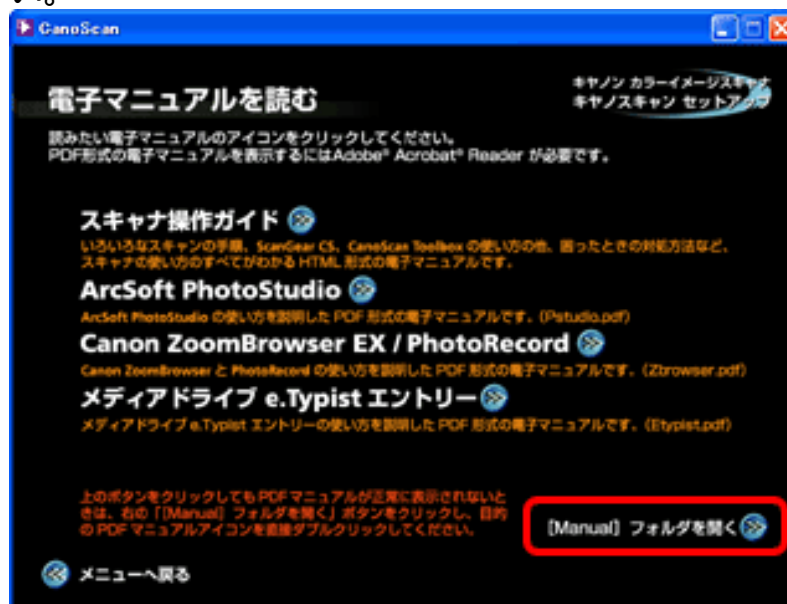
先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

その他のトラブル

前頁へ戻る

症状２７： Windows キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「電子マニュアルを読む」で目的のマニュアル（PDF）をクリックしても表示されない

対処　：　マニュアル画面右下の［Manual］フォルダを開くボタンをクリックし、目的のPDFマニュアルアイコンを直接ダブルクリックして開いてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

前頁へ戻る

メッセージ 1

100Mバイトを超える大きな画像をスキャンしようとしています。この容量の画像をスキャンすると、PCに大きな負担をかけたり、アプリケーションによっては、画像を受け取れない場合があります。
続行しますか？

原因　：　スキャンした画像の容量が100MB を超える。
対処　：　解像度あるいは選択範囲を小さくしてスキャンし直します。

メッセージ 2

スキャナ本体にエラーが発生しました。
操作説明書に従った処理を実行してください。
スキャナドライバを終了します。(Code : XX)

原因　1：　スキャナが接続されていない。
対処　　：　スキャナとコンピュータが正しく接続されているか確認してください。

原因　2：　ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：　ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。
ScanGear CSの削除の方法はWindowsはこちら、Macintoshはこちらをお読みください。

原因　3：　スキャナ本体が故障している。
対処　　：　コンピュータを再起動し、スキャナを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、お客様相談センターまでご連絡ください。

メッセージ 3

スキャナとの通信ができません。ケーブルが外れている可能性があります。
スキャナの状態を確認してください。
スキャナドライバを終了します。

原因　1：　ScanGear CS の起動時に、スキャナが認識できなかった。
対処　1：　USB ケーブルの接続をチェックしてください。
対処　2：　USB ケーブルを接続し直します。

原因　2：　ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：　ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。

メッセージ 4

メモリを確保できません。
使用可能なメモリ領域を増やしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：ScanGear CSの起動に必要なメモリが確保できなかった。
対処　：他のアプリケーションを終了させます。

メッセージ 5

必要なファイルがないか壊れている、または設定が正しくありません。
再インストールしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：ScanGear CSの起動に必要なファイルが見あたらないか壊れている。
対処　：ScanGear CSを削除し、再インストールします。

メッセージ 6

ロックスイッチを解除し、I/Fケーブルを抜いて、接続し直してください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：スキャナのロックスイッチがロックされた状態で使おうとした。
対処　：スキャナのロックスイッチを解除します。スキャナのロックスイッチを解除してもメッセージが表示される場合は、スキャナが故障している可能性があります。お客様相談センターまでご連絡ください。

メッセージ 7

読み取りを完了するために必要なディスクの空き容量がありません。
スキャナドライバを終了します。

原因　：スキャンに必要な空きディスク容量がハードディスク内にない。
対処　：ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直します。

メッセージ 8

メモリが足りません...

原因　：使用中のアプリケーションなどでメモリを使用しているため、スキャンに必要なメモリ容量が確保できない。
対処　1：起動中のアプリケーションを終了してから、もう一度実行してください。
対処　2：Mac OS 9では、［アップルメニュー］の［コントロールパネル］から［メモリ］を選択し、仮想メモリを「入」にしてからメモリを128MB以上に設定してください。

< メモリを256 Mにした場合の例 >

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

スキャナ操作ガイドの使いかた

- Webブラウザの準備
- 読みかた
  - トップページからメニューを選ぶ
  - 画面の中から解説ページを表示する
  - ナビゲーションから別のページに移動する
  - ヘッダーメニューや総目次から解説ページを表示する
  - スキャナ操作ガイドで使われているマーク
- スキャナ操作ガイドの印刷

スキャナ操作ガイドの使いかた

Webブラウザの準備

このスキャナ操作ガイドは、Webブラウザでご覧いただくように作られています。ただし、ご使用になるWebブラウザによっては、文章や画像の表示が異なることがあります。次にあげるような条件でご覧になることをおすすめします。

Windows

- Microsoft(R) Internet Explorer 5.0以上
- ディスプレイの表示解像度は800 x 600ピクセル以上
- ディスプレイの色数はHigh Color以上

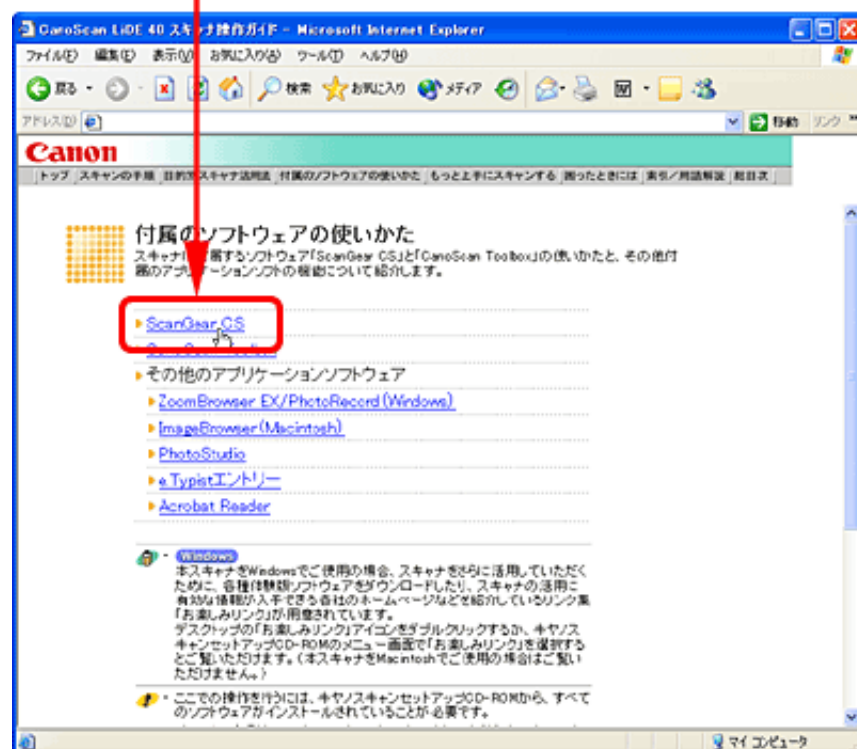
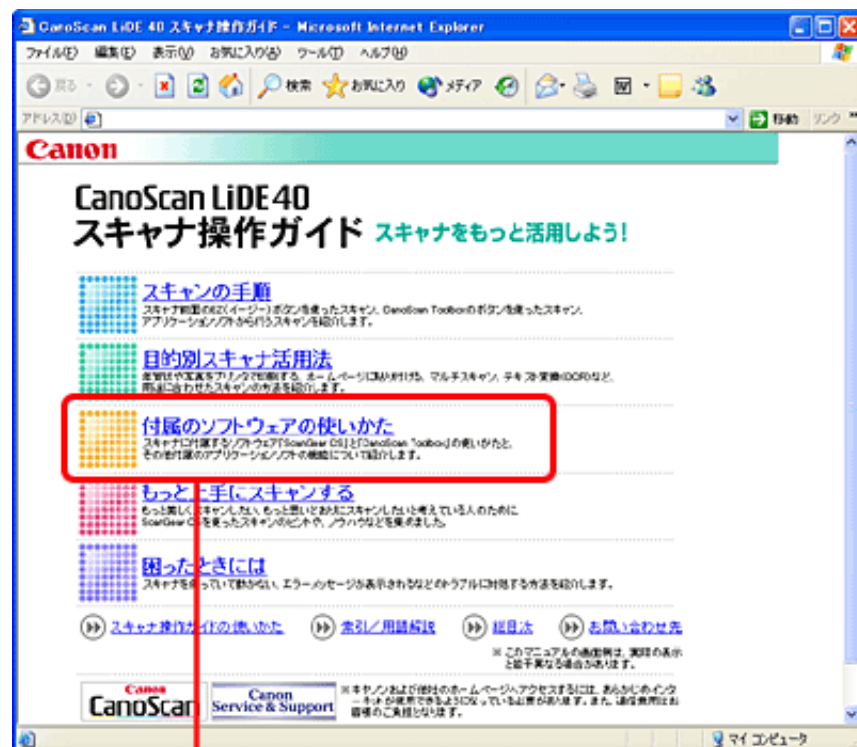
Macintosh

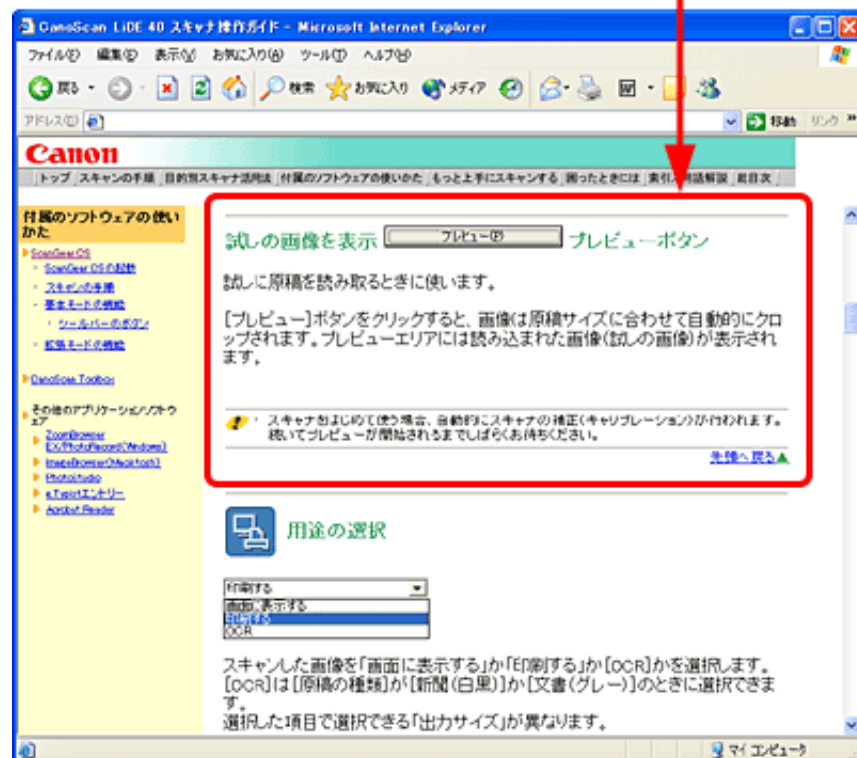
- Microsoft(R) Internet Explorer 5.0以上
- ディスプレイの表示解像度は800 x 600ピクセル以上
- ディスプレイの色数は32,000以上

読みかた

このスキャナ操作ガイドには、必要なページを検索するためのメニューや関連情報を参照するためのリンク（下線で示されるテキスト）など、適切な情報にすぐアクセスできるようさまざまな手段が用意されています。

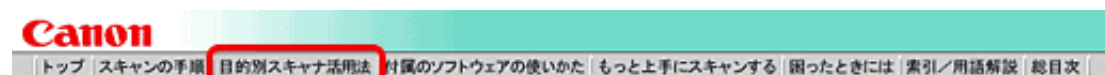
トップページからメニューを選ぶ

最初に表示されるのが「トップページ」です。このページには5つのメニューがあり、使用目的に合わせて必要な項目を選ぶと、さらに詳細な目次ページが表示されます。目次ページの項目を選ぶと、解説ページが表示されます。

2 画面の中から解説ページを表示する

付属のソフトウェア「ScanGear CS」「CanoScan Toolbox」の解説ページでは、画面上の知りたい項目をクリックすると、その項目の解説ページが表示されます。

3 ナビゲーションから別のページに移動する

解説ページが表示されると、画面左側には現在選ばれているメニューがわかるように「ナビゲーション」が表示されます。ナビゲーションの項目をクリックすることで、他の項目を表示することができます。

4 ヘッダーメニューや総目次から解説ページを表示する

画面上端には「ヘッダーメニュー」があります。ヘッダーメニューには、常にトップページとほぼ同じ項目が表示されています。どのページを表示していても、トップページまで戻ることなく、他のメニューを選ぶことができます。

トップページ画面下端のフッターメニューから［総目次］をクリックすると、このスキャナ操作ガイドの総目次が表示されます。

スキャナ操作ガイドの使いかた　索引／用語解説 お問い合わせ先

総目次の各項目は、それぞれの解説ページにリンクされています。

スキャナ操作ガイドで使われているマーク

スキャナ操作ガイド中のマークは、次のような意味で使われています。

 操作上の注意事項や重要な点が記述されています。かならずお読みください。

 操作の説明内容についての補足が記述されています。参考までにお読みください。

スキャナ操作ガイドの印刷

このスキャナ操作ガイドは、基本的に画面に表示して使うように作られています。印刷して使用するときには、次のような点にご注意ください。

- ページによっては、表示どおり印刷されないことがあります。
- 表示中の本文が長く、複数ページにわたって印刷される場合、ページの上下で画像、文章が切れることがあります。
- ブラウザの印刷設定で背景色とイメージを印刷する設定にしてください。

- このスキャナ操作ガイドでは、フレーム機能を使用して表示しています。印刷するフレーム内（リンクの貼られていない箇所）を1度クリックし、Internet Explorerの［印刷］-［オプション］で［選択されたフレームのみを印刷する］（Windowsの場合）を指定して印刷してください。

- MacintoshでInternet Explorerをお使いの場合、印刷プレビューの機能を使うと、印刷イメージを確認したうえで印刷することができます。
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザのファイルメニューのページ設定（Windowsの場合）で、用紙の左右の余白をできるだけ少なく設定してください。
- 文字が正しく表示されない、または文字が小さいなど、文字の表示に関する不具合が生じたときは、表示メニューから文字の大きさや文字コードなどを変更してください。
- その他ブラウザの機能に関する疑問は、ヘルプメニューからヘルプを表示してご確認ください。

先頭へ戻る▲

索引

A C E F
I O P S
W Z
ア行 カ行 サ行 タ行
ハ行 マ行

用語解説

索引

-A-
Acrobat Reader
　電子マニュアル（PDF）の読みかた

-C-
CanoScan Toolbox
CanoScan Toolboxのスキャンの手順
CanoScan Toolboxの起動
CanoScan Toolboxのボタンの機能
　［OCR］ボタン（OCR画面）
　　画像を今日の日付のサブフォルダに入れる
　　［キャンセル］ボタン
　　原稿サイズ
　　出力解像度
　　［初期設定に戻す］ボタン
　　［スキャン］ボタン
　　スキャンモード
　　スキャン画像の渡し先
　　［適用］ボタン
　　ファイルの種類
　　ファイル名
　　保存先
　［コピー］ボタン（コピー画面）
　　VIVIDフォト（Windows）
　　明るさ
　　［印刷設定］ボタン（Macintosh）
　　拡大／縮小
　　［キャンセル］ボタン
　　原稿サイズ
　　原稿の種類
　　コピー枚数（Windows）
　　［初期設定に戻す］ボタン
　　スキャナドライバで詳細な設定を行う
　　［スキャン］ボタン
　　スキャンモード
　　［適用］ボタン
　　入力解像度
　　プリンタ（Windows）
　　［プリンタ選択］ボタン（Macintosh）（Mac OS 9のみ）

　　用紙サイズ（Windows）
　　［用紙設定］ボタン（Macintosh）
　　用紙の種類（Windows）

- ［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）
  - 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる
  - ［キャンセル］ボタン
  - 原稿サイズ
  - 原稿の種類
  - 出力解像度
  - ［初期設定に戻す］ボタン
  - スキャナドライバで詳細な設定を行う
  - ［スキャン］ボタン
  - スキャンモード
  - スキャン画像の渡し先
  - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - スキャン画像の確認とExif情報の入力
      - Exif設定画面
  - ［適用］ボタン
  - ファイルの種類
  - ファイル名
  - 保存先
- ［設定］ボタン（設定画面）
  - ［OK］ボタン
  - ［キャンセル］ボタン
  - ［初期設定に戻す］ボタン
  - スキャナの選択
  - ボタンのリンク
- ［ファイル］ボタン（ファイル画面）
  - ［PDF設定］ボタン
  - 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる
  - ［キャンセル］ボタン
  - 原稿サイズ
  - 出力解像度
  - ［初期設定に戻す］ボタン
  - スキャナドライバで詳細な設定を行う
  - ［スキャン］ボタン
  - スキャンモード
  - スキャン画像の渡し先
  - スキャン画像を確認する
    - スキャン画像の確認とExif情報の入力
      - ［PDF］設定画面
  - ［適用］ボタン
  - ファイルの種類
  - ファイル名
  - 保存先
- ［プリント］ボタン（プリント画面）

- 拡張モードの機能
  - 拡張モードのシート
  - ［基本モード］ボタン
  - ［クリア］ボタン
  - ［ズーム］ボタン
  - ［スキャン］ボタン
  - ステータスエリア
  - ツールバー
    - ツールバーのボタン
      - 色反転ボタン
      - オートクロップボタン
      - 画像移動ボタン
      - 鏡映ボタン
      - クロップボタン
      - 情報ボタン
      - ズームボタン
      - ツールバーの切り離しと移動（Windows）
      - 左回転ボタン
      - 右回転ボタン
      - ルーラーボタン
  - ［プレビュー］ボタン
  - プレビューエリア
  - 色調整シートの機能
    - グラフ表示部
    - 自動色調整[適用]ボタン
    - 自動色調整[リセット]ボタン
    - ［全リセット］ボタン
    - チャネル
    - ［保存］ボタン
    - ［リセット］ボタン
    - ［ロード］ボタン
    - ガンマ
      - ガンマ
      - モニタ／スキャナ
    - トーンカーブ
      - トーンカーブ選択
    - ヒストグラム
      - 暗点スライダ
      - 暗点ピッカー
      - 中間点スライダ
      - 中間点ピッカー
      - 明点スライダ
      - 明点ピッカー
    - ブライトネス／コントラスト
      - コントラスト
      - ブライトネス
  - 設定シートの機能

- ［キャリブレーション］ボタン
- ごみ傷低減
- ［詳細設定］ボタン
  - 詳細設定画面
    - 色の設定シートでの設定項目
      - 推奨・Canon ColorGear (ColorSync)・色補正なし
      - 常に自動色調整を行う
        - カラーマネージメントについて
          - OSでのモニタ設定の方法
          - アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定(Photoshop 7.0)
          - アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定 (Photoshop Elements 2.0)
    - スキャナシートでの設定項目
      - テンポラリファイルの保存先フォルダ
      - ［スキャナテスト］ボタン
    - スキャンシートでの設定項目
      - ［サウンド設定］ボタン
      - 白枠除去を実行する
      - スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる
      - メインウィンドウを表示しないスキャン
    - プレビューシートでの設定項目
      - ScanGear CS起動時のプレビュー
      - プレビュー後のクロップ枠の設定
- 褪色補正
- 粒状感低減
- モアレ低減
- 輪郭強調
- ハーフトーンシートの機能
  - スレッショルド
  - ［リセット］ボタン
- メインシートの機能
  - カラーモード
  - 原稿サイズ
  - 原稿の種類
  - 出力解像度
  - プリントサイズ
  - マルチクロップ
  - 領域選択
- 基本モードの機能
  - ［拡張モード］ボタン
  - 画像の読み取り［スキャン］ボタン
  - 原稿の種類
  - 出力サイズの選択
  - ステータスエリア
  - 縦横比切り替えボタン
  - 試しの画像を表示［プレビュー］ボタン
  - ツールバー

ツールバーのボタン
オートクロップボタン
鏡映ボタン
情報ボタン
ツールバーの切り離しと移動（Windows）
左回転ボタン
右回転ボタン
プレビューエリア
［マルチスキャン］ボタン
用途の選択
ScanGear CSのスキャンの手順
ScanGear CSの起動
［SCAN］ボタンで画像を取り込む

-W-
WordやExcelに貼り付けたい

スキャンして貼り付ける
保存してある画像を貼り付ける

-Z-
ZoomBrowser EX（Windows）

-ア行-
アプリケーションソフトを使ってスキャンする

-カ行-
解像度とデータ容量
解像度の決めかた
ガンマ値の設定方法
原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
原稿をコピーしたい

-サ行-
写真のスクラップ
写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
スキャン画像を保存するときのファイル形式
スキャンして貼り付ける
スキャン画像を好みの色合いに調整するには
その他のアプリケーションでスキャンする

-タ行-
デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
電子マニュアル（PDF）の読みかた
トーンカーブの見かたと調整

-ハ行-
ヒストグラムの見かたと調整
ファイルの種類
フォーマット
複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

用語解説

-C-

Canon ColorGear（Windows）
キヤノン独自の色処理技術を採用し、高速かつ高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステムです。
Canon ColorGearは、業界標準フォーマットである「ICCプロファイル」に対応し、ICCプロファイルに記述されたカラー機器の特性を使った高度な色管理を実現し、キヤノン製のスキャナ、レーザービームプリンタ、カラーレーザーコピア等、多くのキヤノン製品に採用されています。
ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがCanon ColorGearです。

ColorSync（Macintosh）
米アップルコンピュータ社がMac OSの拡張機能として開発したカラーマネージメントシステムです。入力デバイス（スキャナ）と出力デバイス（ディスプレイやプリンタ）間のカラープロファイルを一致させ、スキャナとカラー画像の色を合わせる機能です。
たとえば、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがColorSyncです。

-D-

dpi（ディー・ピー・アイ）
dots per inch（1インチあたりのドット数）の頭文字をとったものです。ディスプレイやプリンタの解像度は、水平方向の1インチあたりに表示または印刷できるドット数で表します。「ピクセル」、「入力解像度」、「解像度」もご覧ください。

-E-

Exifファイル
画像ファイルの保存形式のひとつです。主にデジタルカメラで使用され、ダイレクトプリントに対応しています。CanoScan Toolboxで作成することができます。

-M-

MAPI
パソコン間で電子メールなどのメッセージをやり取りするための仕様です。この機能を提供するソフトウェアが組み込まれていればMAPI対応のアプリケーションは、具体的な転送方法を意識せずに電子メールを送信することができます。

-O-

OCR（光学式文字認識）
OCR（光学式文字認識）ソフトウェアは、テキスト画像を、ワードプロセッシングプログラムやそれに類似したアプリケーションで読み取り可能な実際のテキスト文字に変換します。［テキスト（OCR）］スキャン設定は、OCRソフトウェアが文字を正確に認識できるように、白と黒のコントラストをシャープにします。

OCRソフト
画像データを文字データに変換するソフトウェアです。CanoScan ToolboxのOCRボタンには、初期設定では、e.Typistエントリーというソフトがリンク（登録）されています。

-P-

PDF（ピー・ディー・エフ）
Portable Document Formatの略。Adobe Acrobatで扱うファイル形式。
CanoScan Toolboxでは、スキャンした原稿をPDF形式で保存することができます。また、原稿中の文字を認識することも可能です。保存したPDFファイルは、簡単なキーワード検索などに利用できます。

-R-

RGB（アール・ジー・ビー）
色を表す「光の3 原色」、Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の頭文字をとったものです。スキャナは、原稿で反射した光を赤、緑、青のセンサーで検出しています。一方、カラープリンタは、赤、緑、青の補色関係となるシアン、マゼンタ、イエローとブラック（CMYK）で色を表現しています。シアン、マゼンタ、イエローを「色の3原色」と呼びます。

-T-

TWAIN（トウェイン）
TWAIN とは、スキャナやデジタルカメラなどのデバイスからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。イメージスキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）の標準規格で、装置とアプリケーションソフトの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持つことができます。
たとえば、TWAIN対応の画像処理ソフトを使えば、このソフトのメニューからスキャナのTWAINドライバ（ScanGear CS）を起動してスキャンし、スキャン画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。

-V-

VIVIDフォト
キヤノンの特定のバブルジェットプリンタでサポートされている機能です。これを使うと各画像における最適な色を判断し、独自の方法で補正して高彩度なシアンやグリーンまで、広範囲な色域を表現する機能です。この機能を使ってプリントすると、空や海の青さや、新緑のみずみずしいグリーンなどを従来にない鮮やかな色彩でプリントできます。ただし、人の肌などのように、自然のままで表現された方がいい色については、画像の色を詳細に判断し、自然な肌色でプリントします。このように、VIVIDフォト機能を使うと、どんな画像も最適な色に補正して表現できます。

-カ行-

解像度
画像をドットの集まりで表現するときのドット密度のことです。1インチあたり何ドットで表現されているか（dpi:dots per inch）を単位にして画像の細かさ／粗さを表します。

拡大プレビュー
プレビューエリア内で範囲を指定し［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像だけが再度プレビューされ、拡大表示されます。
ディスプレイの解像度に応じて、拡大したい範囲を高解像度で再プレビューするため、きめ細かな画質のプレビュー画像が表示されます。

画像ファイル
画像を色や明るさの情報を持つドットの集まりで表現し、コンピュータで扱えるフォーマットでデータ化したものです。
基本的には縦横に並ぶ各ドットの色情報を集めたビットマップ情報で構成され、フォーマットの違いでTIFF形式やJPEG形式、BMP形式などさまざまな種類があります。

カラーマッチング
スキャナで読み取った色の範囲が、ディスプレイで表現できる色の範囲と一致しないことがあります。また、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に色が異なることがあります。このような問題を改善して、ディスプレイやプリンタの色を、スキャンした色と一致させるようにするのがカラーマッチングです。
「Canon ColorGear」や「ColorSync」もご覧ください。

カラーモード
画像をどのようにスキャンして取り込むかを設定します。
基本的には「白黒」、「グレースケール」、「カラー」の3種類があります。

白黒	原稿を白と黒だけで表現します。画像の1つの点は1ビットで表現されます。
グレースケール	原稿を白から黒までの連続した色で表現します。画像の1つの点は、8ビットで256階調、16ビットで65536階調で表現されます。
カラー	原稿をカラーで表現します。画像は光の3原色であるRGBの3つの点の集まり（画素）で構成され、画素を構成する1つの点はそれぞれにグレースケールと同様の階調を持ちます。1つの点の階調が8ビットの場合、8×3＝24で「24 ビットカラー」、16 ビットの場合は「48ビットカラー」と呼ばれ、それぞれ1670 万色、280 兆色の表現ができます。

スキャナの種類やソフトウェアによる読み取り階調、「モアレ低減」や「オートクロップ」などの画像処理機能の違いでいろいろな設定が選択できます。
ScanGear CSやCanoScan Toolboxでは、これらの機能とカラーモードを組み合わせることにより、原稿の種類や目的に合った設定が選択できるようになっています。

■ScanGear CS のカラーモードの例（スキャナの機種により異なります）

白黒	写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の2色で表現します。
グレースケール	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を8ビットで表現します。
カラー	原稿をカラーで表現します。画像は光の3原色であるRGBの3つの点の集まり（画素）で構成され、画素を構成する1つの点はそれぞれにグレースケールと同様の階調を持ちます。1つの点の階調が8ビットの場合、8×3＝24で「24 ビットカラー」、16ビットの場合は「48ビットカラー」と呼ばれ、それぞれ1670 万色、280 兆色の表現ができます。
カラー（写真）	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を8ビットで表現します。
カラー(文書,表)	写真だけでなく、文字や表などが入ったカラー文書をスキャンするときに選択します。画像を8ビットで表現します。
カラー（48ビット）	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を16ビットで表現します。

テキスト（OCR）	文字などをはっきりと読み取るときに選択します。特に、OCRソフトなどでテキストを読み込むときに選択します。原稿を白と黒の2色だけで表現します。Macintoshでは選択できません。

CanoScan Toolbox では、「スキャンモード」と呼んでいます。CanoScan Toolbox のスキャンモードの例は、用語解説の「スキャンモード」をご参照ください。

ガンマ、ガンマカーブ
元の原稿の明るさ（入力側）、画面上で見る明るさ（出力側）、さらには印刷仕上がりの明るさ（出力側）を一致させるために明るさを調整する設定です。ガンマ値という数値で表され、1を基準に、1より小さい数値では暗く、1より大きい数値では明るく変化します。また、その調整を行うグラフ上の曲線をガンマカーブ（またはトーンカーブ）と呼びます。

キャリブレーション
自動的に基準の白が正しい白色になるように調整するスキャナの機能です。

クロップ
画像の一部分を選択する動作のことです。ScanGear CSのツールバーにあるクロップボタンを使用し、プレビュー画像の一部分を選択して、その部分だけを再度プレビューしたり、スキャンできます。

入力解像度
スキャナの解像度の能力です。1インチあたり何ドットを読み取ることができるかをdpi という単位で表わします。スキャナの機種によって、入力解像度は異なります。「dpi」、「解像度」もご覧ください。

ごみ傷低減
写真原稿をスキャンしたときに、主にゴミや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行う機能です。

コントラスト
原稿を読み取るときの、明暗差のことです。コントラストを上げると全体にはっきりした画像に、コントラストを下げると全体にぼやけた画像になります。

-サ行-

自動色調整
画像を自動的に解析して、ハイライトやシャドウを最適な状態に調整する機能です。

出力解像度
原稿をスキャンするときに設定する項目です。原稿を読み取るときの細かさを、dpi（1インチあたりのドット数）という単位で指定します。数値が大きいほど、精細な画像を得られます。
「解像度」「dpi」もご覧ください。

スキャナドライバ
スキャナを制御するためのソフトウェアです。本機用のスキャナドライバは「ScanGear CS」です。詳しい使いかたは、「付属のソフトウェアの使いかた」の「ScanGear CSが知りたい」をお読みください。

スキャンモード

CanoScan Toolboxで原稿をスキャンするときに設定する項目です。

白黒	白と黒の2 色で表現される画像になるように原稿をスキャンします。
グレースケール	白～灰色～黒の無彩色で表現される画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
カラー（雑誌、カタログ）	モアレ低減機能をオンにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。
カラー（プリント写真）	モアレ低減機能をオフにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。
カラー（マルチスキャン）	カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に読み取り、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
カラー（オートクロップ）	カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

ステータスエリア
ScanGear CSのメインウィンドウ下部にある情報領域で、プレビューエリアに表示されている画像の解像度や画像の寸法、ファイルサイズなどを表示します。

ズーム
ScanGear CSのプレビューエリア内や、画像処理アプリケーションソフト内の画像の一部分、または画像全体を拡大することです。

スレッショルド
画像を白と黒に2分して表現するとき、元の画像を白と黒に分ける分割点のことをスレッショルドといいます。値を大きくすると暗くなり、小さくすると明るくなります。

-タ行-

褪色補正
保存状態が悪くて褪色または色カブリした写真を色補正する機能です。

チャネル
カラー画像の赤、緑、青の要素です。カラー画像は、赤、緑、青の各チャネルで1ピクセルあたり8ビットのデータを持っているため、各ピクセルは24ビットのデータを持っていることになります。カラー画像をスキャンする場合は、画像の赤、緑、青の色合いをブライトネスとコントラストを個別に変更できます。マスターチャネルは、この3色を統合したものです。

ツールバー
ScanGear CSのプレビューエリア上部にあるツールボタンのセットです。各ボタンを使うことで、画像の選択、画像回転、反転などができます。

テキスト（OCR）（Windows の場合のみ）
OCRソフトでスキャン画像を文字に変換したいときに使うカラーモードです。［テキスト（OCR）］を選択すると、CanonImageTrustTM Technologyが使われ、スキャンしたグレースケール画像（1ピクセルあたり8ビットのデータ）が1ピクセルあたり1ビットのデータに変換されます。

テキストボックス
スキャンした画像を印刷するときにいっしょに出力するテキストを入力するボックスです。Toolboxの印刷レイアウト画面（コピー画面で［スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する］のチェックボックスをオンにすると表示される画面）で設定します。
印刷する用紙の任意の位置に置いて、最大10個まで追加することができます。
テキストボックスに入力したテキストには、フォントの種類やサイズ、色などの書式を設定できます。

ドット
画像は縦横に並ぶ点の集まりでできています。この点をドットと呼びます。スキャナで原稿を読み取るとき、1インチあたり何ドットの細かさで読み取るかという設定値を解像度といい、dpi（dots per inch= ドット・パー・インチ）という単位で表わします。

トーンカーブ
「ガンマ、ガンマカーブ」をご覧ください

-ハ行-

ピクセル
画素（picture element）のことで、画像イメージを作り上げる最小単位です。

ヒストグラム
ひとつの画像にはさまざまな明るさを持つデータが集まっています。明るさのレベルは、もっとも暗い領域（シャドウ）からもっとも明るい領域（ハイライト）まで、0～255の数値で表わされます。どのレベルにどれだけのデータが分布しているかを示すグラフがヒストグラムです。

ビット、ビット数
1ビットの画像は、画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、白と黒の2色だけで表現します。
8ビットのグレースケール画像は、画像を白黒256段階で表現します。
24ビットのカラー画像は、赤、緑、青各色を256段階（8ビット）、1ドットを約1670万色で表現します。

フチなし全面印刷
スキャンした画像を印刷するときに設定する項目です。印刷用紙の全面にフチなしで印刷します。ただし、キヤノンバブルジェットプリンタでフチなし全面印刷に対応しているモデルのみ選択できます。

ブライトネス
スキャン時に原稿を読み取る明るさのことです。ブライトネスを上げると全体に明るい画像に、ブライトネスを下げると暗い画像になります。

プレビュー
スキャナにセットした原稿を、低解像度でスキャンし、プレビューエリアに表示します。プレビューエリアに表示された画像を確認しながらスキャン範囲の設定、明るさや色合いの調整、画像処理などを行います。

プレビューエリア
ScanGear CSのメインウィンドウの左側の領域です。［プレビュー］ボタンがクリックされると、スキャナ上の画像をスキャンし、このエリアにプレビュー画像を表示します。この段階ではまだアプリケーションソフトにスキャン画像は渡されていません。

並行処理コピー

CanoScan Toolboxのコピーでの機能です。通常のコピー機能では、原稿をすべてスキャンし終わってから印刷を開始しますが、並行処理プリントが可能な環境であれば、スキャンしながら印刷を同時に行います。短時間でのコピーを実現します。
Windowsでのみ使用できます。また、特定のインタフェースやプリンタでだけ使用できます。

-マ行-

マルチクロップ
複数の写真をスキャナにセットして、プレビューを行った後、各写真を別々に連続してスキャンするためのクロップ枠を作り出す機能です。このとき、写真がやや斜めになっていても、スキャンボタンを押すと、傾斜が10度以内であれば自動的に補正された画像が得られます。

マルチスキャン
スキャナにセットした複数の原稿を、一度の操作で別々の画像として連続スキャンできる機能です。このとき、原稿がやや斜めになっていても、傾斜が10度以内であれば自動的に補正されます。

マルチページPDF
Toolboxの［ファイル］ボタンなどで、スキャンした原稿をPDF形式で保存する際に設定する項目です。［マルチページPDF］の機能をオンにしておくと、スキャンした複数の原稿を1つのPDFファイルに保存できます。

モアレ低減
点と点が干渉を起こし、画像に濃淡のむらや縞模様があらわれる現象を「モアレ」といいます。本や雑誌に印刷されている写真や絵を低解像度でスキャンするときに起こることがあります。このモアレを低減する機能が「モアレ低減」です。

-ラ行-

粒状感低減
高感度フィルムや増感撮影されたフィルムから作成された写真に感じられる粒状感を低減する機能です。

輪郭強調
画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）です。画像の明るさやコントラスト、色合いはそのままに、自然な感じで画像をシャープにします。

総目次

■スキャンの手順

- EZボタンでスキャンする
  - ［COPY］ボタンで印刷する
  - ［SCAN］ボタンで画像を取り込む
  - ［FILE］ボタンでPDFファイルを作成する
  - ［E-MAIL］ボタンでメールに添付する
- CanoScan Toolboxを使ってスキャンする
  - CanoScan Toolboxの基本操作
  - ZoomBrowser EXでスキャンした画像を表示する（Windows）
  - ImageBrowserでスキャンした画像を表示する（Macintosh）
- アプリケーションソフトを使ってスキャンする
  - PhotoStudioでスキャンする
  - e.Typistエントリーでスキャンする（Windows）
  - e.Typistエントリーでスキャンする（Macintosh）
  - その他のアプリケーションでスキャンする

■目的別スキャナ活用法

- 原稿をコピーしたい
- 写真をいろいろな用紙に印刷したい（焼き増し、引き伸ばし）
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- 保存した画像を整理したい
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
  - 保存してある画像を貼り付ける
  - スキャンして貼り付ける
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
  - CanoScan Toolboxでマルチスキャンする
  - ScanGear CSの基本モードでマルチスキャンする
  - ScanGear CSの拡張モードでマルチスキャンする
- 複数ページの原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

■付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CS
  - ScanGear CSの起動
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
    - ツールバーのボタン
  - 拡張モードの機能
    - ツールバーのボタン
    - メインシートの機能
    - 設定シートの機能
      - 詳細設定画面
    - 色調整シートの機能
      - ブライトネス／コントラスト
      - ガンマ
      - ヒストグラム
      - トーンカーブ
    - ハーフトーンシートの機能
- CanoScan Toolbox
  - CanoScan Toolboxの起動
  - スキャンの手順
  - ボタンの機能
    - ［コピー］ボタン（コピー画面）
      - 並行処理コピー
    - ［プリント］ボタン（プリント画面）
      - 印刷レイアウト画面
        - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［メール］ボタン（メール画面）
      - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［OCR］ボタン（OCR画面）
    - ［保存］ボタン（保存画面）
      - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［ファイル］ボタン（ファイル画面）
      - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）
      - スキャン画像の確認とExif情報の入力
    - ［設定］ボタン（設定画面）
- その他のアプリケーションソフト
  - ZoomBrowser EX / PhotoRecord（Windows）
  - ImageBrowser（Macintosh）
  - PhotoStudio
  - e.Typistエントリー
  - Acrobat Reader
    - 電子マニュアル(PDF)の読みかた

■もっと上手にスキャンする

お問い合わせ先

|お問い合わせ窓口|
|修理受付窓口について|
|各種情報の入手方法|

下記の情報は2003年8月1日現在のものです。
記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせ窓口

ホームページには、製品情報、Q&A 検索、ドライバダウンロードなどの情報が掲載されています。ぜひご利用ください。

●キヤノンホームページ　http://canon.jp/　「サポート」

■付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ

各ソフトウェアの製造元へお問い合わせください。
ソフトウェアについては、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」の電子マニュアル、またはソフトウェアのREAD ME ファイル、HELP などを合わせてご覧ください。

ソフトウェア名	お問い合わせ先	電話番号	ホームページおよび選択する項目名
■Adobe Acrobat Reader （アドビ・アクロバット・リーダー）	アドビシステムズ（株）	—	http://www.adobe.co.jp/ 「サポート／サポートデータベース」
■ArcSoft PhotoStudio （アークソフト・フォトスタジオ）	アークソフトジャパン	03-5795-1392	http://www.arcsoft.jp/ 「サポート」
■e.Typist エントリー （イー・タイピスト・エントリー）	メディアドライブ（株）	03-5724-5381	http://www.mediadrive.co.jp/ 「よくある質問」
■ScanGear CS （スキャンギアCS） ■CanoScan Toolbox （キヤノスキャン・ツールボックス） ■Canon ZoomBrowser EX （キヤノン ズームブラウザ EX） ■Canon ImageBrowser （キヤノン イメージブラウザ） ■Canon PhotoRecord （キヤノン フォトレコード）	キヤノン販売（株） お客様相談センター	0570-01-9000	http://canon.jp/ 「サポート」

■スキャナの電話ご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）
0570-01-9000　（商品該当番号：79）

※全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号<79>または「キャノスキャン」とお話ください。

【受付時間】
＜平日＞9：00〜20：00
＜土日祝日＞10：00〜17：00（1/1〜3を除く）

※自動車電話・PHSをご使用の方、海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9555をご利用ください。

※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■アクセスポイント
札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

先頭へ戻る▲

修理受付窓口について

本スキャナの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
■修理受付窓口

下記、修理受付窓口の受付時間は9:00 〜 17:30です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（ただし、東京ＱＲセンターおよび新宿サービスセンターの営業時間は10:00 〜 18:00、休業日は日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：本スキャナのお取り扱い方法のお問い合わせは、かならず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区	※札幌サービスセンター　TEL 011(728)0665 〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西１－１－２　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内
東北地区	※仙台サービスセンター　TEL 022(217)3210 〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町３－６－１　仙台パークビルヂング１Ｆ　仙台支店内
関東・信越地区	大宮サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 048(649)1450 〒330-9544 埼玉県さいたま市大宮区桜木町４－２４７　ＯＳビル１Ｆ　大宮営業所内

東京・神奈川・山梨地区
東京ＱＲセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3837)2961
〒110-0005 東京都台東区上野１－１－１２　信井ビル１Ｆ
新宿サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3348)4725
〒163-0401 東京都新宿区西新宿２－１－１　新宿三井ビル１Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）　TEL 0297(35)5000
〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立１２３４　Ｆ７棟３Ｆ
関東地区・東京地区で、郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記テクニカルセンターにお送りください。
横浜サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 045(312)0211
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸２－６－２６　ＨＩ横浜ビル２Ｆ　横浜営業所内

中部・北陸地区
※名古屋ＱＲセンター　TEL 052(939)1830
〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜２－２－１　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内

近畿地区
※大阪ＱＲセンター　TEL 06(6942)7418
〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央２－５－３

中国・四国地区
※広島サービスセンター　TEL 082(240)6712
〒730-0051 広島県広島市中区大手町３－７－５　広島パークビルヂング１Ｆ　広島支店内
※高松サービスセンター　TEL 087(823)4681
〒760-0027 香川県高松市紺屋町４－１０　鹿島紺屋町ビル１Ｆ　高松支店内

九州地区
※福岡ＱＲセンター　TEL 092(411)4173
〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島１－２－１　キヤノン販売福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

先頭へ戻る▲

各種情報の入手方法

本スキャナに付属のキヤノン製ソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップの情報およびバージョンアップしたファイルは、次の方法でご入手ください。

【最新のドライバ、ユーティリティの入手方法】

- インターネット：キヤノンホームページ　http://canon.jp/
  「サポート」の「ダウンロード」を選択、「パーソナル向けスキャナー【CanoScan／IX】」を選択し、目的のソフトウェアをダウンロードしてください。
  ※ インターネットの通信料はお客様のご負担になります。
  ※ ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。
- 代引き配送サービス
  配送時に代金引き換えにて、ドライバのCD-ROMをお送りいたします。
  インターネットで、製品に関する情報、提供中のドライバの種類や内容をご確認ください。

先頭へ戻る▲

商標について

- Adobe(R)、Acrobat(R)、Photoshop(R)はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft(R)およびWindows(R)は、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、FireWireおよびColorSyncは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Netscape(R)、Netscape Navigator(R)は、Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Netscape(R) Communicatorは、Netscape Communications Corporationの商標です。
- CanoScan、ScanGearは、キヤノン株式会社の商標です。
- その他、記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- このマニュアルでは、Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edititon／Professional、Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition、Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional、Microsoft(R) Windows(R) 98をそれぞれWindows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98と表記しています。

閉じる